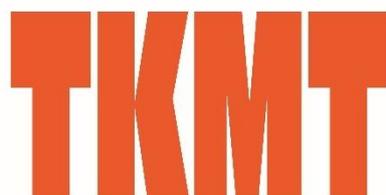


高齢者の暮らしと介護についての アンケート調査結果報告書

令和8年3月
高松市

The logo consists of the letters 'TKMT' in a bold, orange, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect, giving them a three-dimensional appearance. The 'T' and 'M' are particularly prominent due to their height and width.

目次

第1章 調査概要	1
第2章 調査結果 高齢者(65歳以上)	5
1. 回答者の属性	5
2. 家族や生活状況について	8
3. からだを動かすことについて	12
4. 食べることについて	18
5. 毎日の生活について	23
6. 地域での活動について	30
7. 就労について	36
8. たすけあいについて	37
9. 健康について	41
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	45
11. 高齢者に必要な生活支援について	51
12. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて	56
13. 一般介護予防事業について	62
14. 高齢者の保健福祉について	65
第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満)	72
1. 回答者の属性	72
2. 家族や生活状況について	74
3. 地域での活動について	77
4. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて	81
5. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて	82
6. 健康づくりについて	88
7. 一般介護予防事業について	88
8. 高齢者の保健福祉について	92
第4章 資料 自由意見集	100
1. 自由意見 高齢者(65歳以上)	100
2. 自由意見 一般市民(40歳以上65歳未満)	104

第5章 資料 判定結果.....	107
1. 評価項目別の判定結果.....	107
(1)運動器の機能低下	108
(2)転倒リスク	110
(3)閉じこもり傾向.....	112
(4)低栄養の傾向	114
(5)口腔機能の低下	116
(6)認知機能の低下	118
(7)うつ傾向	120
(8)IADL－手段的日常生活動作	123
(9)社会参加－知的能動性	125
(10)社会参加－社会的役割	127

第1章 調査概要

1. 調査目的

令和9年度から11年度までを計画期間とする「第10期高松市高齢者保健福祉計画」の策定における基礎調査として実施しました。

2. 調査設計

(1) 調査対象

調査種別	調査対象者	標本数
高齢者	65歳以上の高齢者の方 (要介護1～5の認定者を除く)	3,000人
一般市民	40歳以上65歳未満の方	1,000人
	合計	4,000人

(2) 調査方法

すべての調査対象者に、郵送およびWEBによるアンケートの配布・回収を行いました。

(3) 回収数

調査種別	有効回収数	有効回収率
高齢者	1,738件	57.9%
一般市民	380件	38.0%

(4) 調査の期間

令和7年12月1日～令和7年12月26日(郵送)

令和7年12月1日～令和8年1月7日(WEB)

3. 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率は、すべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計等での件数(母数)の少ない集計結果についても、参考までに記載しています。
- (5) 市民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案し、本市では下記のとおり、19の日常生活圏域を設定しています。

日常生活圏域	地 区
① 中央西	日新、二番丁、亀阜、四番丁
② 中央東	新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木
③ 鶴尾	鶴尾
④ 太田	太田、太田南
⑤ 一宮	一宮
⑥ 香東	川岡、円座、檀紙
⑦ 木太	木太
⑧ 古高松	古高松
⑨ 屋島	屋島
⑩ 協和	前田、川添、林

日常生活圏域	地 区
⑪ 龍雲	三谷、仏生山、多肥
⑫ 山田	川島、十河、西植田、東植田
⑬ 勝賀 下笠居	香西、弦打、鬼無、 下笠居
⑭ 塩江	塩江
⑮ 香川	香川
⑯ 香南	香南
⑰ 牟礼	牟礼
⑱ 庵治	庵治
⑲ 国分寺	国分寺

4. 評価項目の判定について

評価項目別の判定結果については、国が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」実施の手引き及び老研式活動能力指標に基づき集計したものであり、特定の項目に回答していることが必須条件となるため、回収数よりも有効回収数が、若干、少なくなっています。

5. 総評

【高齢者調査】

(1) 健康寿命の延伸と主体的な介護予防の推進

「高松市健康都市推進ビジョン(第3次)」が掲げる「健康寿命の延伸」や「主観的健康観の向上」の実現に向けて、運動機能の維持は重要な課題となっています。

調査結果では、運動器の機能低下(前回:20.4%→今回:19.4%)や転倒リスク(前回:36.7%→今回:36.8%)を抱える高齢者が一定数存在しています。一方で、フレイル対策や介護予防に取り組んでいる割合は27.4%(前回:21.4%)にとどまっています。「第9期高松市高齢者保健福祉計画」の方針に基づき、高齢者自らが「運動や体操」などの介護予防へ積極的に取り組めるような仕組みづくりと意識啓発のさらなる推進が求められます。

(2) 社会参加の促進と地域における居場所づくり

「第4次高松市地域福祉計画」では、全ての人々が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていく「高松型地域共生社会」の実現を目指しています。

高齢者の多くが趣味や生きがいを持っているものの、地域の会やグループに参加していない人の割合も高く、高齢者が気軽に集える場所に参加していない最大の理由は「きっかけがない(前回:38.3%→今回:44.5%)」となっています。

今後は、高齢者が気軽に参加できる居場所の充実を図るとともに、社会参加への「きっかけづくり」を後押しする施策の展開が重要となります。

(3) 包括的な生活支援と移動支援の充実

日常生活における不安や困りごととして「体力や体調の変化(前回:60.0%→今回:61.8%)」や緊急時の不安が上位に挙がり、必要とされる生活支援の第1位は「外出が困難な高齢者への移動支援(前回:47.5%→今回:45.1%)」となっています。

加齢に伴う移動手段の確保や、日々のちょっとした困りごとへの支援は喫緊の課題となっており、複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、行政だけでなく市民や地域住民が協働し、「我が事・丸ごと」の視点で支え合う包括的な支援体制の構築が必要となっています。

(4) 認知症に関する不安の軽減と相談体制の周知

認知症に対しては、家族への負担や大切な思い出を忘れてしまうことへの不安が強く、地域で安心して暮らすためには「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実(前回:62.5%→今回:63.5%)」が最も求められています。

しかし、地域の身近な相談窓口である地域包括支援センターを知らない人が36.7%(前回:37.5%)を占めており、「第9期高松市高齢者保健福祉計画」が目指す、認知症の人や家族を地域全体で支える体制を確立するためにも、各種相談窓口のさらなる周知・啓発が急務となっています。

【一般市民調査】

(1) 青壮年期からの健康づくりと介護予防への意識啓発

40～64歳の一般市民は、介護予防として「運動や体操の習慣(前回:50.1%→今回:60.5%)」や「生活習慣病の予防(前回:53.2%→今回:51.1%)」を重要視しており、実際に介護予防に取り組んでいる人は19.7%と前回調査時(14.2%)と比べて5.5ポイント増加しています。

人生100年時代を見据え、「高松市健康都市推進ビジョン(第3次)」に則り、青壮年期といった早い段階から自分事として健康づくりや介護予防に取り組むための情報提供や意識啓発を強化していく必要があります。

(2) 認知症への理解と将来の介護への備え

認知症になった際の不安として「家族に身体的・精神的負担をかける(前回:87.1%→今回:90.3%)」が圧倒的に高く、将来介護が必要になった際の住まいや介護サービスについても「今のところ、よくわからない(前回:32.2%→今回:30.5%)」という回答が最多となっています。

また、最期の医療や介護について家族と話し合ったことがない割合も約8割を占めています。いざという時に困らないよう、早い時期からの制度に関する情報提供と、家族間で将来について話し合う機会の創出が求められます。

(3) 地域共生社会の担い手としての参画の促進

地域の健康づくりやグループ活動に対して、「参加してもよい(前回:57.2%→今回:51.8%)」と回答した人は「参加したくない(前回:36.2%→今回:43.7%)」と回答した人を上回り、半数を超えています。

「第4次高松市地域福祉計画」の基本理念に基づき、この世代が地域の支え合い活動やボランティア活動等に無理なく関わられるような参加のきっかけを提供し、将来の地域共生社会を支える担い手として育成していくことが期待されます。

(4) 地域包括ケアシステムへの理解促進と主体的参画

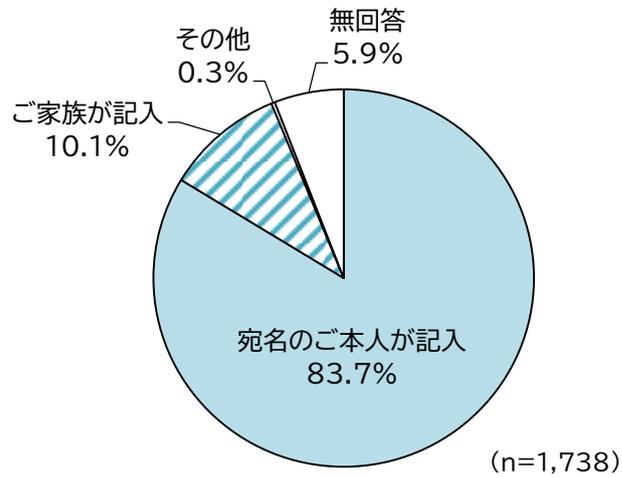
地域包括ケアシステムの推進において、「家族や親族の理解と協力(前回:75.2%→今回:79.2%)」や「自宅近くの医療機関が充実していること(前回:60.0%→今回:63.7%)」、「行政の支援(前回:55.7%→今回:56.6%)」が特に重要視されています。

市民、地域、行政がより一層協働し、地域包括ケアシステムを実効性のあるものへと進化させるためには、一般市民層に対しても介護保険制度や身近な相談窓口の役割を広く周知していく必要があります。

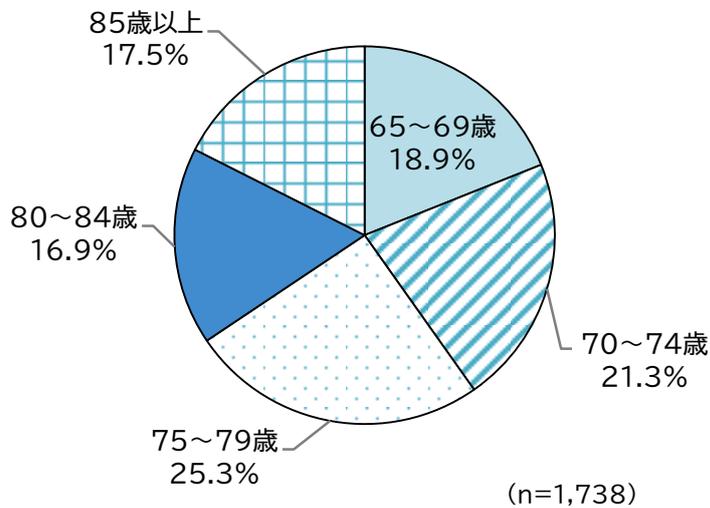
第2章 調査結果 高齢者(65歳以上)

1. 回答者の属性

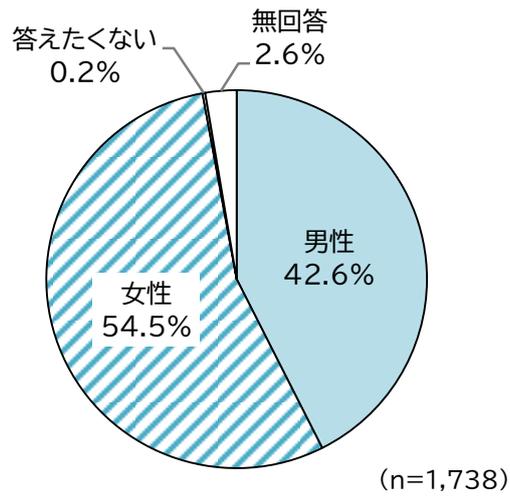
(1) 調査票を記入した方



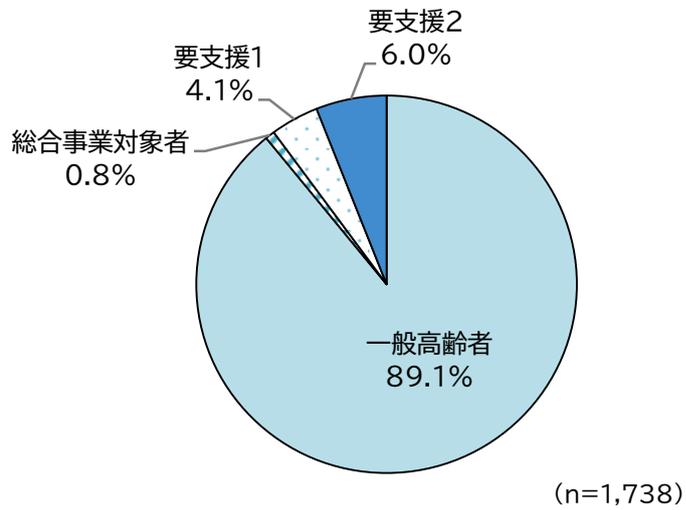
(2) 年齢



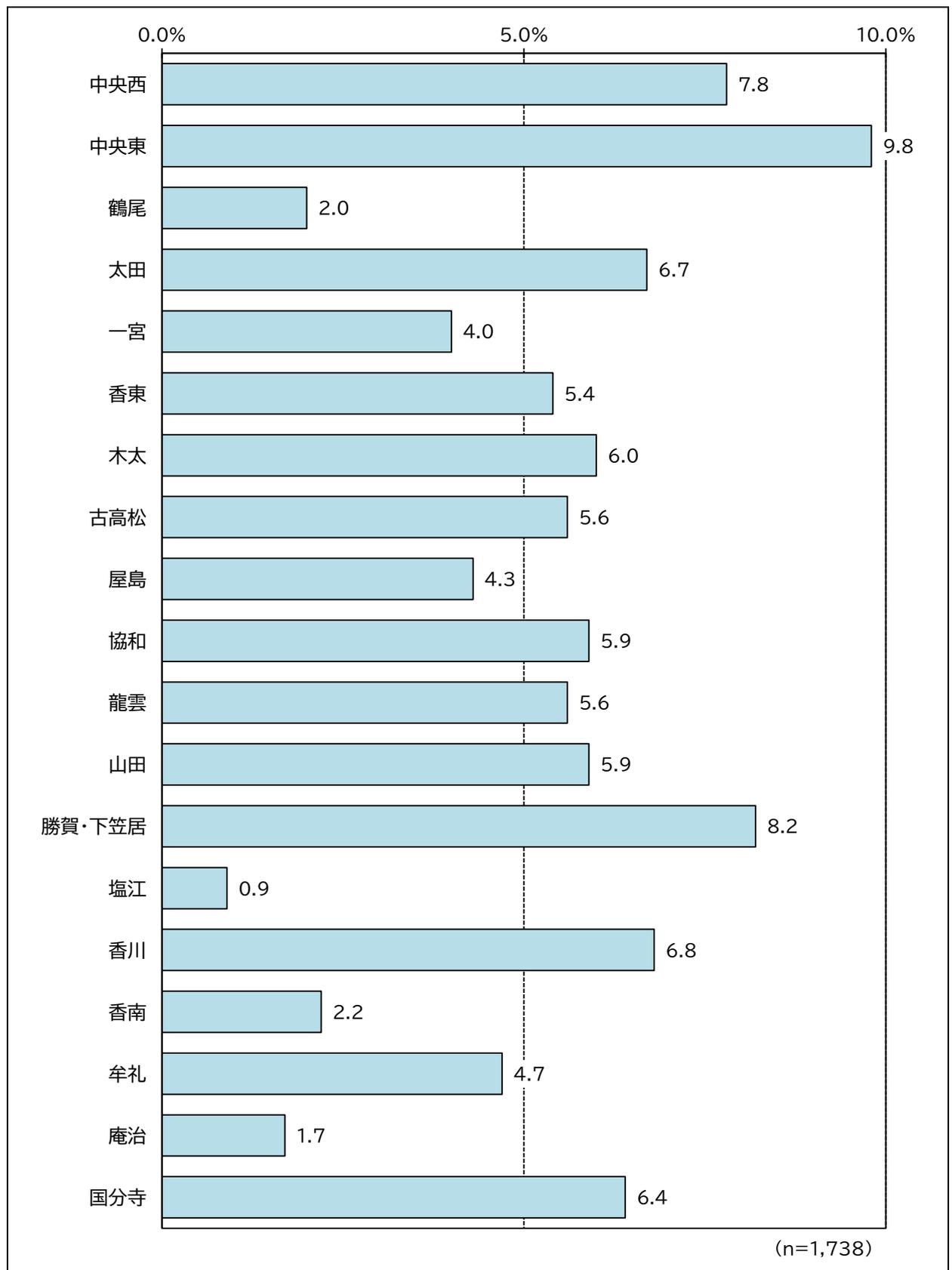
(3) 性別



(4) 認定状況



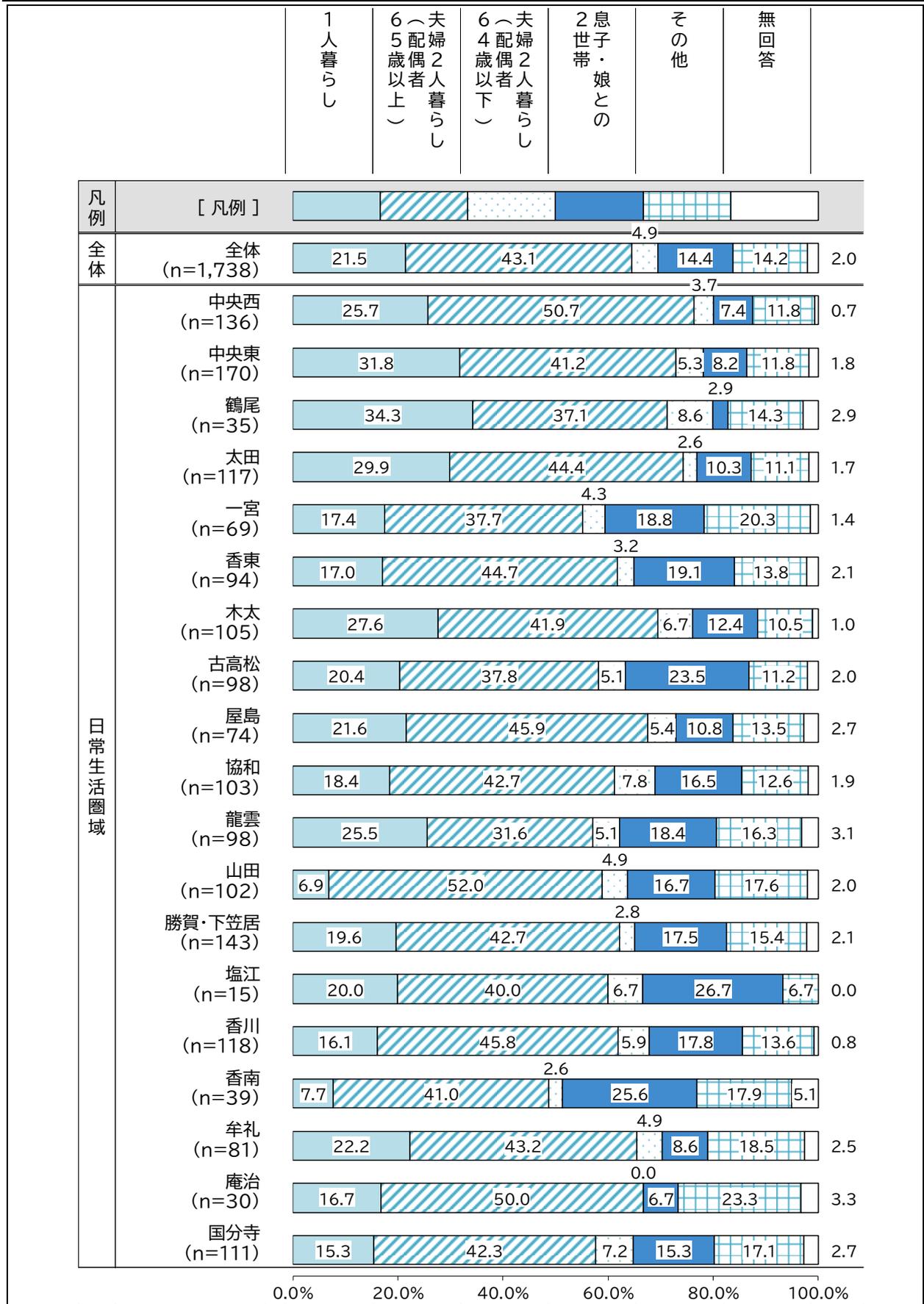
(5) 日常生活圏域



2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成について

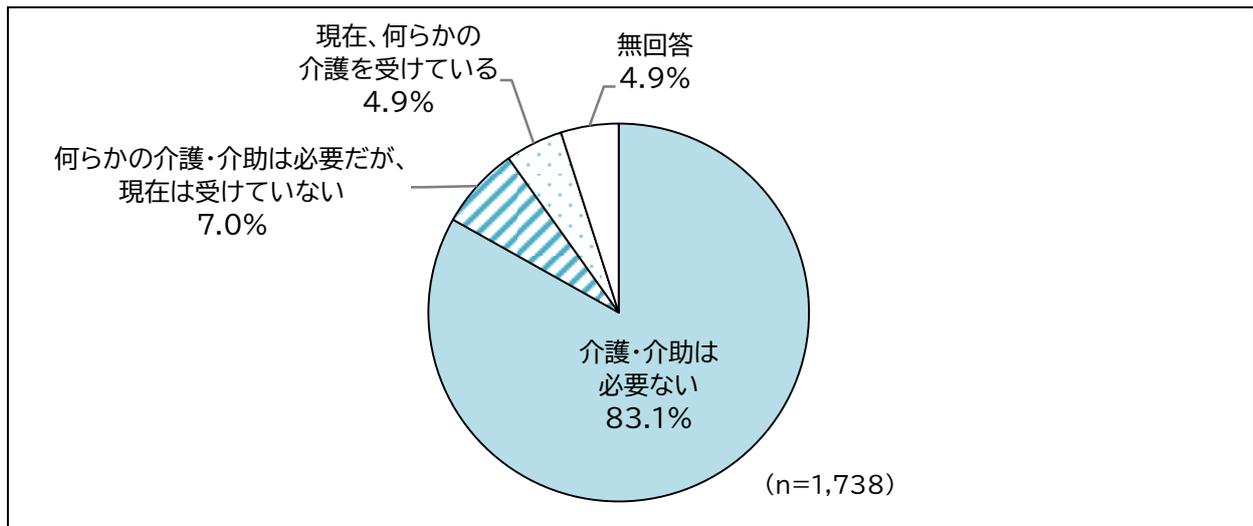
問1-1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

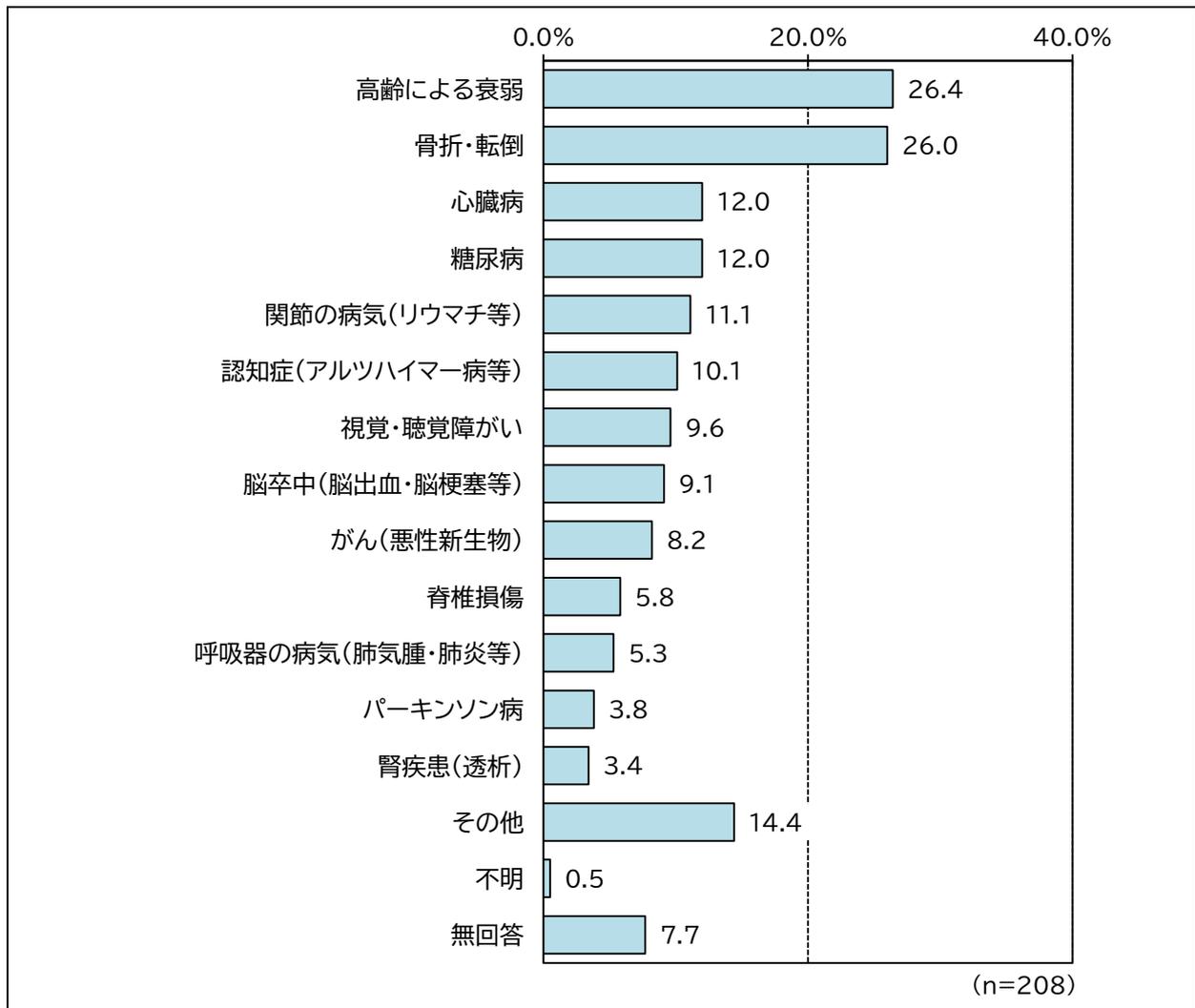
(2)介護・介助の状況について

問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

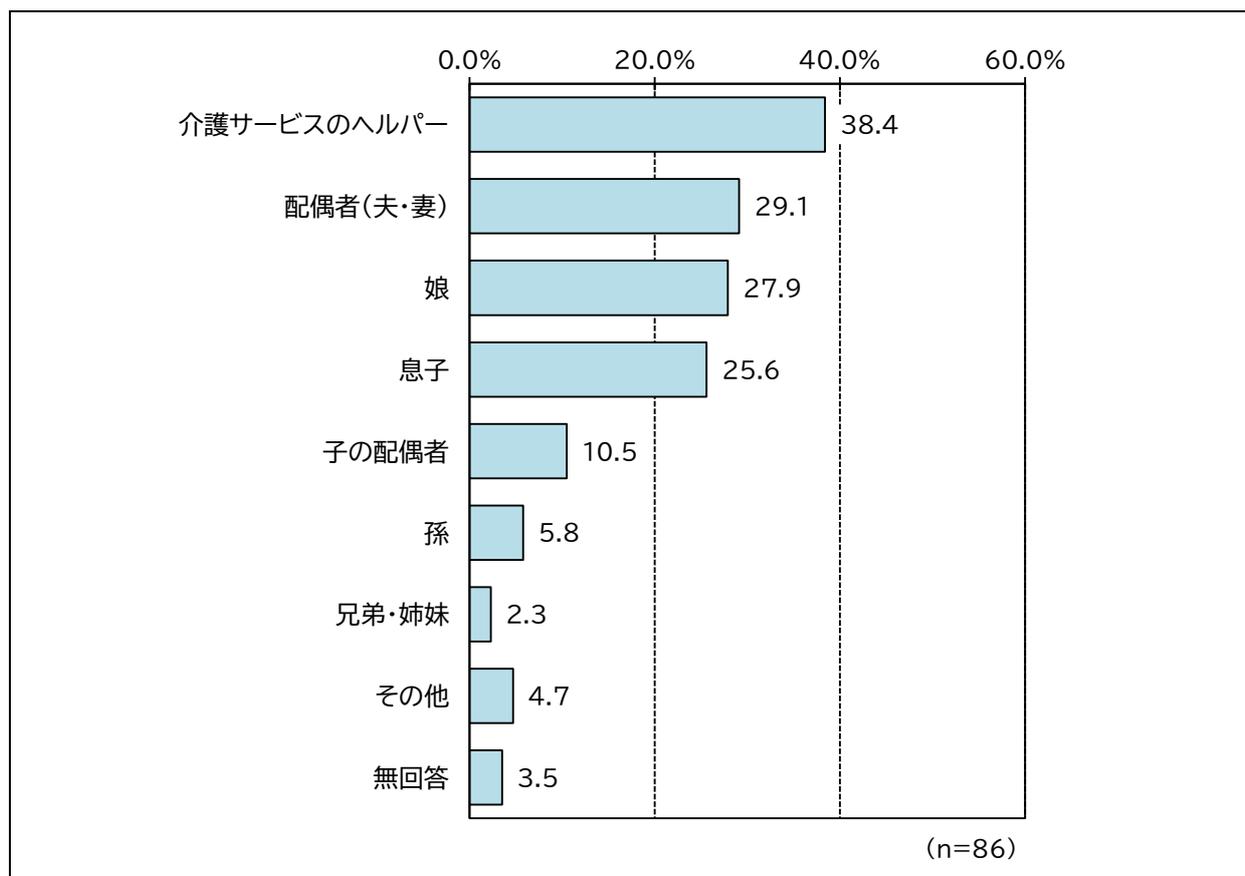


問1-2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方

問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

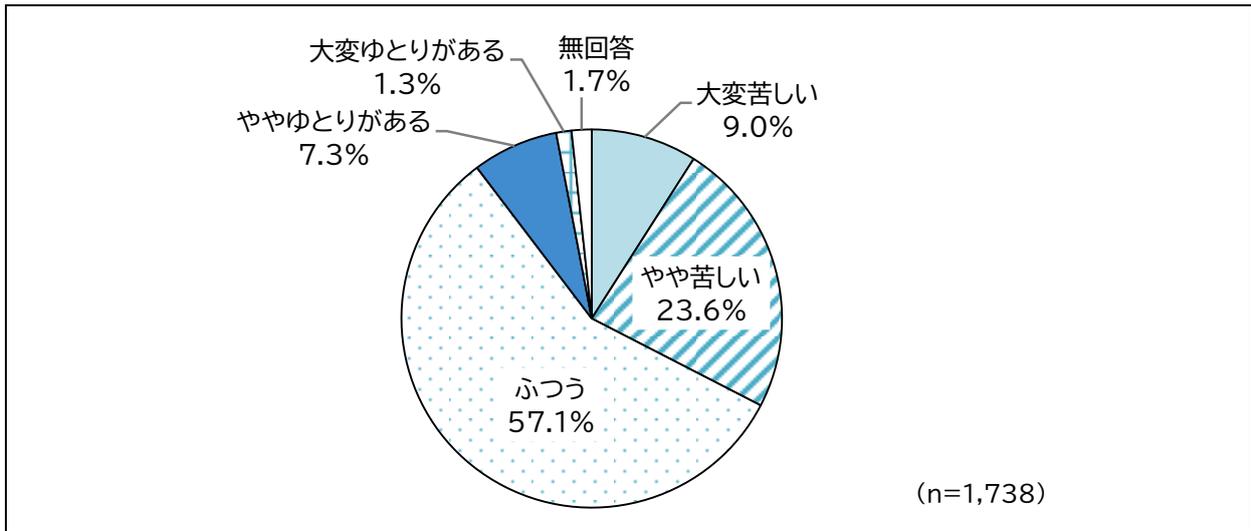


問1-2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方
問1-2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)



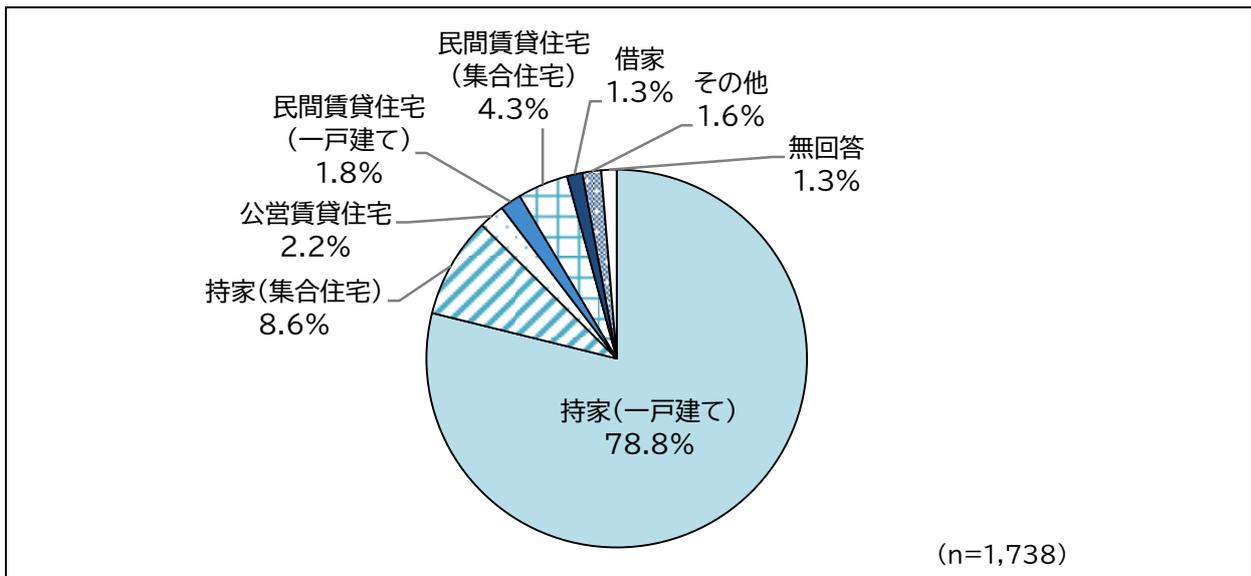
(3)現在の経済状況

問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)



(4)住まいの状況

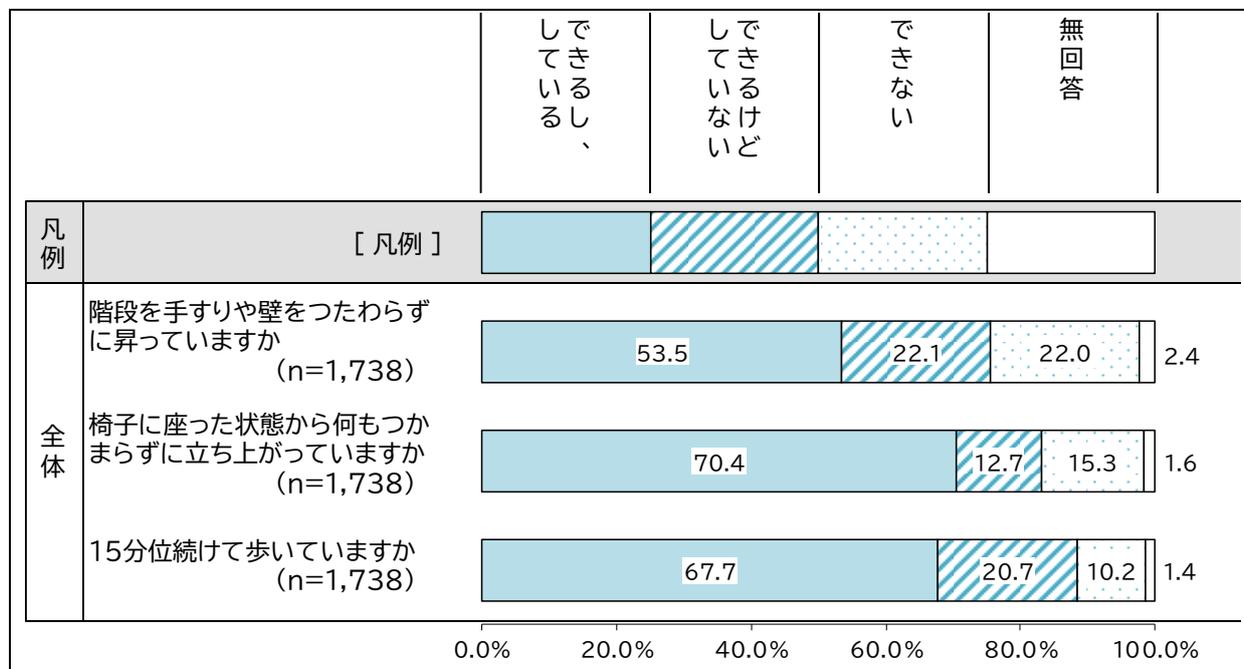
問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)



3. からだを動かすことについて

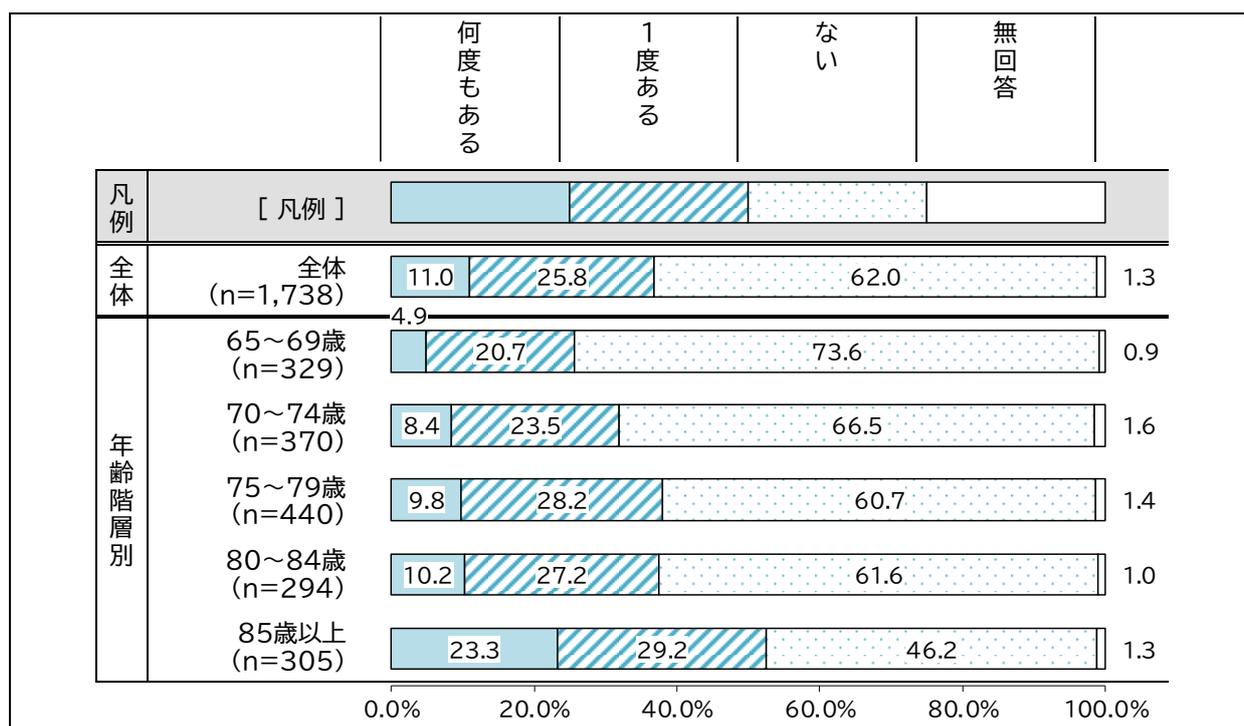
(1) 運動器の機能について

- 問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
 問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
 問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)



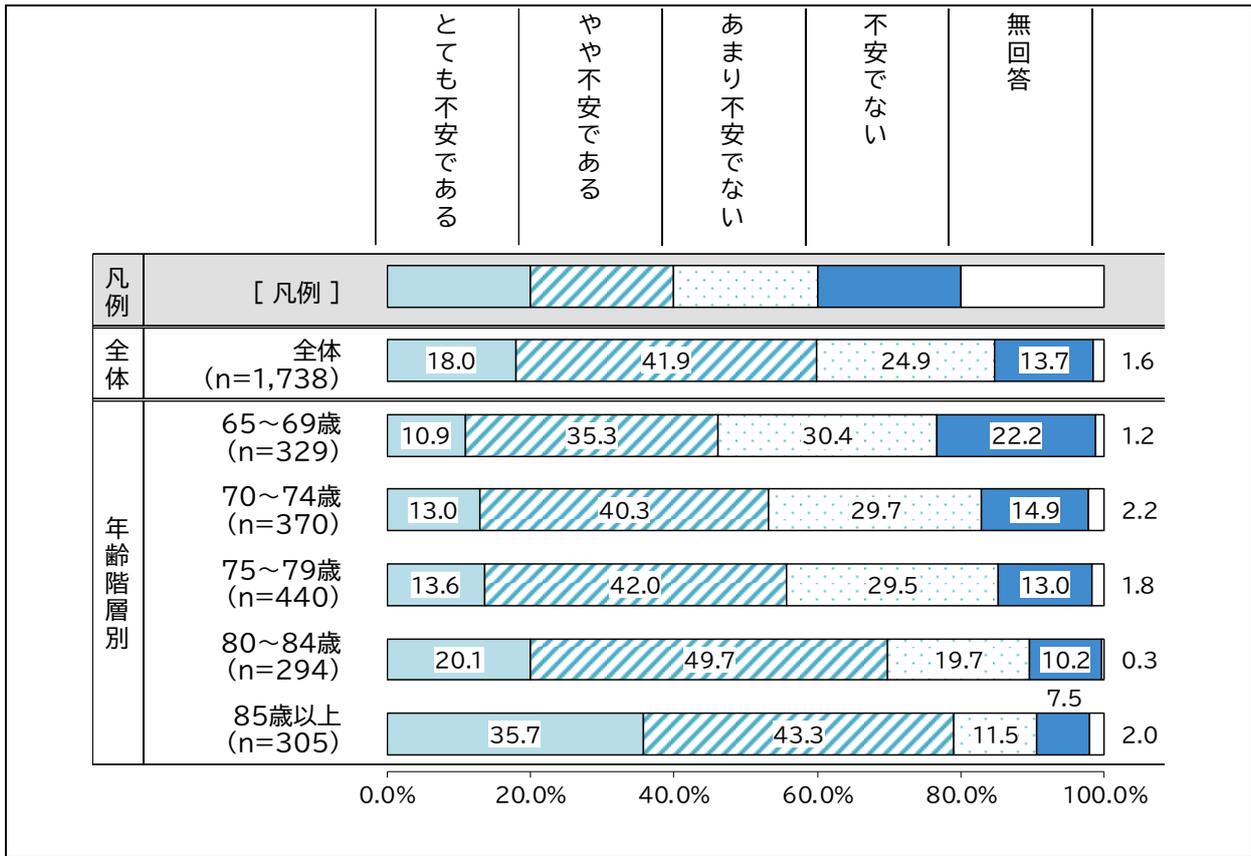
(2) 転倒について

- 問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)



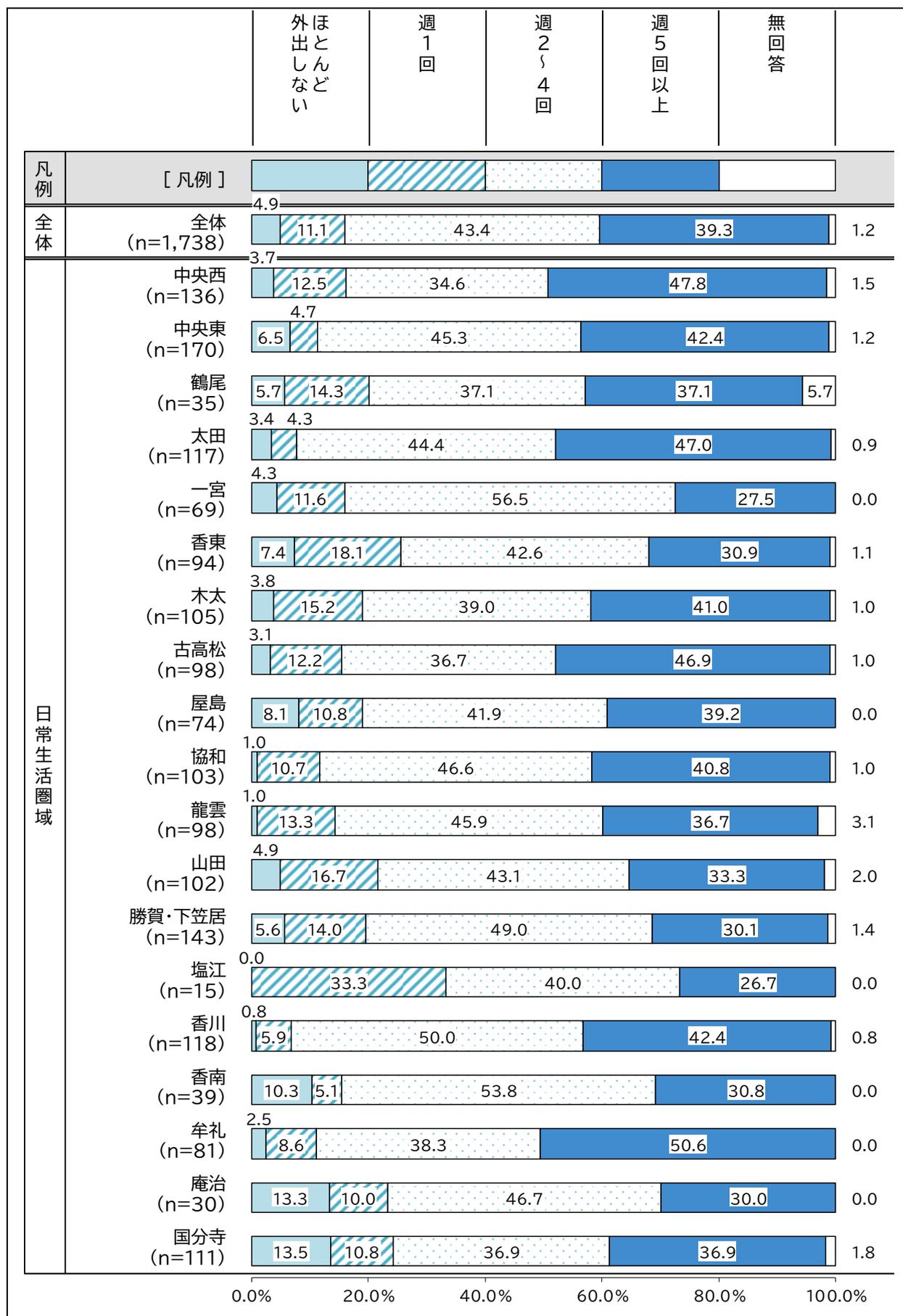
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

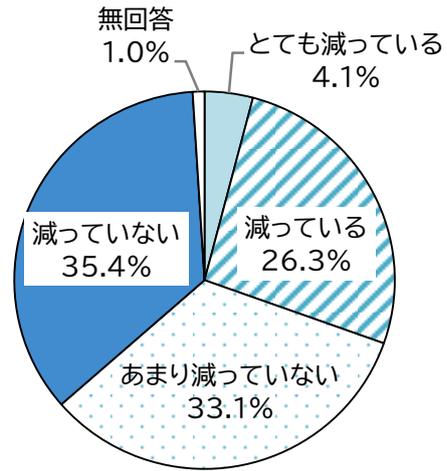


(3)閉じこもり傾向について

問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

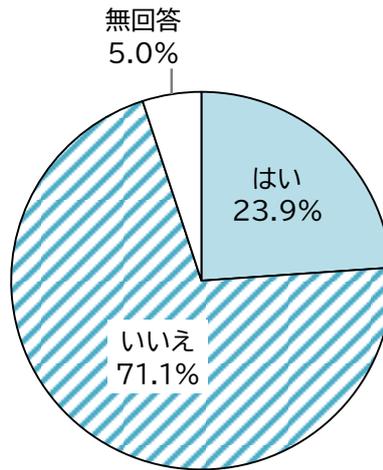


問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)



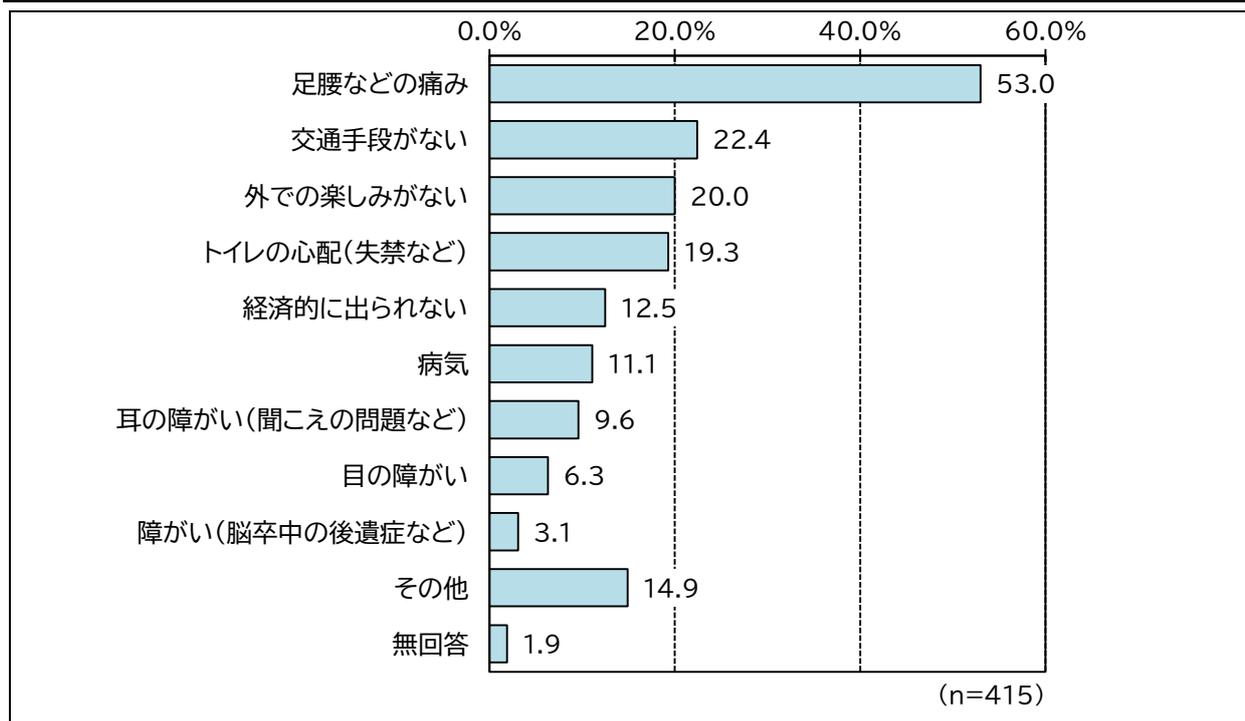
(n=1,738)

問2-8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

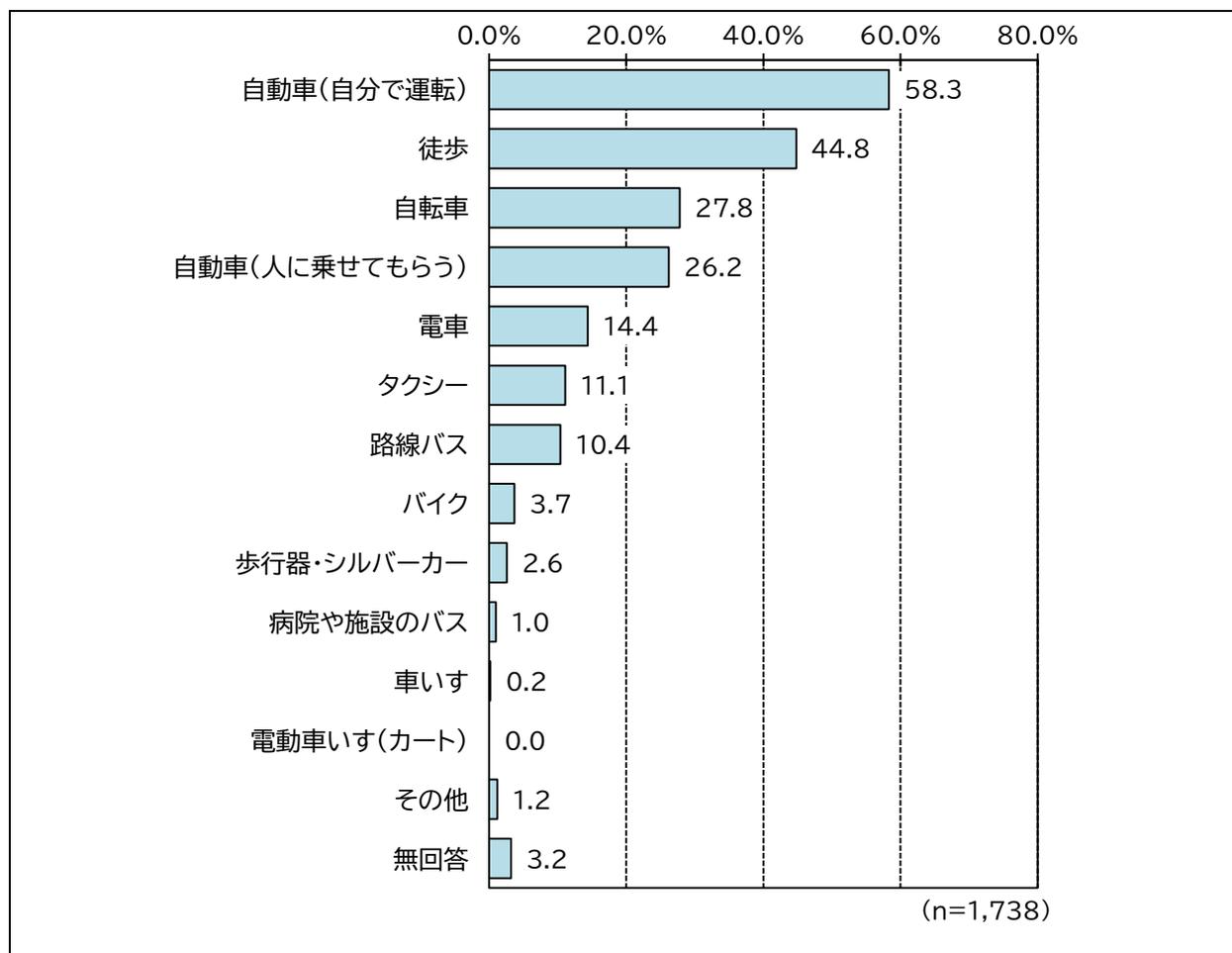


(n=1,738)

問2-8で「1. はい(外出を控えている)」と回答した方
 問2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)



問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

(単位:%)

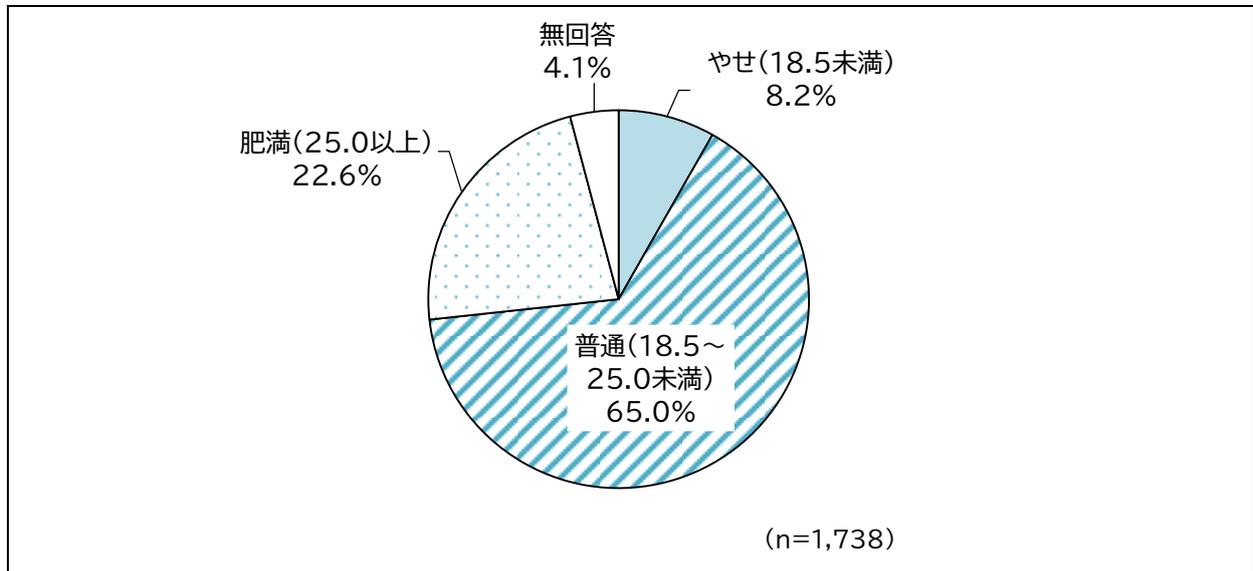
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		自動車(自分で運転) 58.3	徒歩 44.8	自転車 27.8
日常生活圏域	中央西 (n=136)	徒歩 62.5	自転車 49.3	自動車(自分で運転) 46.3
	中央東 (n=170)	徒歩 64.1	自転車 50.0	自動車(自分で運転) 38.2
	鶴尾 (n=35)	自動車(自分で運転) 48.6	徒歩 45.7	自転車 31.4
	太田 (n=117)	自動車(自分で運転) 58.1	徒歩 50.4	自転車 37.6
	一宮 (n=69)	自動車(自分で運転) 56.5	徒歩 43.5	自転車(人に乗せてもらう) 34.8
	香東 (n=94)	自動車(自分で運転) 60.6	徒歩 39.4	自転車(人に乗せてもらう) 30.9
	木太 (n=105)	自動車(自分で運転) 56.2	徒歩 45.7	自転車 36.2
	古高松 (n=98)	自動車(自分で運転) 64.3	徒歩 41.8	自動車(人に乗せてもらう) 25.5
	屋島 (n=74)	徒歩 52.7	自動車(自分で運転) 50.0	自転車 28.4
	協和 (n=103)	自動車(自分で運転) 64.1	徒歩 29.1	自動車(人に乗せてもらう) 26.2
	龍雲 (n=98)	自動車(自分で運転) 67.3	徒歩 39.8	自転車 29.6
	山田 (n=102)	自動車(自分で運転) 63.7	自動車(人に乗せてもらう) 33.3	徒歩 30.4
	勝賀・下笠居 (n=143)	自動車(自分で運転) 58.7	徒歩 42.0	自動車(人に乗せてもらう) 30.8
	塩江 (n=15)	自動車(自分で運転) 66.7	自動車(人に乗せてもらう) 33.3	徒歩 26.7
	香川 (n=118)	自動車(自分で運転) 71.2	徒歩 39.8	自動車(人に乗せてもらう) 21.2
	香南 (n=39)	自動車(自分で運転) 82.1	自動車(人に乗せてもらう) 20.5	徒歩 17.9
	牟礼 (n=81)	自動車(自分で運転) 56.8	徒歩 46.9	電車 自動車(人に乗せてもらう) 25.9
	庵治 (n=30)	自動車(自分で運転) 63.3	徒歩 43.3	自動車(人に乗せてもらう) 23.3
国分寺 (n=111)	自動車(自分で運転) 65.8	徒歩 41.4	自動車(人に乗せてもらう) 29.7	

- 日常生活圏域別にみると、多くの圏域で「自動車(自分で運転)」が第1位、「徒歩」が第2位となっています。
- すべての圏域で、「自転車」や「徒歩」といった、自らが動く移動手段が上位3位以内に入っています。

4. 食べることについて

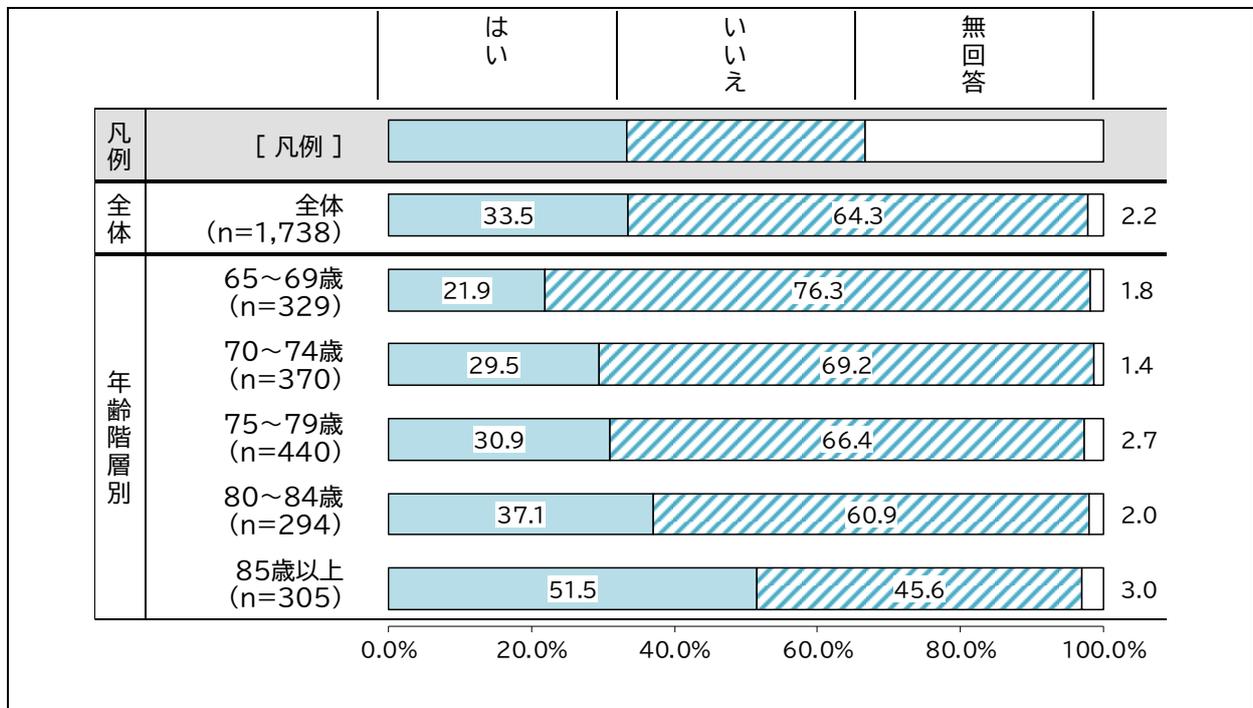
(1) BMI算出

問3-1 身長・体重を教えてください。



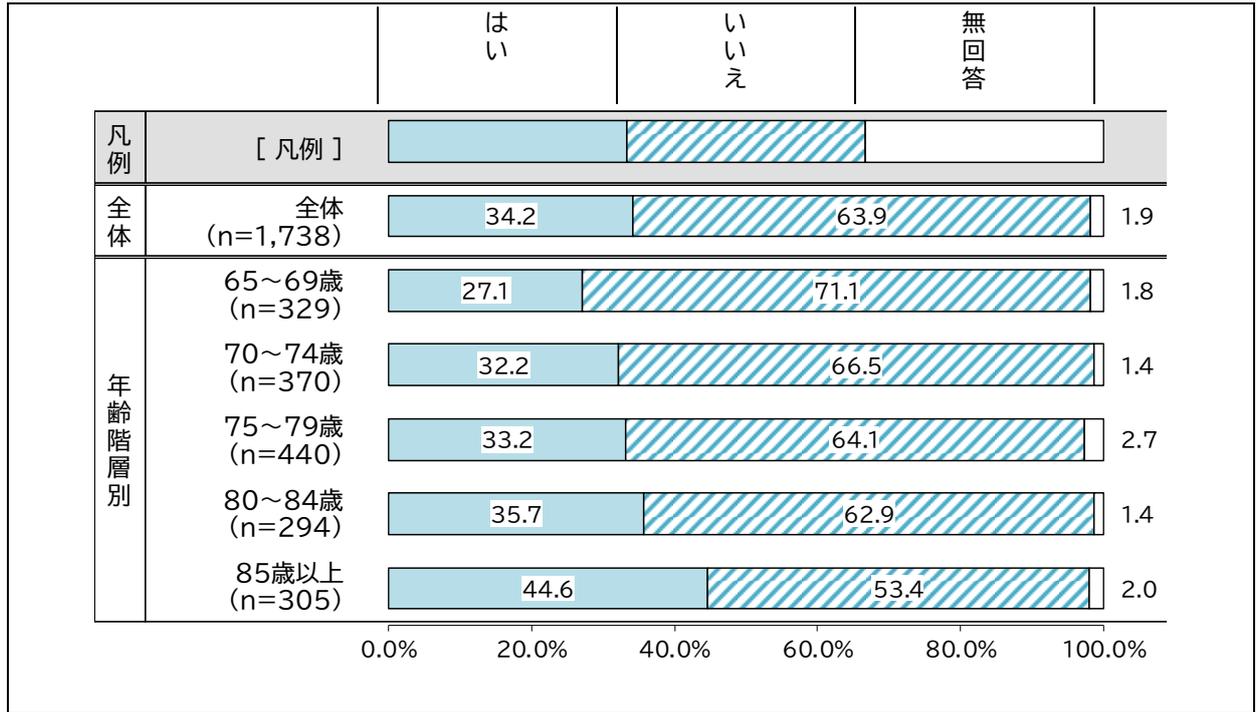
(2) 口腔機能について

問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)



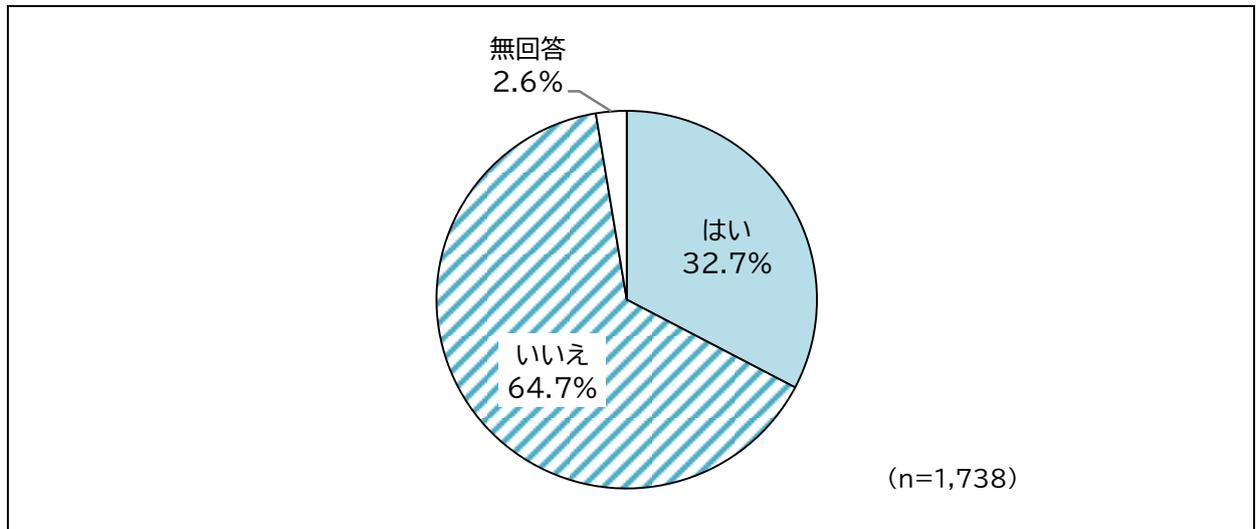
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)

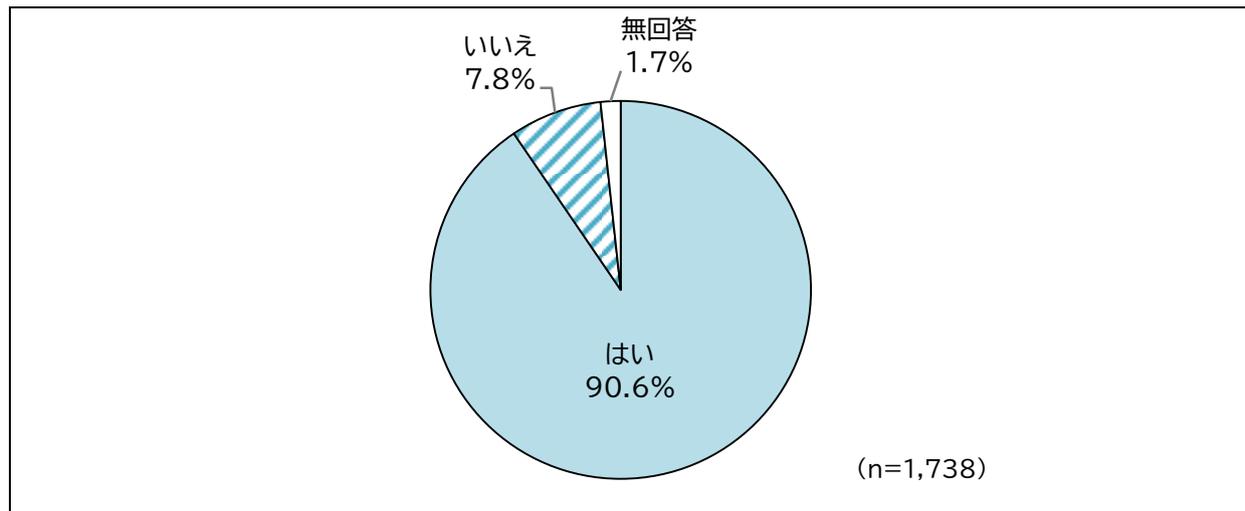


第2章

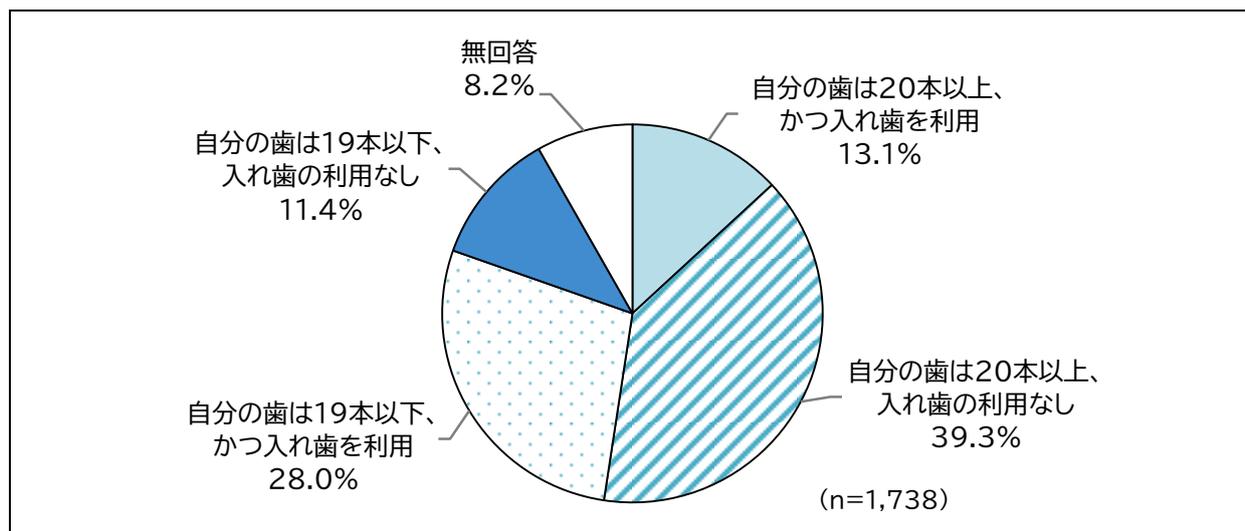
問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)



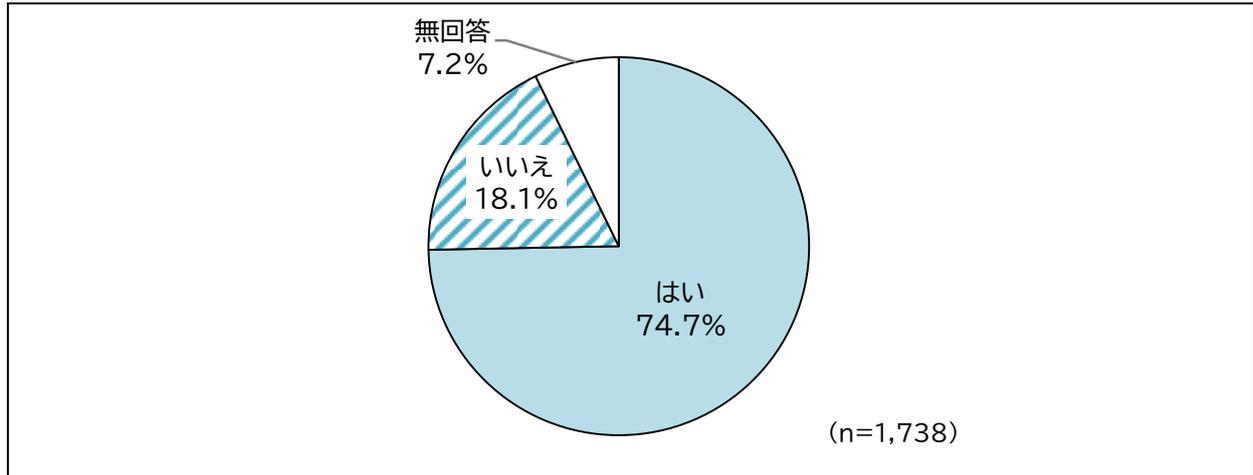
問3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つだけ○)



問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

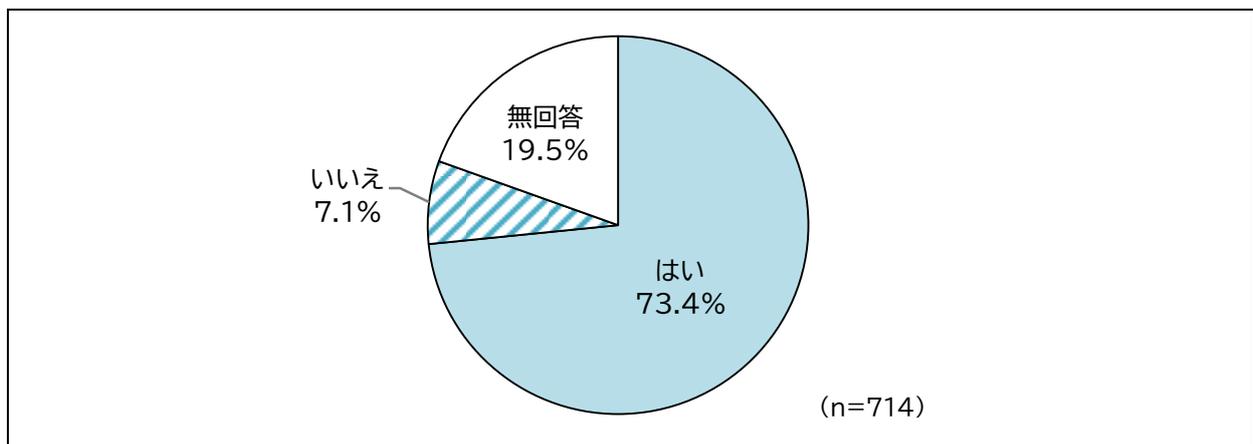


問3-6-1 噛み合わせはよいですか。(1つだけ○)



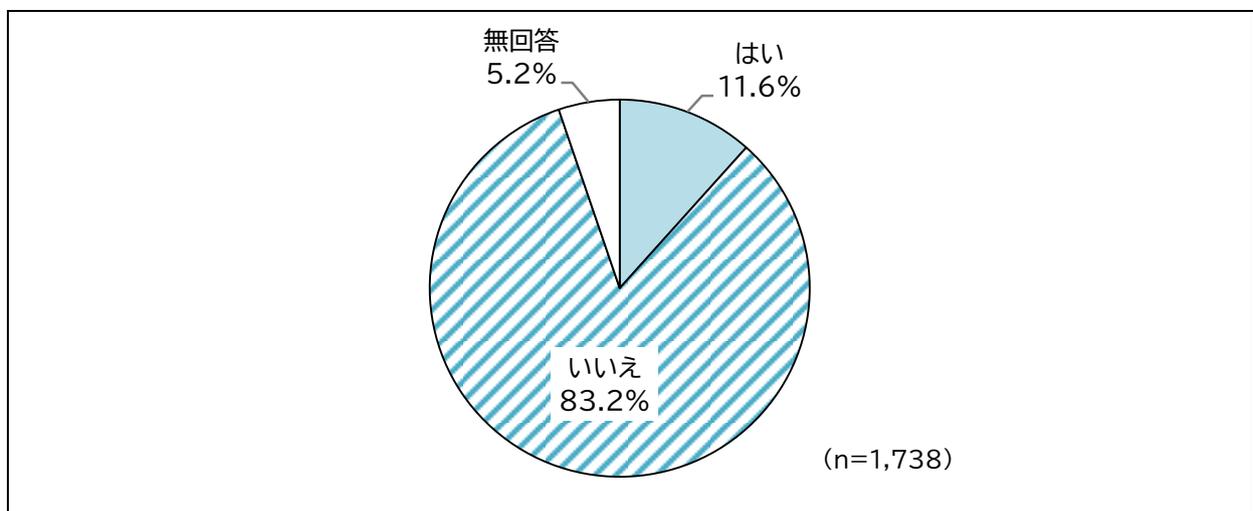
問3-6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方

問3-6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)



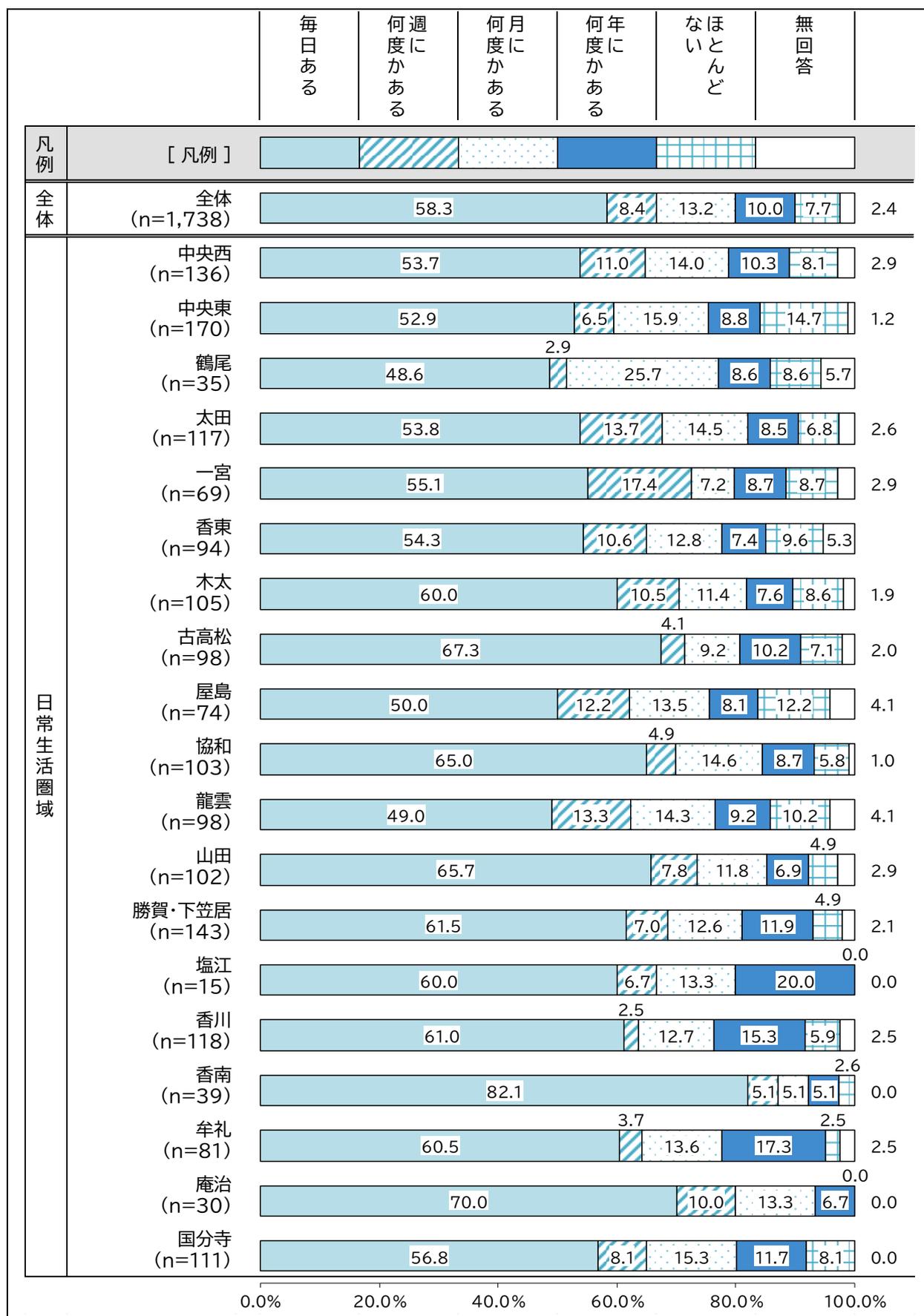
(3) 体重減少の有無について

問3-7 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)



(4)孤食の状況について

問3-8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)



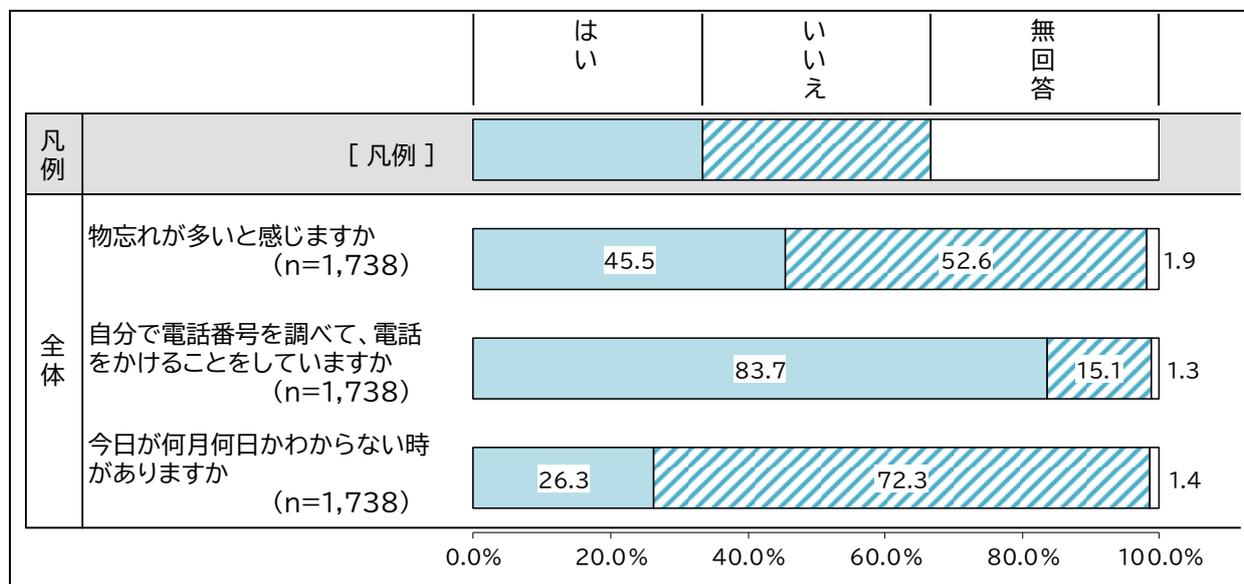
5. 毎日の生活について

(1) 認知機能について

問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

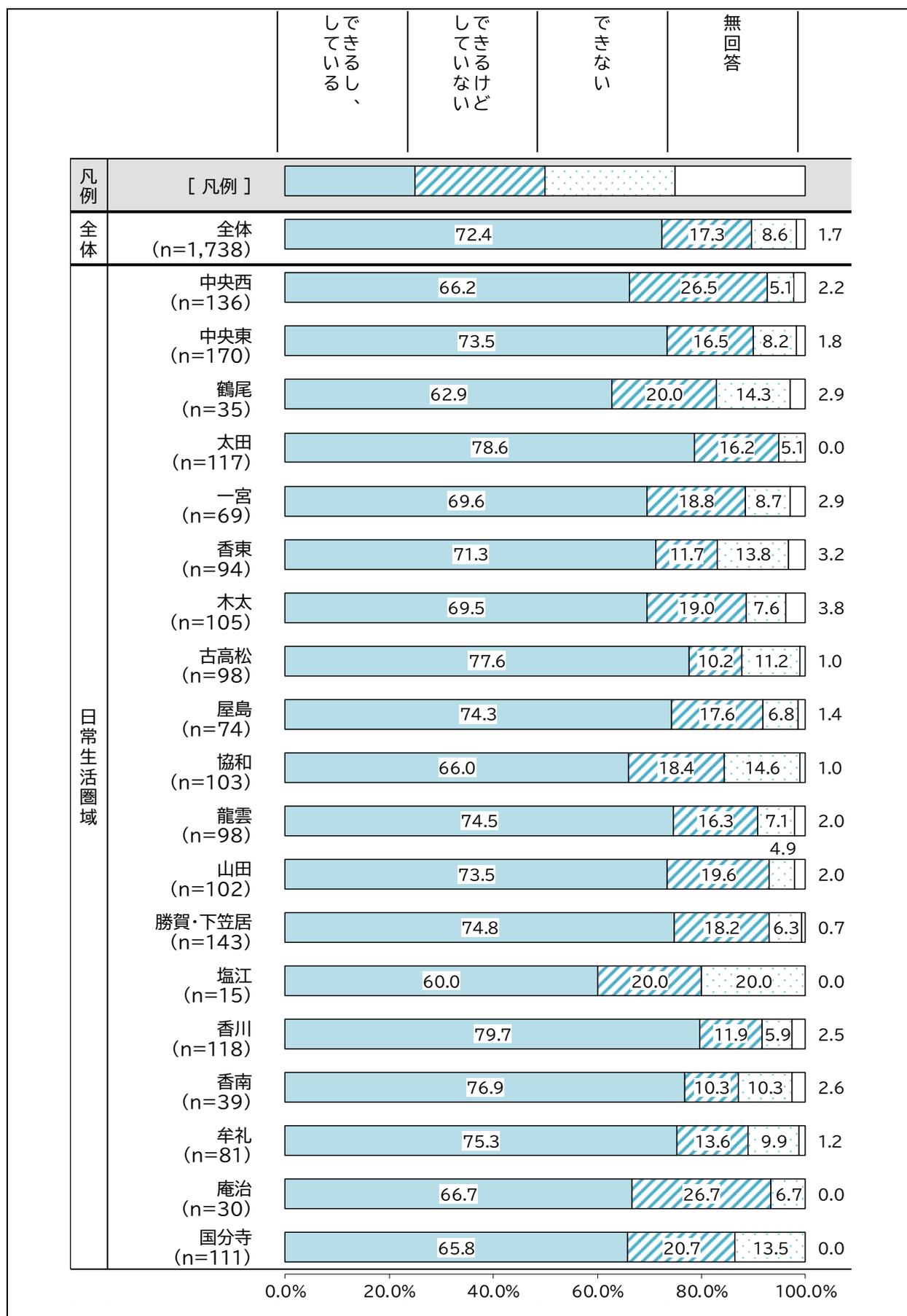
問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)



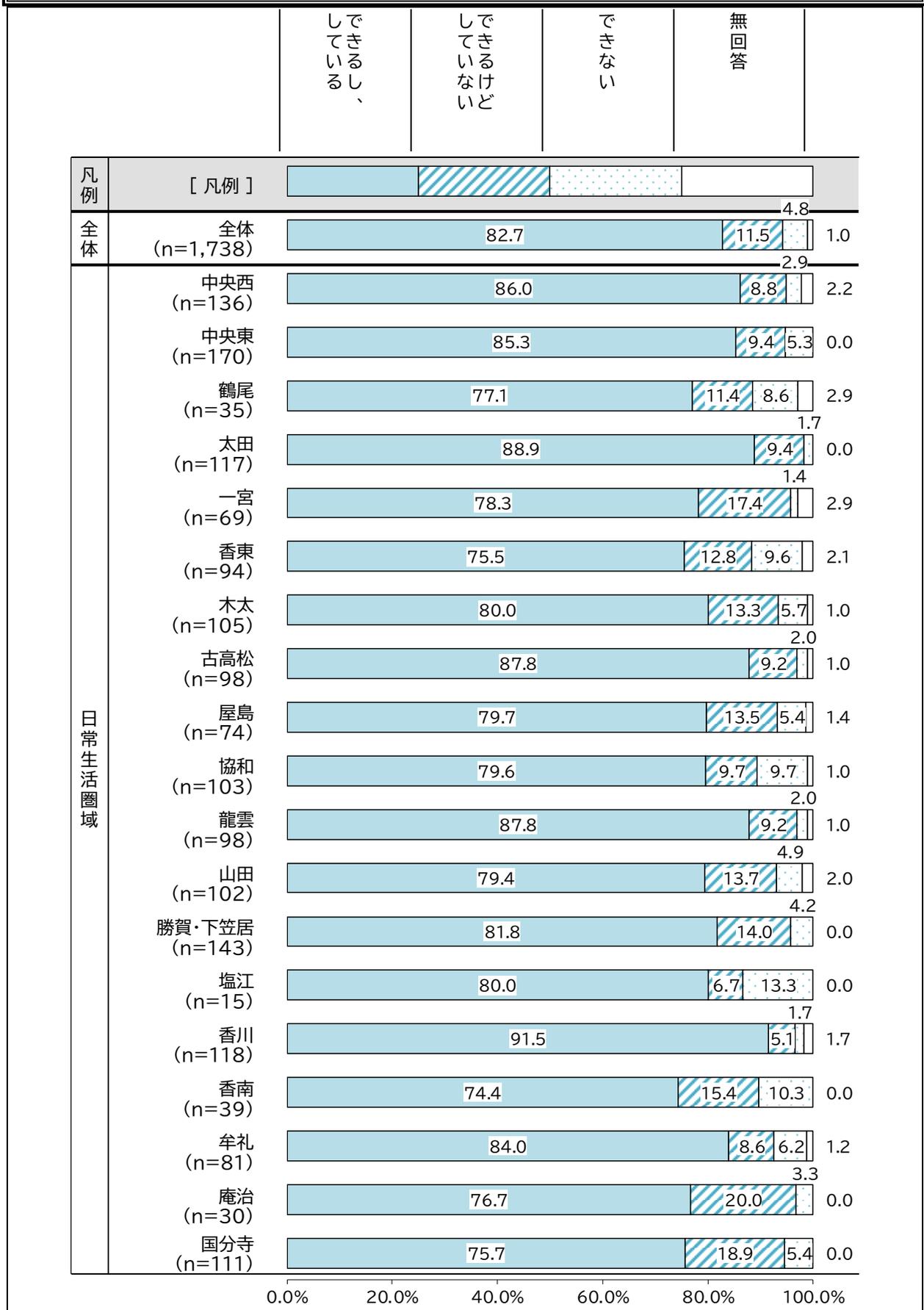
(2)IADL<手段的日常生活動作>について(老研式活動能力指標)

問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つだけ○)

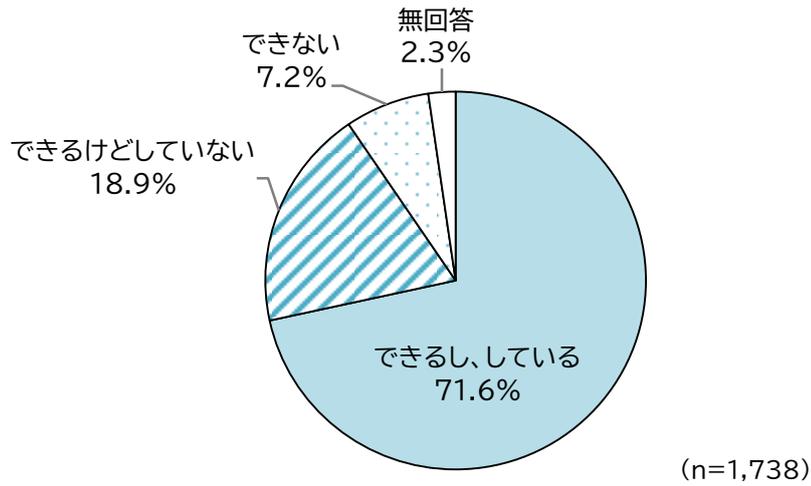


● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

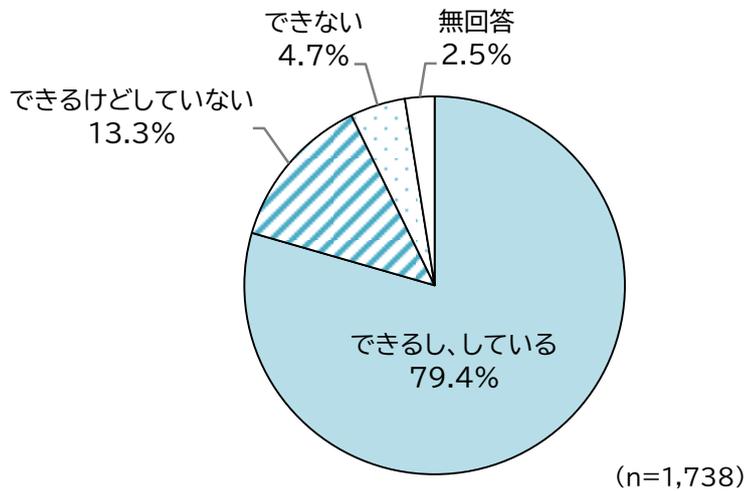
問4-5 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つだけ○)



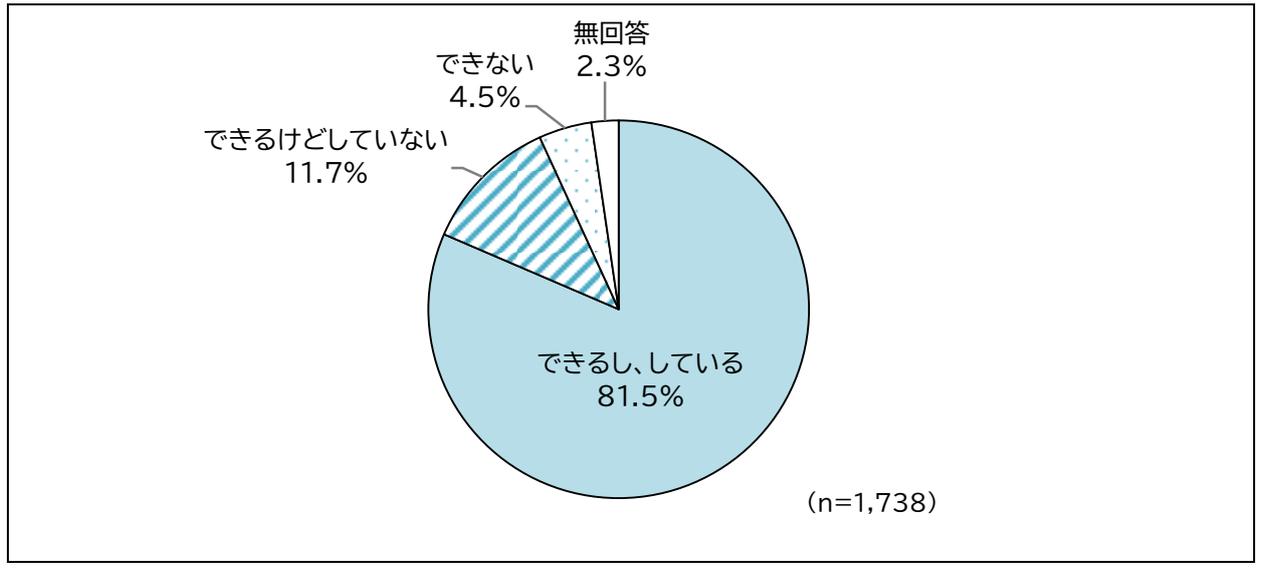
問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)



問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)



問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)



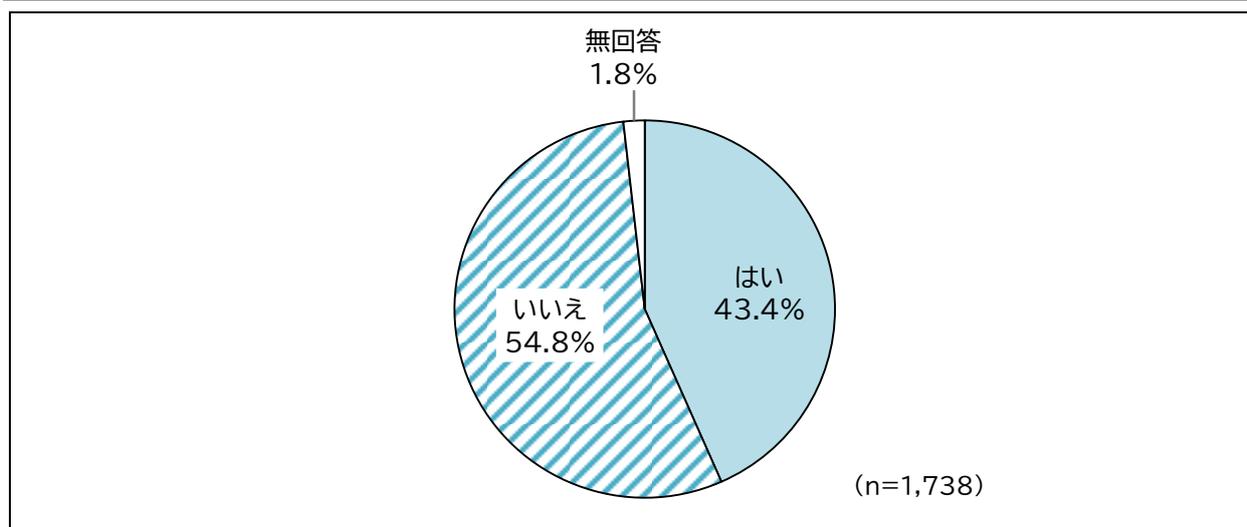
(3) 社会参加－知的能動性(老研式活動能力指標)

問4-9 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つだけ○)
 問4-10 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)

		はい	いいえ	無回答			
凡例	[凡例]						
全体	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか (n=1,738)	88.4	9.6		2.0		
	新聞を読んでいますか (n=1,738)	73.9	24.6		1.5		
	本や雑誌を読んでいますか (n=1,738)	66.7	31.6		1.7		
	健康についての記事や番組に関心がありますか (n=1,738)	88.5	10.1		1.4		
		0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%

(4)社会参加－社会的役割(老研式活動能力指標)

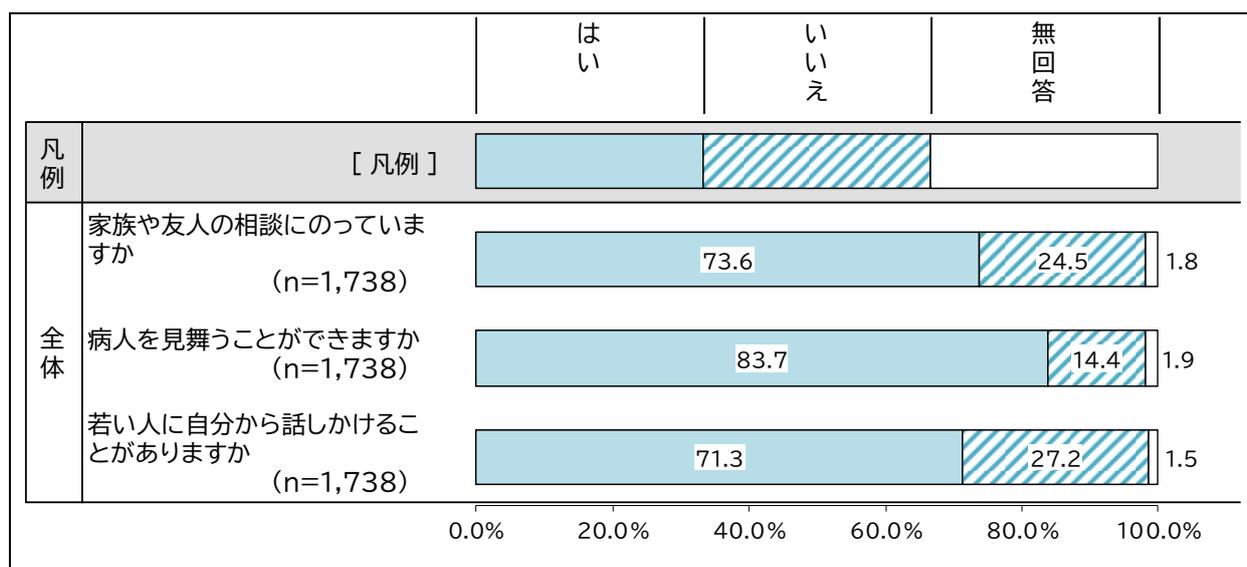
問4-13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)



問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)

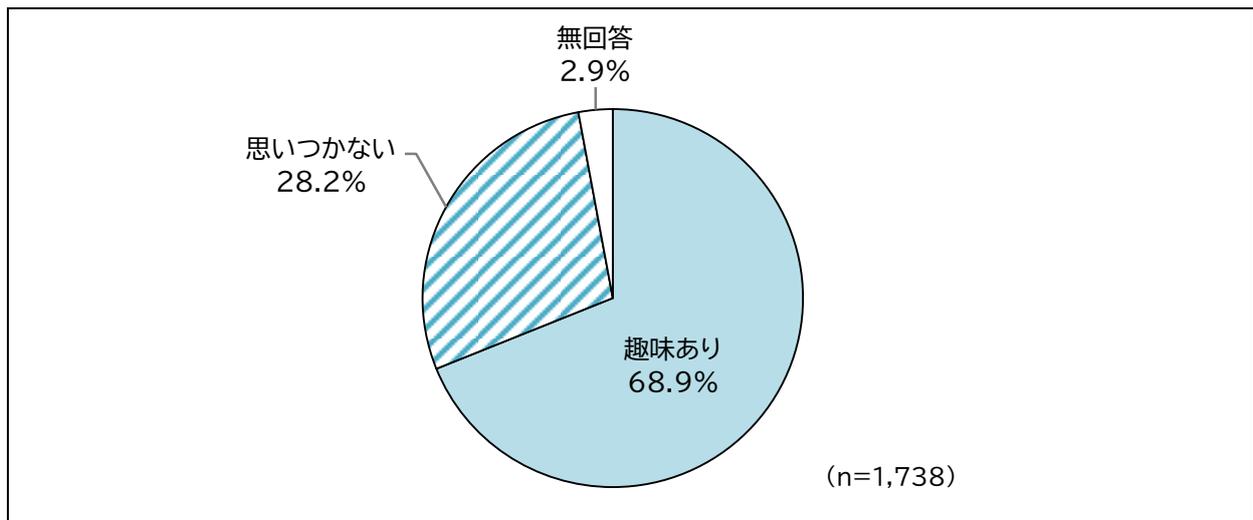
問4-15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)

問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)



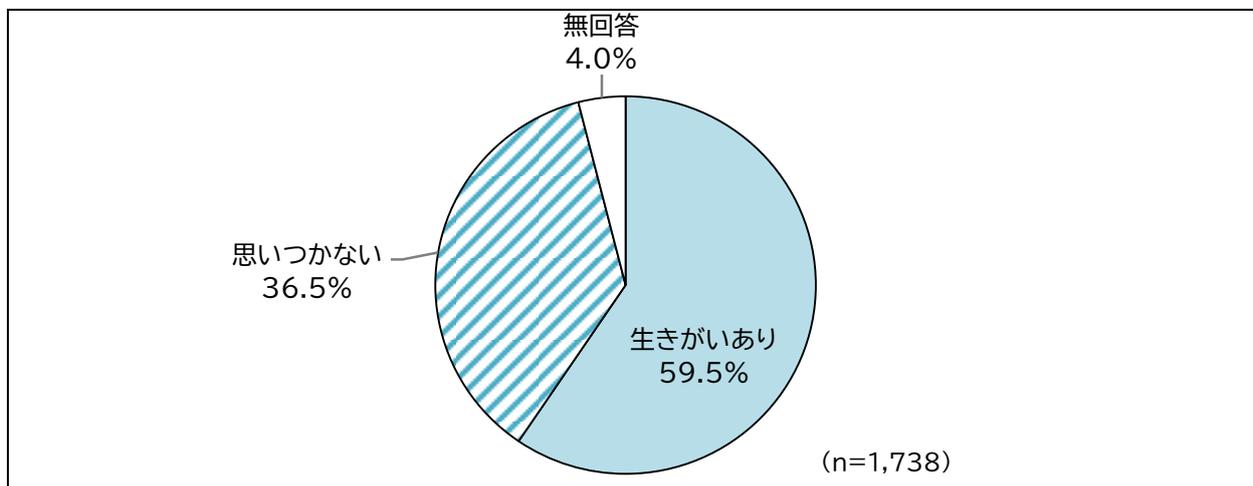
(5)趣味・生きがいの有無

問4-17 趣味はありますか。(1つだけ○)



趣味の主な内容	件数	趣味の主な内容	件数
スポーツ・運動	196	ゲーム・娯楽	76
手芸・創作	189	外出・交流	72
園芸・自然	174	釣り	37
音楽・鑑賞	145	デジタル・IT	22
読書・学習	97	その他	49

問4-18 生きがいはありますか。(1つだけ○)



生きがいの主な内容	件数	生きがいの主な内容	件数
家族・子孫との交流	231	旅行・レジャー	39
趣味・教養	68	友人との交流	31
仕事・社会貢献	55	健康・自己管理	27
園芸・農作業	50	家事・料理	15
運動・身体活動	41	その他	68

6. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧のそれぞれに1つだけ○)

(単位:%)

	母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 の 人
①ボランティアのグループ	1,738	0.5	1.3	1.5	3.9	6.4	71.4	15.0	3.3
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,738	2.8	5.2	5.4	3.2	3.0	66.9	13.5	13.4
③趣味関係のグループ	1,738	1.2	3.0	6.0	10.0	6.4	60.9	12.5	10.2
④学習・教養サークル	1,738	0.4	0.9	1.7	3.9	2.8	75.4	15.0	3.0
⑤介護予防のための通いの場	1,738	0.5	2.6	2.6	1.9	1.2	77.2	14.0	5.7
⑥老人クラブ	1,738	0.1	0.2	0.6	2.0	2.8	79.0	15.2	0.9
⑦町内会・自治会	1,738	0.1	0.6	0.6	5.5	30.3	50.3	12.7	1.3
⑧収入のある仕事	1,738	16.1	5.3	1.0	2.5	1.7	60.2	13.3	22.4

※上位1位、上位2位には色付けをしている。

- ⑧収入のある仕事に参加している人が「週4回以上」16.1%と多くなっています。一方、「参加していない」の割合については、①ボランティアのグループ、④学習・教養サークル、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブで7割を超える結果となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。

⑤(高齢者の居場所などの)介護予防のための通いの場

(①~⑧のそれぞれに1つだけ○)

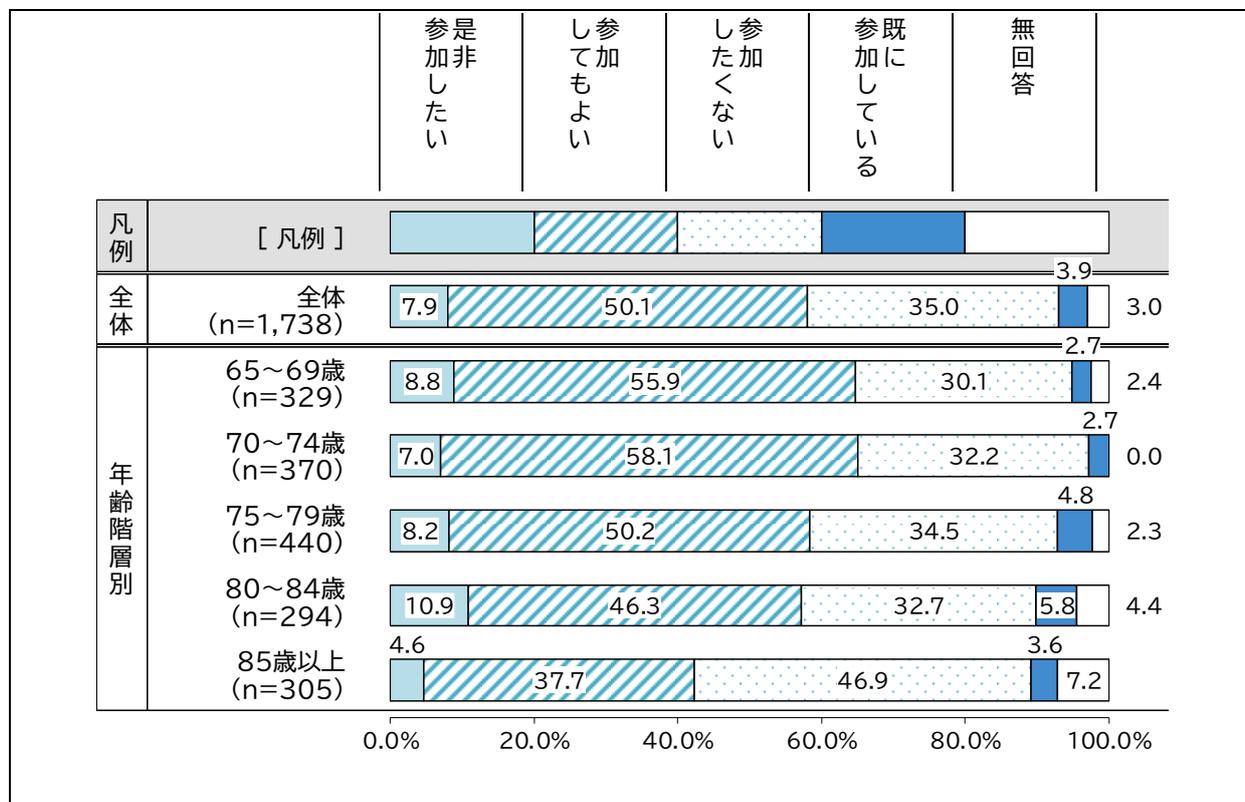
(単位:%)

		母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 の 人
全体		1,738	0.5	2.6	2.6	1.9	1.2	77.2	14.0	5.7
日常生活圏域	中央西	136	0.7	1.5	1.5	2.9	-	79.4	14.0	3.7
	中央東	170	0.6	2.4	4.7	1.2	-	78.2	12.9	7.7
	鶴尾	35	-	5.7	11.4	2.9	-	65.7	14.3	17.1
	太田	117	-	5.1	1.7	0.9	0.9	76.9	14.5	6.8
	一宮	69	1.4	2.9	1.4	-	-	82.6	11.6	5.7
	香東	94	1.1	3.2	4.3	3.2	4.3	73.4	10.6	8.6
	木太	105	-	1.9	-	2.9	1.0	77.1	17.1	1.9
	古高松	98	-	2.0	2.0	1.0	2.0	79.6	13.3	4.0
	屋島	74	1.4	1.4	1.4	2.7	-	83.8	9.5	4.2
	協和	103	1.0	5.8	2.9	1.0	-	77.7	11.7	9.7
	龍雲	98	1.0	3.1	4.1	1.0	2.0	73.5	15.3	8.2
	山田	102	-	1.0	2.9	4.9	3.9	67.6	19.6	3.9
	勝賀・下笠居	143	-	2.8	5.6	0.7	1.4	72.7	16.8	8.4
	塩江	15	-	6.7	-	13.3	-	66.7	13.3	6.7
	香川	118	-	0.8	1.7	0.8	0.8	82.2	13.6	2.5
	香南	39	-	-	-	2.6	-	87.2	10.3	0.0
牟礼	81	-	2.5	2.5	1.2	2.5	79.0	12.3	5.0	
庵治	30	-	3.3	-	6.7	-	66.7	23.3	3.3	
国分寺	111	0.9	1.8	-	0.9	1.8	81.1	13.5	2.7	

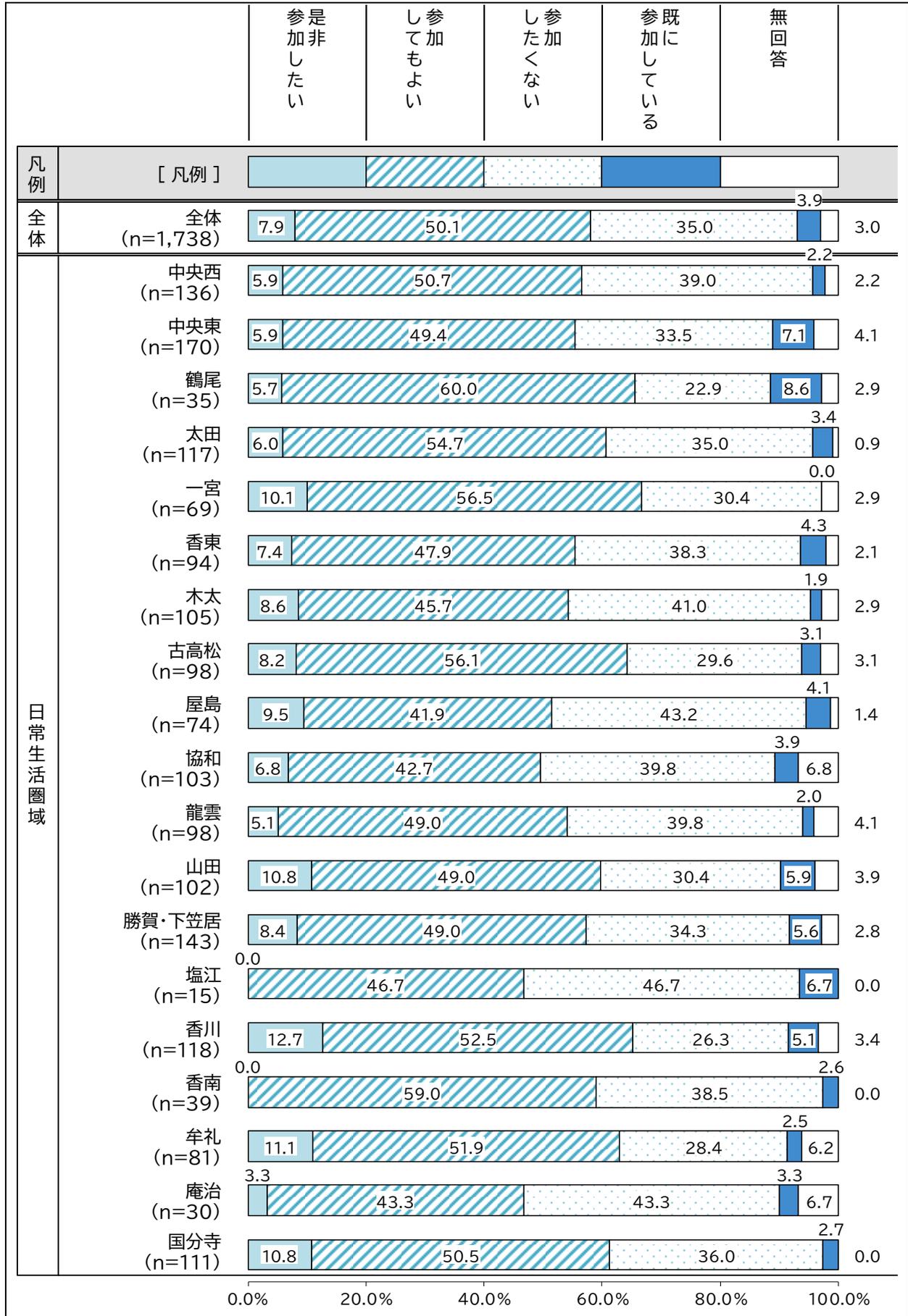
●日常生活圏域別にみると、「週4回以上」「週2~3回」「週1回」のいずれかを選択した“週に1回以上参加している人”の割合は、「鶴尾」17.1%となっており、その他の圏域に比べて割合が高くなっています。

(2)地域づくりへの参加意向(参加者)

問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)



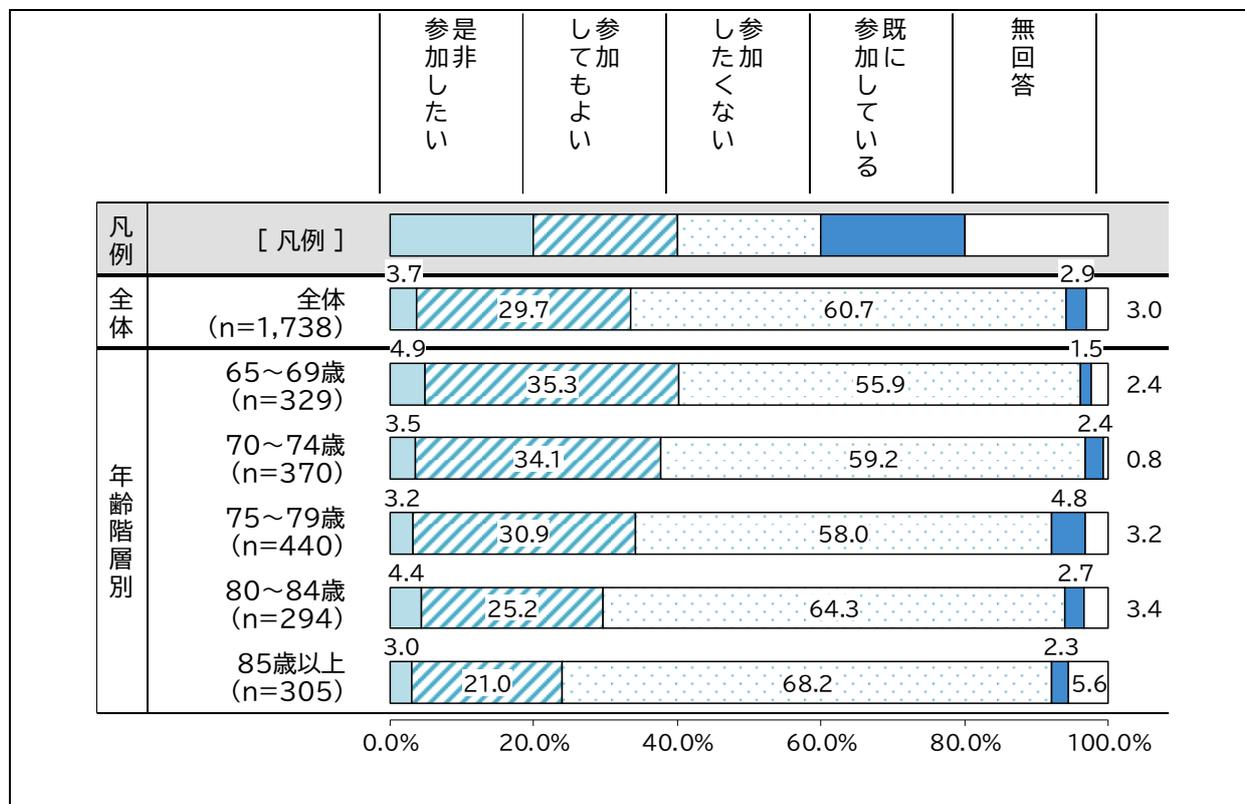
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●



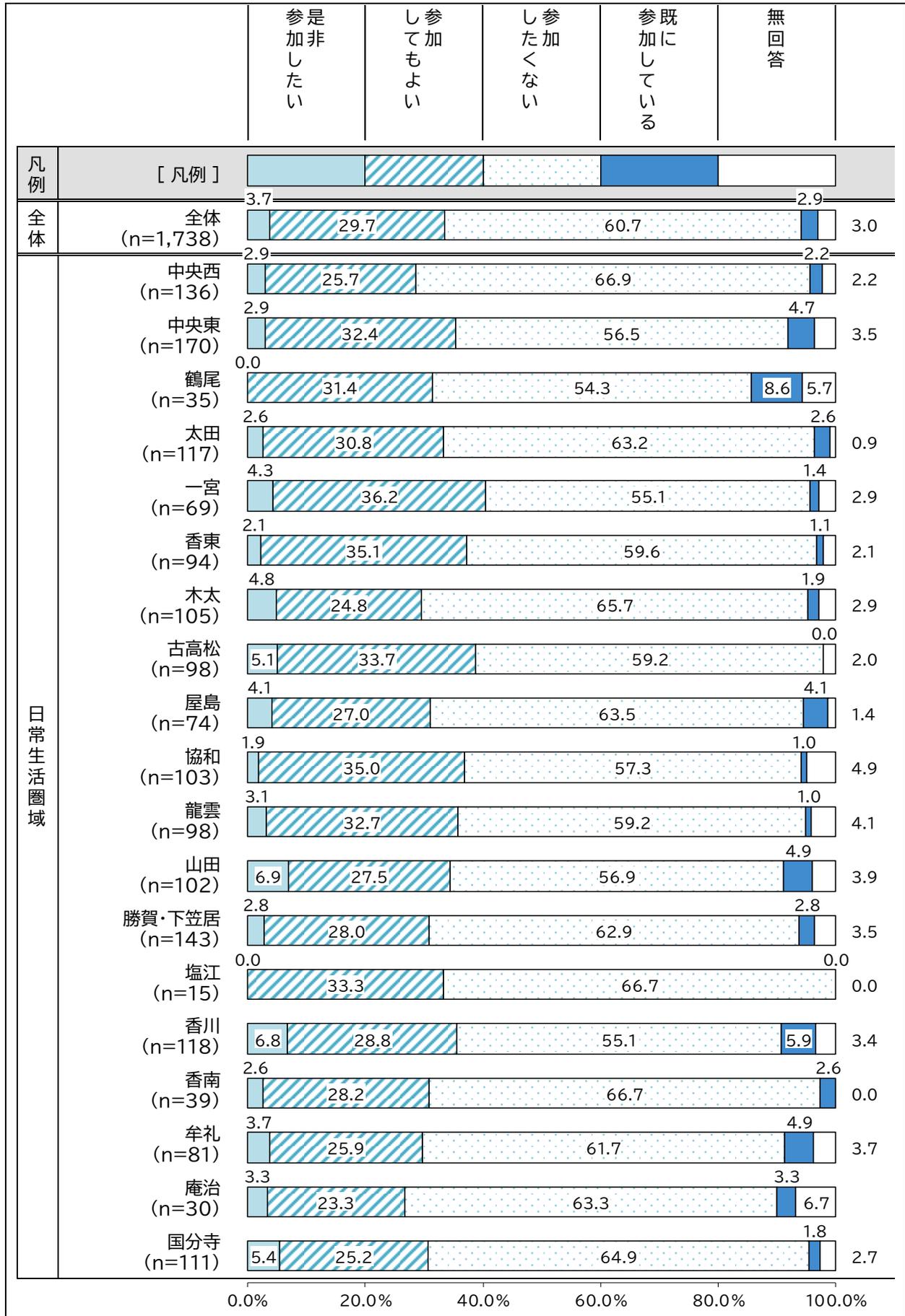
第2章

(3)地域づくりへの参加意向(企画・運営)

問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

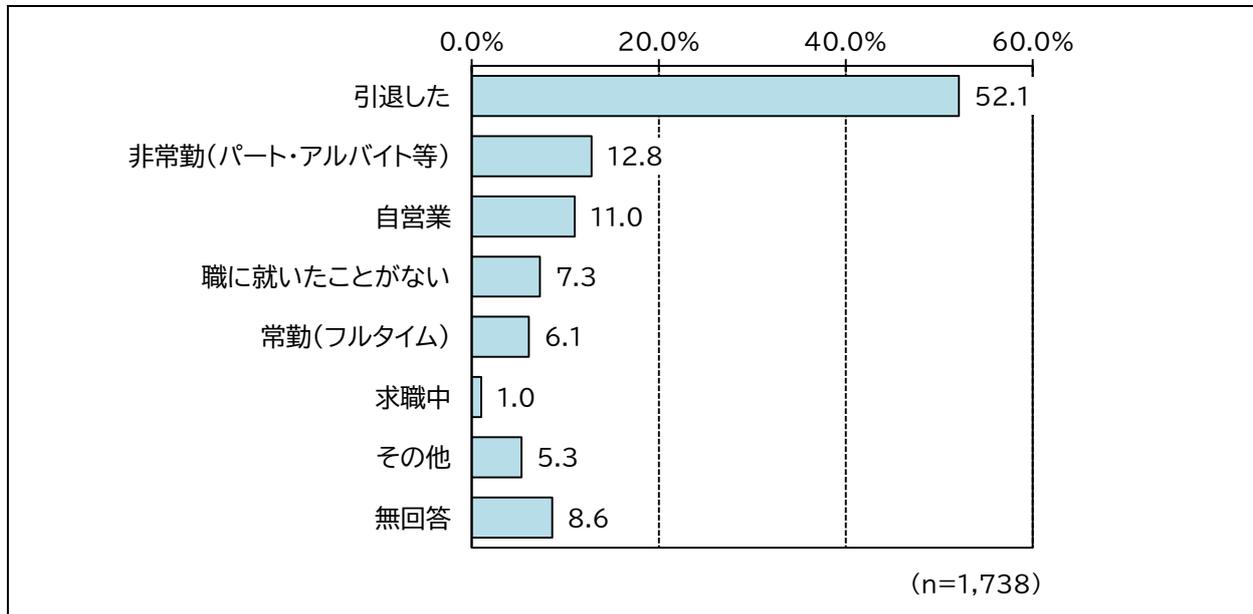


第2章

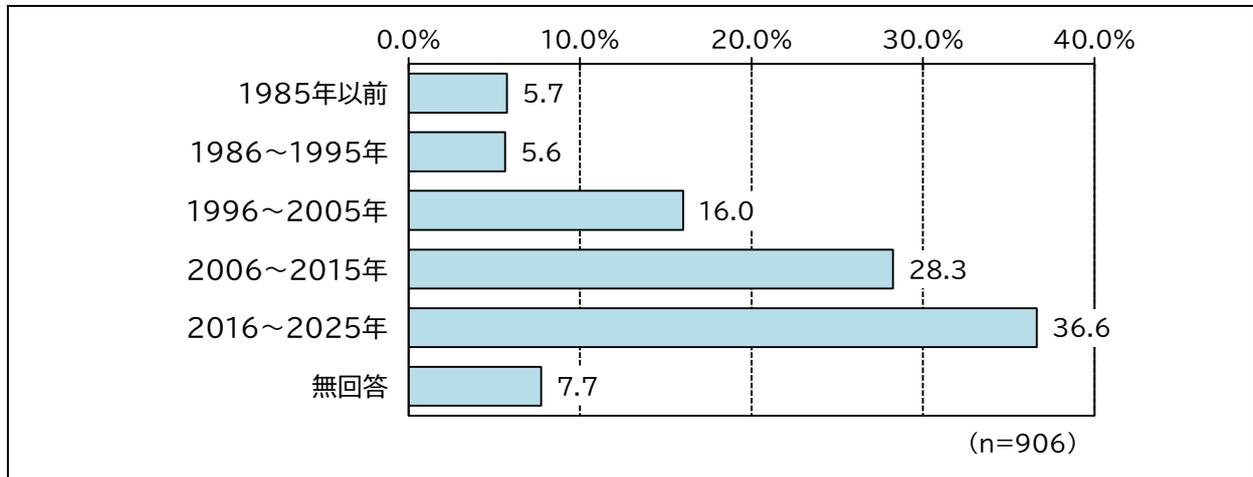
7. 就労について

(1) 就労状況

問6-1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも○)



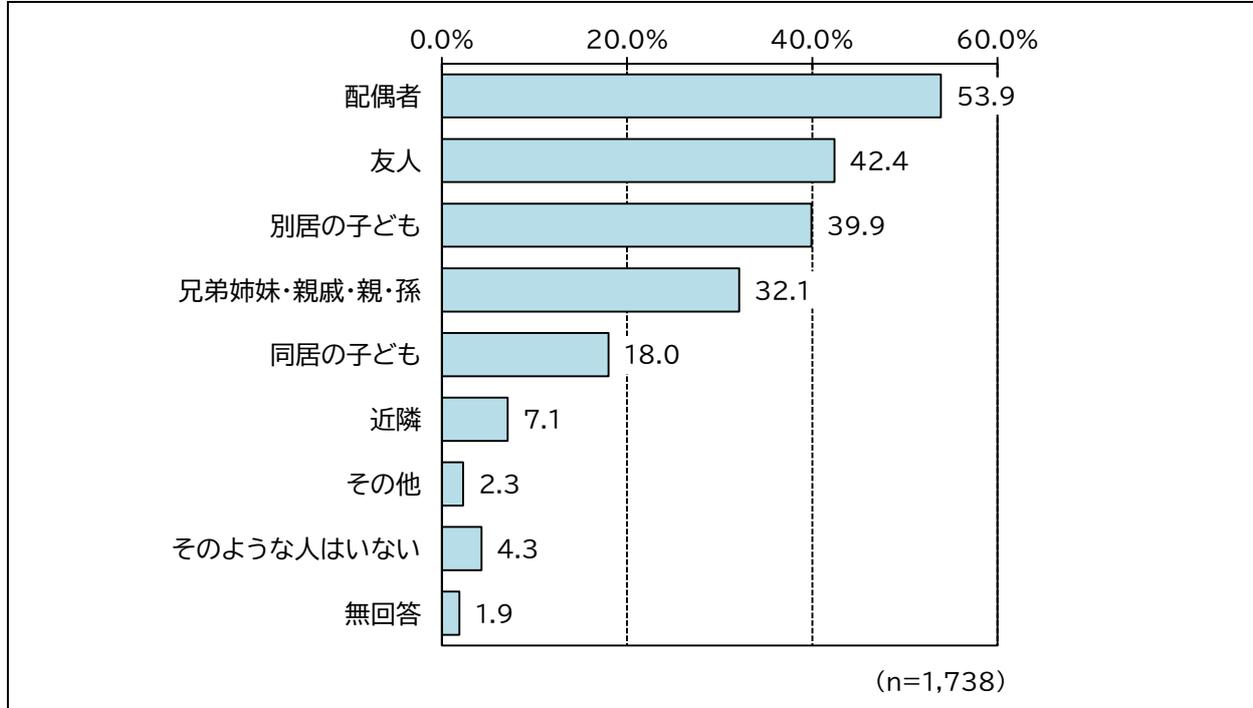
問6-1で「1. 引退した」と回答した方
問6-1-1 あなたはいつ引退しましたか。



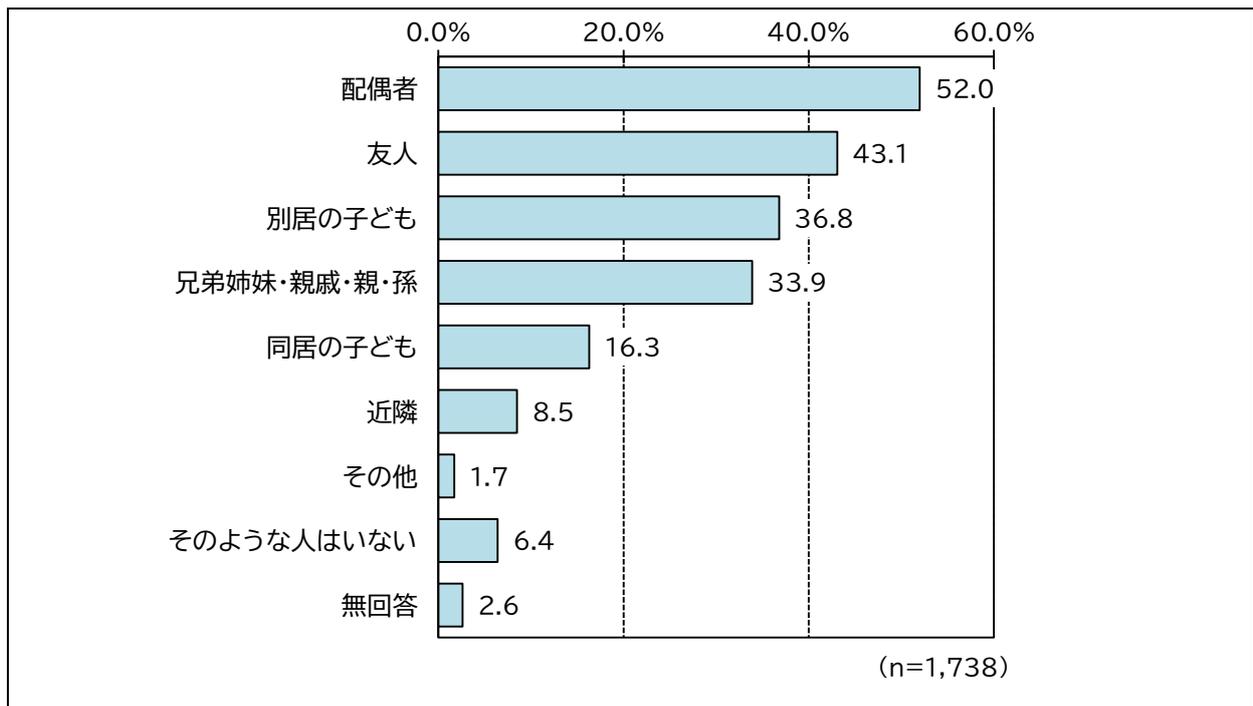
8. たすけあいについて

(1) たすけあいの状況

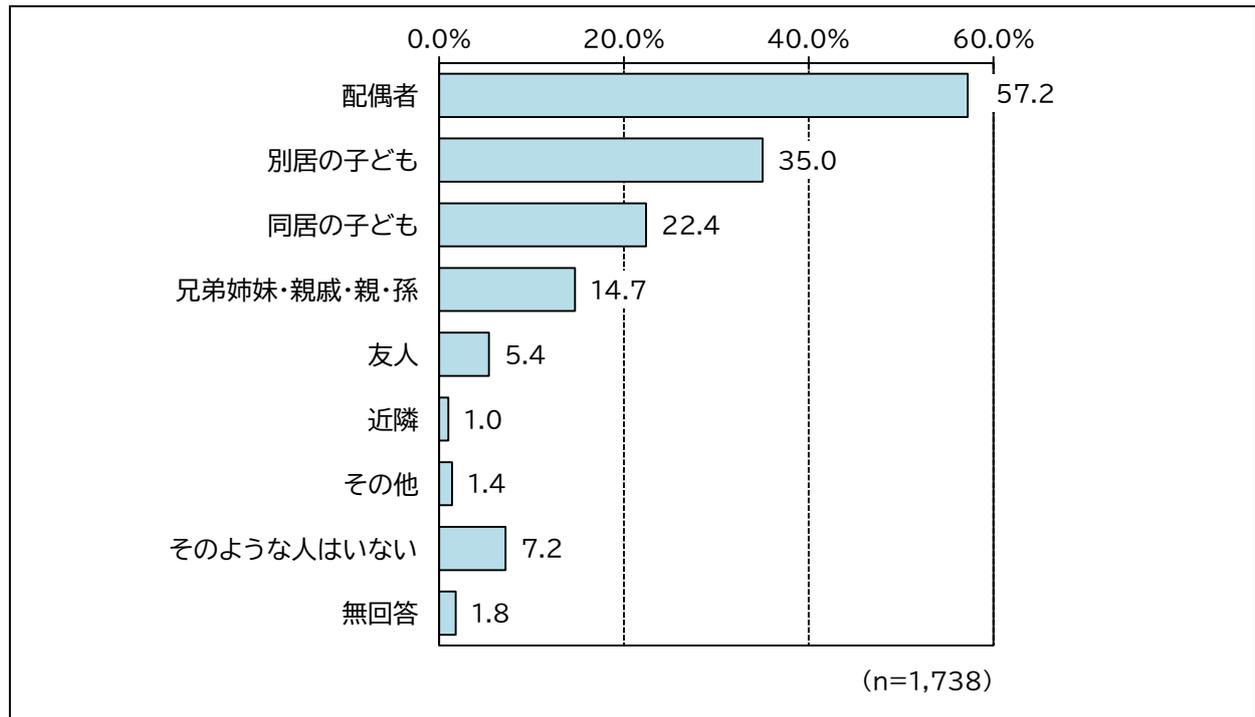
問7-1-(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。
(いくつでも○)



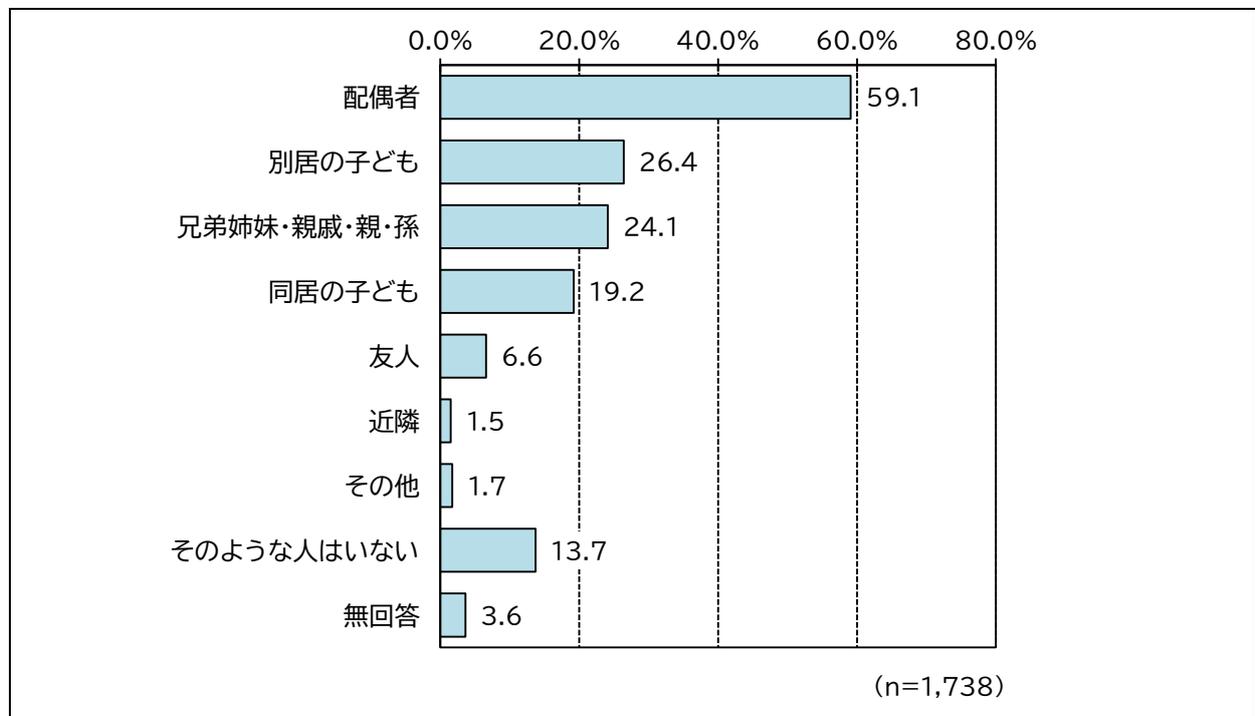
問7-1-(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。
(いくつでも○)



問7-1-(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)



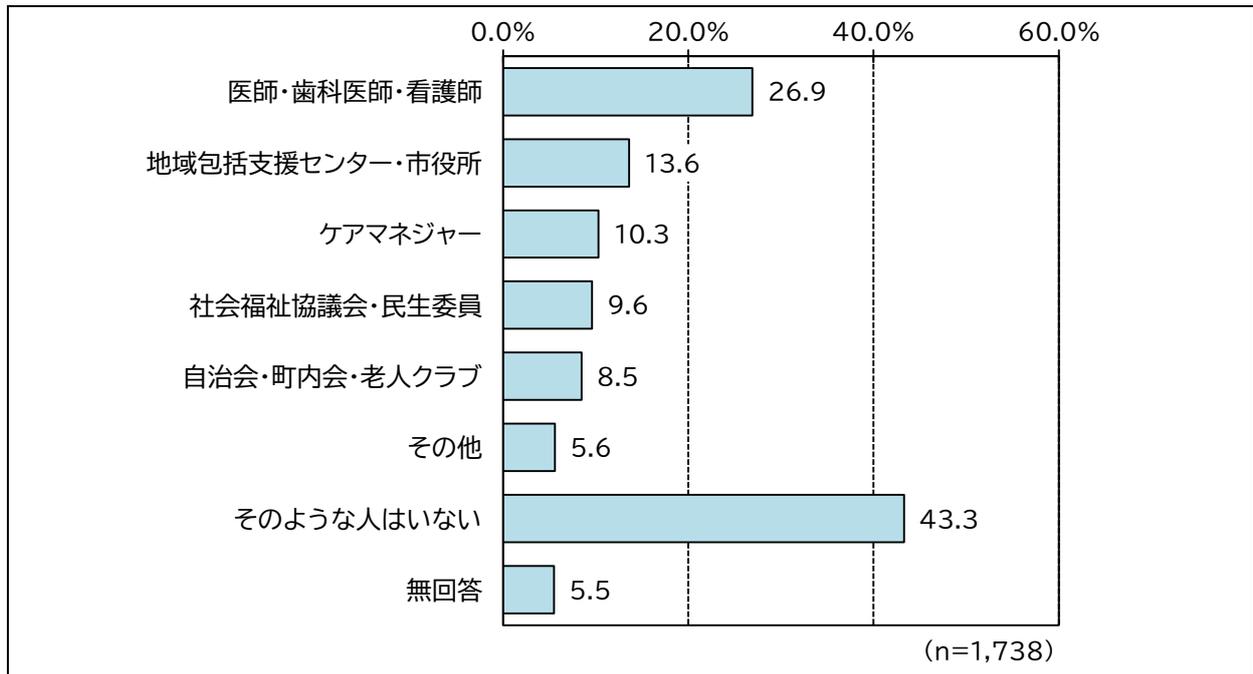
問7-1-(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

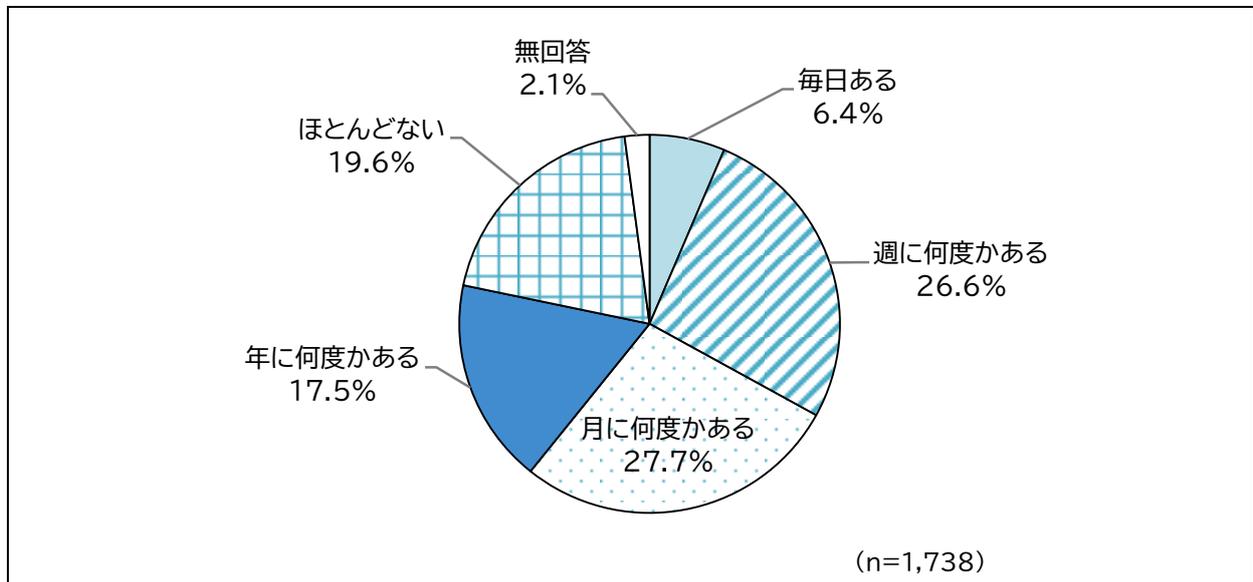
(2)地域の相談窓口の活用状況

問7-1-(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

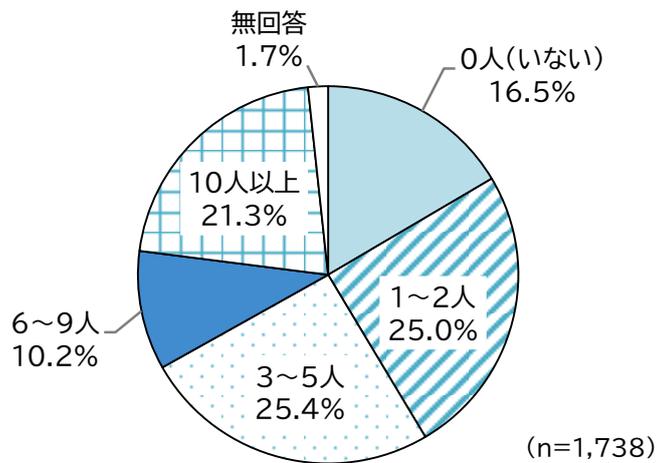


(3)友人関係について

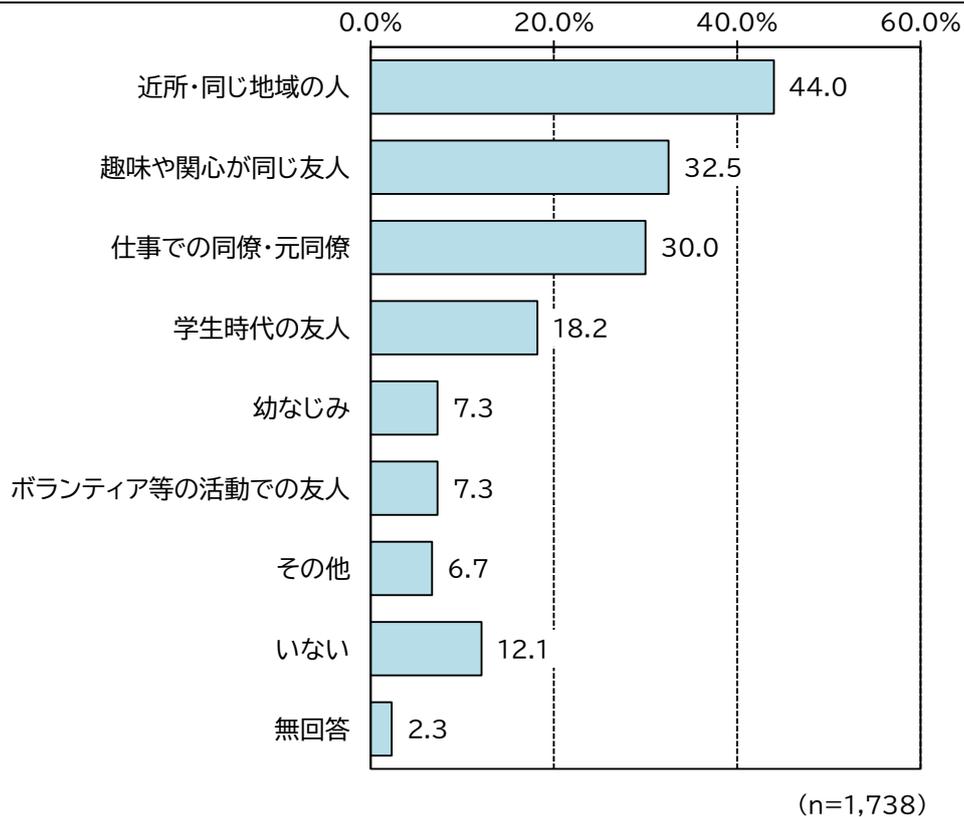
問7-1-(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)



問7-1-(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)



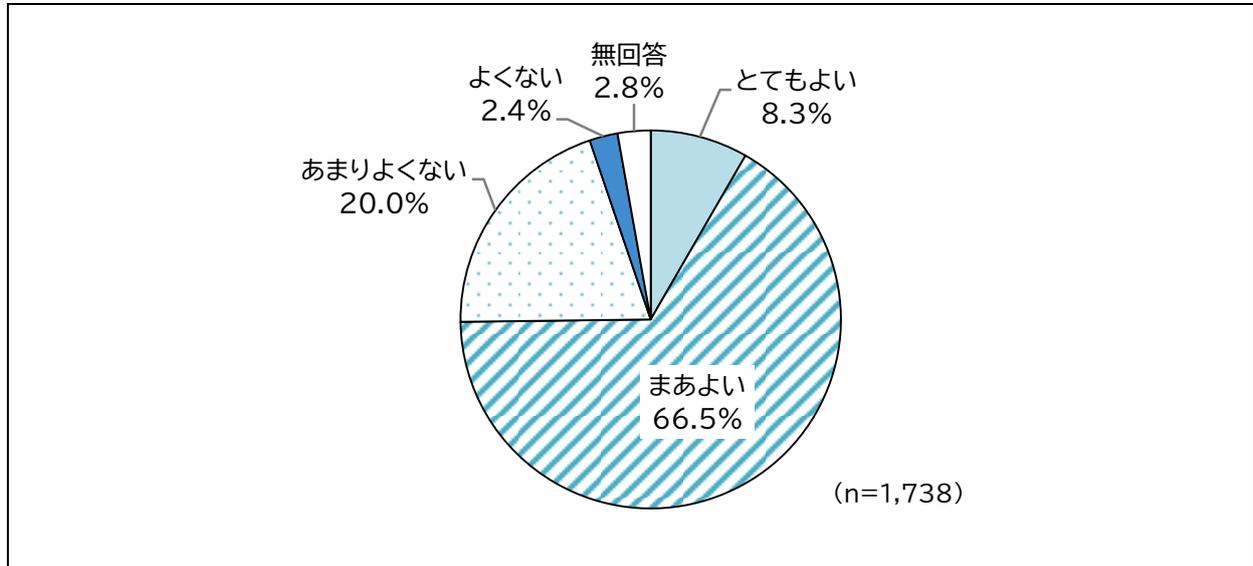
問7-1-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)



9. 健康について

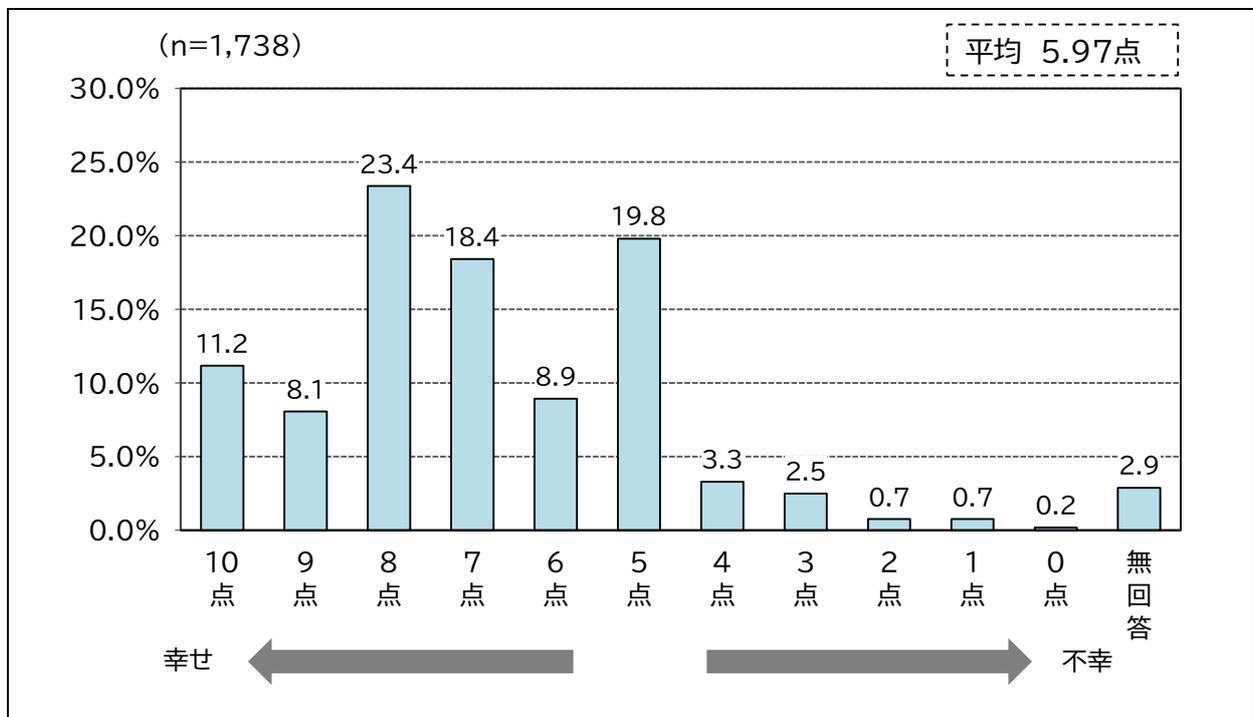
(1) 主観的健康感

問8-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)



(2) 主観的幸福感

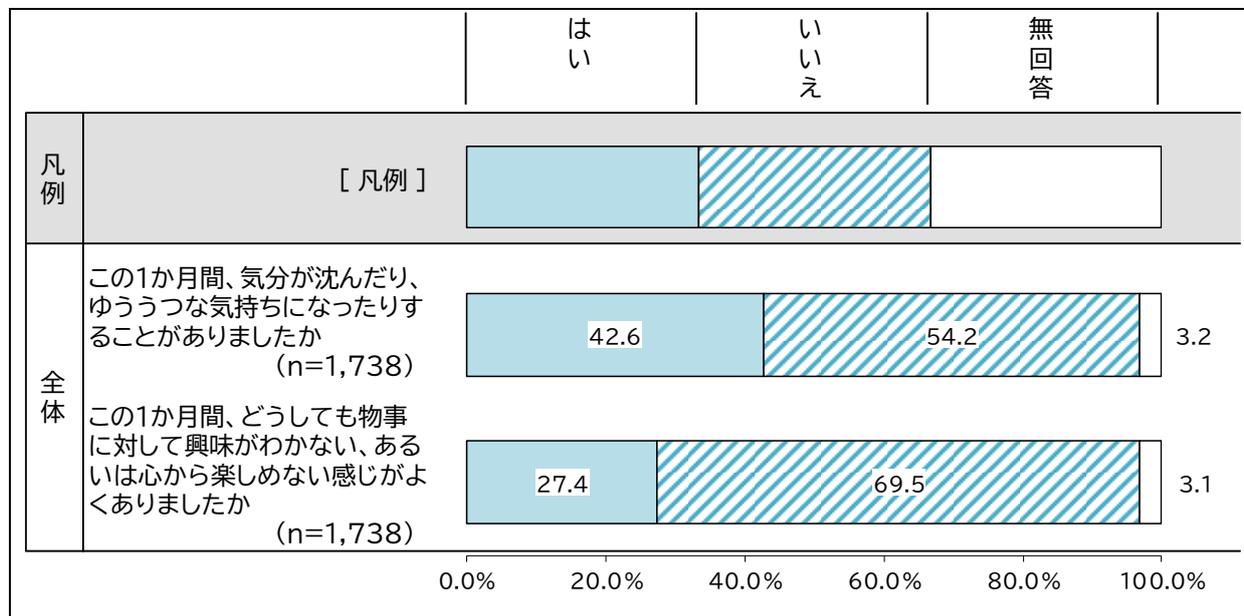
問8-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)



(3)うつ傾向について

問8-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

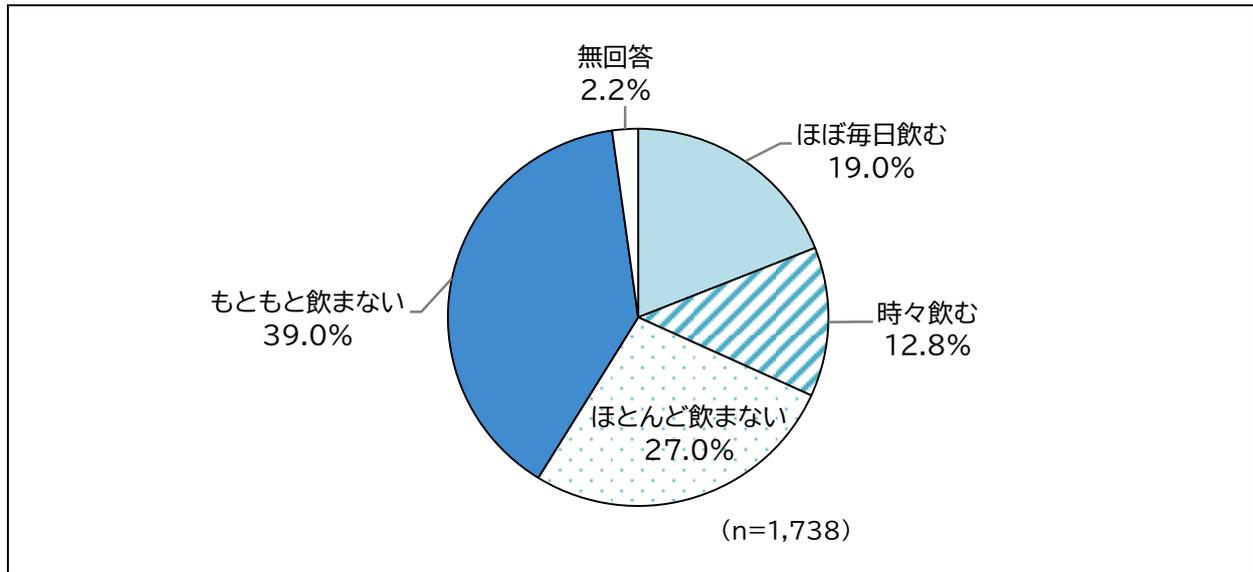
問8-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)



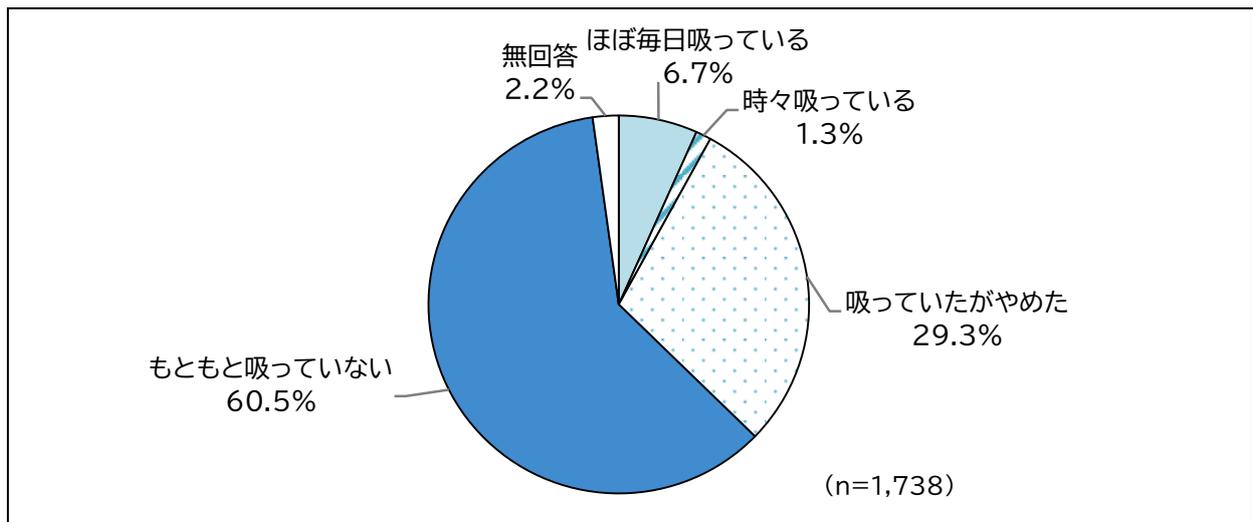
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

(4) 飲酒、喫煙の習慣

問8-5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

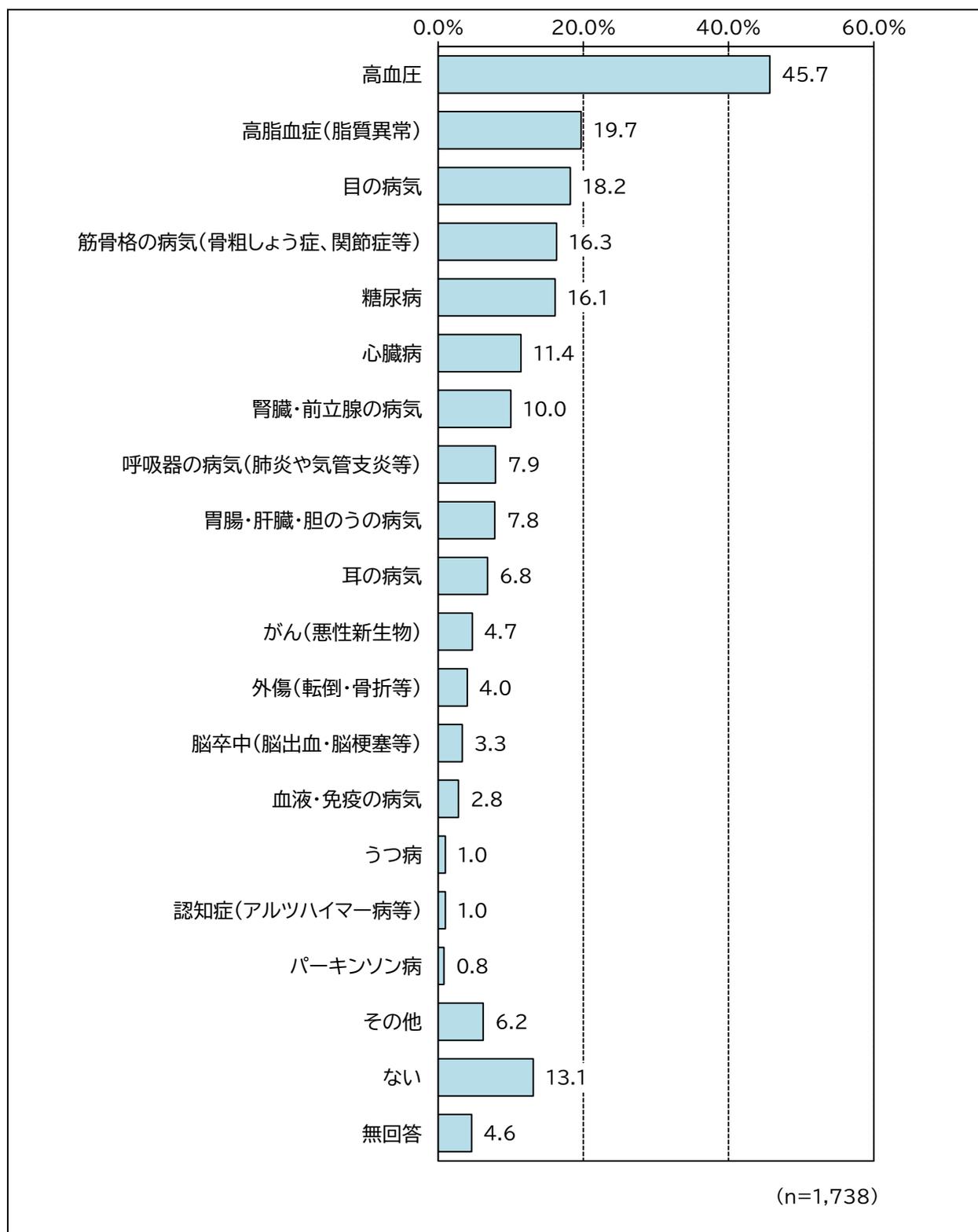


問8-6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)



(5)現在治療中、後遺症のある病気について

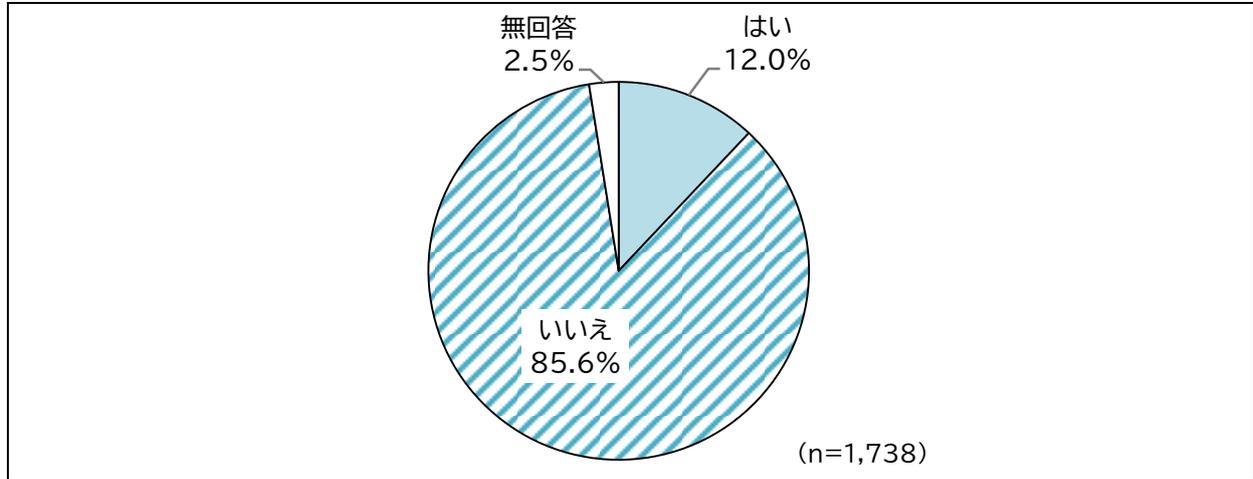
問8-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)



10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

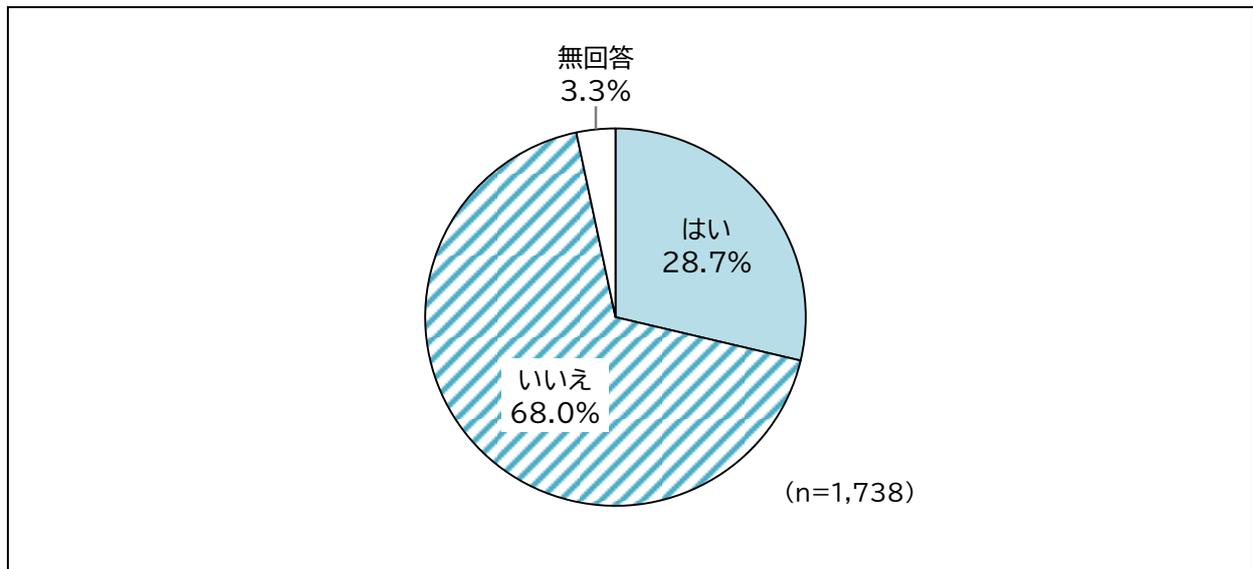
(1) 本人または家族に認知症の症状がある人について

問9-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○)



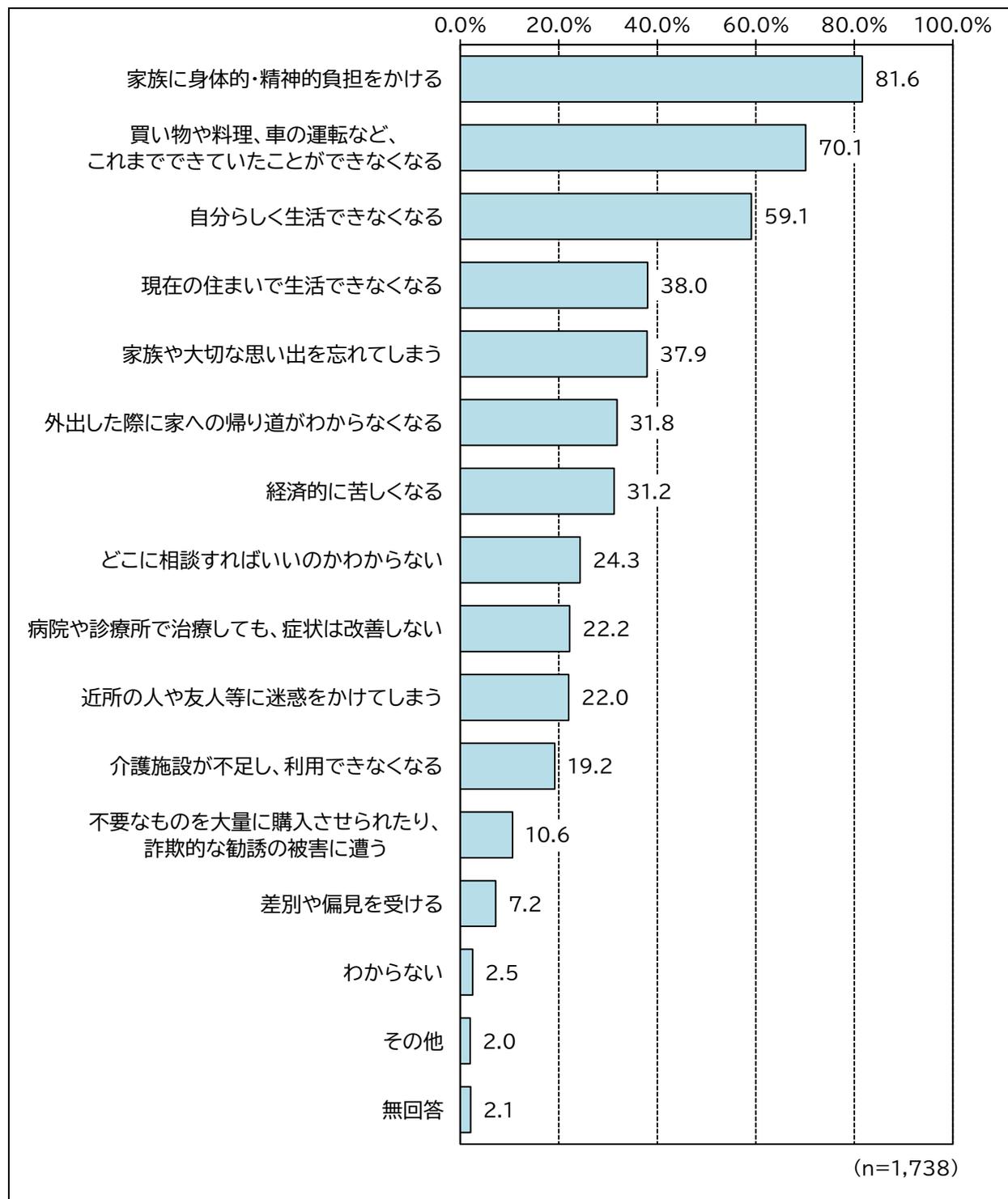
(2) 認知症の相談窓口

問9-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)



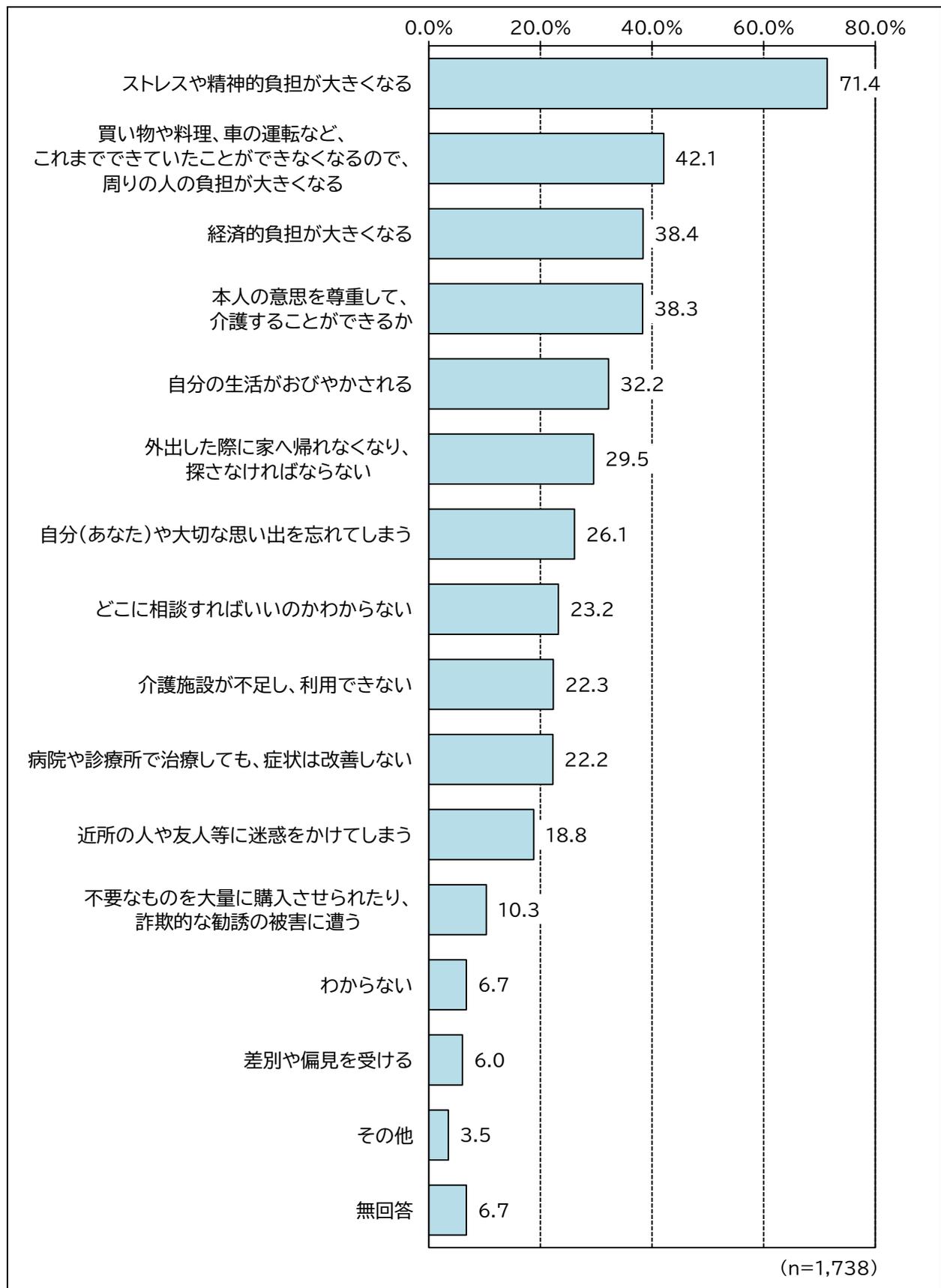
(3) 認知症に対する不安

問9-3 もし、あなたが認知症になったら、どのようなことに不安を感じるといいますか。(いくつでも○)

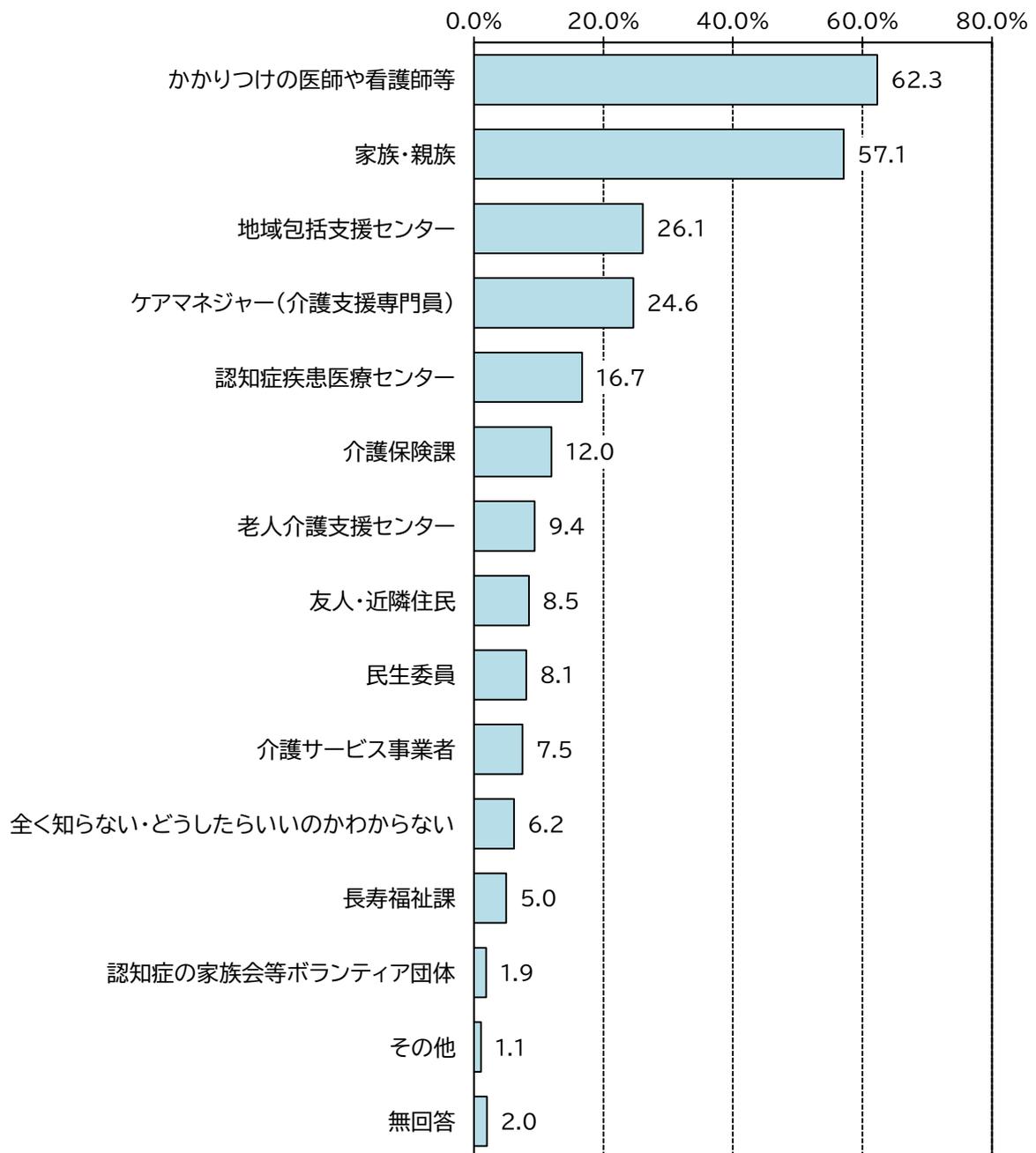


● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問9-4 もし、家族が認知症になったらしたら、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困りますか。(いくつでも○)



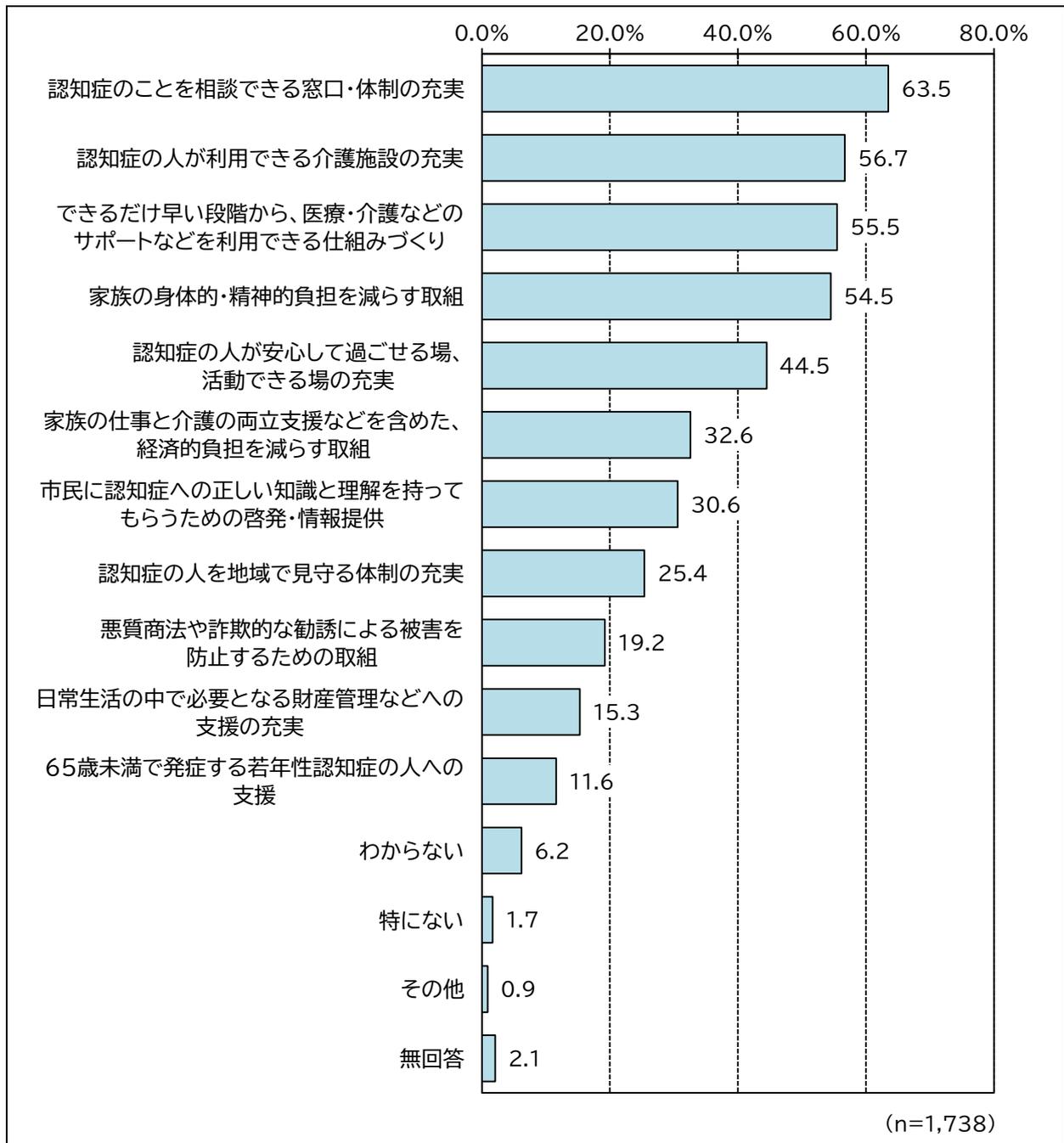
問9-5 もし、あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときに、どこに相談したいですか。(いくつでも○)



(n=1,738)

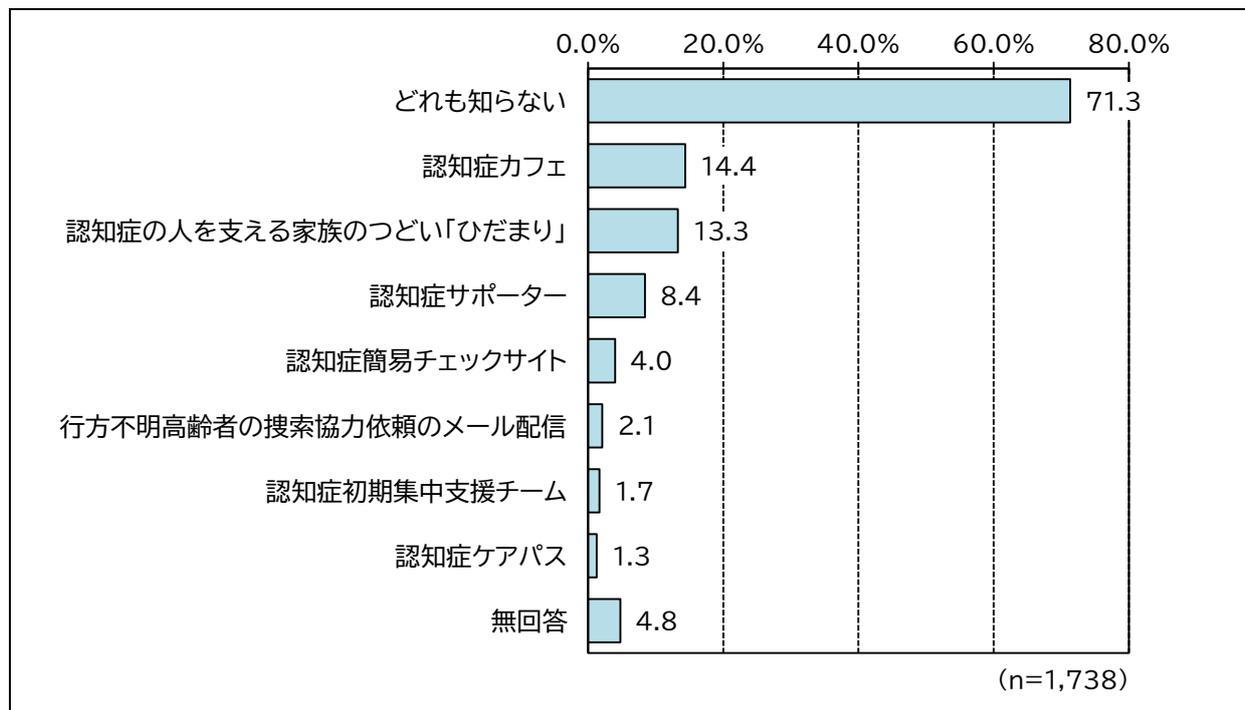
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問9-6 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(いくつでも○)

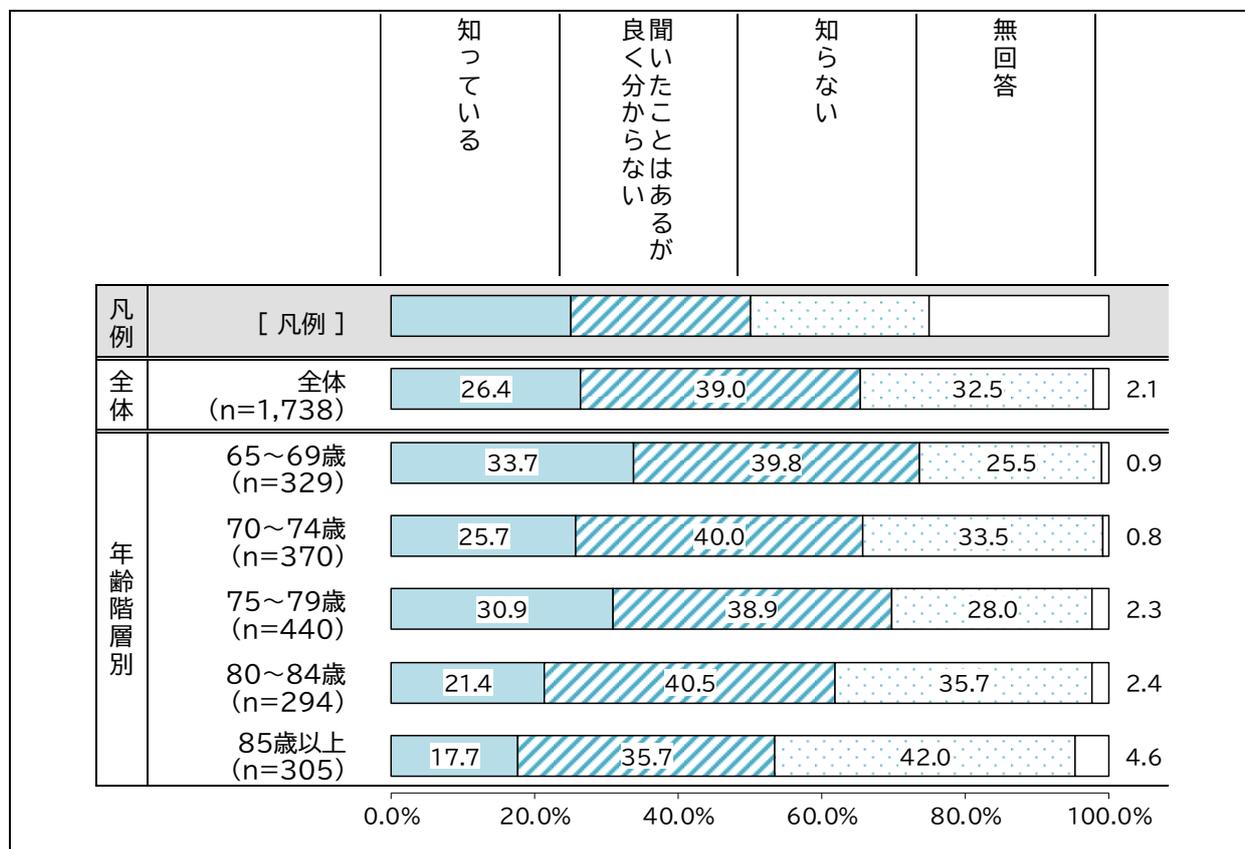


(4) 認知症に対する取組について

問9-7 高松市の認知症に関する取組について、知っていることはありますか。
(いくつでも○)



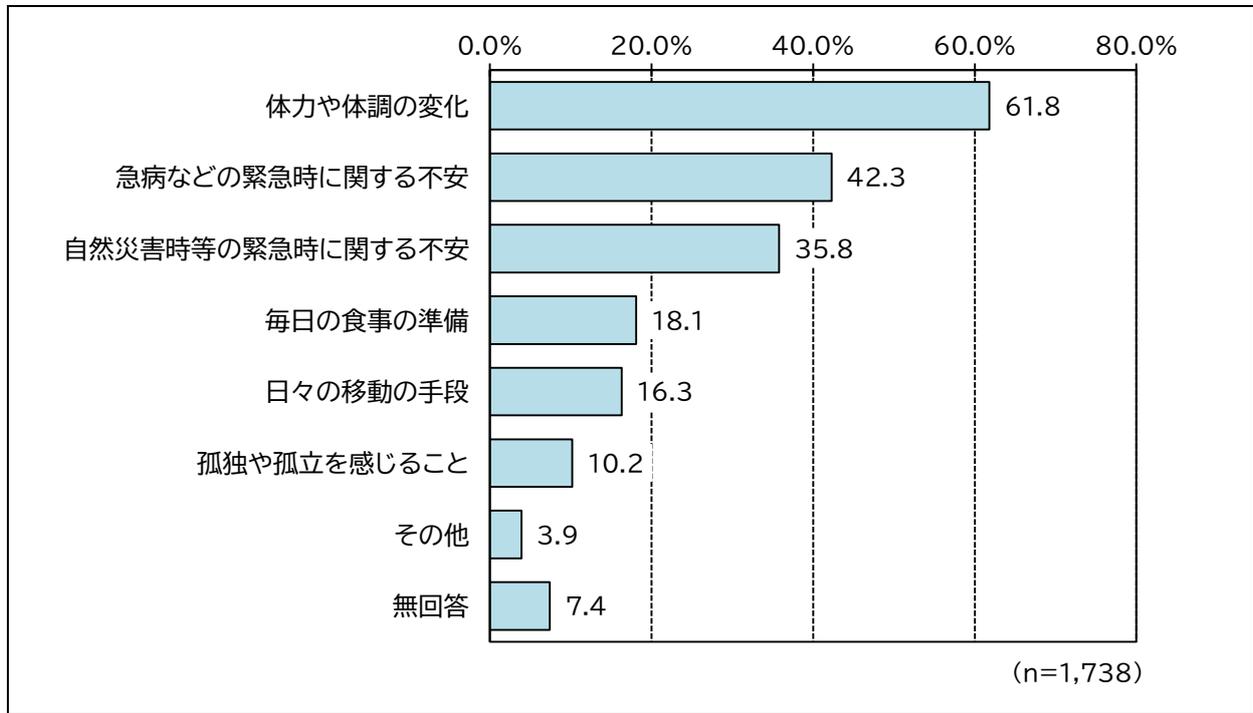
問9-8 認知症等で判断能力が十分でない方に、本人に代わって法的に支援できる成年
後見制度を知っていますか。(1つだけ○)



11. 高齢者に必要な生活支援について

(1) 高齢者の生活について

問10-1 生活の中での不安や困りごとはありますか。(いくつでも○)



(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体	(n=1,738)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安
		61.8	42.3	35.8
年齢階層別	65~69歳 (n=329)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安
	65.3	44.1	39.8	
	70~74歳 (n=370)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安
	64.3	37.3	33.0	
	75~79歳 (n=440)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安
58.2	42.0	32.0		
80~84歳 (n=294)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安	
60.2	43.5	35.4		
85歳以上 (n=305)	体力や体調の変化	急病などの緊急時に関する不安	自然災害時等の緊急時に関する不安	
61.6	45.6	40.7		

●年齢階層別にみると、すべての年齢階層で同じ順位となっています。「体力や体調の変化」と回答した人の割合が最も高く、次いで、「急病などの緊急時に関する不安」、「自然災害時等の緊急時に関する不安」と続いています。

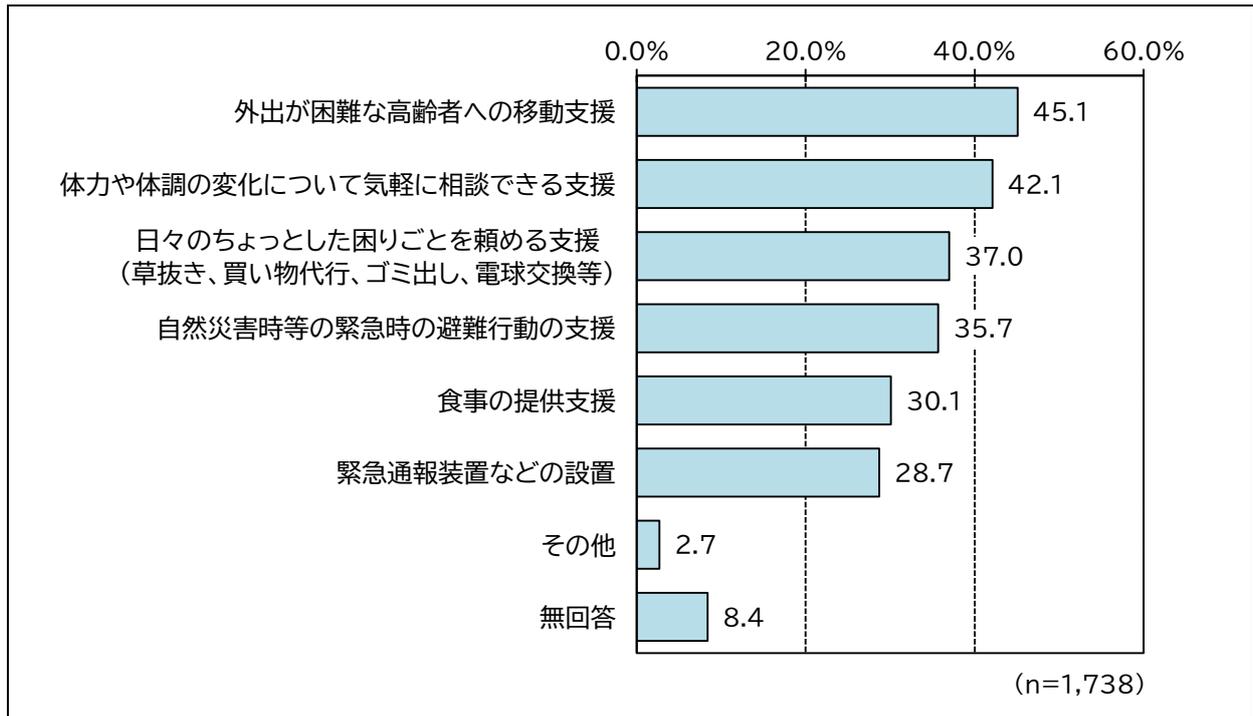
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		体力や体調の変化 61.8	急病などの緊急時に関する不安 42.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 35.8
日常生活圏域	中央西 (n=136)	体力や体調の変化 61.8	急病などの緊急時に関する不安 41.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 29.4
	中央東 (n=170)	体力や体調の変化 62.4	急病などの緊急時に関する不安 45.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 37.6
	鶴尾 (n=35)	体力や体調の変化 65.7	急病などの緊急時に関する不安 42.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 37.1
	太田 (n=117)	体力や体調の変化 65.0	急病などの緊急時に関する不安 37.6	自然災害時等の緊急時に関する不安 33.3
	一宮 (n=69)	体力や体調の変化 62.3	急病などの緊急時に関する不安 44.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 36.2
	香東 (n=94)	体力や体調の変化 52.1	急病などの緊急時に関する不安 45.7	自然災害時等の緊急時に関する不安 36.2
	木太 (n=105)	体力や体調の変化 68.6	急病などの緊急時に関する不安 44.8	自然災害時等の緊急時に関する不安 42.9
	古高松 (n=98)	体力や体調の変化 60.2	自然災害時等の緊急時に関する不安 42.9	急病などの緊急時に関する不安 35.7
	屋島 (n=74)	体力や体調の変化 60.8	自然災害時等の緊急時に関する不安 37.8	急病などの緊急時に関する不安 29.7
	協和 (n=103)	体力や体調の変化 70.9	急病などの緊急時に関する不安 50.5	毎日の食事の準備/ 自然災害時等の緊急時に関する不安 26.2
	龍雲 (n=98)	体力や体調の変化 57.1	急病などの緊急時に関する不安 43.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 41.8
	山田 (n=102)	体力や体調の変化 62.7	急病などの緊急時に関する不安 37.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 28.4
	勝賀・下笠居 (n=143)	体力や体調の変化 58.0	急病などの緊急時に関する不安 47.6	自然災害時等の緊急時に関する不安 42.7
	塩江 (n=15)	体力や体調の変化 66.7	急病などの緊急時に関する不安 53.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 46.7
	香川 (n=118)	体力や体調の変化 60.2	急病などの緊急時に関する不安 39.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 37.3
	香南 (n=39)	体力や体調の変化 66.7	急病などの緊急時に関する不安 46.2	毎日の食事の準備/ 自然災害時等の緊急時に関する不安 23.1
	牟礼 (n=81)	体力や体調の変化 60.5	急病などの緊急時に関する不安 38.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 34.6
	庵治 (n=30)	体力や体調の変化 50.0	急病などの緊急時に関する不安 33.3	日々の移動の手段 26.7
	国分寺 (n=111)	体力や体調の変化 63.1	急病などの緊急時に関する不安 45.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 36.0

●日常生活圏域別にみると、「体力や体調の変化」、「急病などの緊急時に関する不安」という回答項目が、すべての圏域で3位以内に入っています。特に、「体力や体調の変化」はすべての圏域で第1位となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問10-2 どのような生活支援があればよいと思いますか。(いくつでも○)



(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		外出が困難な高齢者への移動支援 45.1	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 42.1	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 37.0
年齢階層別	65~69歳 (n=329)	外出が困難な高齢者への移動支援 48.9	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 43.2	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 41.9
	70~74歳 (n=370)	外出が困難な高齢者への移動支援 41.4	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 40.8	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 40.3
	75~79歳 (n=440)	外出が困難な高齢者への移動支援 43.4	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 42.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 36.8
	80~84歳 (n=294)	外出が困難な高齢者への移動支援 45.6	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 44.9	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 35.0
	85歳以上 (n=305)	外出が困難な高齢者への移動支援 47.2	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 42.0	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 38.4

●年齢階層別にみると、「外出が困難な高齢者への移動支援」「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援」という回答項目が、80歳未満では3位以内に入っています。80歳以上では、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援」ではなく、「自然災害時等の緊急時の避難行動の支援」が3位に入っています。

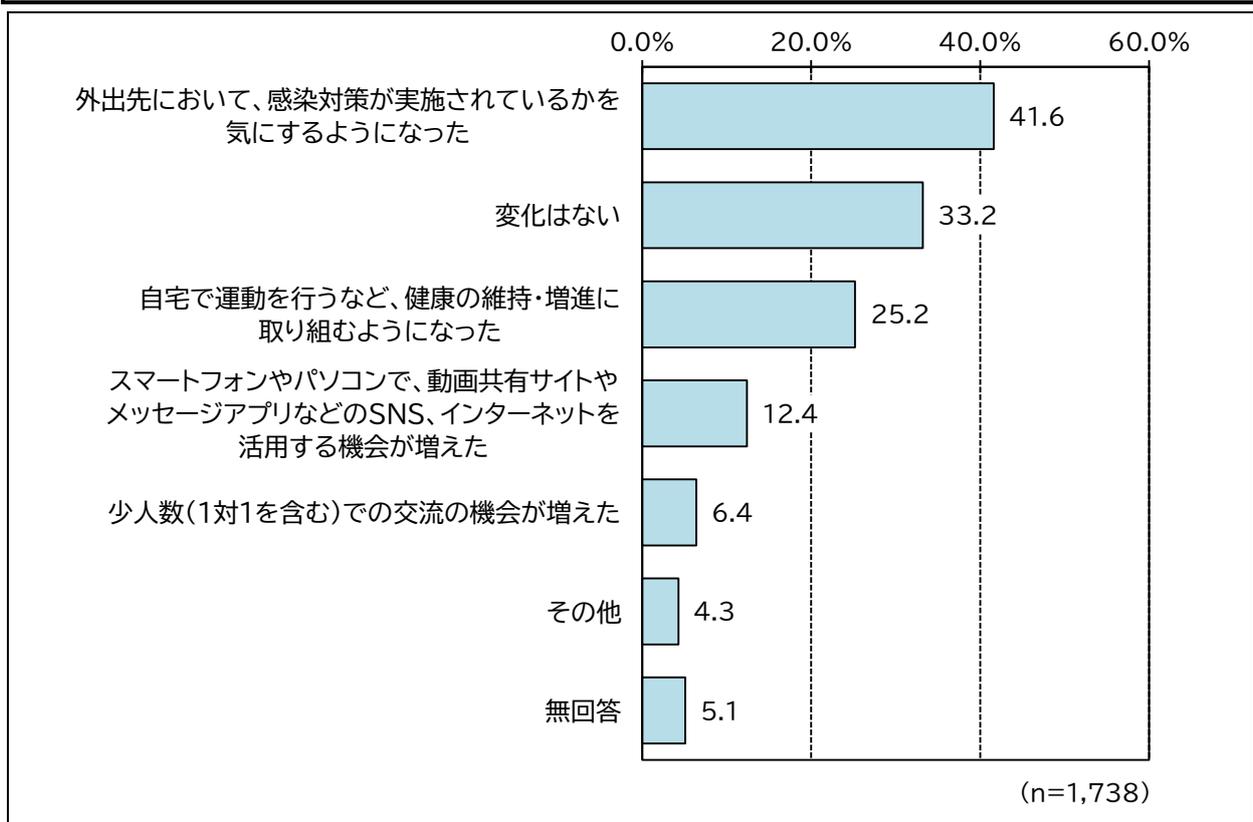
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		外出が困難な高齢者への 移動支援 45.1	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 42.1	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 37.0
日 常 生 活 圏 域	中央西 (n=136)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 ／外出が困難な高齢者への移動支援 40.4		日々のちょっとした困りごとを頼める支援 38.2
	中央東 (n=170)	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 49.4	日々のちょっとした 困りごとを頼める支援 38.2	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 37.6
	鶴尾 (n=35)	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 51.4	外出が困難な高齢者への 移動支援 45.7	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 ／自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 40.0
	太田 (n=117)	日々のちょっとした 困りごとを頼める支援 43.6	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 40.2	外出が困難な高齢者への移動支援 39.3
	一宮 (n=69)	外出が困難な高齢者への 移動支援 52.2	自然災害時等の緊急時の 避難行動の支援 47.8	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 39.1
	香東 (n=94)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 ／自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 37.2		外出が困難な高齢者への移動支援 31.9
	木太 (n=105)	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 48.6	外出が困難な高齢者への 移動支援 45.7	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 44.8
	古高松 (n=98)	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 48.0	外出が困難な高齢者への 移動支援 44.9	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 38.8
	屋島 (n=74)	日々のちょっとした 困りごとを頼める支援 43.2	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 ／外出が困難な高齢者への移動支援 37.8	
	協和 (n=103)	外出が困難な高齢者への 移動支援 52.4	日々のちょっとした 困りごとを頼める支援 45.6	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 43.7
	龍雲 (n=98)	外出が困難な高齢者への 移動支援 48.0	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 ／日々のちょっとした困りごとを頼める支援 41.8	
	山田 (n=102)	外出が困難な高齢者への 移動支援 51.0	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 39.2	食事の提供支援 30.4
	勝賀・下笠居 (n=143)	外出が困難な高齢者への 移動支援 46.2	自然災害時等の緊急時の 避難行動の支援 39.9	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 34.3
	塩江 (n=15)	外出が困難な高齢者への 移動支援 73.3	自然災害時等の緊急時の 避難行動の支援 46.7	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 40.0
	香川 (n=118)	外出が困難な高齢者への 移動支援 49.2	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 43.2	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 39.8
	香南 (n=39)	外出が困難な高齢者への 移動支援 48.7	緊急通報装置などの設置 46.2	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 43.6
	牟礼 (n=81)	外出が困難な高齢者への 移動支援 43.2	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 40.7	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 33.3
	庵治 (n=30)	外出が困難な高齢者への 移動支援 63.3	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 50.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 33.3
国分寺 (n=111)	外出が困難な高齢者への 移動支援 55.9	体力や体調の変化について 気軽に相談できる支援 42.3	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 36.0	

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

●必要な生活支援を日常生活圏域別にみると、「外出が困難な高齢者への移動支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は13圏域、「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は6圏域、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は2圏域となっています。「香南」では、第2位に「緊急通報装置などの設置」が入っています。第3位には、「食事の提供支援」、「自然災害時等の緊急時の避難行動の支援」といった回答項目も入っており、求められる必要な生活支援は圏域によって違うことがみてとれます。

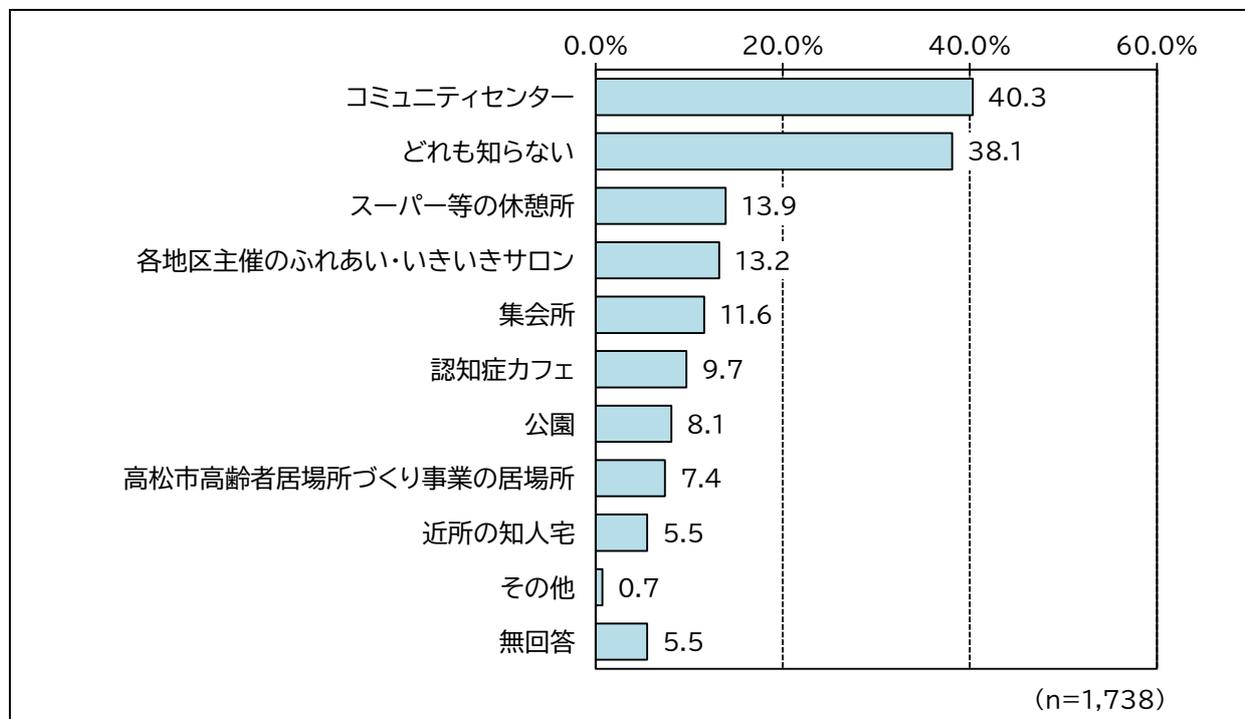
問10-3 新型コロナウイルス感染症流行以降、現在も継続している生活の変化はありますか。(いくつでも○)



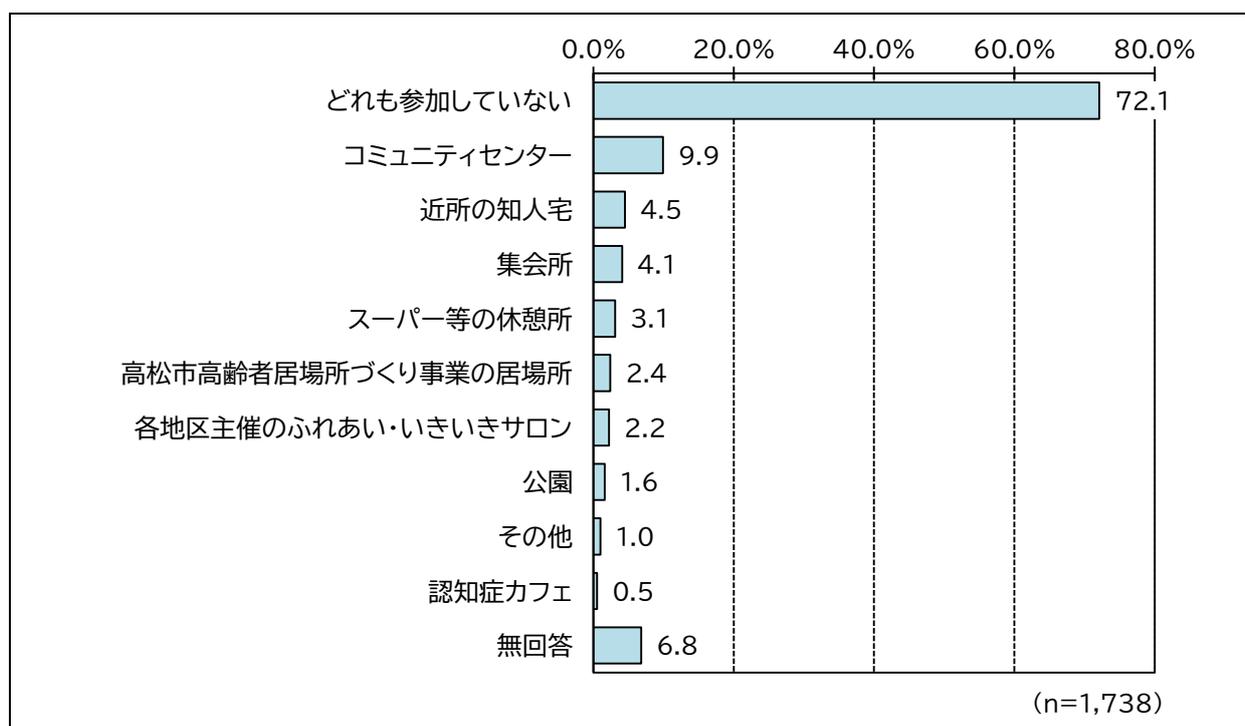
12. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて

(1) 高齢者の居場所づくり

問11-1 高齢者が気軽に集える場所について、知っているものはありますか。
(いくつでも○)

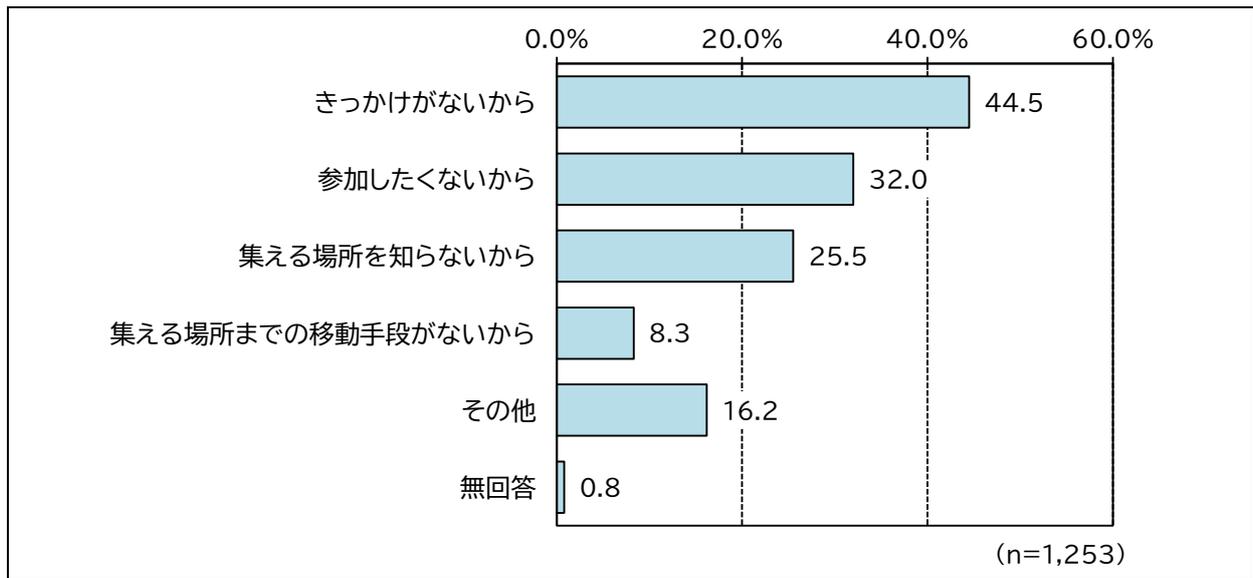


問11-2 高齢者が気軽に集える場所に参加していますか。(いくつでも○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問11-2で「2. 参加していない」と回答した方
 問11-2-1 参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)



(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体	(n=1,253)	きっかけがないから	参加したくないから	集える場所を知らないから
		44.5	32.0	25.5
年齢階層別	65~69歳 (n=278)	きっかけがないから	参加したくないから	集える場所を知らないから
	47.8	29.1	21.9	
	70~74歳 (n=291)	きっかけがないから	参加したくないから	集える場所を知らないから
	46.0	30.9	25.4	
	75~79歳 (n=310)	きっかけがないから	参加したくないから	集える場所を知らないから
46.1	33.9	23.2		
80~84歳 (n=177)	きっかけがないから	参加したくないから	集える場所を知らないから	
47.5	31.6	29.4		
85歳以上 (n=197)	参加したくないから	きっかけがないから	集える場所を知らないから	
35.0	32.0	31.0		

●年齢階層別にみると、「65~84歳」の4つの年齢階層では、「きっかけがないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「85歳以上」では、「参加したくないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。

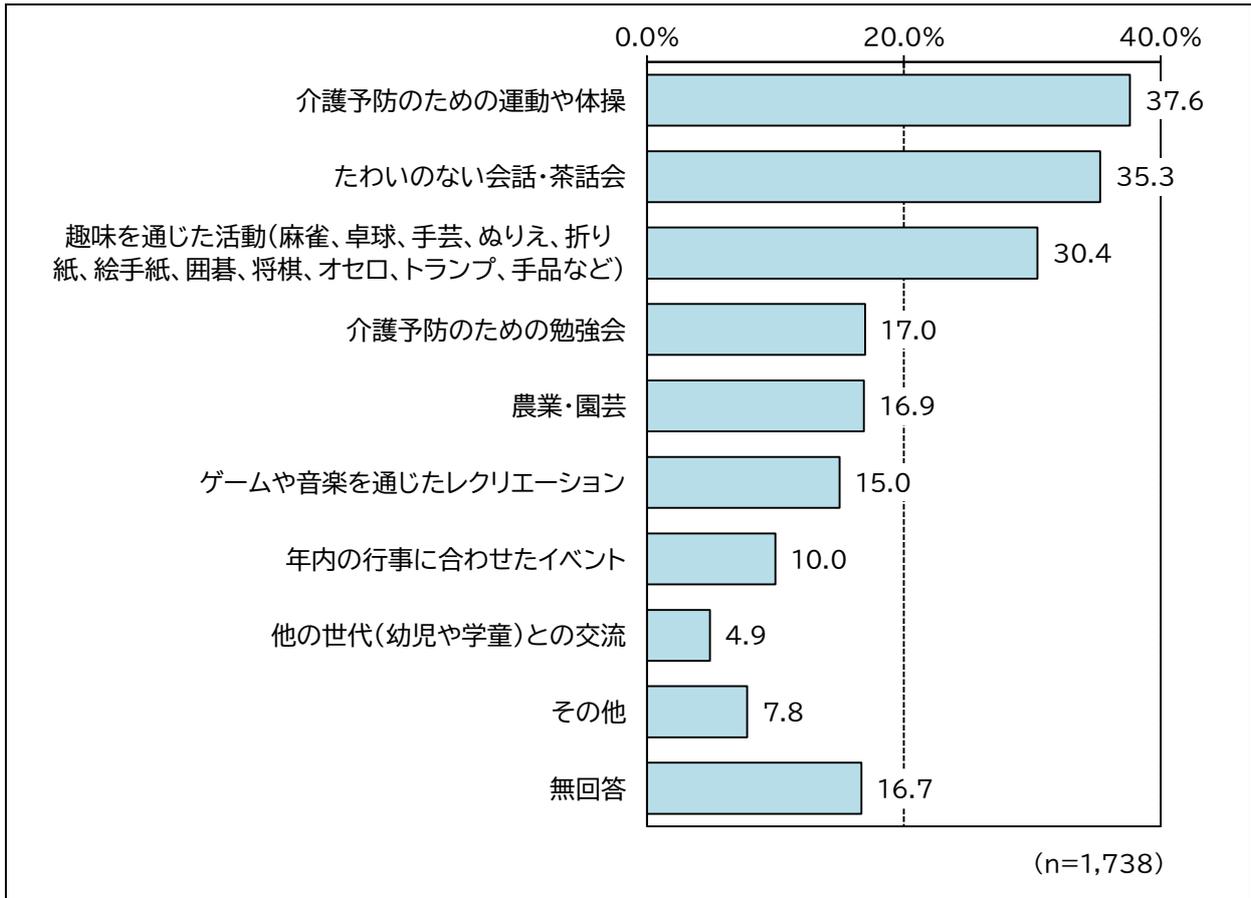
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,253)		きっかけがないから 44.5	参加したくないから 32.0	集える場所を知らないから 25.5
日常生活圏域	中央西 (n=103)	きっかけがないから 41.7	参加したくないから 35.0	集える場所を知らないから 29.1
	中央東 (n=131)	きっかけがないから 45.0	参加したくないから 32.8	集える場所を知らないから 25.2
	鶴尾 (n=23)	きっかけがないから 47.8	参加したくないから/その他 26.1	
	太田 (n=82)	参加したくないから 39.0	きっかけがないから 34.1	集える場所を知らないから 26.8
	一宮 (n=55)	きっかけがないから 50.9	集える場所を知らないから 34.5	参加したくないから 29.1
	香東 (n=63)	きっかけがないから/参加したくないから 31.7		集える場所を知らないから /その他 19.0
	木太 (n=84)	きっかけがないから 52.4	参加したくないから 28.6	集える場所を知らないから 20.2
	古高松 (n=67)	きっかけがないから 40.3	参加したくないから 29.9	集える場所を知らないから 20.9
	屋島 (n=55)	きっかけがないから/参加したくないから 47.3		集える場所を知らないから 25.5
	協和 (n=73)	きっかけがないから 37.0	参加したくないから 32.9	集える場所を知らないから 26.0
	龍雲 (n=66)	きっかけがないから 50.0	参加したくないから 39.4	集える場所を知らないから 24.2
	山田 (n=66)	きっかけがないから 54.5	参加したくないから 27.3	集える場所を知らないから 24.2
	勝賀・下笠居 (n=103)	参加したくないから 37.9	きっかけがないから 35.0	集える場所を知らないから 17.5
	塩江 (n=8)	参加したくないから 50.0	きっかけがないから /集える場所までの移動手段がないから 25.0	
	香川 (n=81)	きっかけがないから 53.1	参加したくないから 25.9	集える場所を知らないから 23.5
	香南 (n=28)	きっかけがないから 46.4	参加したくないから 32.1	その他 25.0
	牟礼 (n=63)	きっかけがないから 55.6	集える場所を知らないから 39.7	参加したくないから 20.6
	庵治 (n=17)	きっかけがないから 52.9	集える場所を知らないから 29.4	参加したくないから 17.6
国分寺 (n=85)	きっかけがないから 43.5	集える場所を知らないから 36.5	参加したくないから 24.7	

●日常生活圏域別にみると、概ね全体と同様の傾向にありますが、「太田」、「屋島」、「勝賀・下笠居」、「塩江」では「参加したくないから」といった回答の割合も高くなっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問11-3 集える場所ではどのような活動がしたいですか。(いくつでも○)



第2章

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		介護予防のための運動や体操 37.6	たわいのない会話・茶話会 35.3	趣味を通じた活動 30.4
年齢階層別	65~69歳 (n=329)	介護予防のための運動や体操 39.2	趣味を通じた活動 34.0	たわいのない会話・茶話会 32.8
	70~74歳 (n=370)	介護予防のための運動や体操 36.8	趣味を通じた活動 34.1	たわいのない会話・茶話会 33.0
	75~79歳 (n=440)	介護予防のための運動や体操 37.5	たわいのない会話・茶話会 35.9	趣味を通じた活動 32.3
	80~84歳 (n=294)	たわいのない会話・茶話会 38.4	介護予防のための運動や体操 36.7	趣味を通じた活動 23.8
	85歳以上 (n=305)	介護予防のための運動や体操 37.7	たわいのない会話・茶話会 36.7	趣味を通じた活動 25.6

●年齢階層別にみると、「80~84歳」以外の年齢階層で、「介護予防のための運動や体操」と回答した人の割合が最も高くなっています。「80~84歳」では「たわいのない会話・茶話会」と回答した人の割合が最も高くなっています。

(単位:%)

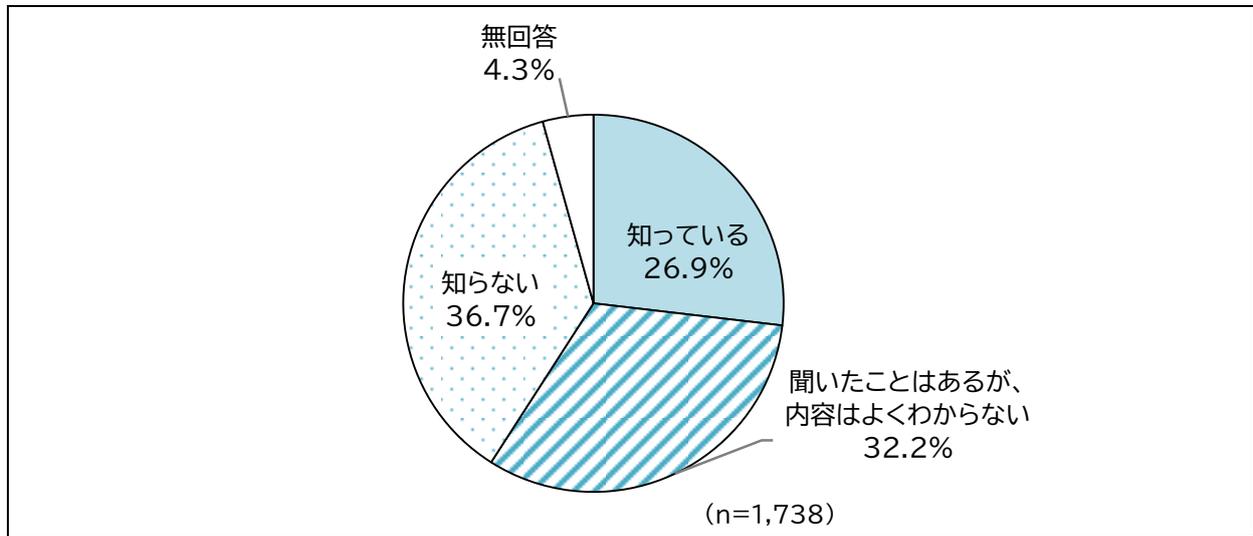
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,738)		介護予防のための運動や体操 37.6	たわいのない会話・茶話会 35.3	趣味を通じた活動 30.4
日常生活圏域	中央西 (n=136)	介護予防のための運動や体操 33.8	たわいのない会話・茶話会 31.6	趣味を通じた活動 27.9
	中央東 (n=170)	介護予防のための運動や体操 37.6	たわいのない会話・茶話会／趣味を通じた活動 31.2	
	鶴尾 (n=35)	たわいのない会話・茶話会 48.6	介護予防のための運動や体操 34.3	趣味を通じた活動 31.4
	太田 (n=117)	介護予防のための運動や体操 43.6	たわいのない会話・茶話会 31.6	趣味を通じた活動 28.2
	一宮 (n=69)	介護予防のための運動や体操 40.6	たわいのない会話・茶話会 33.3	ゲームや音楽を通じたレクリエーション 23.2
	香東 (n=94)	たわいのない会話・茶話会 35.1	介護予防のための運動や体操 34.0	農業・園芸 20.2
	木太 (n=105)	介護予防のための運動や体操 41.9	趣味を通じた活動 38.1	たわいのない会話・茶話会 32.4
	古高松 (n=98)	介護予防のための運動や体操 40.8	たわいのない会話・茶話会／趣味を通じた活動 33.7	
	屋島 (n=74)	介護予防のための運動や体操 41.9	たわいのない会話・茶話会 35.1	趣味を通じた活動 32.4
	協和 (n=103)	たわいのない会話・茶話会 35.9	介護予防のための運動や体操 33.0	趣味を通じた活動 28.2
	龍雲 (n=98)	介護予防のための運動や体操 45.9	たわいのない会話・茶話会 35.7	趣味を通じた活動 32.7
	山田 (n=102)	介護予防のための運動や体操 40.2	たわいのない会話・茶話会 33.3	趣味を通じた活動 24.5
	勝賀・下笠居 (n=143)	介護予防のための運動や体操 39.2	たわいのない会話・茶話会 37.1	趣味を通じた活動 25.9
	塩江 (n=15)	介護予防のための運動や体操／たわいのない会話・茶話会 46.7		趣味を通じた活動 46.7
	香川 (n=118)	たわいのない会話・茶話会 40.7	介護予防のための運動や体操 33.1	趣味を通じた活動 32.2
	香南 (n=39)	たわいのない会話・茶話会 35.9	介護予防のための運動や体操／趣味を通じた活動 25.6	
	牟礼 (n=81)	たわいのない会話・茶話会 40.7	介護予防のための運動や体操 30.9	趣味を通じた活動 27.2
庵治 (n=30)	たわいのない会話・茶話会 53.3	介護予防のための運動や体操 36.7	趣味を通じた活動 20.0	
国分寺 (n=111)	介護予防のための運動や体操／たわいのない会話・茶話会 33.3		趣味を通じた活動 30.6	

●日常生活圏域別にみると、多くの圏域で「介護予防のための運動や体操」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、「鶴尾」、「香東」、「協和」、「香川」、「香南」、「牟礼」、「庵治」、「国分寺」では「たわいのない会話・茶話会」と回答した人の割合が高くなっています。

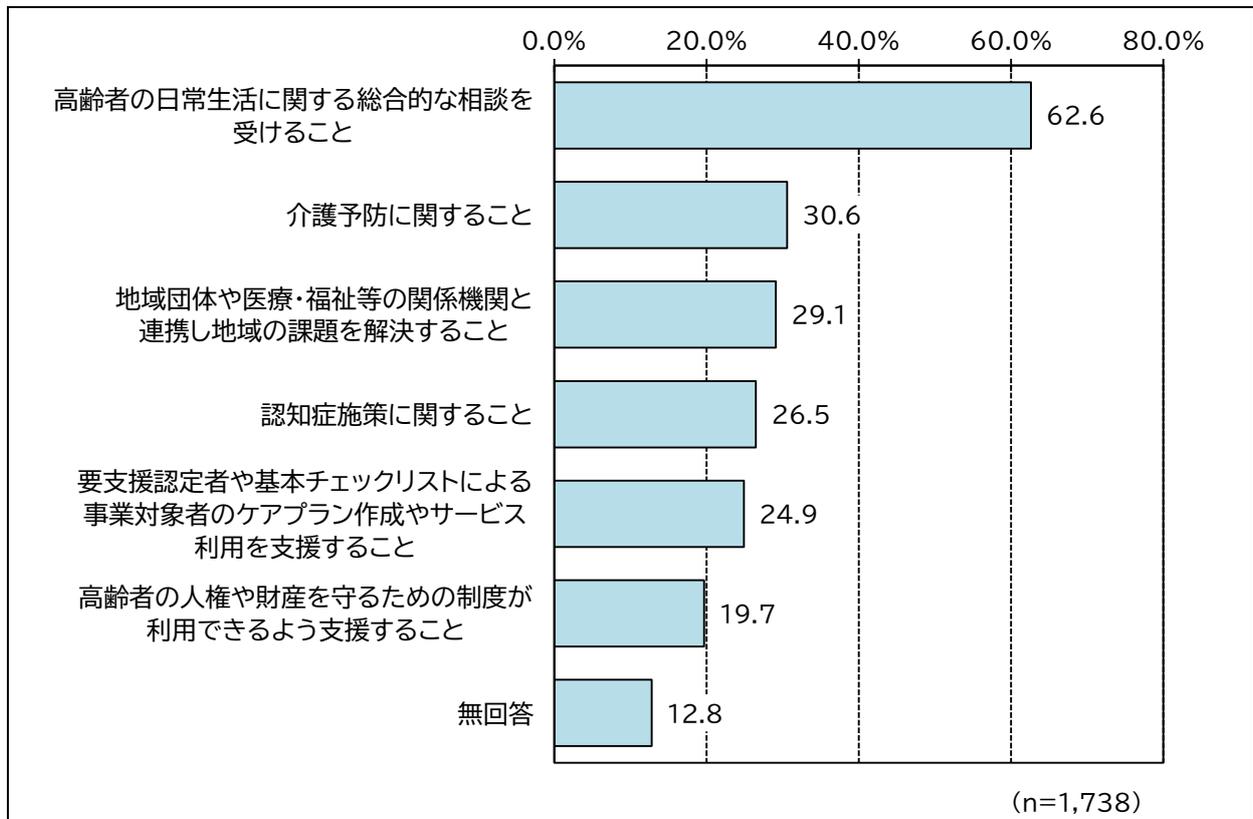
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

(2)高松市地域包括支援センターについて

問11-4 高松市では、地域における高齢者の身近な相談窓口として、「高松市地域包括支援センター」を設置しています。「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけ○)



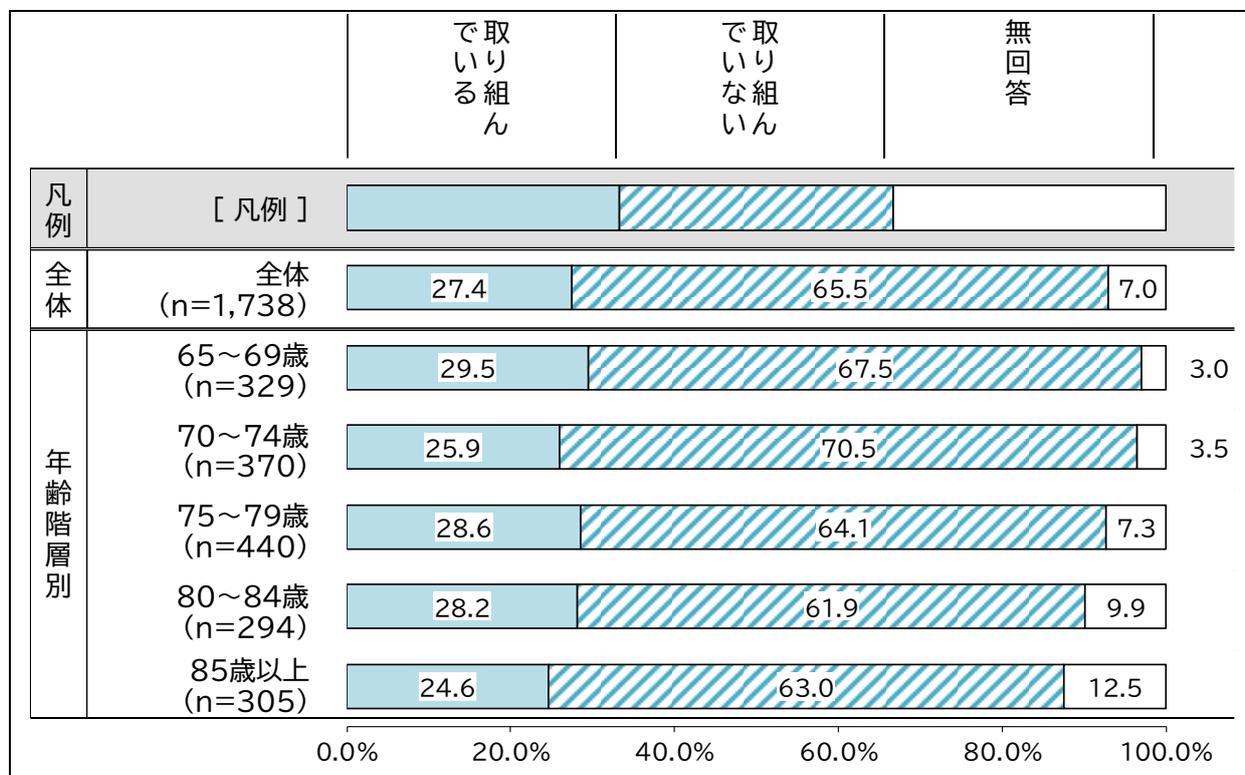
問11-5 地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。(いくつでも○)



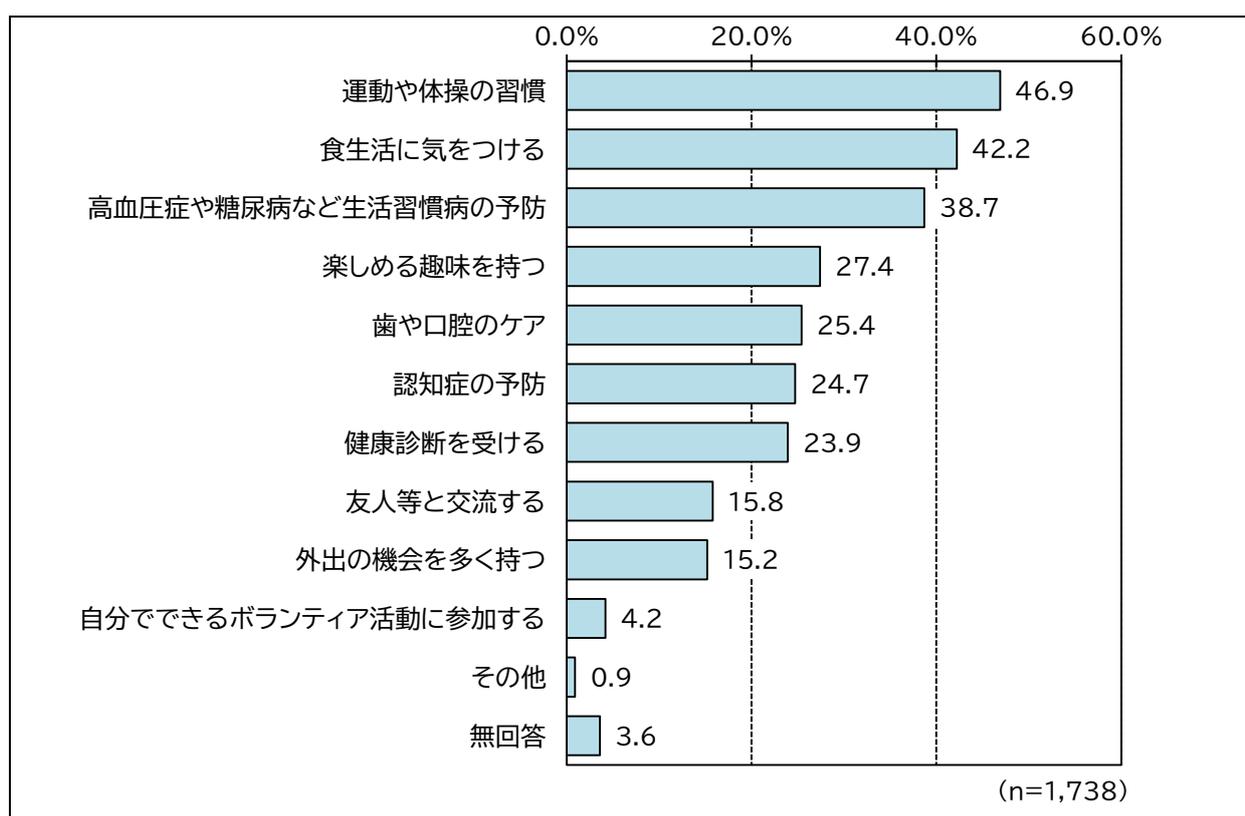
13. 一般介護予防事業について

(1) 介護予防への取組について

問12-1 フレイル対策が重視されている中、現在あなたは介護予防に取り組んでいますか。
(1つだけ○)

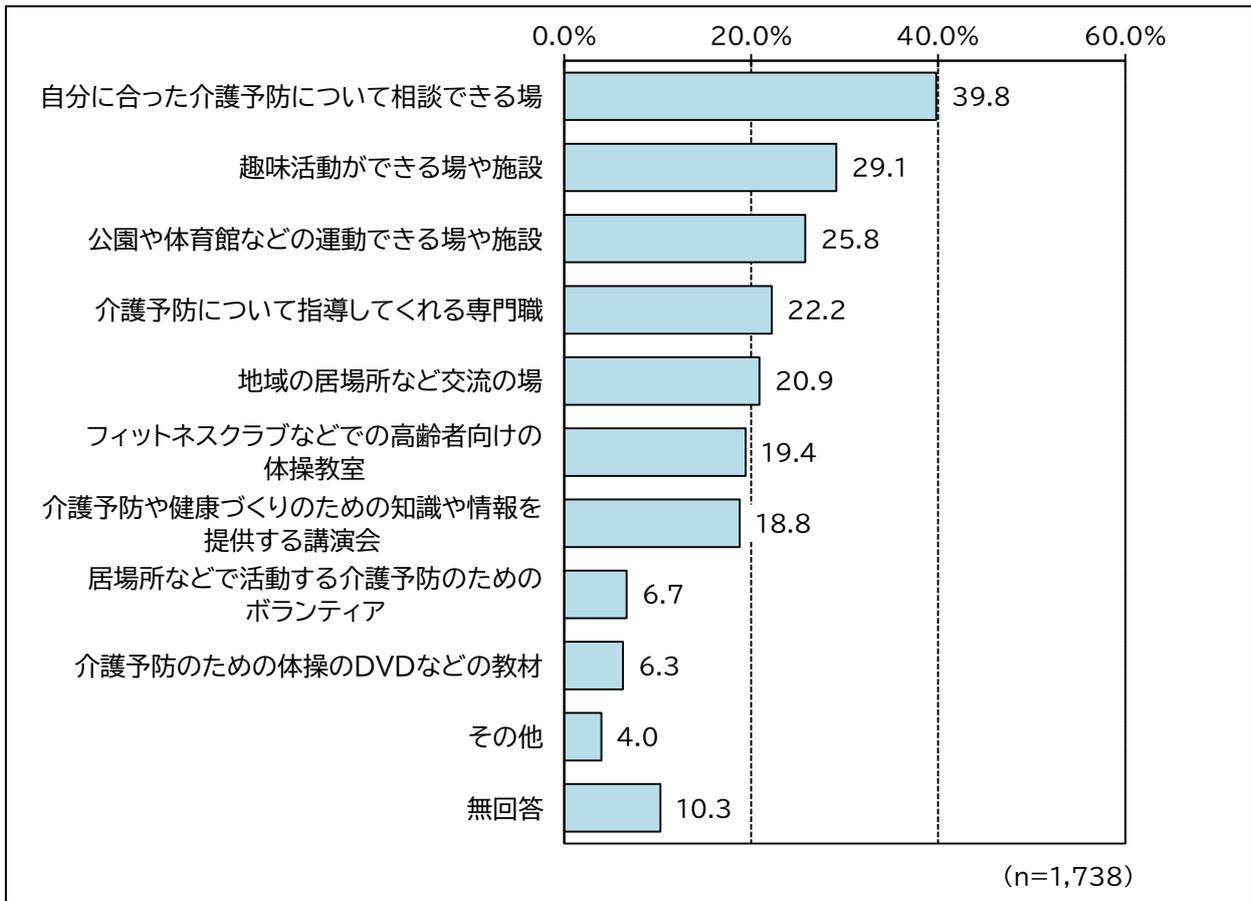


問12-2 介護予防の上で重要と思われるものは何ですか。(3つまで○)



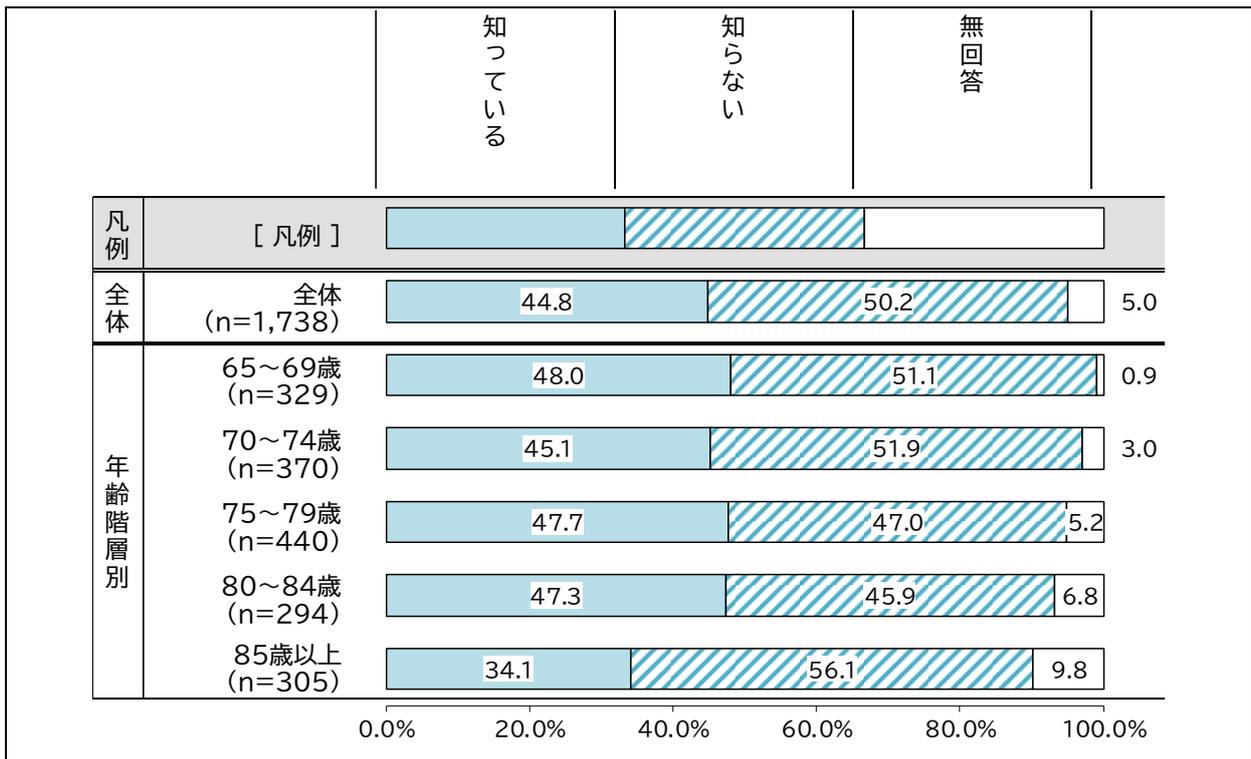
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問12-3 自分で介護予防に取り組むためにどのようなものがあればよいと思いますか。
(3つまで○)

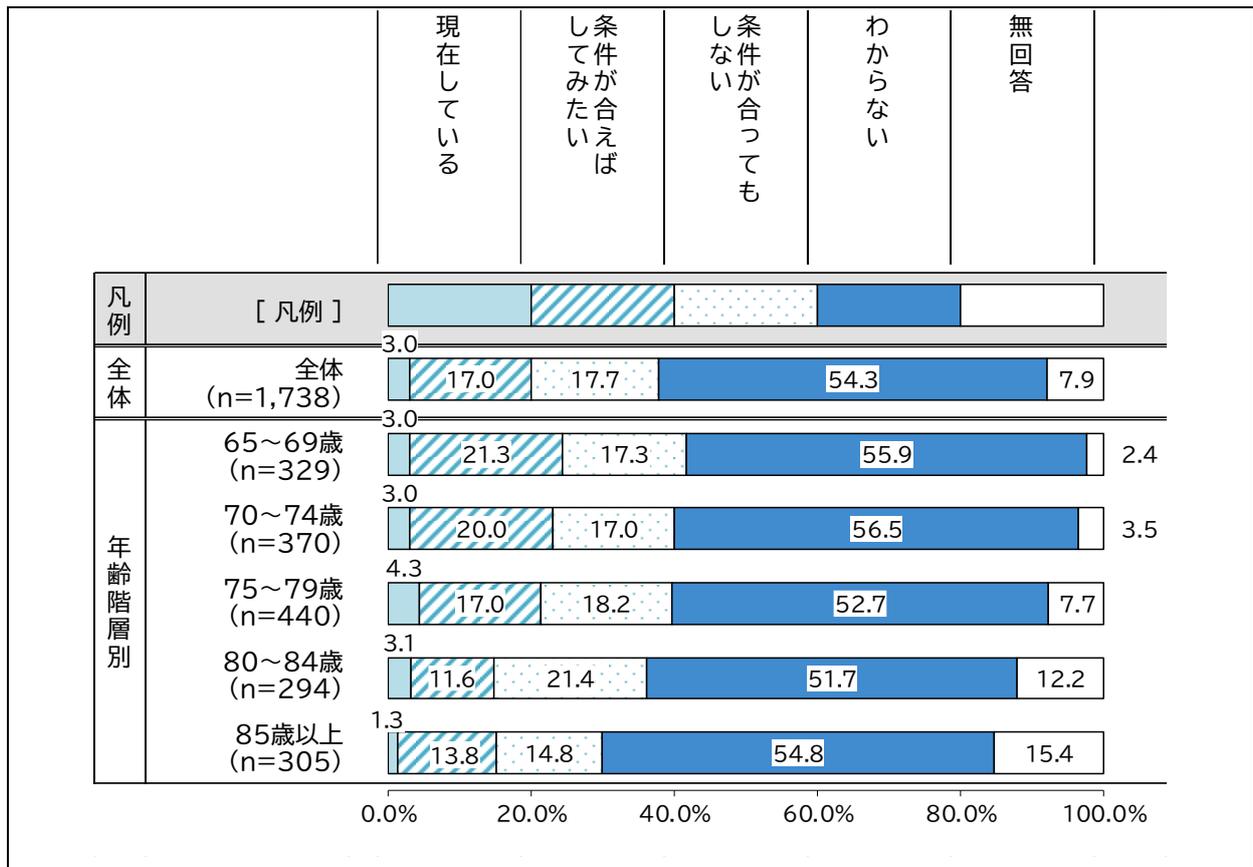


(2) 介護予防とボランティア活動について

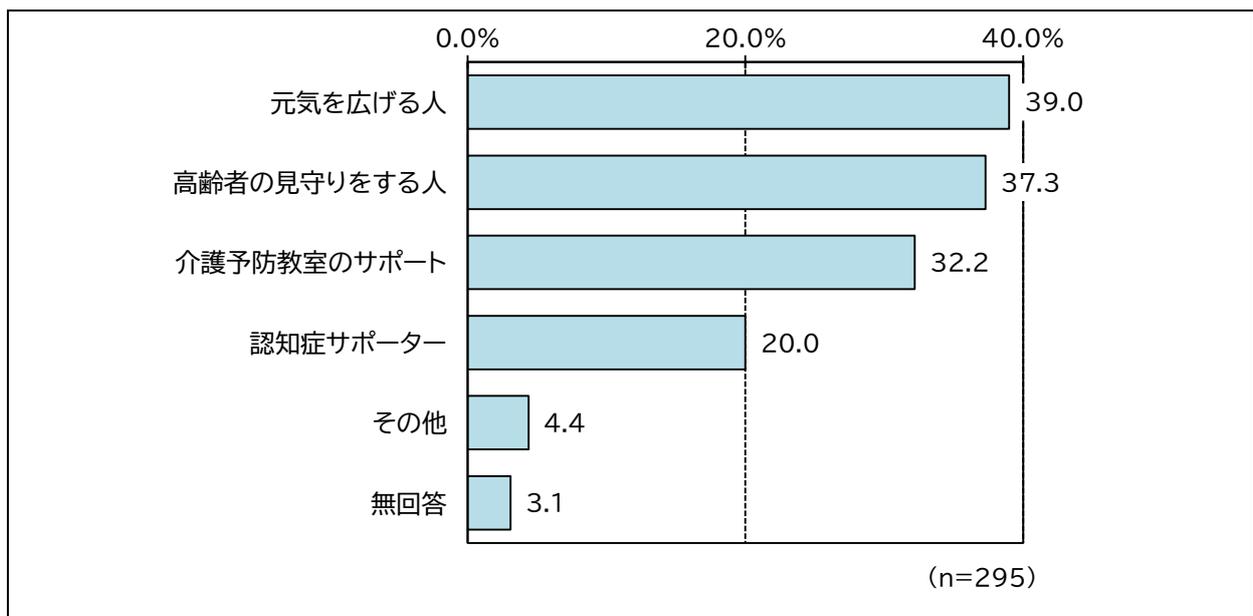
問12-4 ボランティア活動などの社会参加が介護予防に効果があることは、知っていますか。(1つだけ○)



問12-5 様々なボランティア活動の種類がありますが、中でも、介護予防ボランティアの活動をしてみたいですか。(1つだけ○)



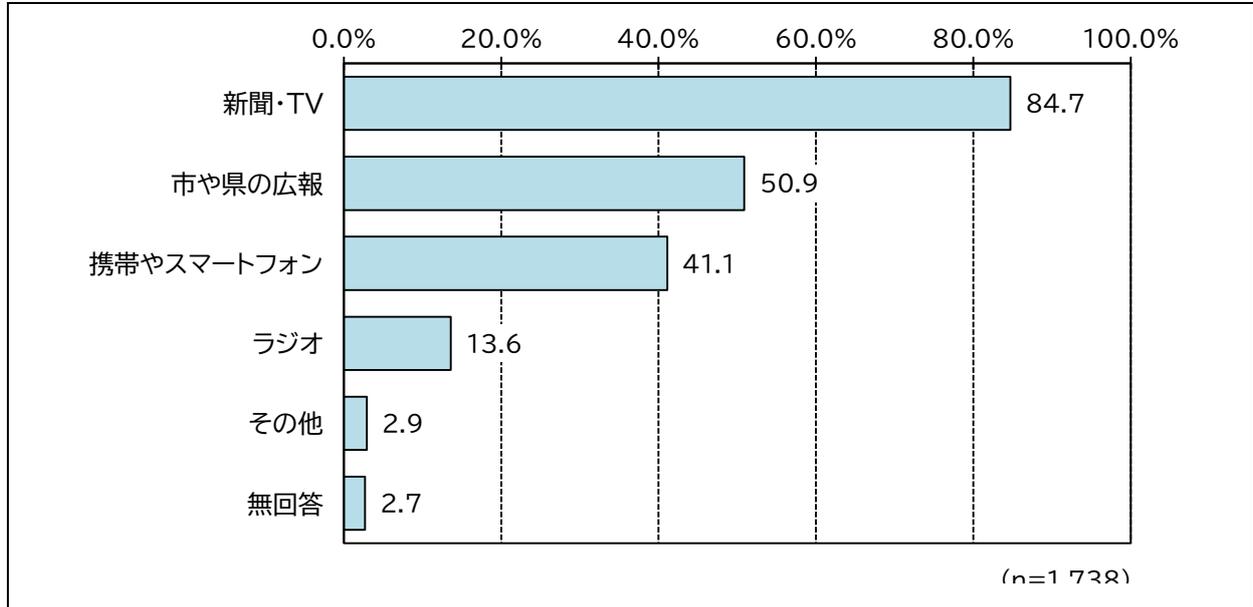
問12-5で「2.条件が合えばしてみたい」と回答した方
問12-5-1 どのような介護予防ボランティア活動をしてみたいですか。(いくつでも○)



14. 高齢者の保健福祉について

(1) 情報収集手段

問13-1 日常の情報収集手段は何ですか。(いくつでも○)



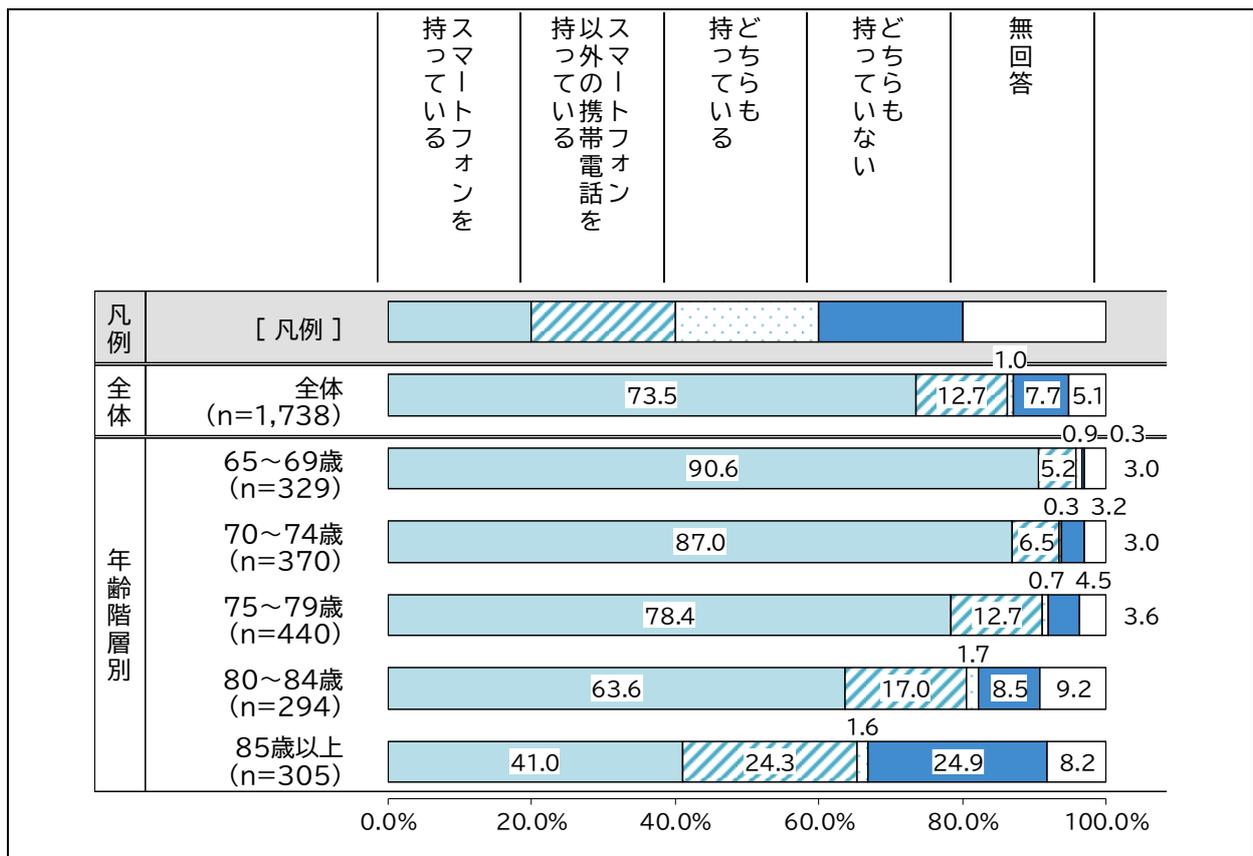
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n1,738)		新聞・TV 84.7	市や県の広報 50.9	携帯やスマートフォン 41.1
年齢階層別	65~69歳 (n=329)	新聞・TV 84.8	携帯やスマートフォン 73.3	市や県の広報 44.4
	70~74歳 (n=370)	新聞・TV 81.6	携帯やスマートフォン 53.5	市や県の広報 49.2
	75~79歳 (n=440)	新聞・TV 87.5	市や県の広報 55.9	携帯やスマートフォン 38.2
	80~84歳 (n=294)	新聞・TV 82.7	市や県の広報 50.7	携帯やスマートフォン 25.2
	85歳以上 (n=305)	新聞・TV 86.2	市や県の広報 53.1	ラジオ 12.8

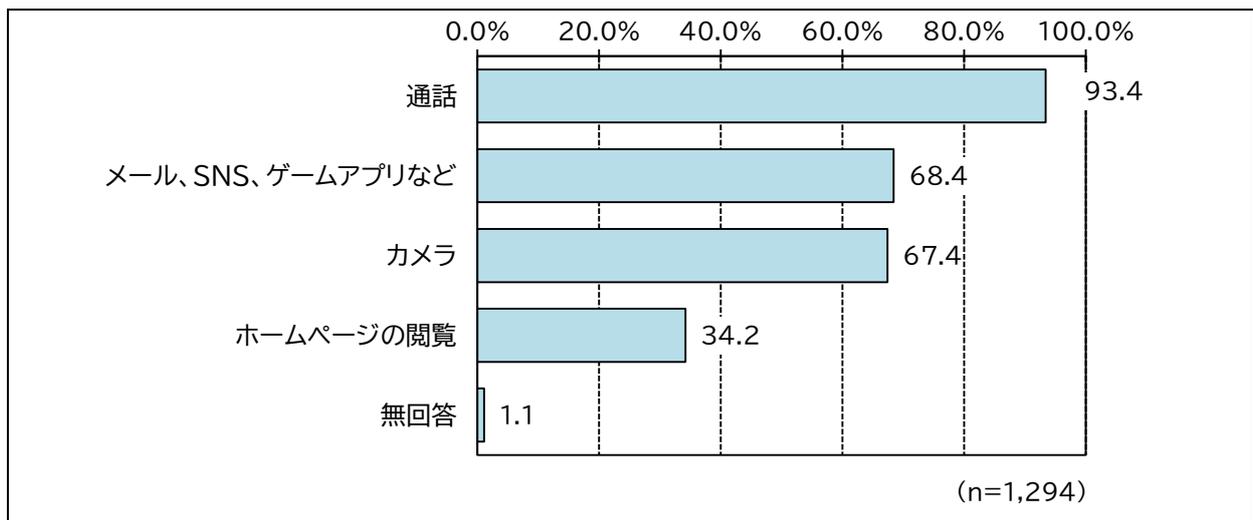
●年齢階層別にみると、すべての年齢階層で第1位「新聞・TV」となっています。第2位は「65~74歳」の2つの年齢階層では「携帯やスマートフォン」、「75歳以上」の3つの年齢階層では「市や県の広報」となっています。第3位については、「85歳以上」では「ラジオ」となっています。

(2) 携帯電話

問13-2 現在、携帯電話を持っていますか。(1つだけ○)



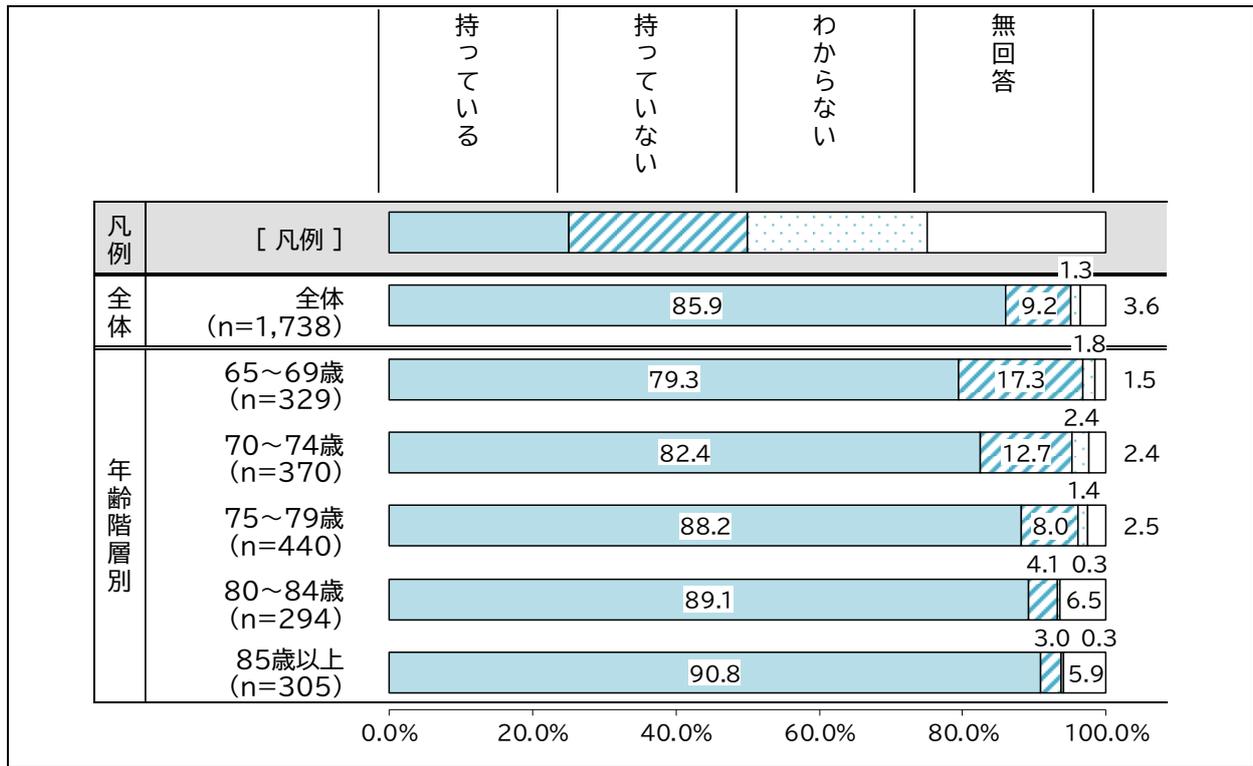
問13-2で「1. スマートフォンを持っている」または「3. どちらも持っている」と回答した方
問13-2-1 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。(いくつでも○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

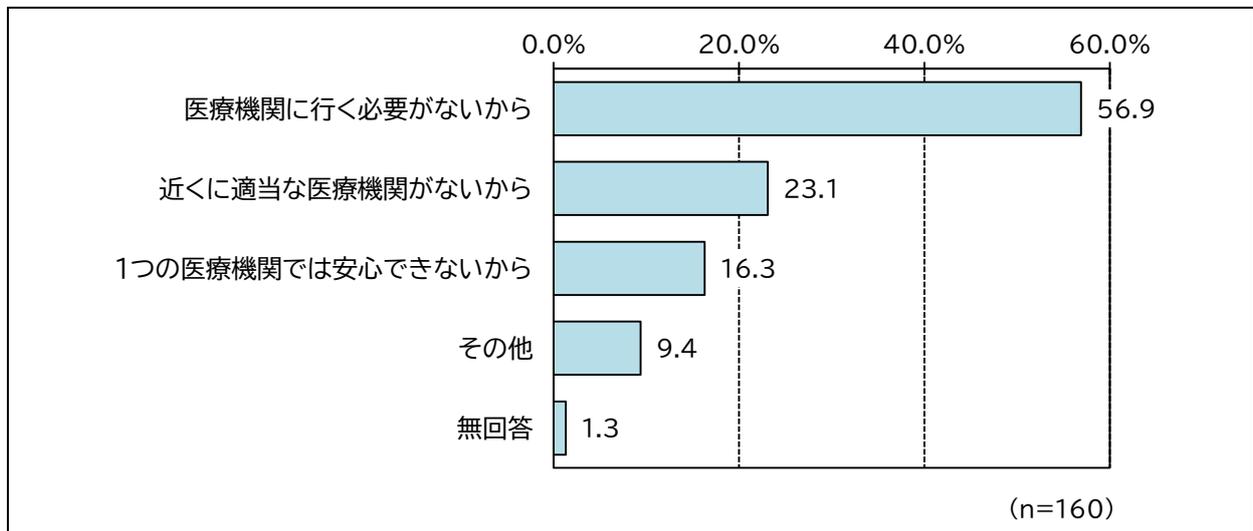
(3) かかりつけ医の有無について

問13-3 日頃から病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。(1つだけ○)



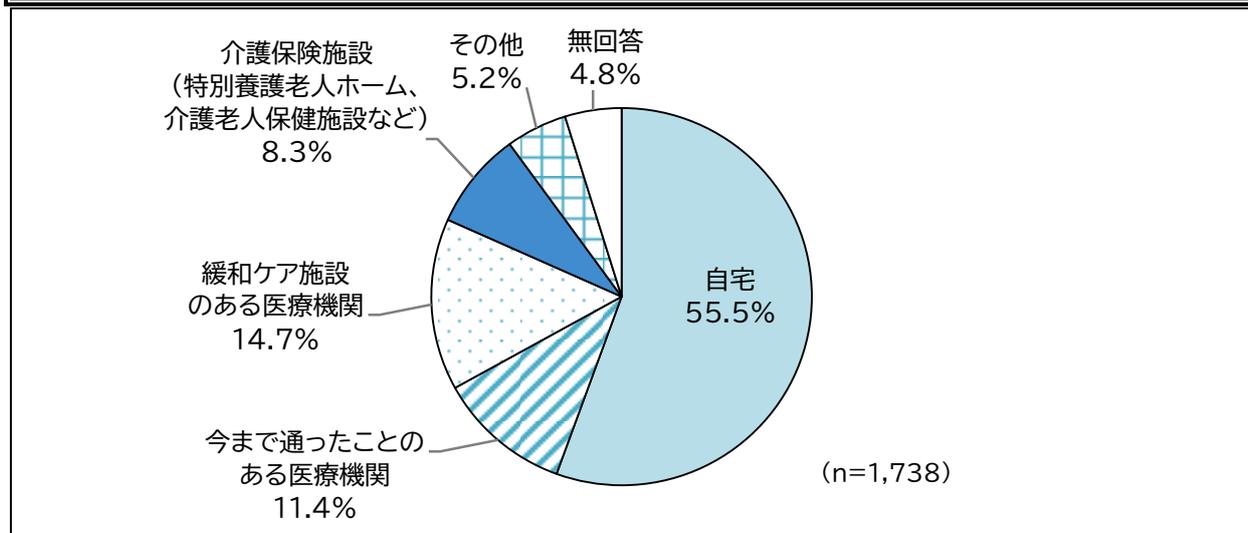
問13-3で「2. 持っていない」と回答した方

問13-3-1 「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

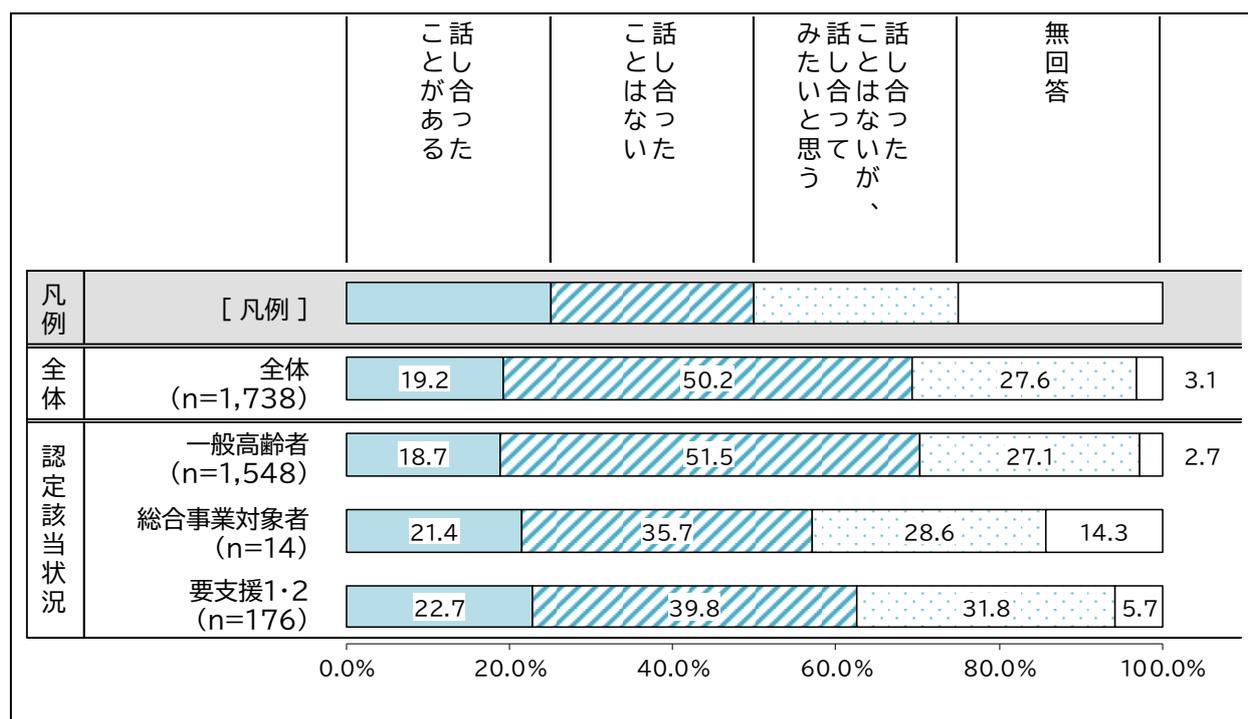


(4)自分の最期について

問13-4 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○)



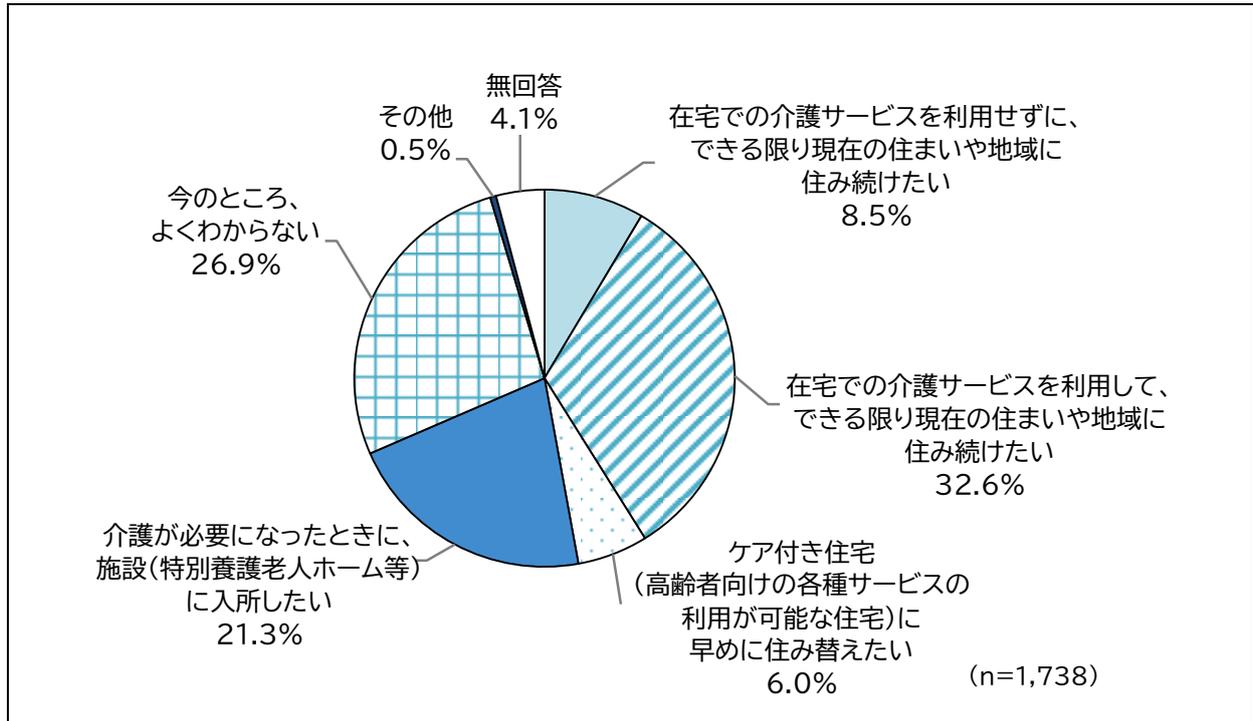
問13-5 自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。(1つだけ○)



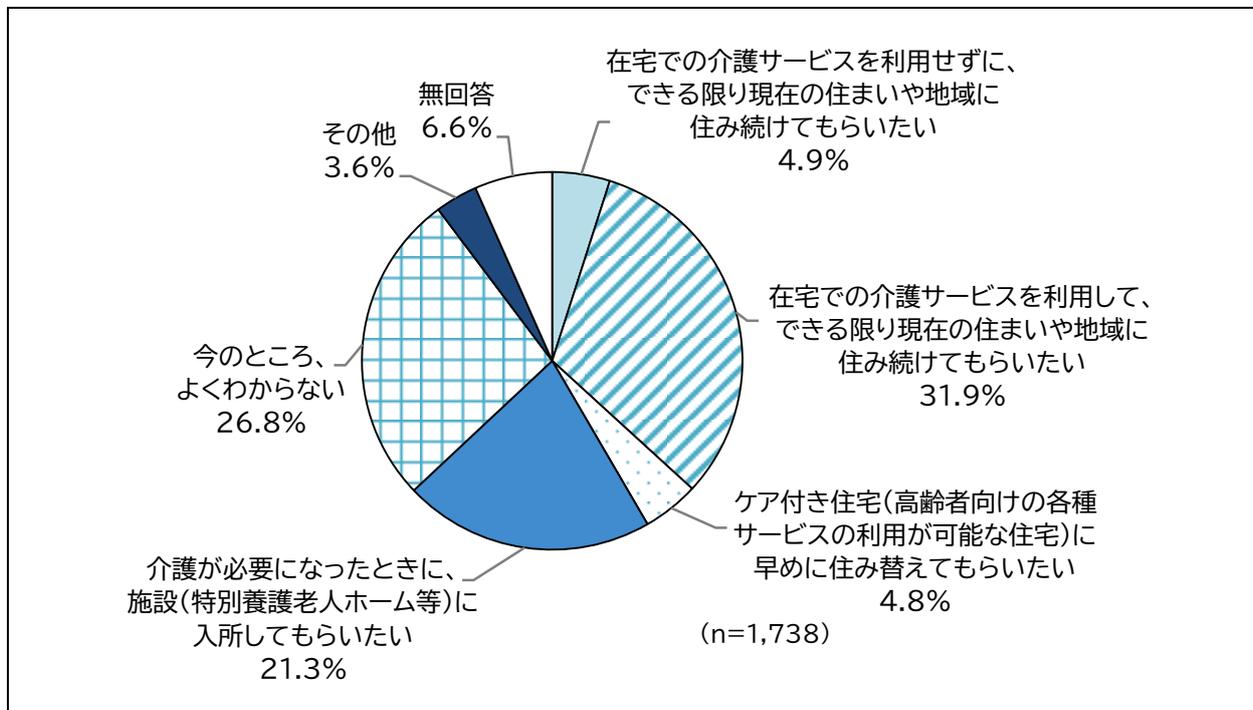
● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

(5) 住まいと介護サービスの利用について

問13-6 将来、あなたに介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

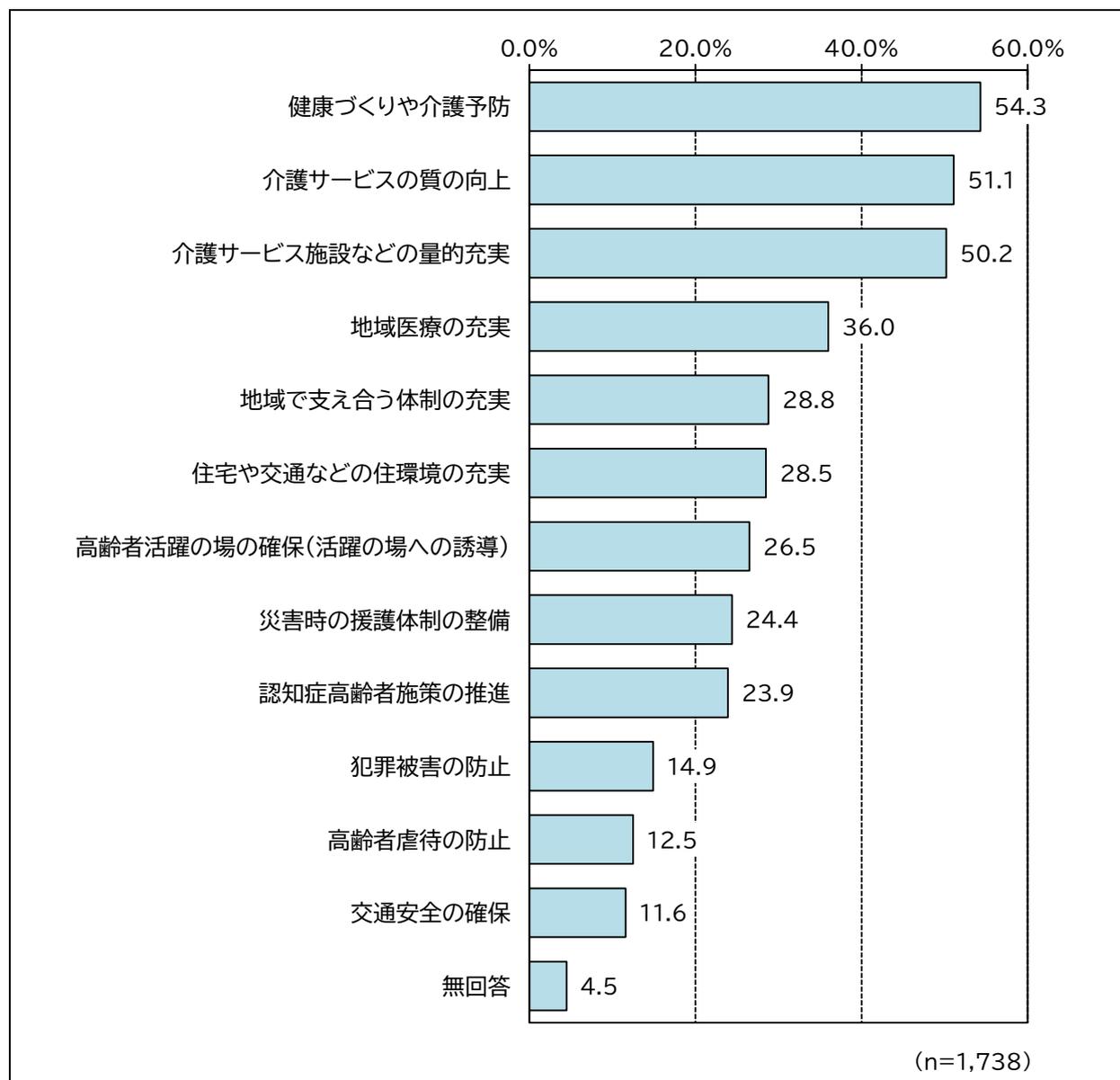


問13-7 あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)



(6)超高齢社会において重要な方策

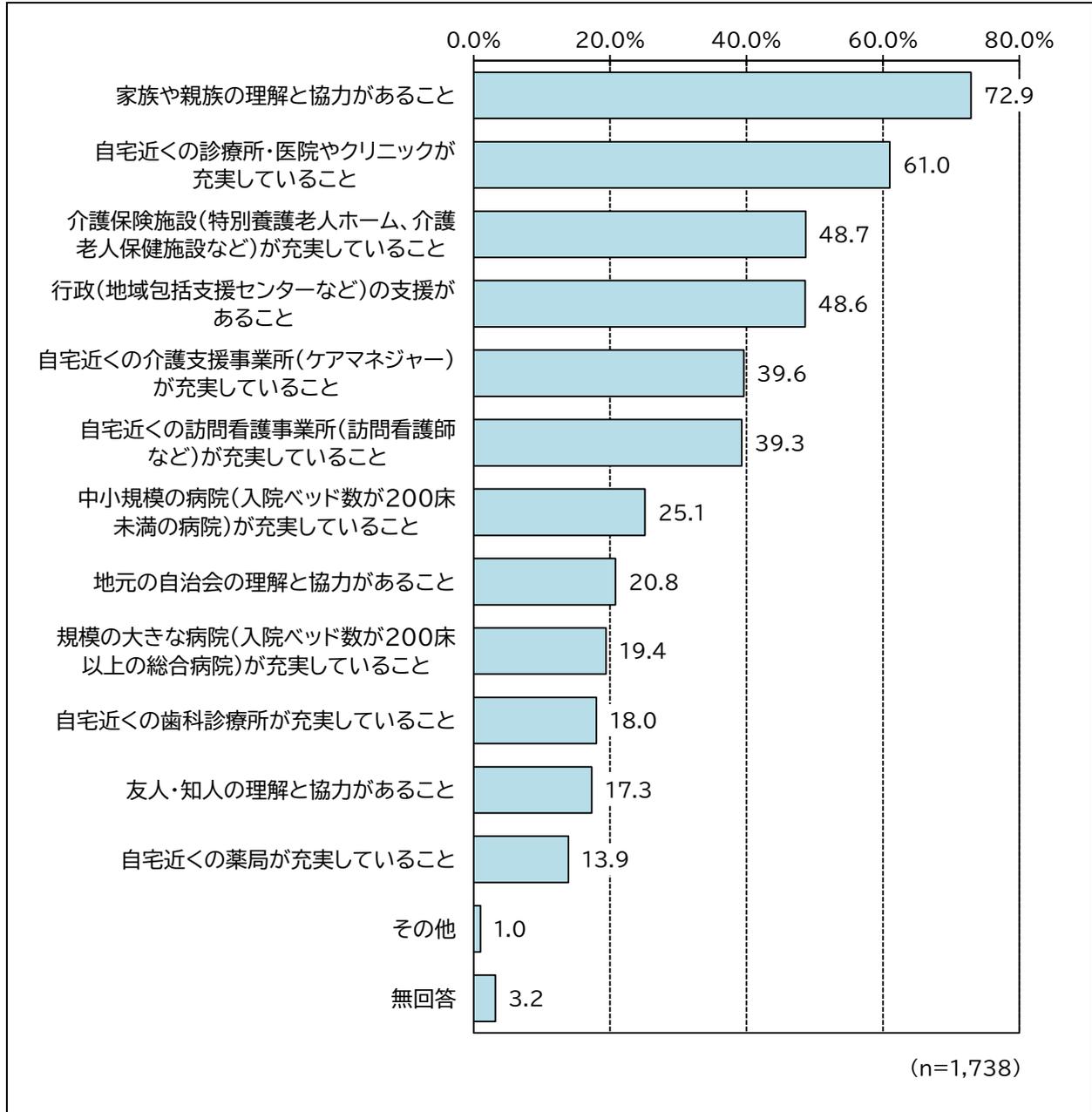
問13-8 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策はどのようなことですか。
(いくつでも○)



● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

(7)地域包括ケアシステムにおいて重要なこと

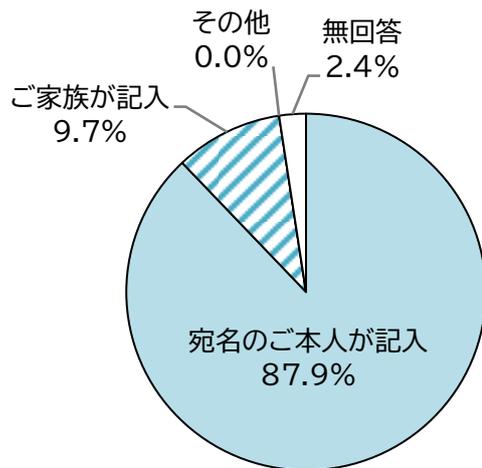
問13-9 地域包括ケアシステムの構築の推進にあたり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)



第3章 調査結果 一般市民 (40歳以上65歳未満)

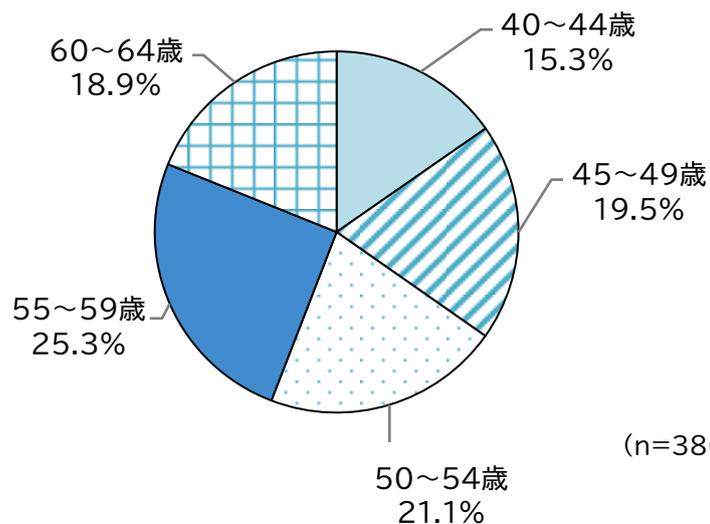
1. 回答者の属性

(1) 調査票を記入した方



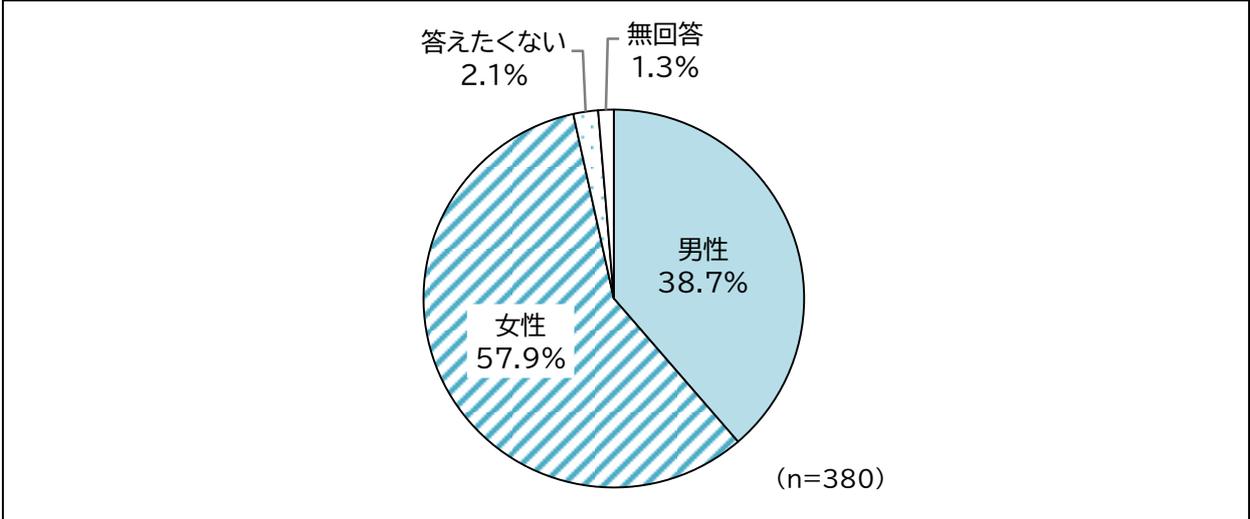
(n=380)

(2) 年齢

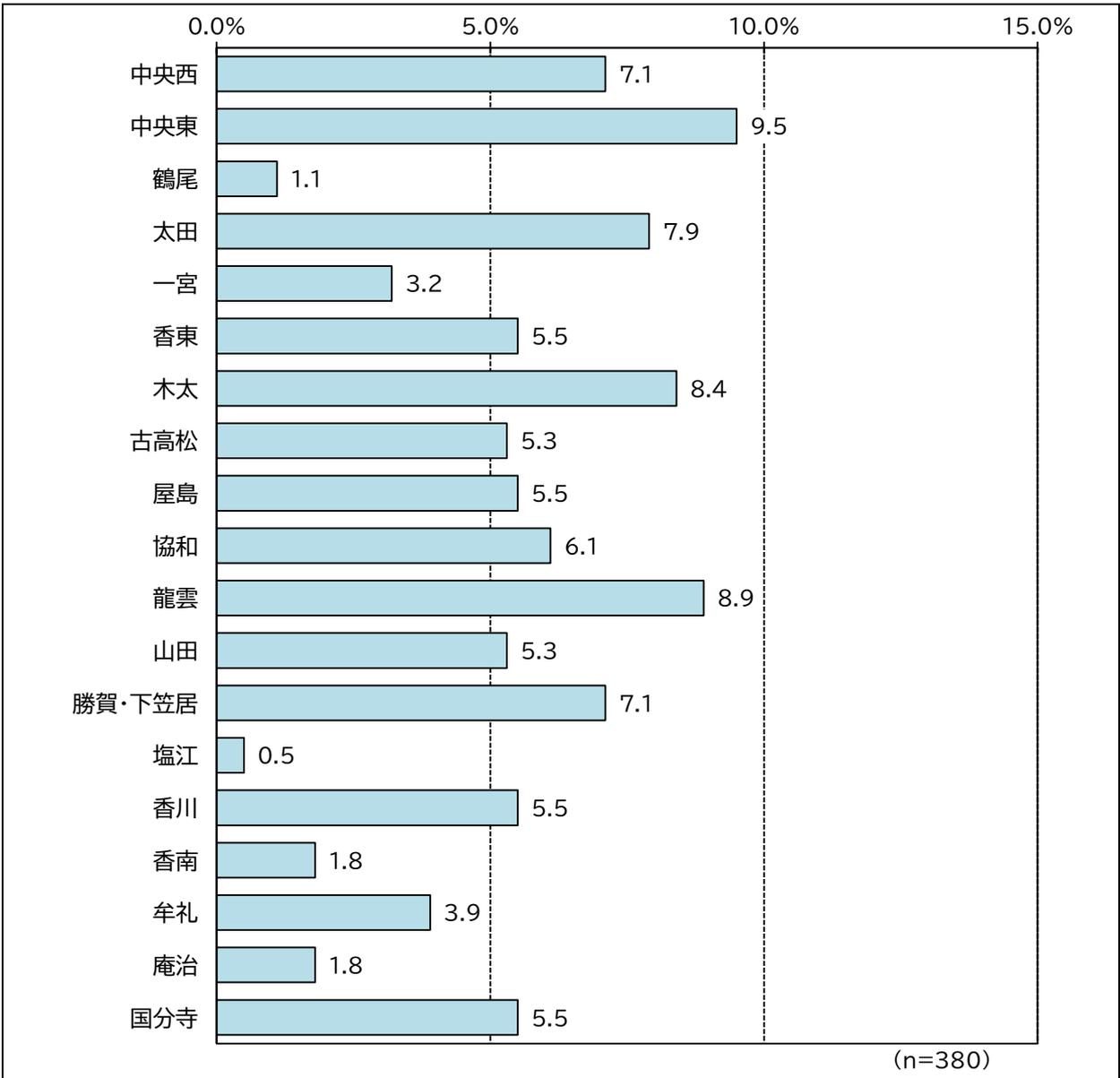


(n=380)

(3) 性別



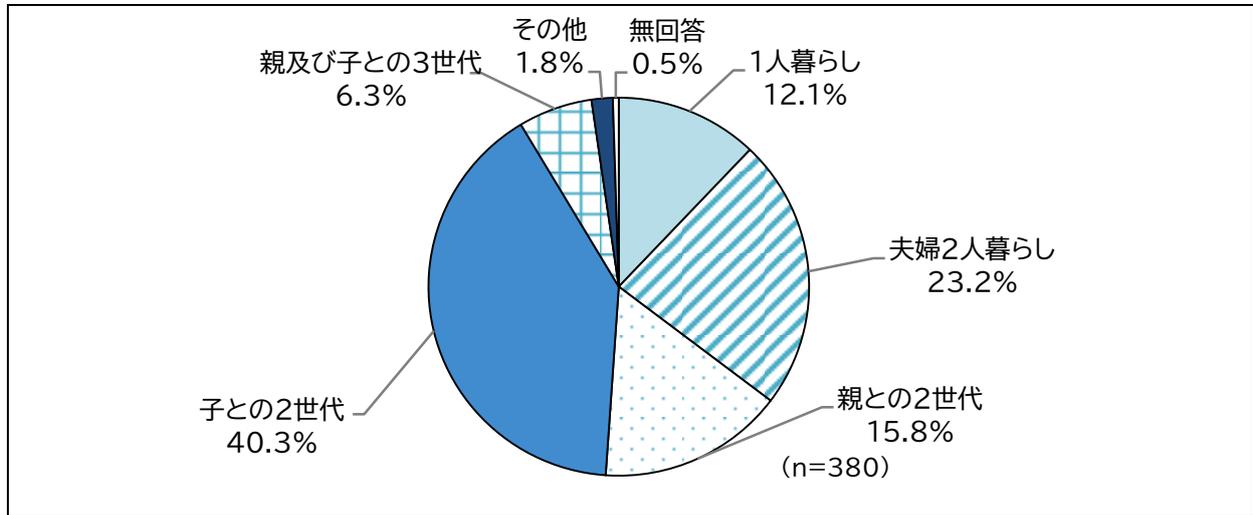
(4) 日常生活圏域



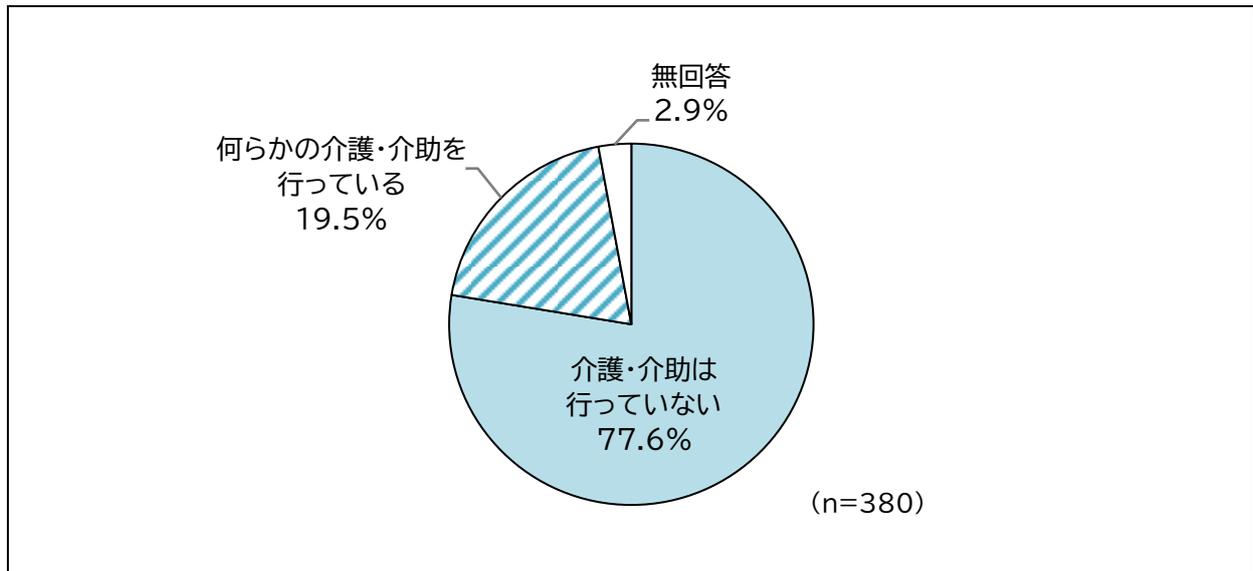
2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成について

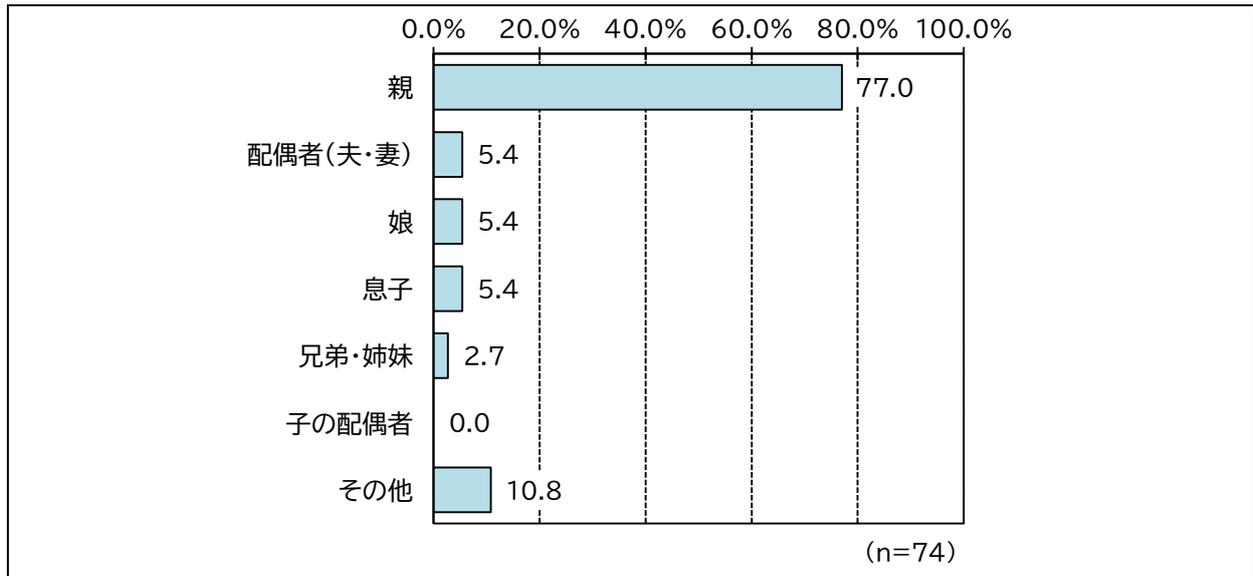
問1-1 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)



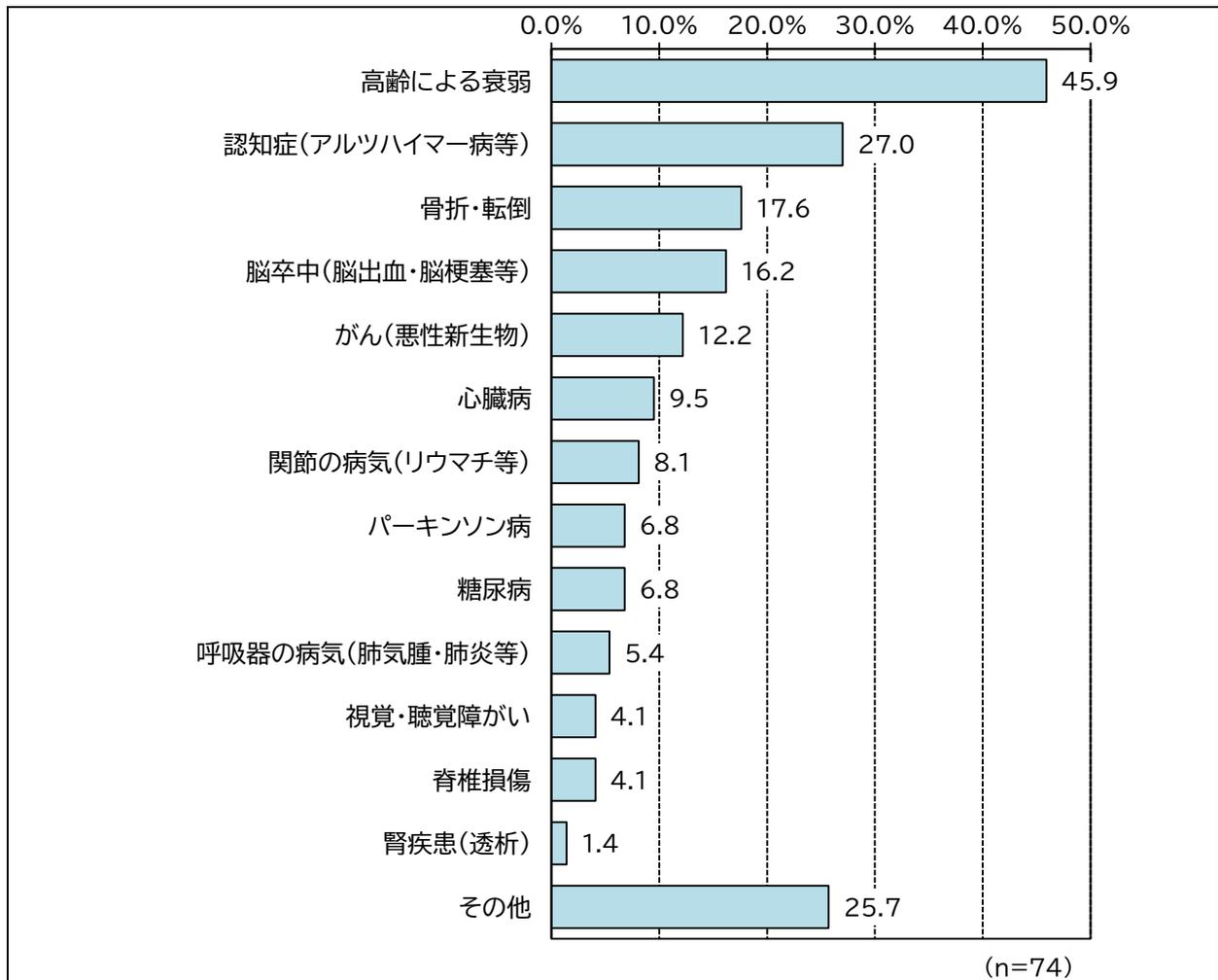
問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。(1つだけ○)



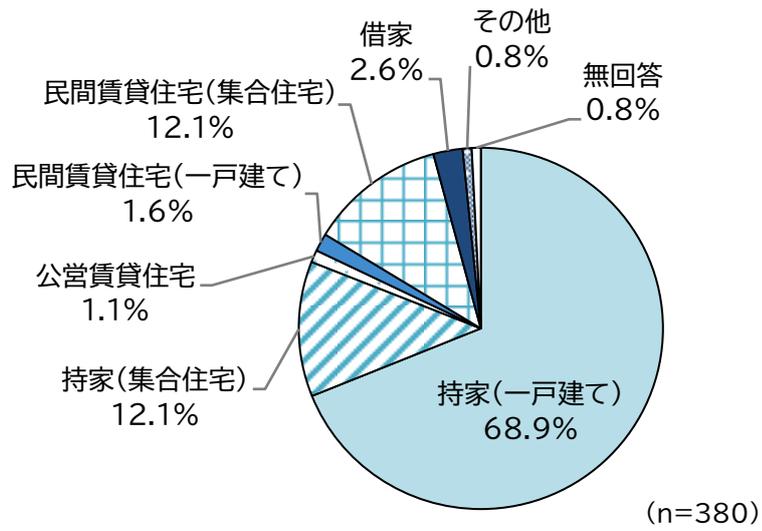
問1-2で「2.何らかの介護・介助を行っている」と回答した方
 問1-2-1 主にどなたの介護・介助を行っていますか。(いくつでも○)



1-2で「2.何らかの介護・介助を行っている」と回答した方
 問1-2-2 その方の、介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも○)



問1-3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)



3. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

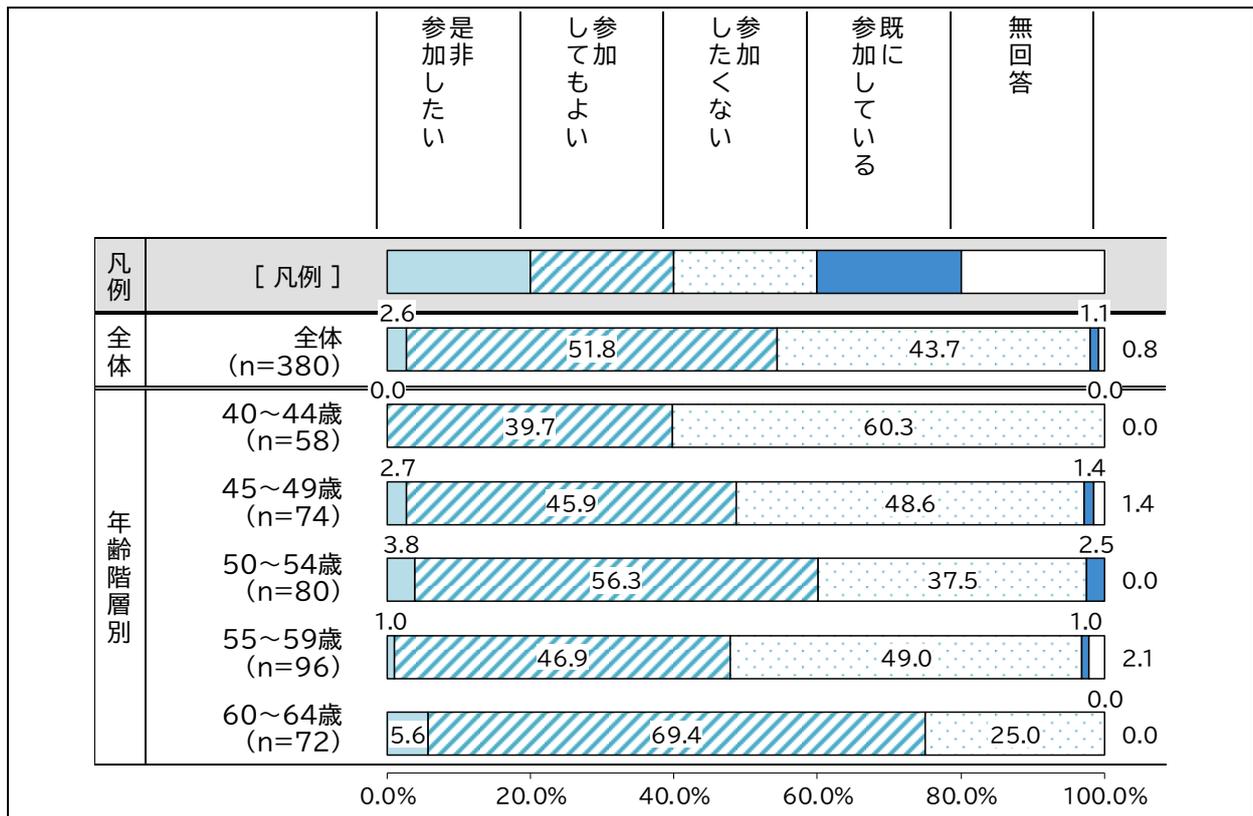
問2-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑤のそれぞれに1つだけ○)

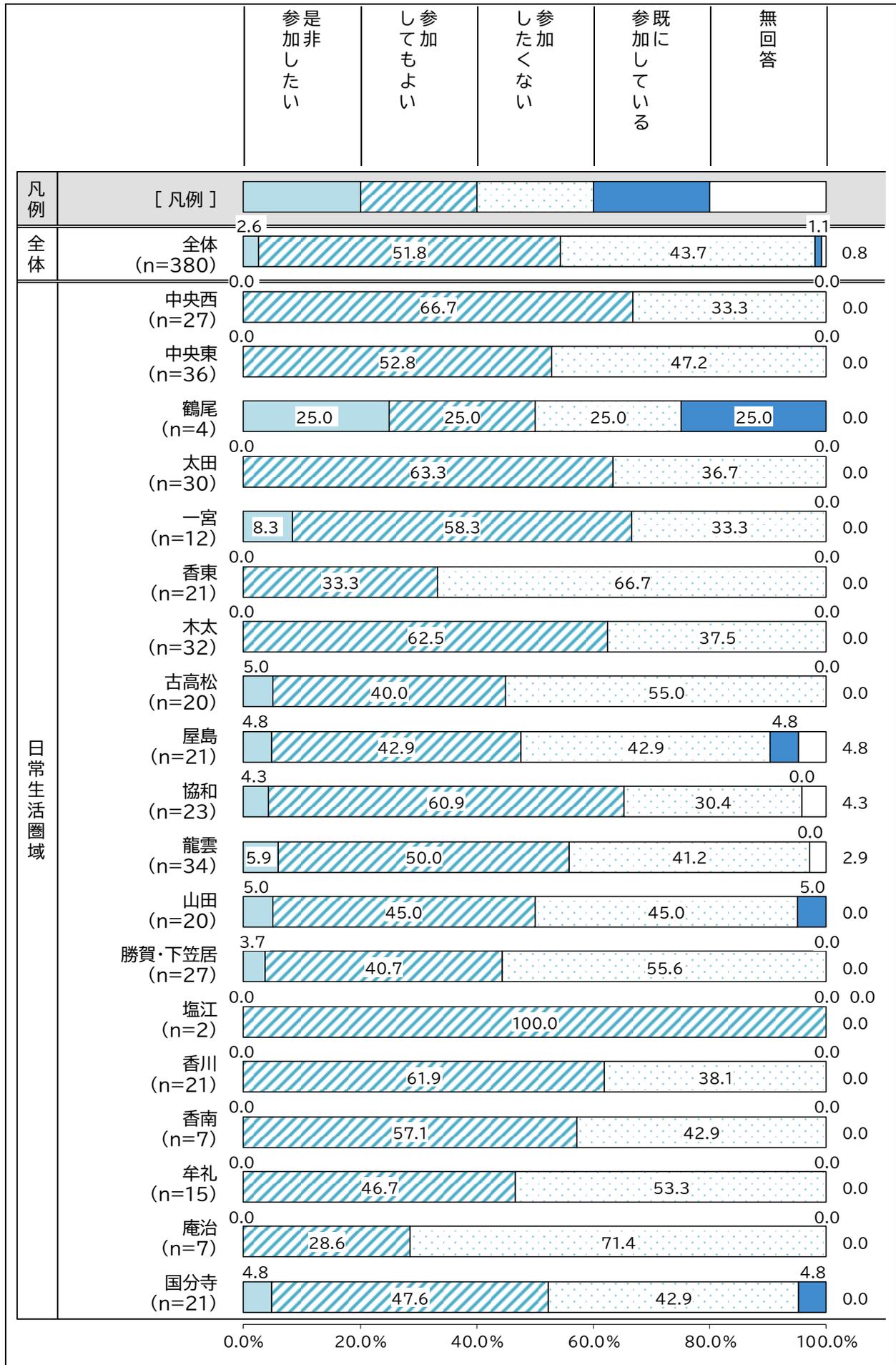
	母数 (n)	(単位:%)							参加週1回以上 “上人”
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
①ボランティアのグループ	380	-	1.3	1.1	2.4	4.7	85.3	5.3	2.4
②スポーツ関係のグループやクラブ	380	1.3	4.7	6.1	2.9	2.1	77.1	5.8	12.1
③趣味関係のグループ	380	0.3	1.1	3.9	5.8	6.6	76.1	6.3	5.3
④学習・教養サークル	380	-	0.5	1.3	2.4	1.6	86.6	7.6	1.8
⑤町内会・自治会	380	-	-	0.5	3.7	32.4	60.5	2.9	0.5

※上位1位、上位2位には色付けをしている。

(2) 地域づくりへの参加意向(参加者)

問2-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

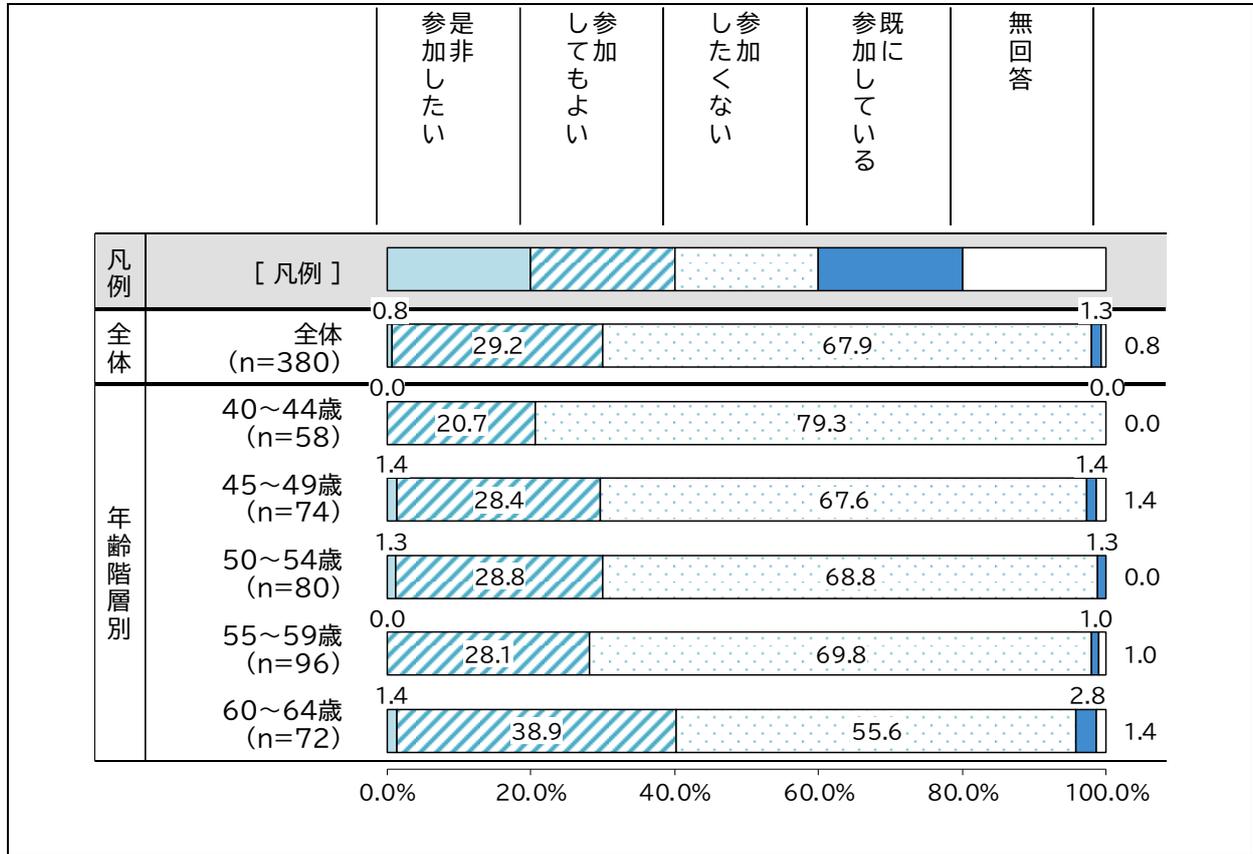


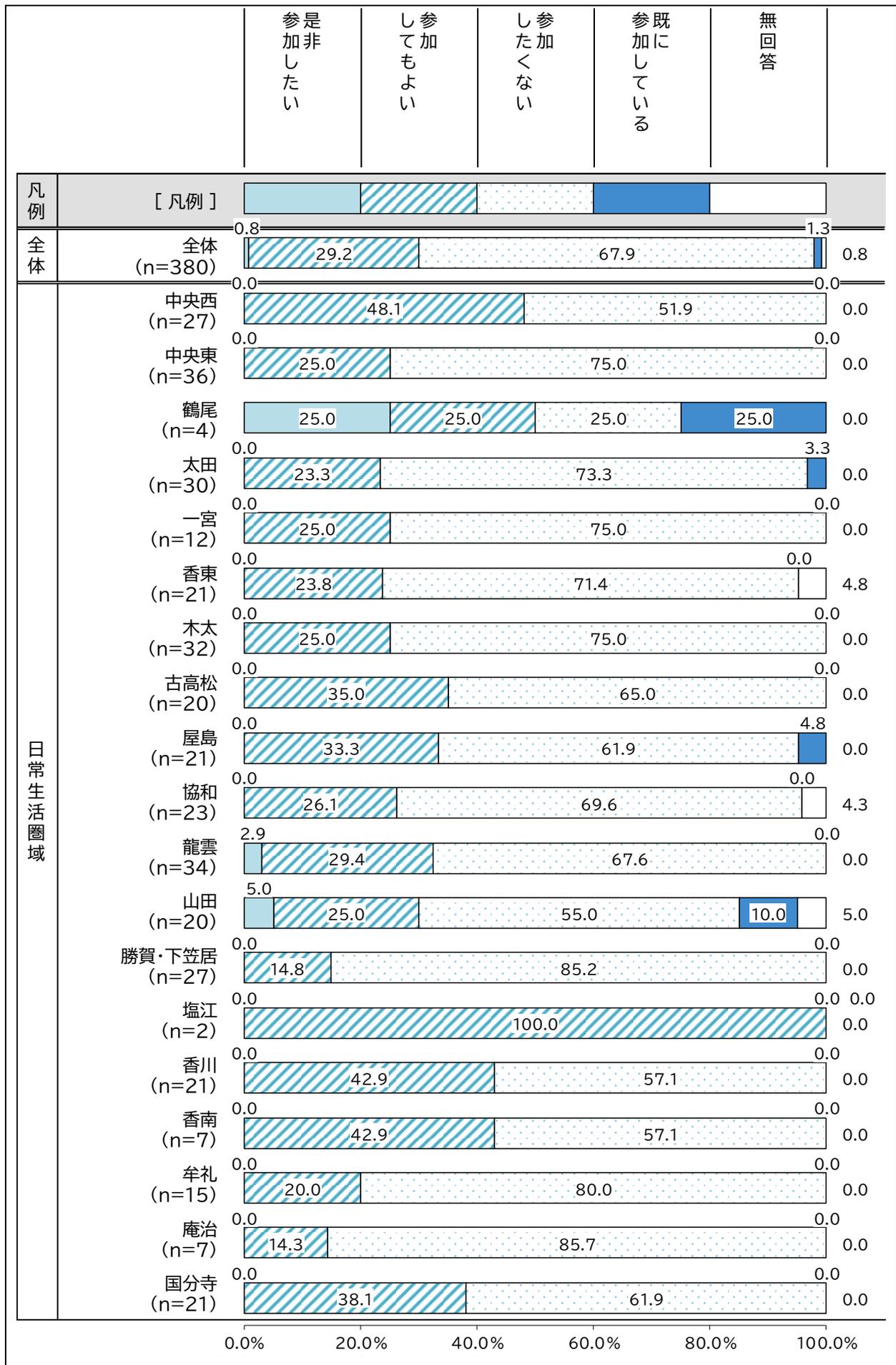


● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(3)地域づくりへの参加意向(企画・運営)

問2-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

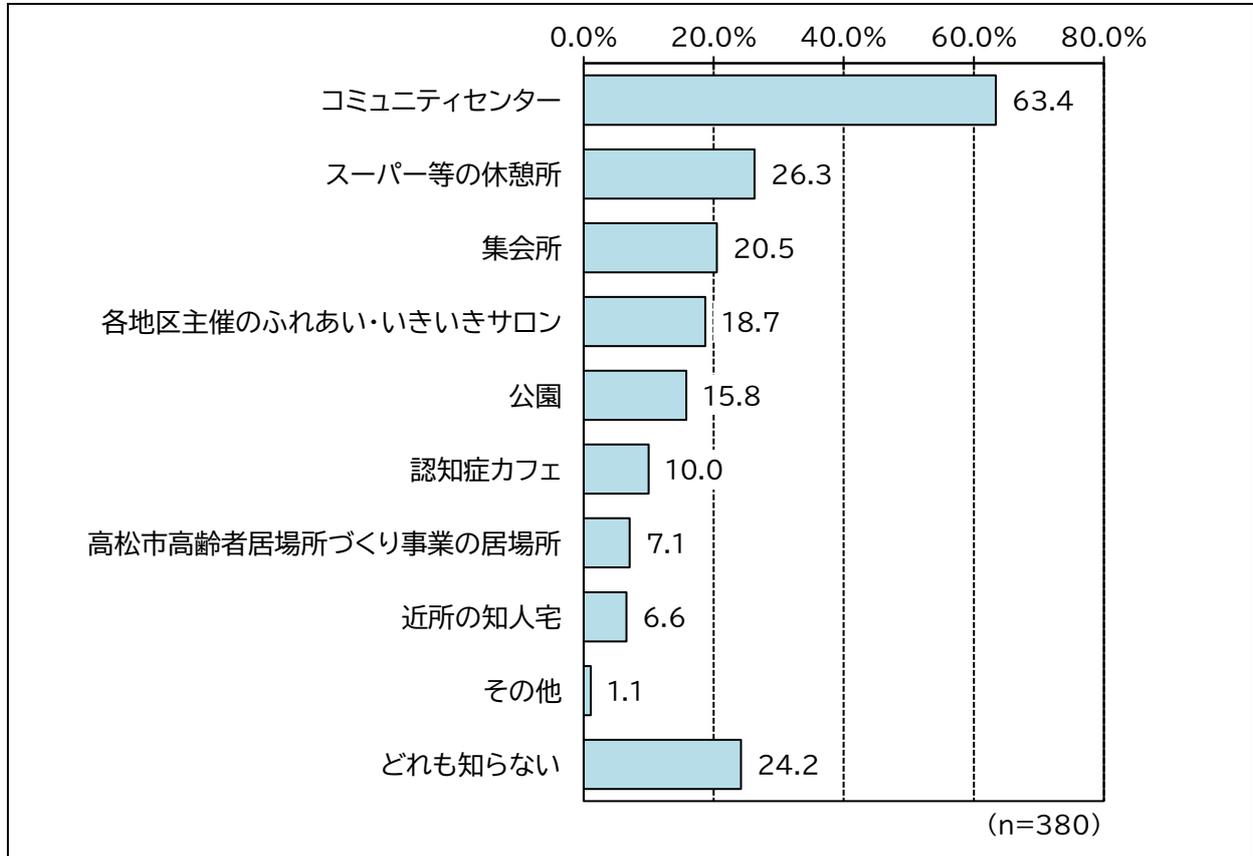




4. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて

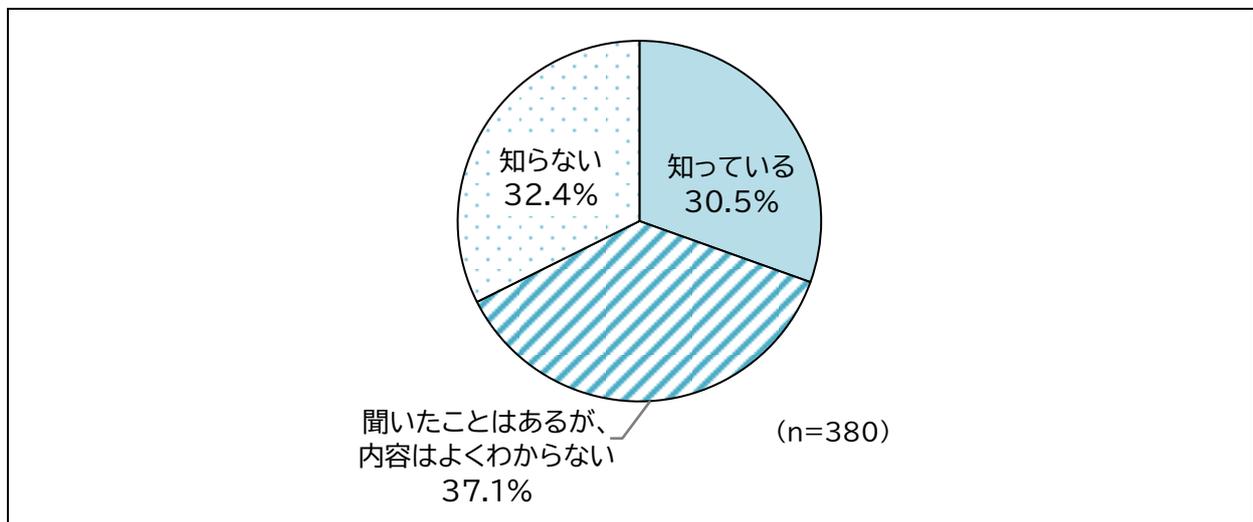
(1) 高齢者の居場所づくり

問3-1 近所の高齢者が気軽に集える場所について、知っているものはありますか。
(いくつでも○)

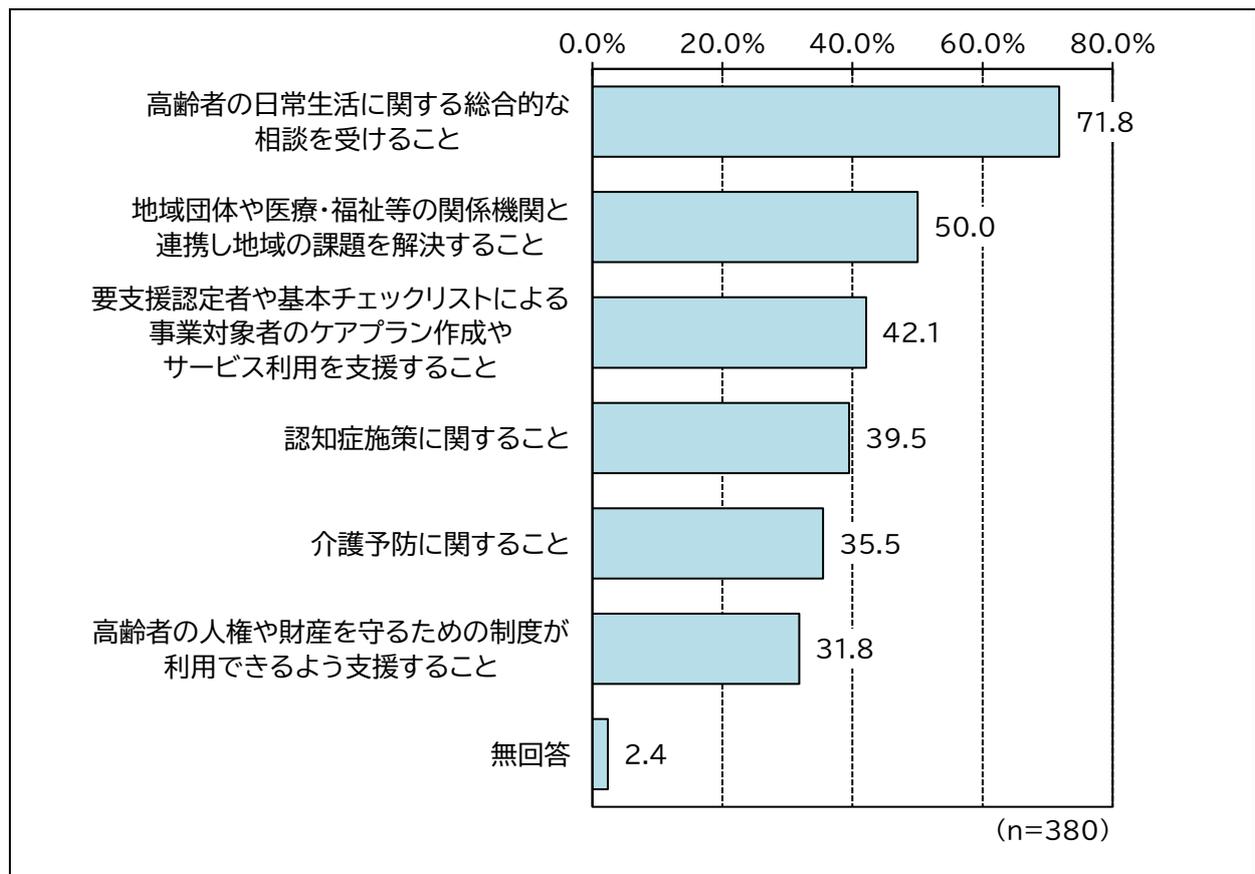


(2) 高松市地域包括支援センターについて

問3-2 高松市では、地域における高齢者の身近な相談窓口として、「高松市地域包括支援センター」を設置しています。
「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけ○)



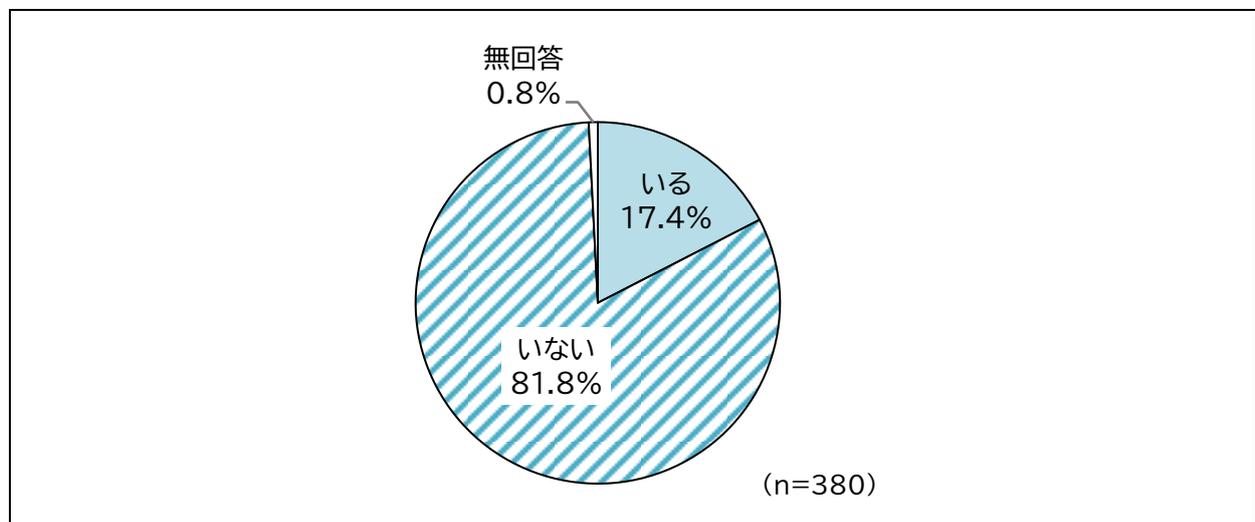
問3-3 地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。
(いくつでも○)



5. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて

(1) 本人または家族の認知症の症状について

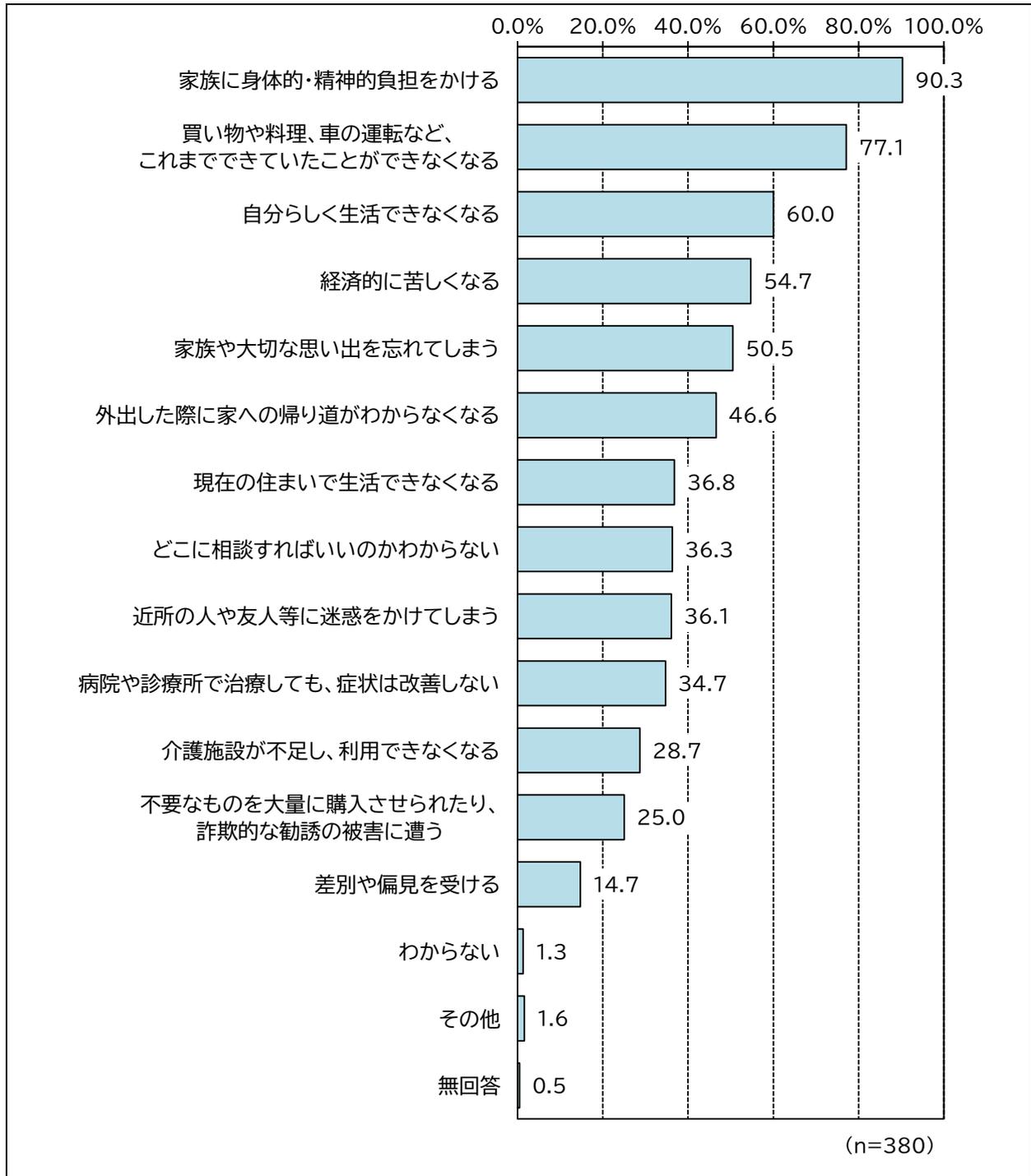
問4-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○)



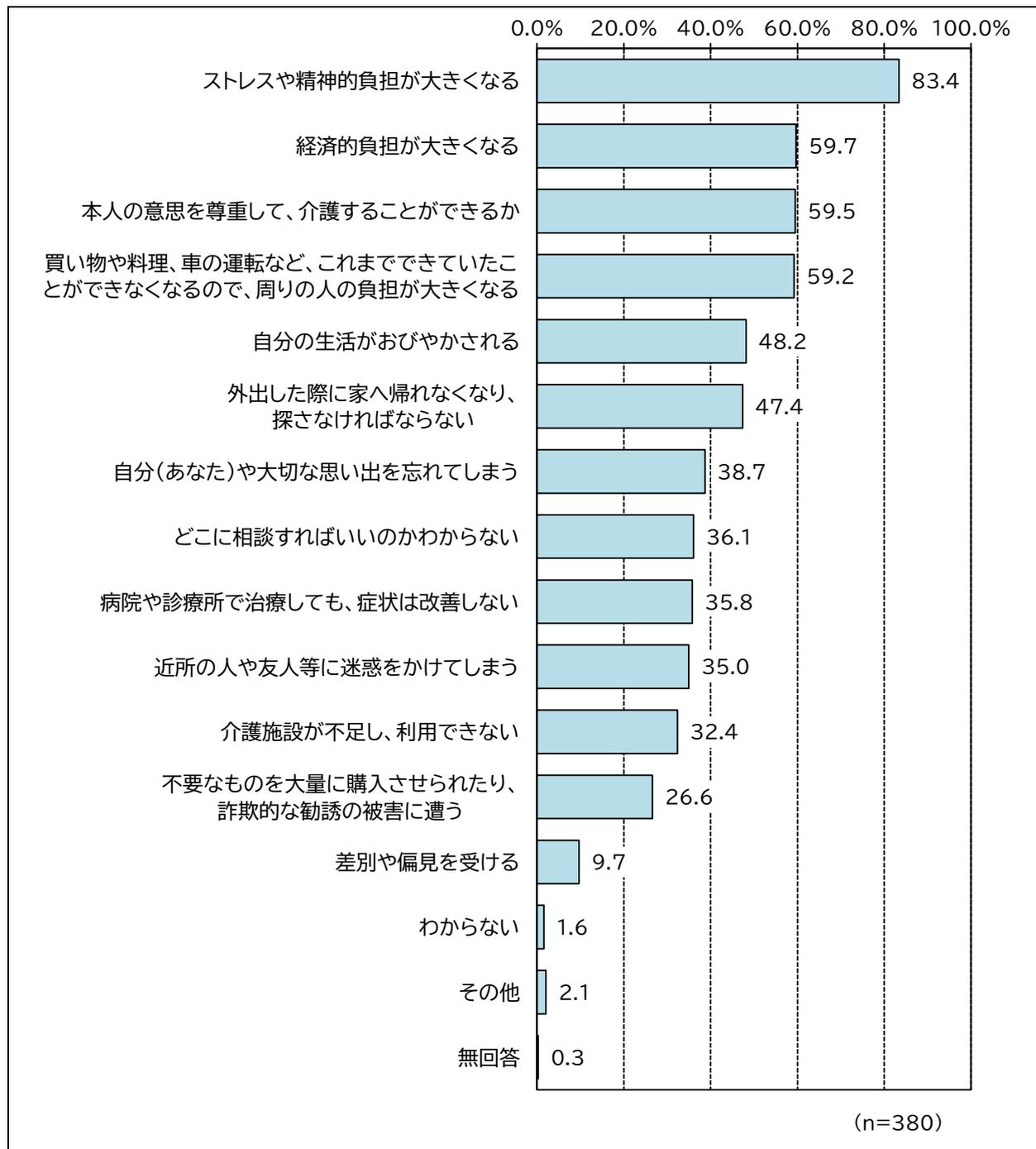
● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(2) 認知症に対する不安

問4-2 もし、あなたが認知症になったらしたら、どのようなことに不安を感じるといいますか。
(いくつでも○)

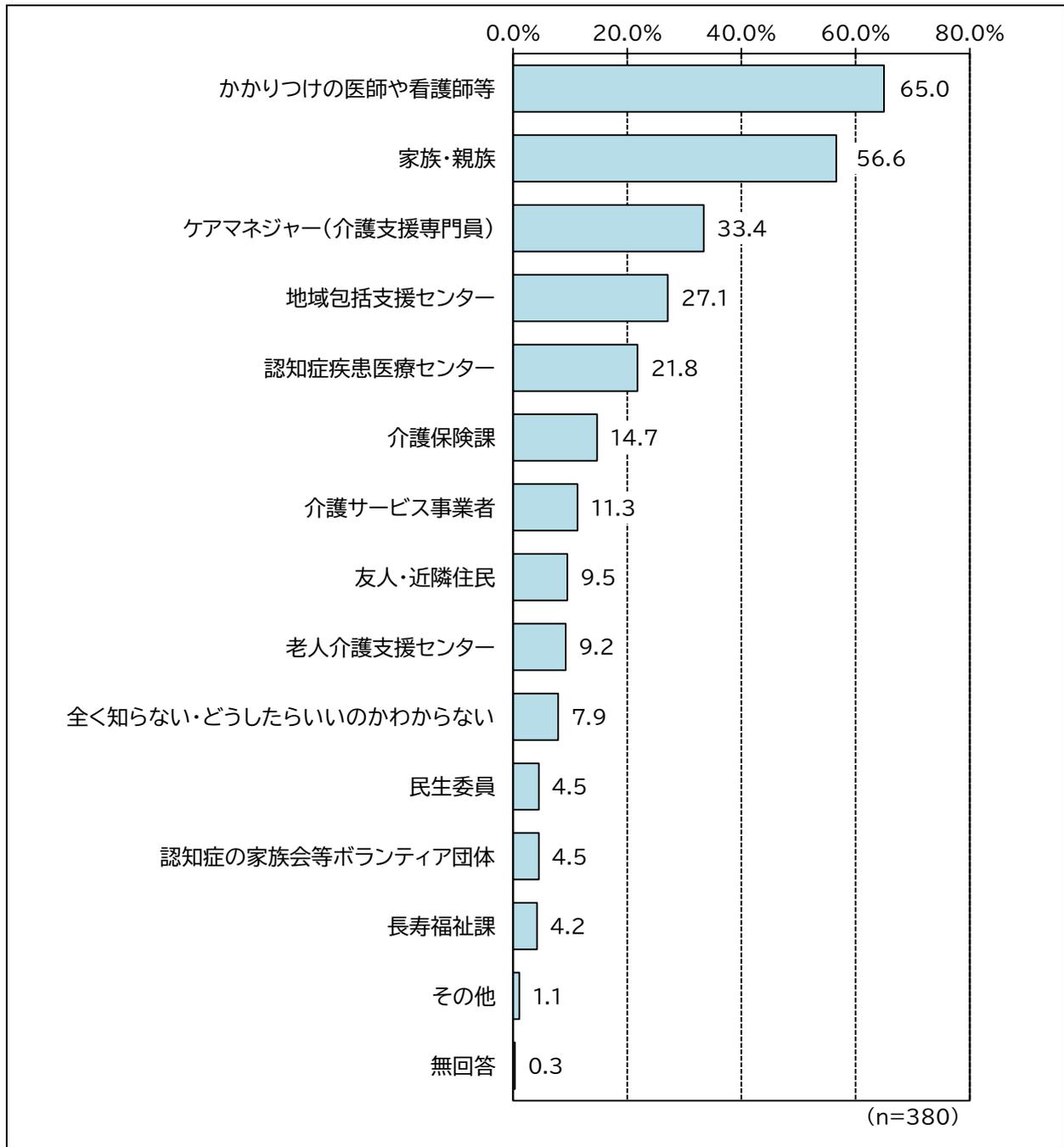


問4-3 もし、家族が認知症になったらしたら、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困りますか。(いくつでも○)

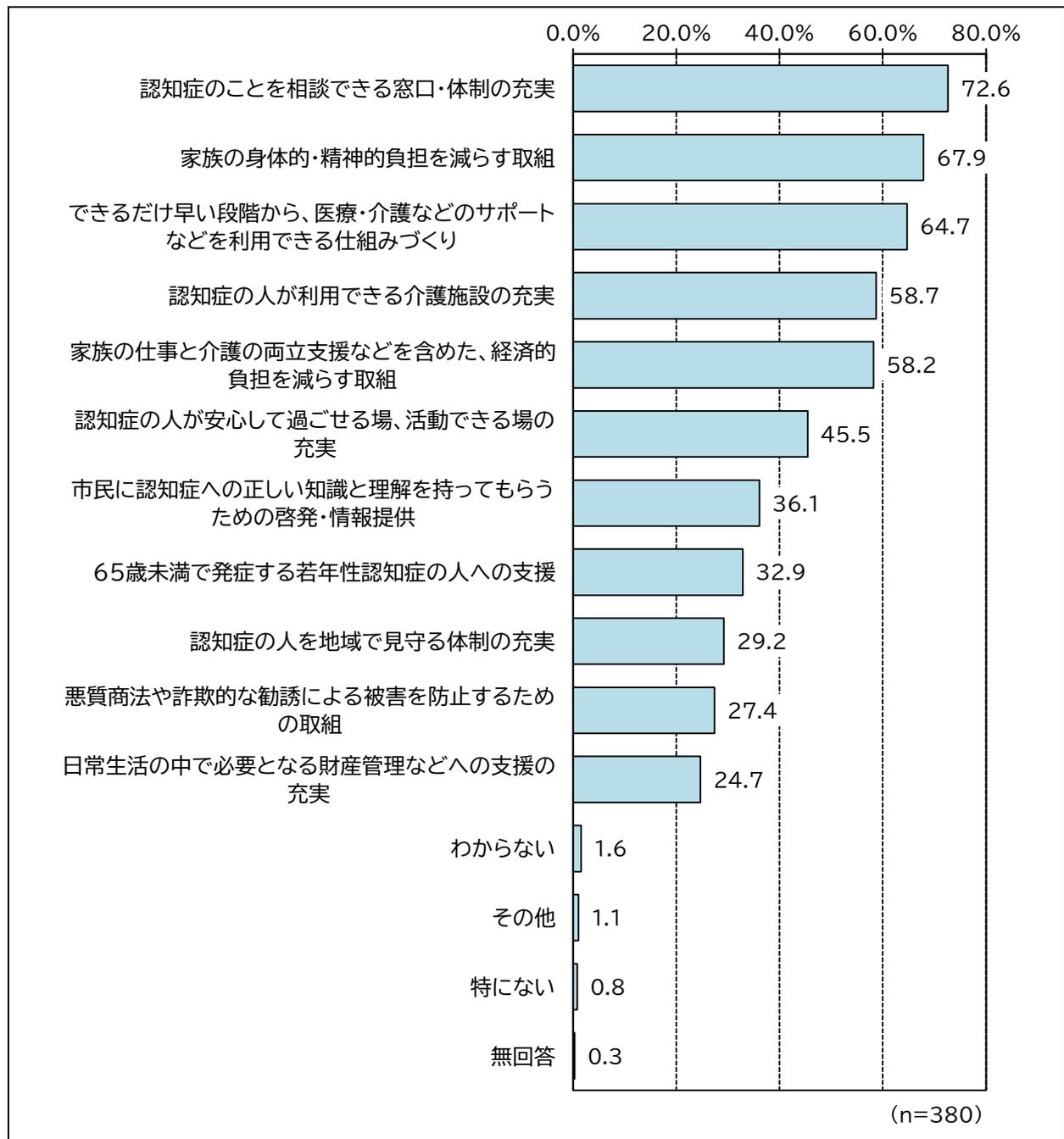


● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

問4-4 もし、あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときに、どこに相談
したいですか。(いくつでも○)



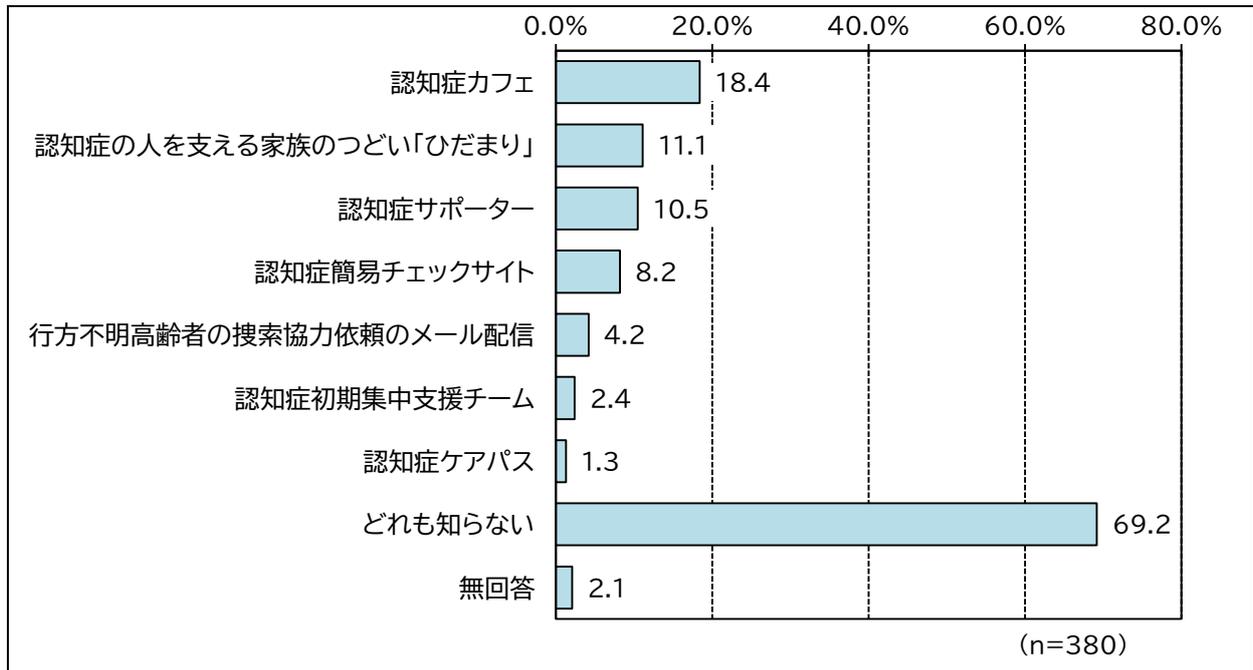
問4-5 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(いくつでも○)



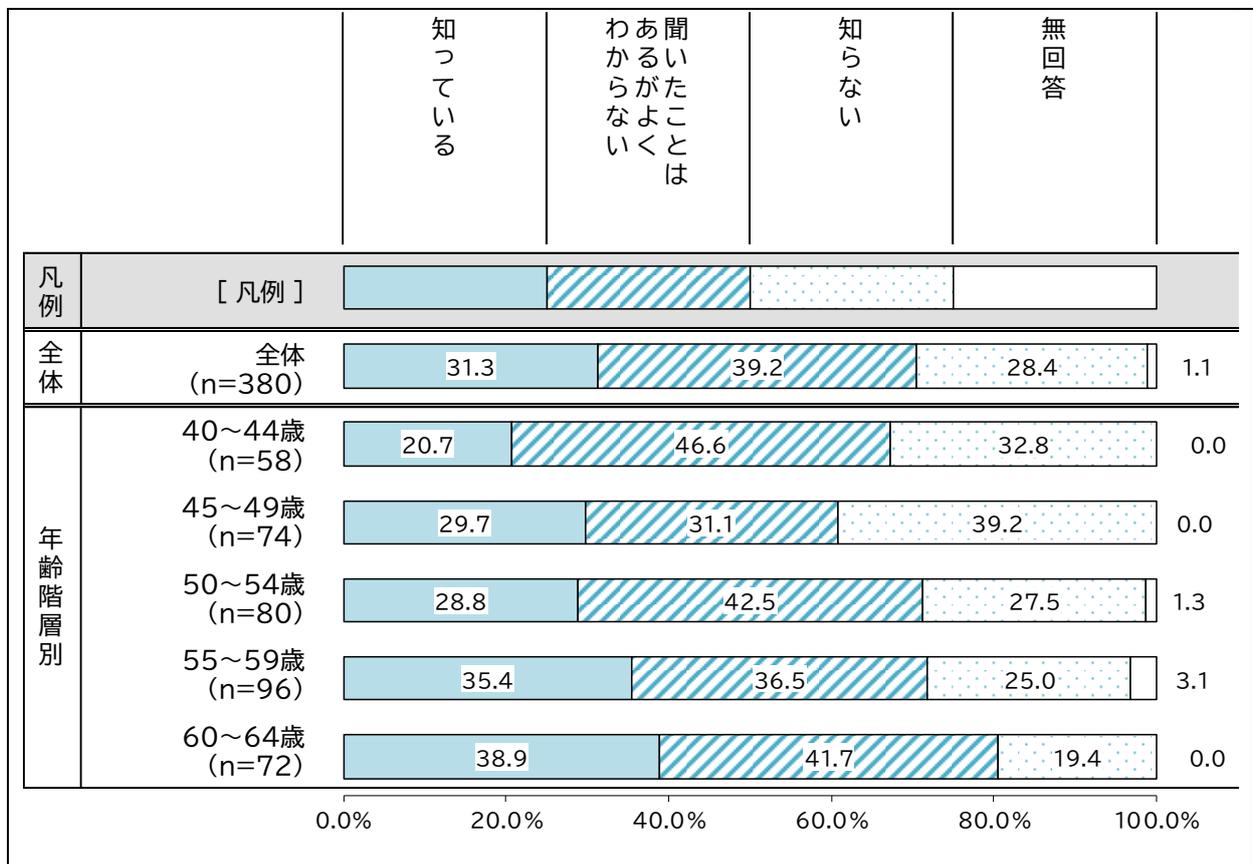
● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(3) 認知症に対する取組について

問4-6 高松市の認知症についての取組について、知っていることはありますか。
(いくつでも○)



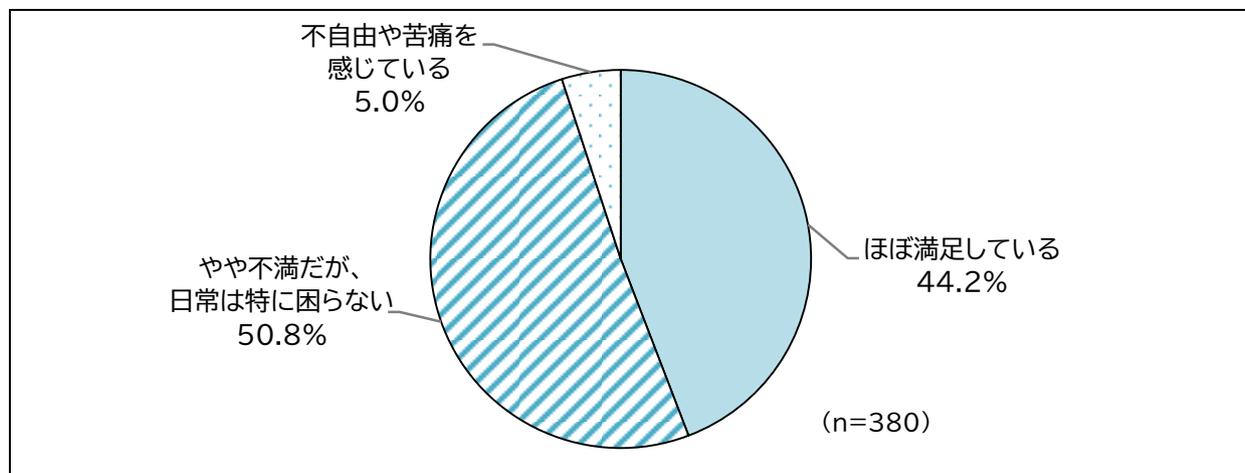
問4-7 認知症等で判断能力が十分でない方に、本人に代わって法的に支援できる成年後見制度を知っていますか。(1つだけ○)



6. 健康づくりについて

(1)健康への取組について

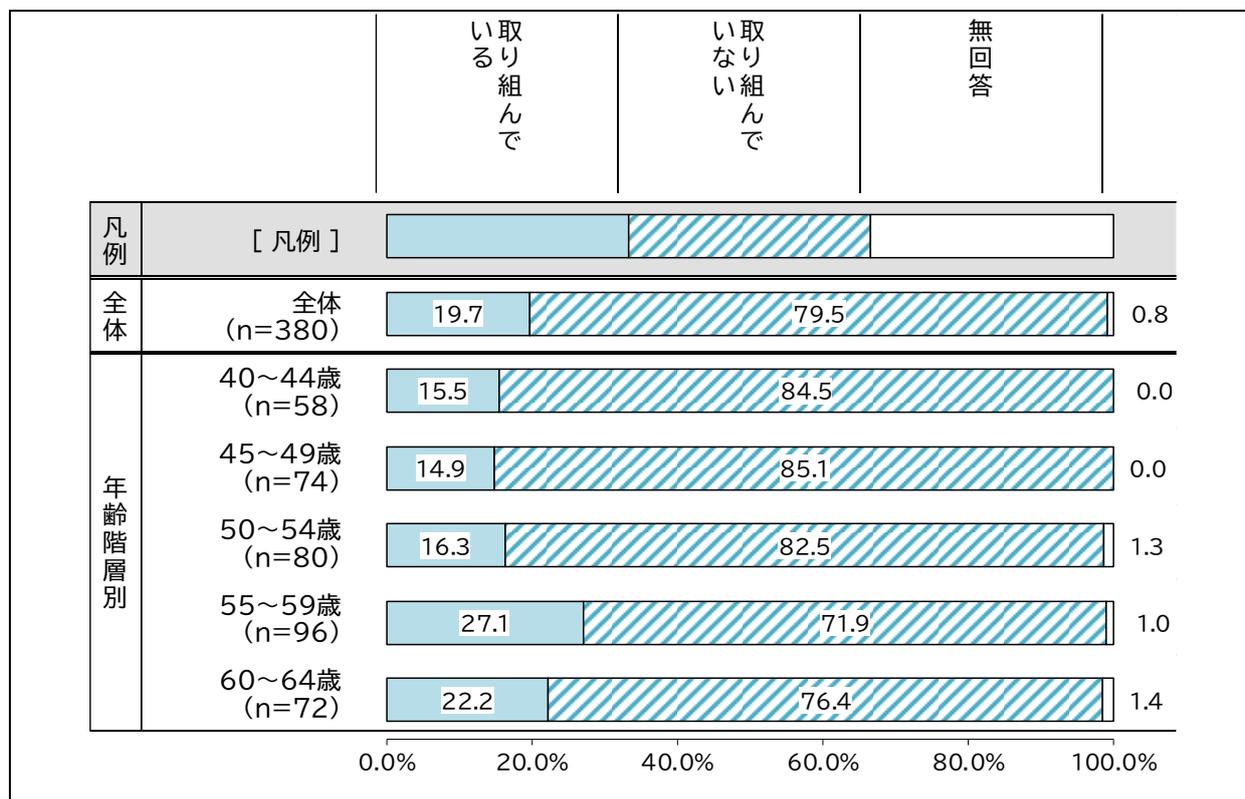
問5-1 現在、あなたの歯や口の中の状態について、どのように感じていますか(入れ歯を入れた状態でもかまいません)。(1つだけ○)



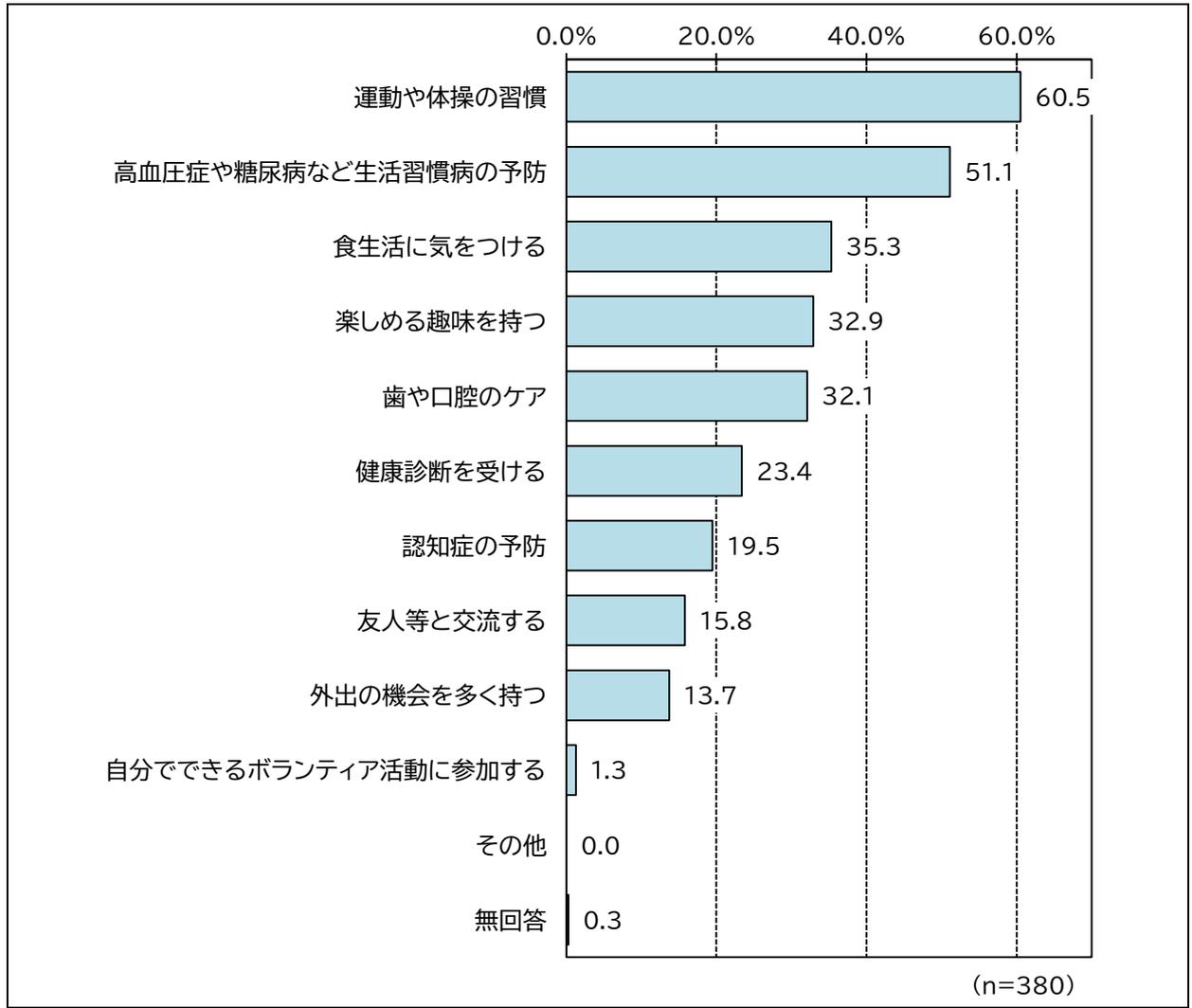
7. 一般介護予防事業について

(1)介護予防への取組について

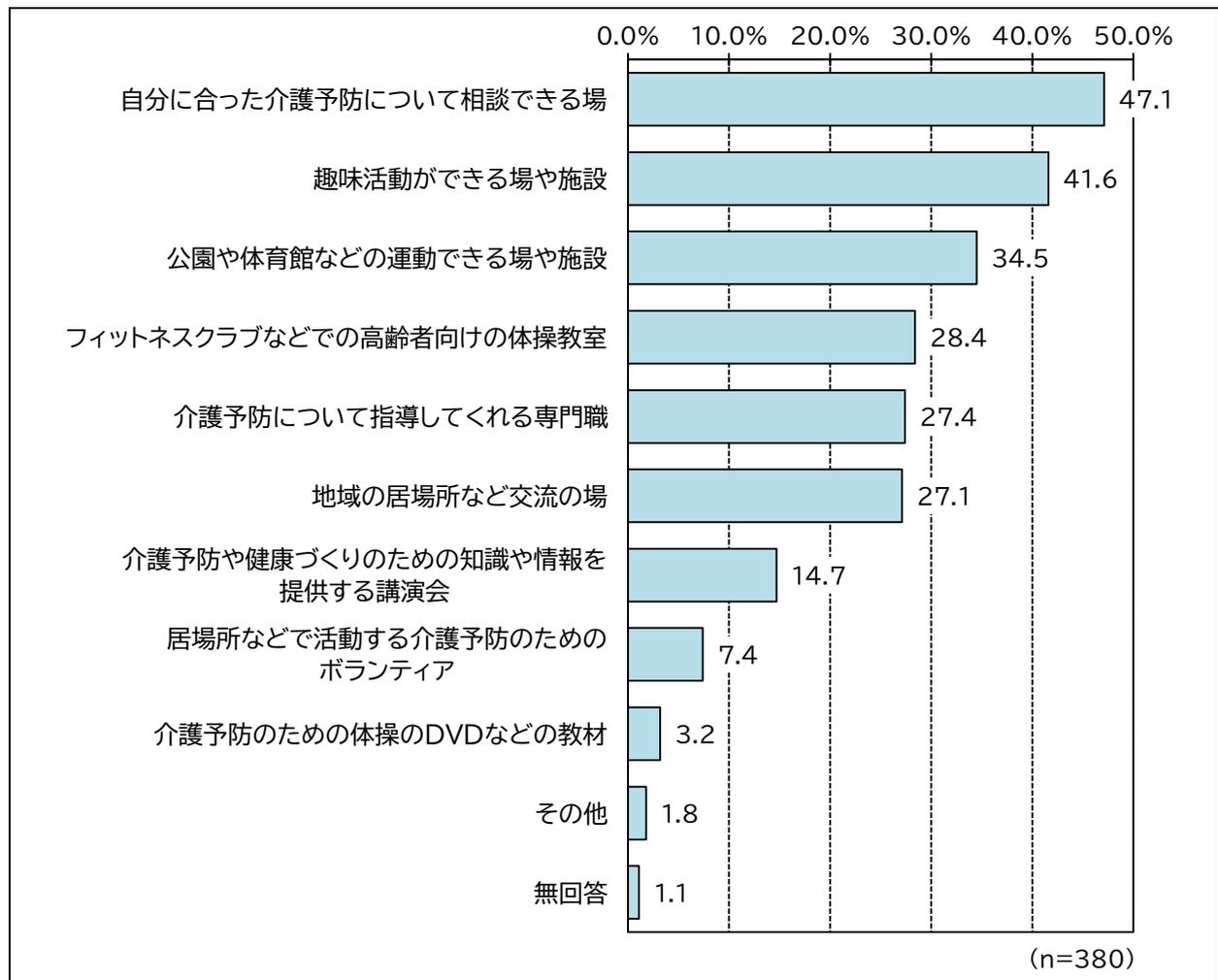
問6-1 フレイル対策が重視されている中、現在あなたは介護予防に取り組んでいますか。(1つだけ○)



問6-2 介護予防の上で重要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

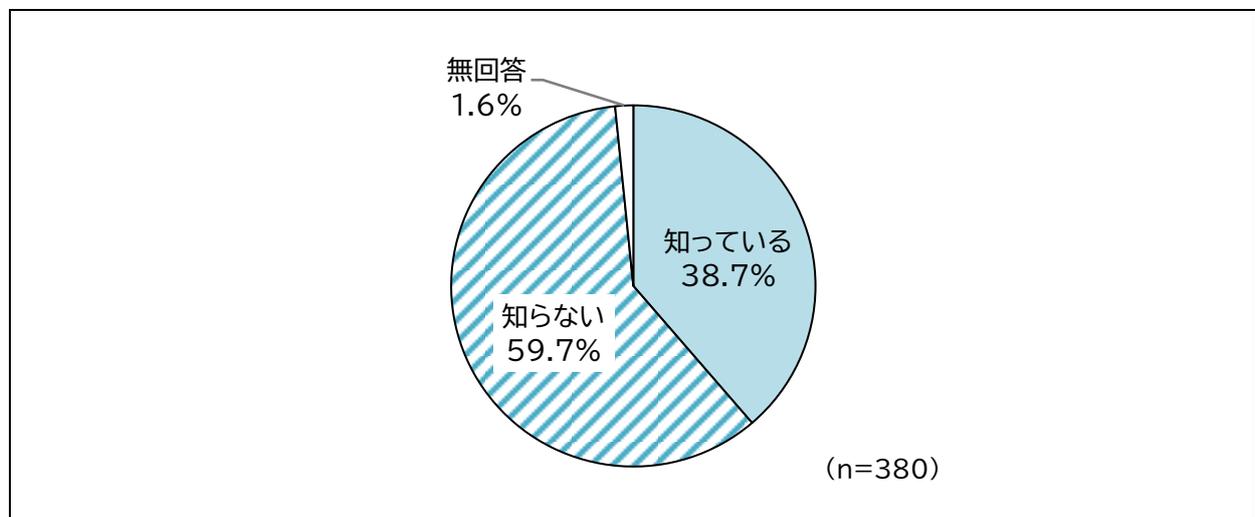


問6-3 自分で介護予防に取り組むためにどのようなものがあればよいと思いますか。
(3つまで○)



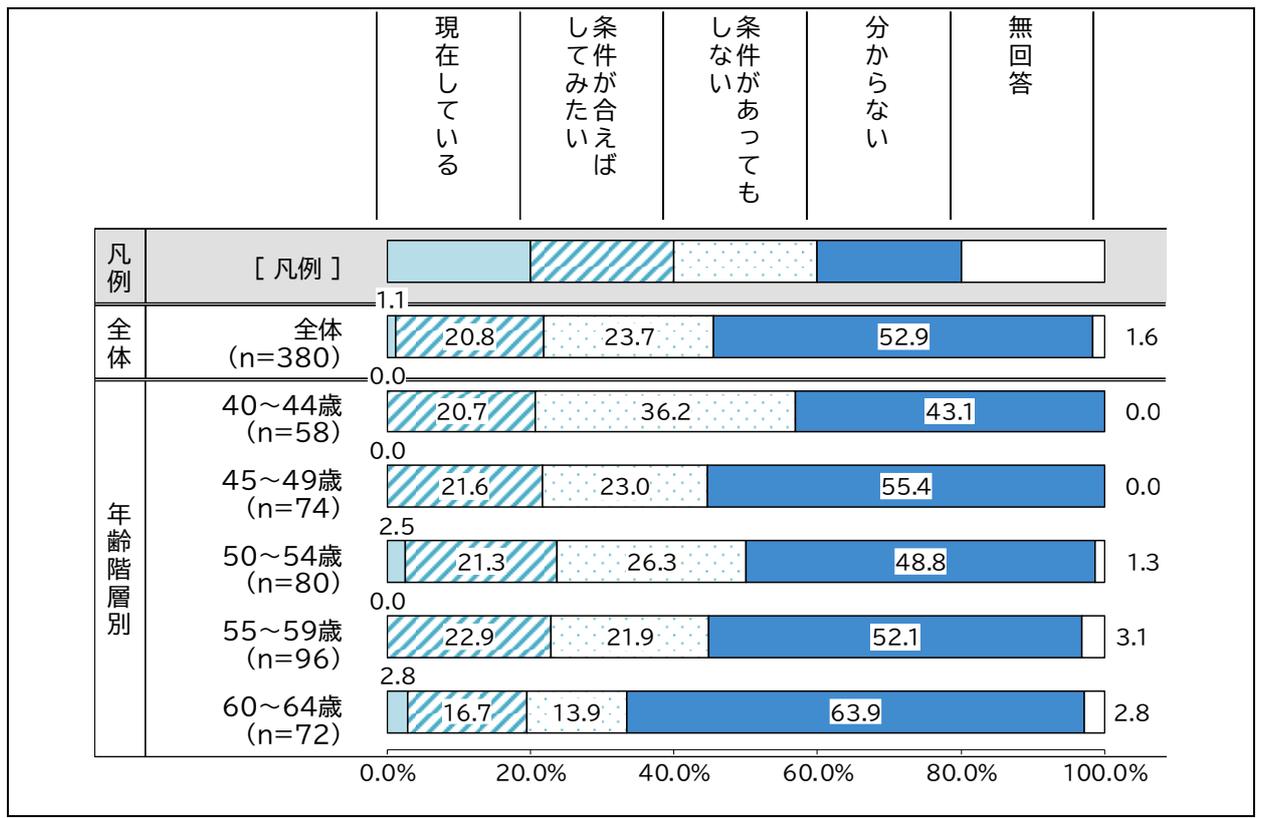
(2) 介護予防とボランティア活動について

問6-4 ボランティア活動などの社会参加が介護予防に効果があることは、知っていますか。
(1つだけ○)



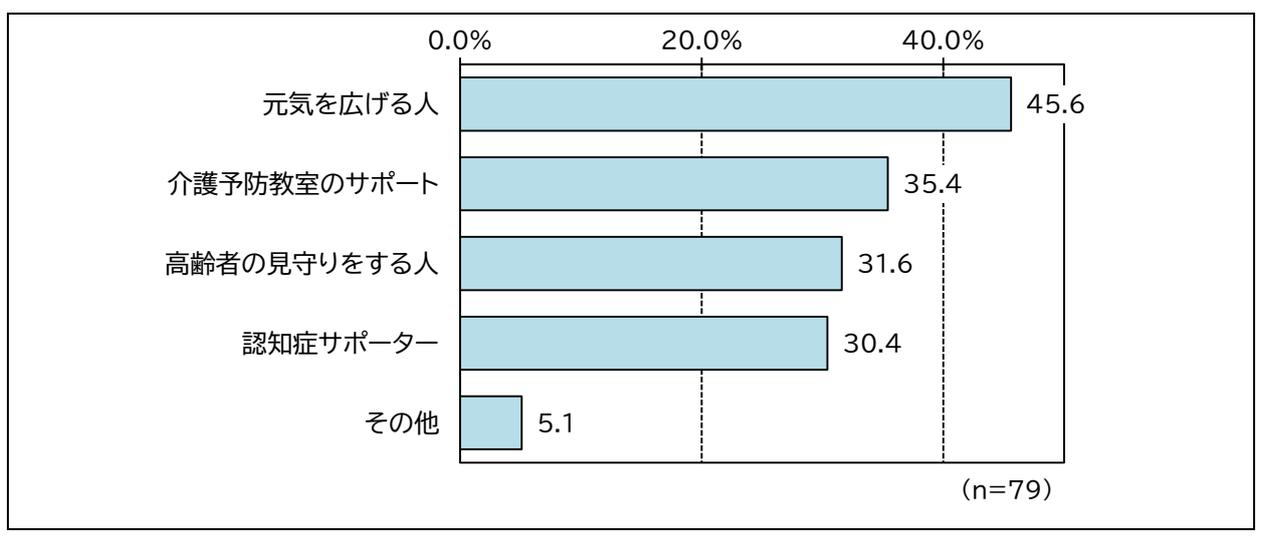
● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

問6-5 様々なボランティア活動の種類がありますが、中でも、介護予防ボランティアの活動をしてみたいですか。(1つだけ○)



第3章

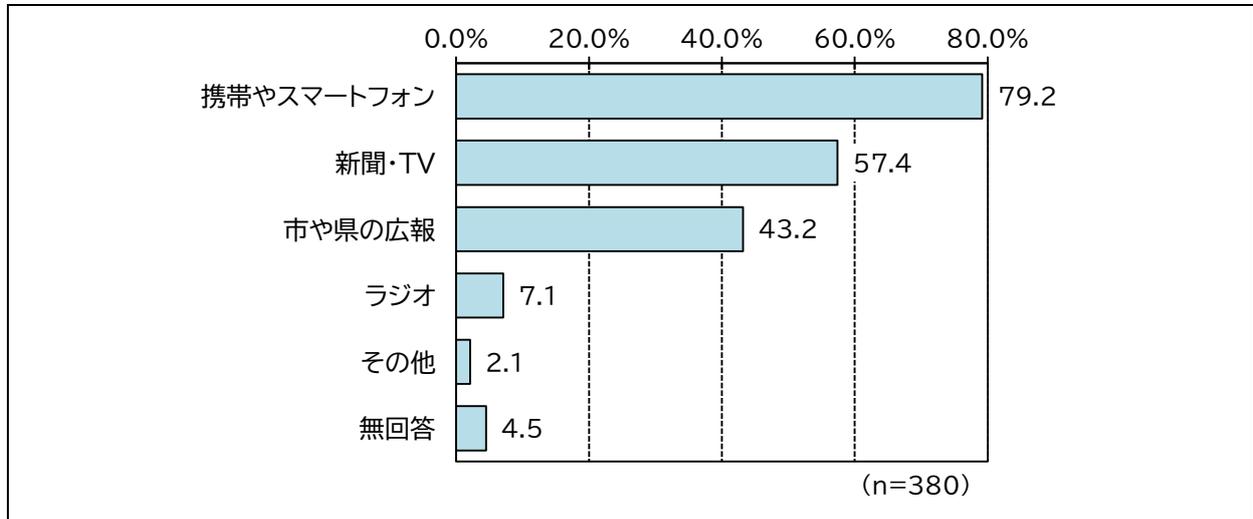
問6-5で「2. 条件が合えばしてみたい」と回答した方
問6-5-1 どのような介護予防ボランティア活動をしてみたいですか。(いくつでも○)



8. 高齢者の保健福祉について

(1) 情報収集手段

問7-1 日常の情報収集手段は何ですか。(いくつでも○)



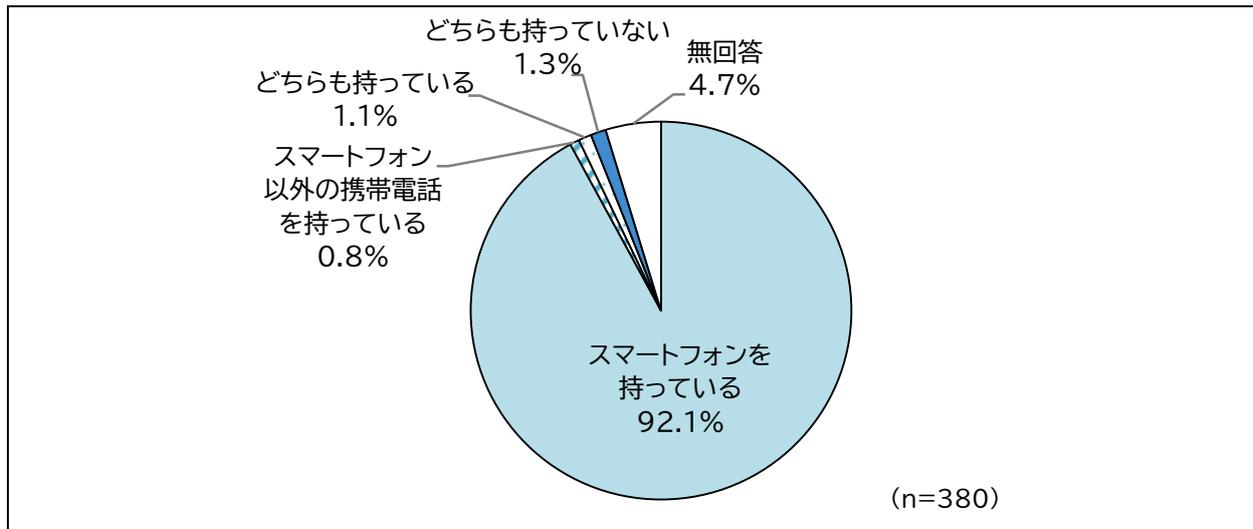
(単位%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=380)		携帯やスマートフォン 79.2	新聞・TV 57.4	市や県の広報 43.2
年齢階層別	40～44歳 (n=58)	携帯やスマートフォン 93.1	新聞・TV 53.4	市や県の広報 36.2
	45～49歳 (n=74)	携帯やスマートフォン 85.1	新聞・TV 40.5	市や県の広報 37.8
	50～54歳 (n=80)	携帯やスマートフォン 77.5	新聞・TV 65.0	市や県の広報 48.8
	55～59歳 (n=96)	携帯やスマートフォン 77.1	新聞・TV 57.3	市や県の広報 41.7
	60～64歳 (n=72)	新聞・TV 69.4	携帯やスマートフォン 66.7	市や県の広報 50.0

● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(2) 携帯電話

問7-2 現在、携帯電話を持っていますか。(1つだけ○)



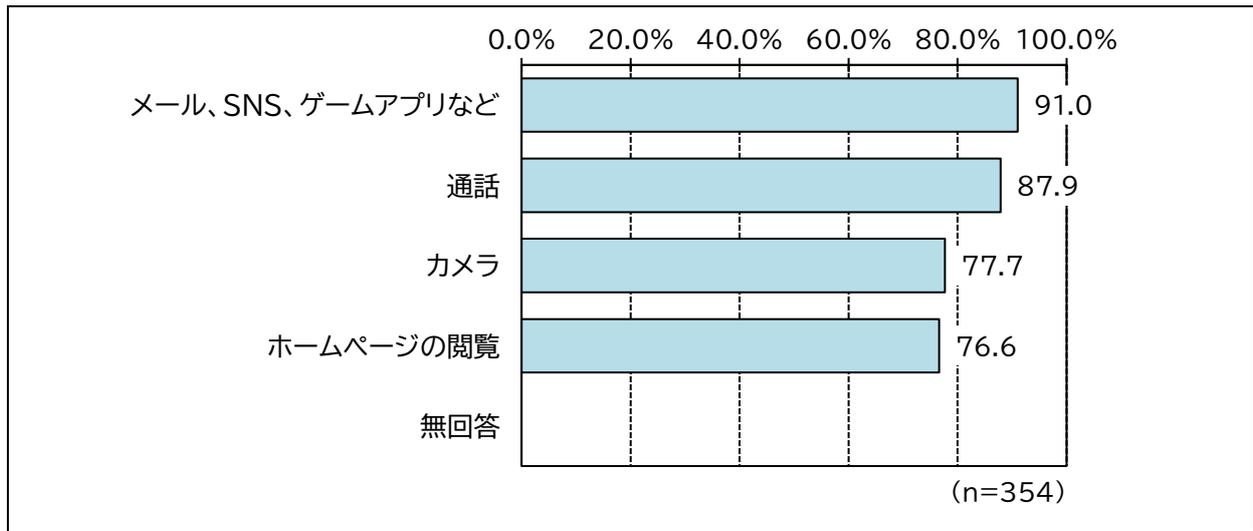
(単位:%)

	母数 (n)	携帯電話の所持状況				
		スマートフォンを持っている	スマートフォン以外の携帯電話を持っている	どちらも持っている	どちらも持っていない	無回答
全体	380	92.1	0.8	1.1	1.3	4.7
年齢階層別	40~44歳	96.6	-	-	-	3.4
	45~49歳	95.9	1.4	-	1.4	1.4
	50~54歳	93.8	-	1.3	1.3	3.8
	55~59歳	87.5	1.0	1.0	2.1	8.3
	60~64歳	88.9	1.4	2.8	1.4	5.6

※上位1位、上位2位には色付けをしている。

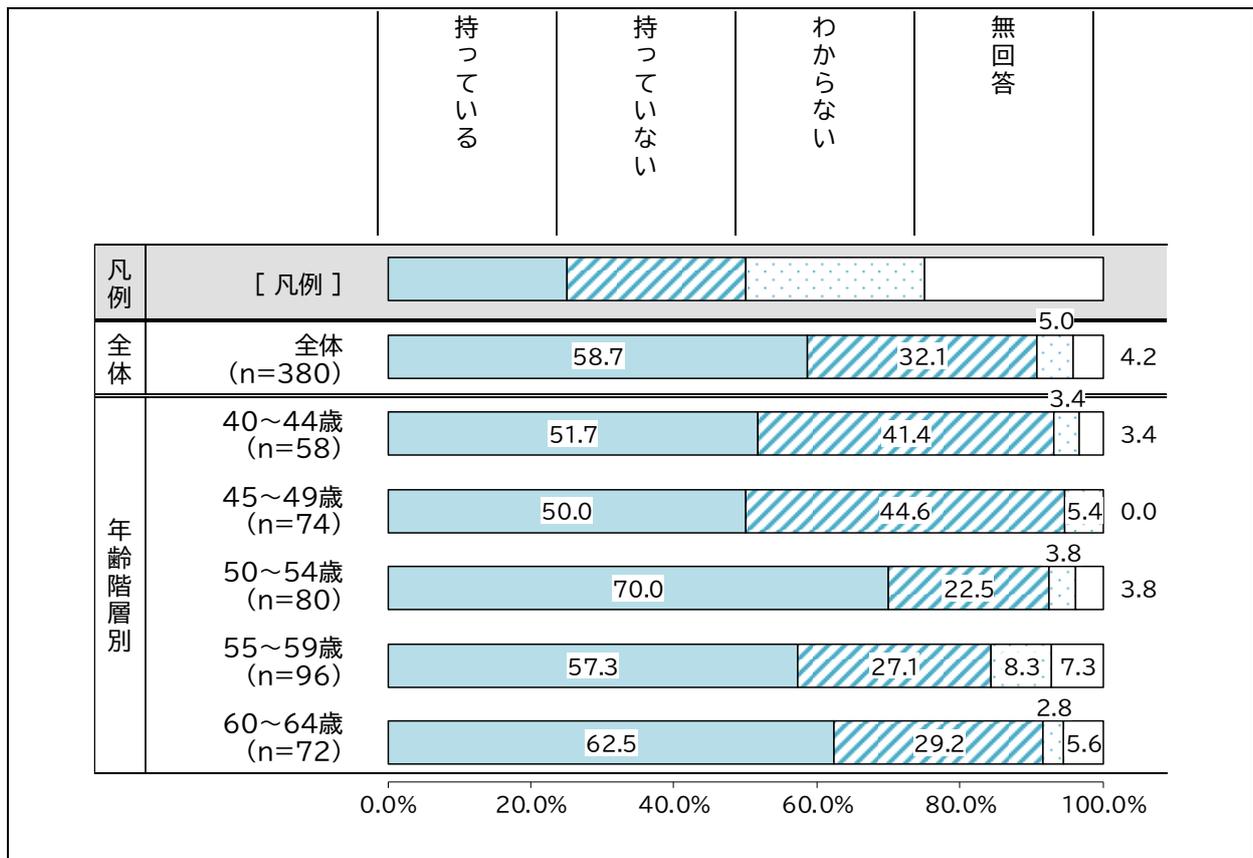
●年齢階層別に見ると、「スマートフォンを持っている」、「どちらも持っている」と回答したのは、「40~44歳」が96.6%と最も高くなっています。次いで、「45~49歳」95.9%、「50~54歳」95.1%と続いています。

問7-2で「1.スマートフォンを持っている」または「3.どちらも持っている」と回答した方
 問7-2-1 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。(いくつでも○)

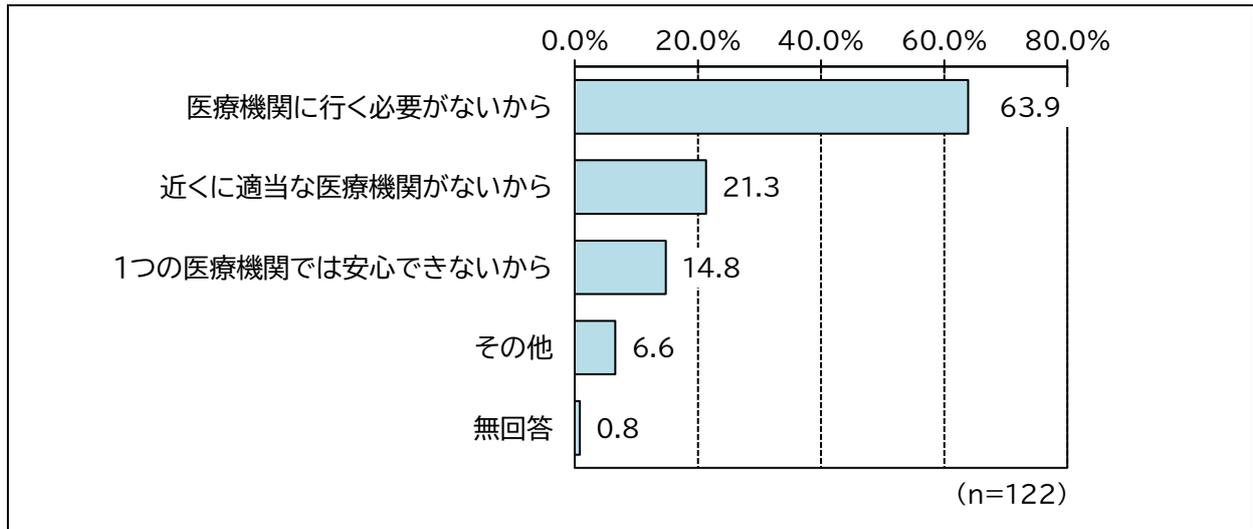


(3) かかりつけ医の有無について

問7-3 日頃から病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。(1つだけ○)

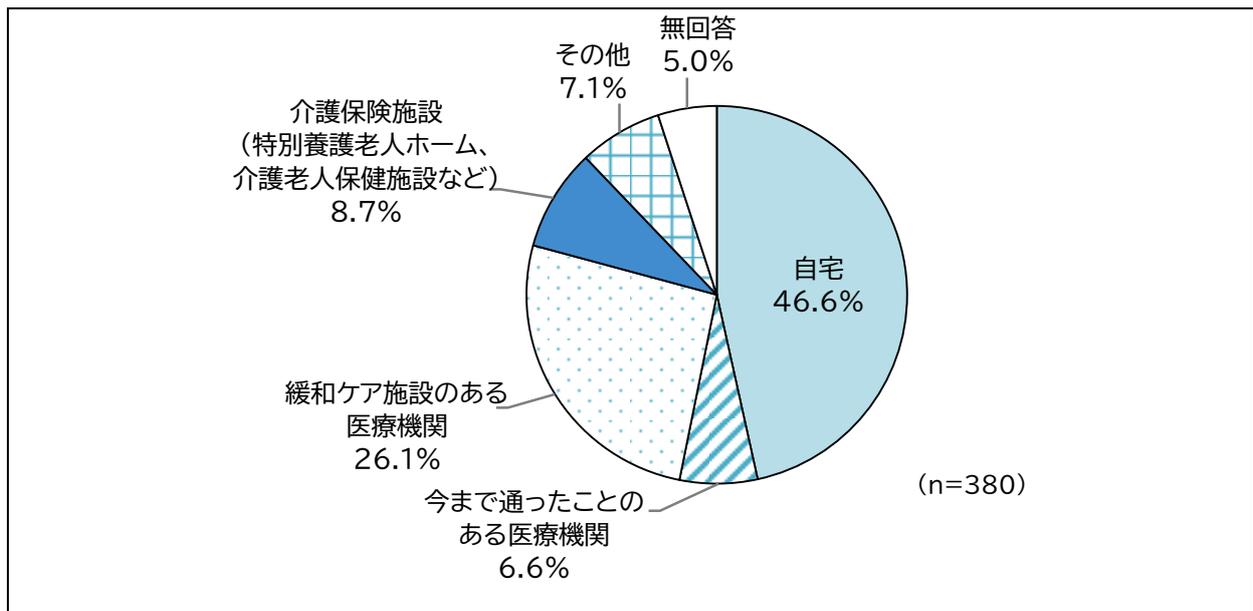


問7-3で「2. 持っていない」と回答した方
 問7-3-1 「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

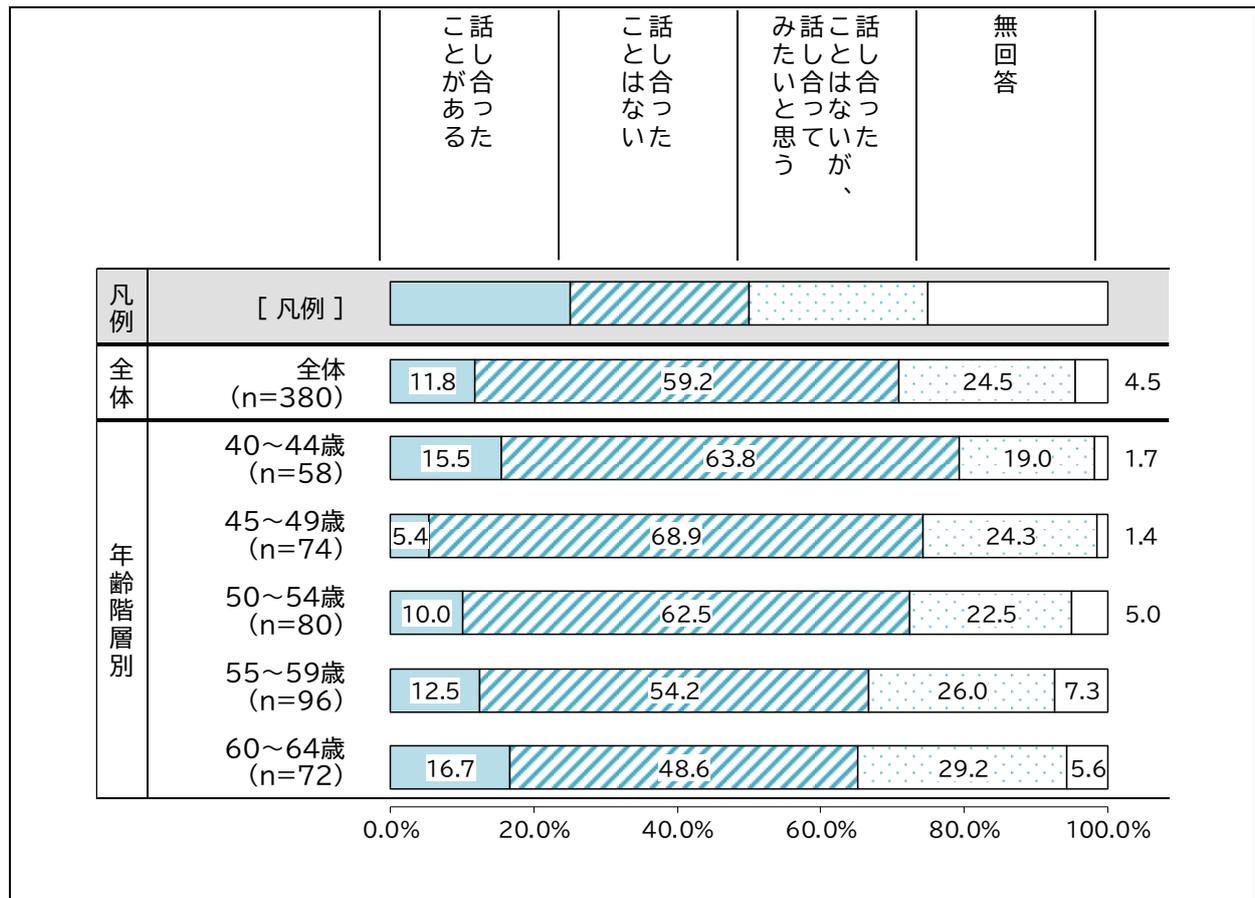


(4) 自分の最期について

問7-4 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○)



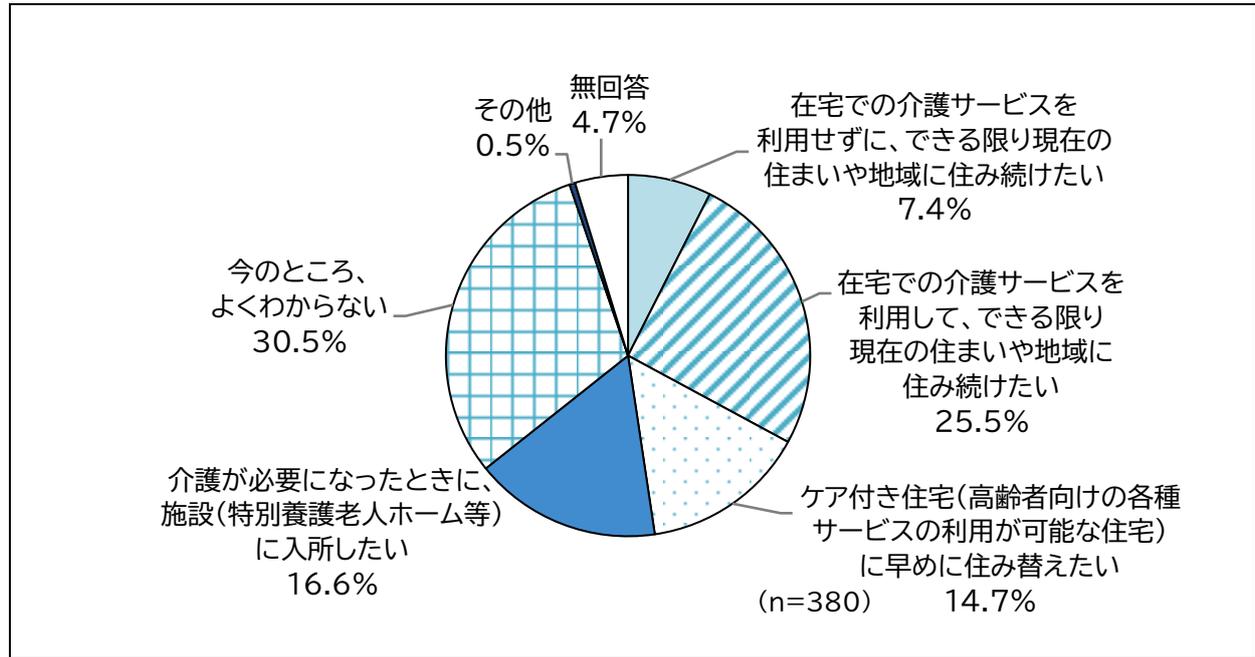
問7-5 自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。(1つだけ○)



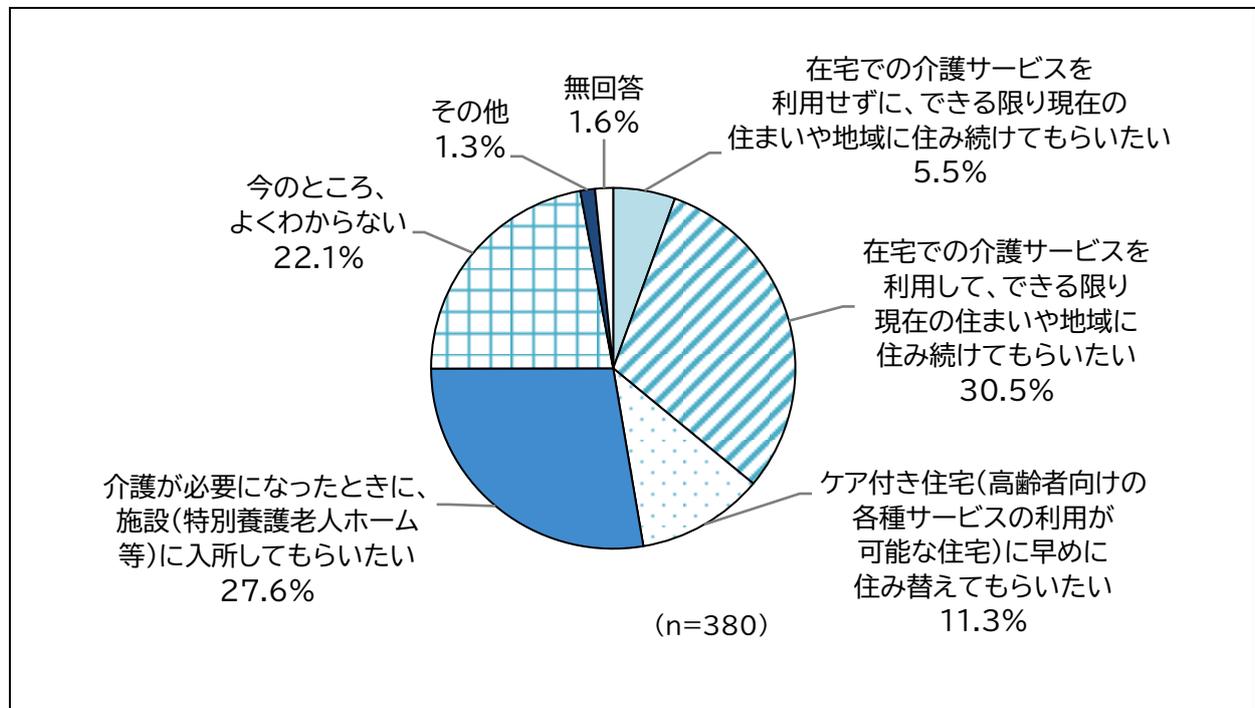
● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(5) 住まいと介護サービスの利用について

問7-6 将来、あなたに介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

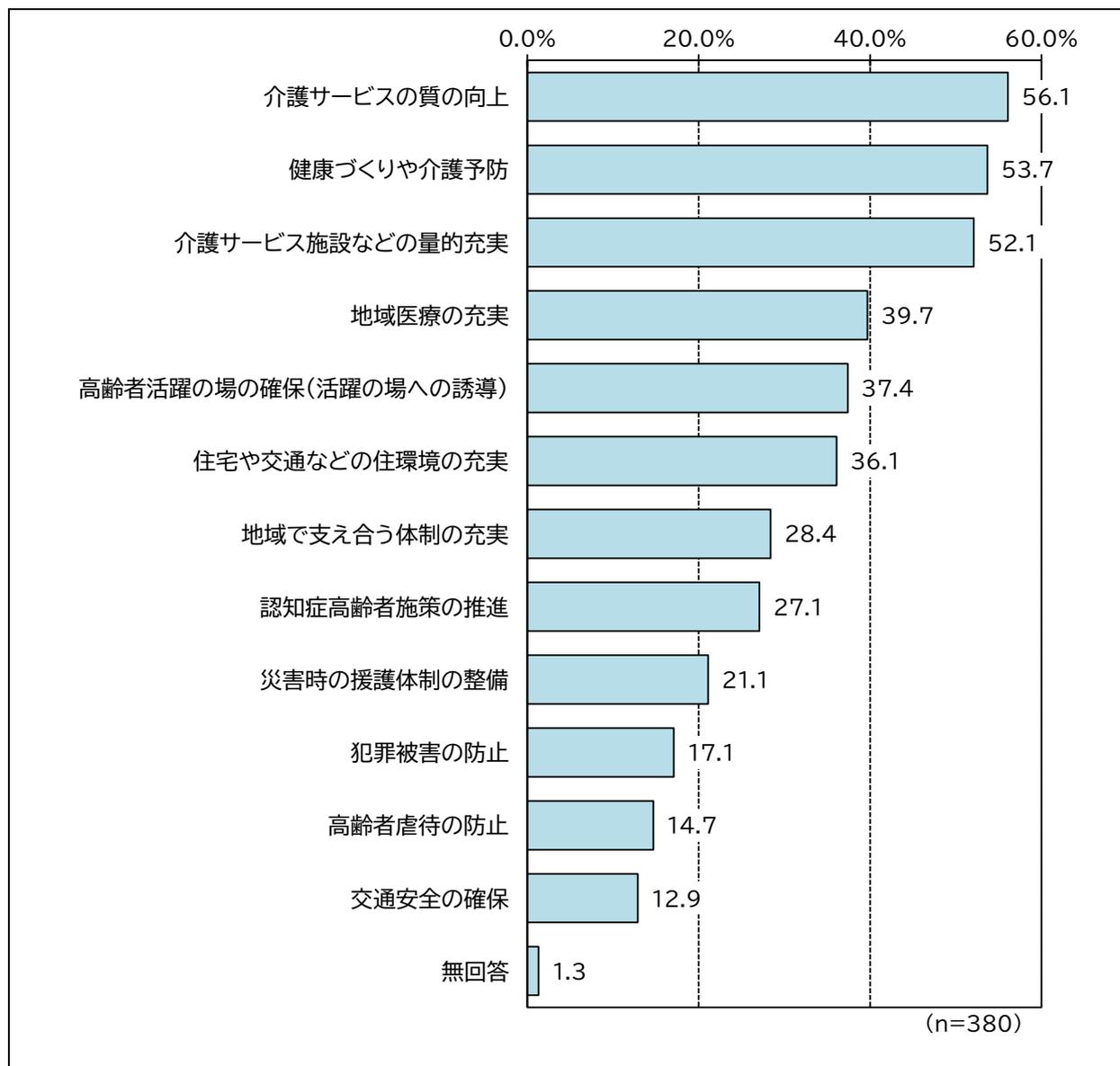


問7-7 あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)



(6)超高齢社会において重要な方策

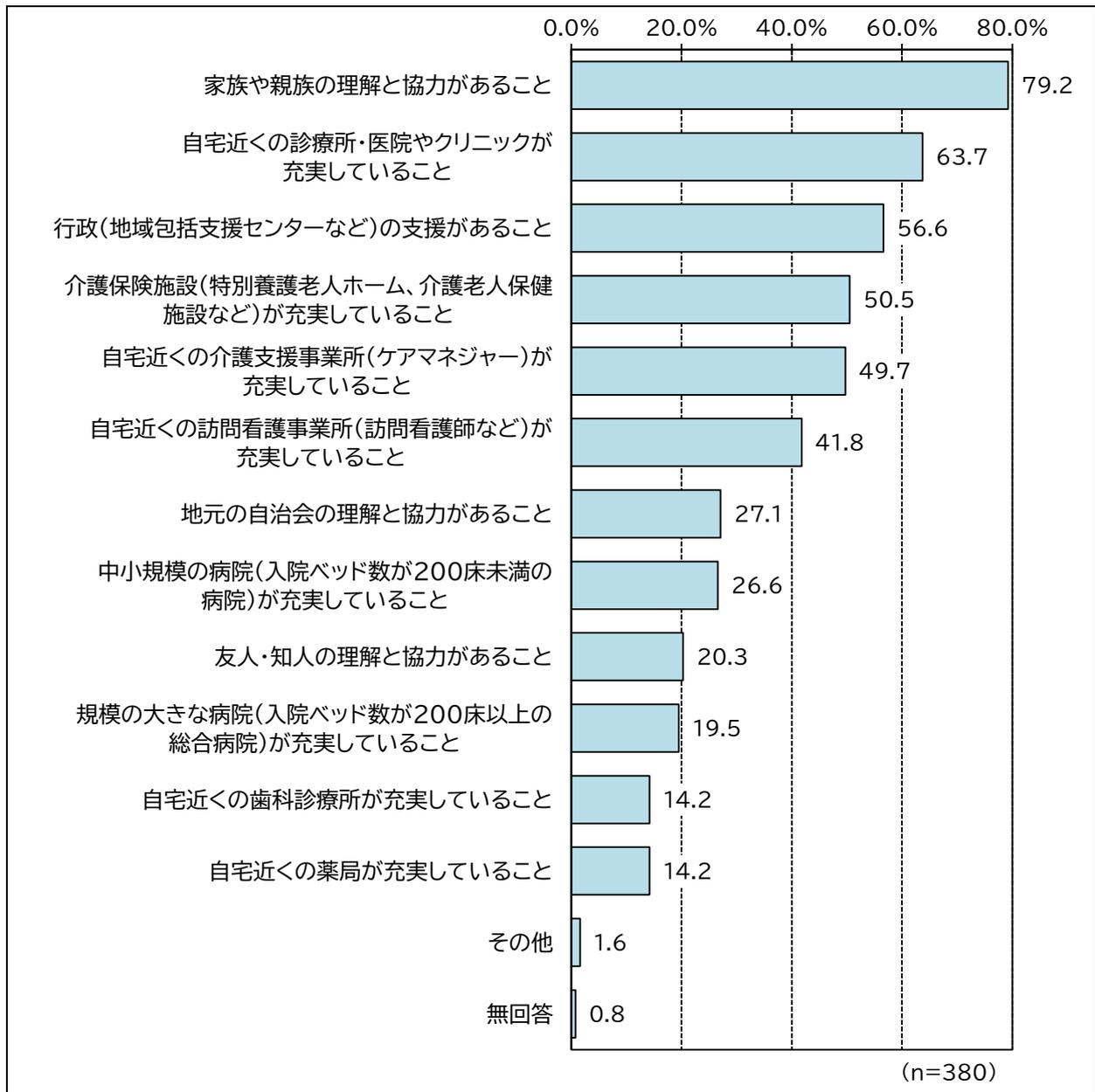
問7-8 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策はどのようなことですか。
(いくつでも○)



● 第3章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満) ●

(7)地域包括ケアシステムにおいて重要なこと

問7-9 地域包括ケアシステムの構築の推進にあたり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)



第4章 資料 自由意見集

1. 自由意見 高齢者(65歳以上)

最後に、介護保険制度や本市の高齢者保健福祉施策に対するご意見やご要望など、何かございましたら自由にご記入ください。

・介護保険制度について 46件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	子どものいない夫婦で相談相手が少なく、一人になった際の認知症や持病による介護保険利用に不安。家族構成を考慮した介護保険利用の検討を希望。	女性	70～74歳
2	介護保険制度は決まりも必要だが、多様な考え方や生活に対応できるゆとりも必要だと感じる。書類が多くネット社会に対応しきれていないため、簡素化を進めるべき。	女性	70～74歳
3	家族介護から社会介護への転換を図った介護保険制度は優れているが、税金と保険収入の運用では利用促進や介護従事者の処遇改善に限界がある。 制度の悪用・濫用を防ぎ、サービスのあり方を再検討し、持続可能な制度にすべきだと感じる。 特に介護士の低い処遇は、制度の持続可能性を損なう要因である。	男性	85歳以上

・介護保険料、医療費など経済的負担について 82件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	高齢者が増え、病院代や介護料金が高騰すると、リハビリや通院が困難になり活動量が低下する恐れがあるため、自己負担金の軽減を希望する。	女性	70～74歳
2	介護保険料が高すぎると感じる。後期高齢者医療保険料が社会保険料に比べ高額で、生活に支障をきたしています。後期高齢になっても保険料を支払う必要があることに疑問を感じる。将来の年金生活について、経済的な不安がある。	男性	75～79歳
3	デイサービスの利用日数を増やしたいが、介護保険料が高くなり生活が不安。年金生活で利用可能な範囲になることを希望する。	女性	75～79歳

● 第4章 資料 自由意見集 ●

・介護保険サービス・在宅福祉サービスについて 51件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	夫の介護をしながら生活しているが、デイケアの利用で介護者に余裕ができた。	女性	80～84歳
2	認知症を認めない人に対し、介護保険を活用して自宅生活を支援したい。現行制度では、本人が拒否すると介護サービスの利用が困難。	男性	65～69歳
3	金銭面で不安があるため、安価で利用できる訪問介護を充実させてほしい。	女性	75～79歳

・介護予防について 27件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	現在は健康で動けており、介護を意識していない。介護に備え、食事や運動を心がけているが、理解しやすい情報冊子があれば良いと考えている。	男性	65～69歳
2	高齢者が介護状態にならないための予防施策が最も重要だと考える。若者と高齢者が共に交流できる居場所の必要性を感じる。	女性	70～74歳
3	介護予防に注力すれば、長期的には安価な福祉施策が可能になると考える。 高齢者が気軽に楽しめる地区対抗競技大会などのイベントがあれば良い。	女性	65～69歳

・アンケートについて 25件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	アンケートを通じて、行政が多方面にわたり相談窓口を設けていることを知った。相談窓口が設置されているものの、市民への周知が不十分であると感じる。 どこに相談すれば適切な支援を受けられるのか、分かりやすく明確な案内を希望する。	女性	80～84歳
2	今回のアンケート回答で、自身の介護保険に関する知識不足を痛感した。夫婦ともに介護保険未利用だが、この先のために今回のアンケートを機に勉強が必要だと感じた。	女性	70～74歳
3	現在は実感がないが、定期的な情報提供があれば老後を身近に感じ、慌てずに済む。老後を考える良い機会となったアンケートだった。	女性	65～69歳

・不安なことや困りごとについて 93件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	転勤で移住したため、地元との関係が希薄である。地元 の行事に参加しにくく、災害時の避難生活に不安がある。	女性	70～74歳
2	一人暮らしで夜間の生活に不安を感じる。携帯電話を所 持しているが、緊急時に発信できないことがある。枕元の ブザーで救急車に繋がるシステムがあれば安心。	女性	85歳以上
3	自宅近くのスーパーが2店閉店し、日々の買い物に非常 に困っている。	女性	85歳以上

・バスなどの移動手段について 34件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	加齢とともに交通手段の少なさに不安を感じる。	女性	70～74歳
2	自動車免許返納後の移動手段に困っている。病院、買い 物、銀行への移動に公共交通機関がなく、徒歩のみで不 便を感じている。息子たちの都合に合わせなければ移動 できない点が不便。	女性	85歳以上
3	免許返納を促すなら公共交通機関の充実を望む。バス 便が少なく不便である。街中だけでなく郊外の公共交通 も充実させてほしい。	女性	65～69歳

・特養や有料老人ホーム等への入居について 35件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	住み慣れた地域で自分らしく最期まで過ごせるよう、若 い世代と交流できるシェアハウスやグループホームなど の体制整備を要望する。	女性	75～79歳
2	介護施設不足で順番待ち、現場は人材不足・低賃金。 自身が認知症になった際の施設利用に不安を感じる。	女性	75～79歳
3	親しい友人と共に入れる小規模な施設があれば良いと思 う。	女性	75～79歳

● 第4章 資料 自由意見集 ●

・行政への要望・意見について 164件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	地域包括センターの取り組みや内容を広報誌で特集してほしい。特に最近高松市民になった人へのPRが不足していると感じる。	男性	70～74歳
2	高齢化は避けられないため、集いや相談ができる高齢者の居場所づくりが重要だと考える。高齢者が参加しやすい簡単な仕事やボランティアの機会を増やしてほしい。人の役に立ちながら人生の最後まで生きていきたい。	女性	70～74歳
3	近くのコミュニティセンターで、参加しやすい機会やプログラムを増やしてほしい。地域に愛着を持つ機会を増やすため、地域の歴史・風土・文化に触れる場を拡大してほしい。	男性	70～74歳

・その他 88件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	最近、自治会を退会する人が多くなり、寂しさを感じている。地域での交流が減少している。自ら地域活動に参加し、地域との隔たりを埋める必要があると感じた。	女性	65～69歳
2	香川県では子が県外に出る傾向にあるが、高齢者の介護時には家族が近くで支える必要性を感じる。配偶者を亡くし、子どもが遠方に住む友人が一人で施設入居を悩むことが多い。子どもも両親亡き後の家を空き家のまま管理に困るケースがよく聞かれる。	女性	85歳以上

2. 自由意見 一般市民(40歳以上65歳未満)

最後に、介護保険制度や本市の高齢者保健福祉施策に対するご意見やご要望など、何かございましたら自由にご記入ください。

・介護保険制度について 9件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	母の要介護認定に時間がかかり、対応に苦慮した経験がある。今後、要介護認定が迅速かつ円滑に行われる体制の充実を希望する。	男性	55～59歳
2	介護保険制度だけでは本人に寄り添った支援が難しいと感じる。高齢者の困りごとは複雑で多岐にわたる。事務的ではなく、人間味のある寄り添った支援に繋がる施策を期待する。	女性	55～59歳

・介護保険料、医療費など経済的負担について 12件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	税金が高すぎる。物価高、高齢者の就労機会不足、年金が少なく生活困難である。	男性	50～54歳
2	高齢者がお金の心配なく、低料金または無料で介護サービスを受けられるようになれば安心できる。	女性	55～59歳

・介護保険サービス・在宅福祉サービスについて 18件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護サービスは知っているが、人付き合いが苦手な人にとっては利用へのハードルが高い。	女性	45～49歳
2	後期高齢者で介護認定未申請の人は、受けられるサービス(例:おむつ支給)を知らない場合が多い。介護認定申請後、冊子で利用可能サービスを知るのが現状だ。市報で年1回でも、高齢者向けに申請で受けられるサービスを告知してはどうか。	女性	60～64歳
3	孤独死防止のため、朝夕の健康状態確認システムや電話確認があれば良い。	男性	55～59歳

● 第4章 資料 自由意見集 ●

・介護予防について 2件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	高松市の介護予防政策に協力したいと考えている市民は少なくないと感じる。元気な高齢者を巻き込んだイベント開催を通じて、高松市を活性化してほしい。	女性	55～59歳

・アンケートについて 2件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	50歳という年齢のため、20～30年後の将来について具体的に考えたことがなかった。アンケート回答を機に、将来を自分事として真剣に考える時期が来たと感じた。	男性	50～54歳

・不安なことや困りごとについて 22件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	支援利用経験のない健康な高齢者が困った時に相談先が不明なため、年1回の生活状況確認や情報提供が必要。行政支援の周知と面談の機会が必要だと感じる。困った際にどこに相談すべきか分からない高齢者が多い。	女性	50～54歳
2	介護士・看護師不足により、充実した介護が困難な現状がある。職員増員策がなく、将来自分が介護される立場になることに不安を感じる。人手不足の施設や病院では、余裕がなく雑な介護になりやすい。	女性	50～54歳
3	支援が必要な時にどこに相談すれば良いか分からない。最初の相談窓口を教えてください。	女性	60～64歳

・バスなどの移動手段について 8件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	地域により交通の時間や費用に差がある。タクシー券は公平でなく、役立っていないと感じる。交通不便地域の交通手段を改善し、高齢者が元気に活動できるようにしてほしい。	女性	50～54歳
2	高齢の親は買い物(交通の便)に不便を感じている。市内中心部は便利でも、バス停や駅が遠く、便数も少なく時間がかかる。高齢者が気軽に外出できる環境づくりに期待している。	女性	50～54歳
3	免許返納後の高齢者に対する移動支援の必要性を感じる。香川県は車社会のため、免許返納者が安価に買い物や受診に行ける交通手段を望む。	男性	55～59歳

・特養や有料老人ホーム等への入居について 10件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	高齢者の経済的厳しさを考慮し、安価に入所できる施設を増やすべき。	男性	45～49歳
2	母が一人暮らしできなくなり施設を探したが、順番待ちで非常に困った経験がある。介護施設のさらなる充実を希望する。	男性	60～64歳
3	両親は在宅型有料老人ホームに入所している。スタッフの働きぶりや両親への接し方にいつも感銘を受けている。入居者や家族を最優先する施設には、国以外に高松市独自の施策で支援してほしい。高齢者施策が充実した高松市となるよう、取り組みを期待する。	男性	55～59歳

・行政への要望・意見について 50件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	浜松市や大府市の認知症ヘルプマーク等を高松市だけでなく全国で導入してほしい。	女性	50～54歳
2	高齢者が交通手段を失うことを懸念し、免許返納をためらうケースが多い。全員が安全に暮らせるよう、認知症発症前の早期免許返納を行政に推進してほしい。免許更新厳格化や公共交通機関の充実、タクシー代補助など、免許返納への前向きな対策を望む。	男性	55～59歳
3	親の介護で認定を受ける際、担当者の対応に差があり、誘導的な言葉で等級を下げようとしていると感じ不信感を抱く。担当者には人の生涯に関わる意識を持ち、レベルを一定にするための研修を希望する。	男性	60～64歳

・その他 8件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	人生100年時代におけるQOLを保つ生き方について。 状況に応じた尊厳死の政策や保障について。 今後の高齢化と少子化の問題について。 これらの問題に対する考え方や生き方を教えてほしい。	男性	50～54歳

第5章 資料 判定結果

1. 評価項目別の判定結果

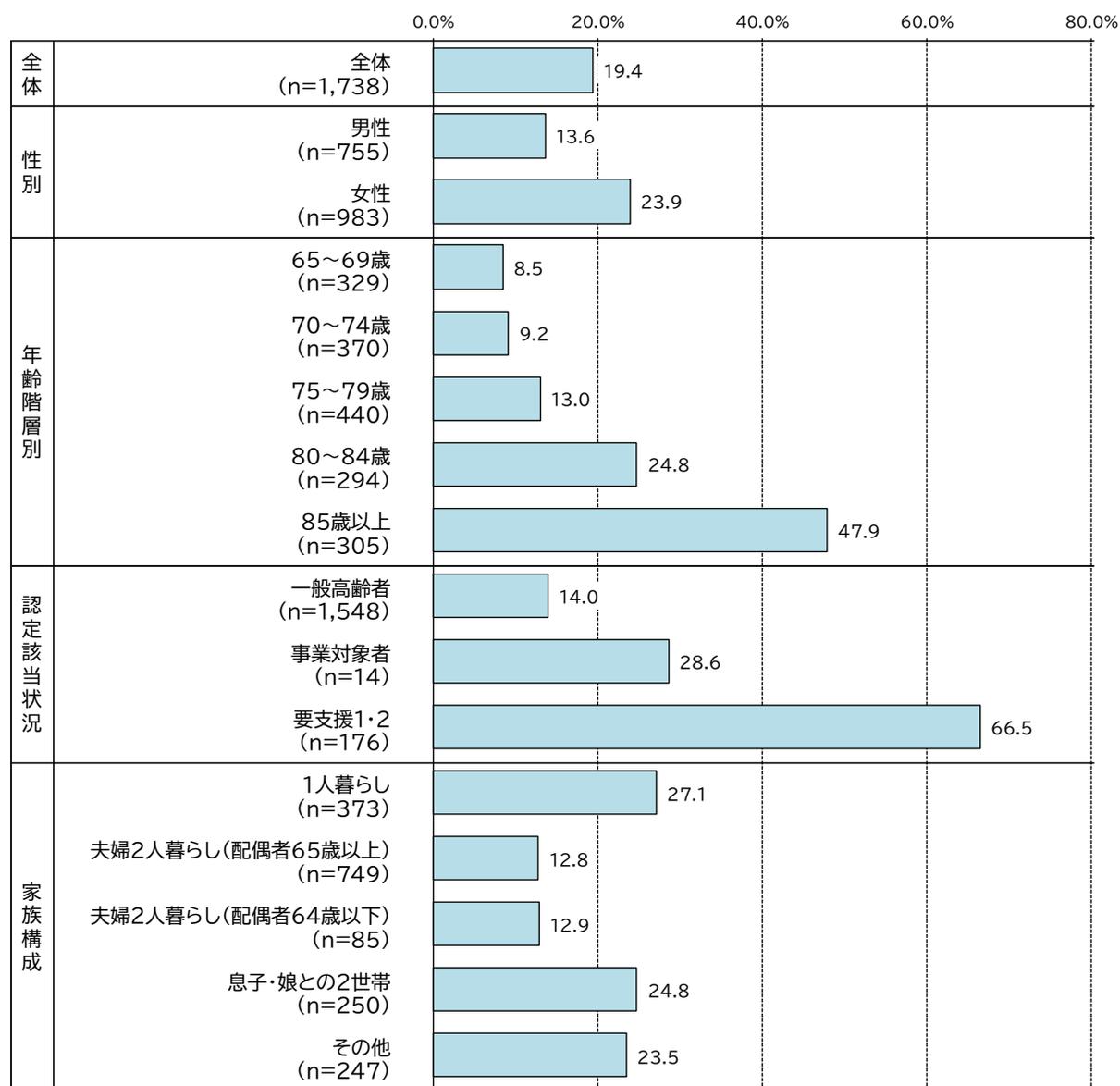
・判定方法(1)～(7)まで

	問NO.	質問項目	該当する選択肢
運動器の機能低下	問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」
	問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
	問2-3	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
	問2-5	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」
転倒リスク	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」
閉じこもり傾向	問2-6	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」
低栄養の傾向	問3-1	身長、体重	BMI \leq 18.5
	問3-7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
口腔機能の低下	問3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
	問3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
	問3-4	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
認知機能の低下	問4-1	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
うつ傾向	問8-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
	問8-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

■判定方法・・・該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、または該当選択肢を回答した場合

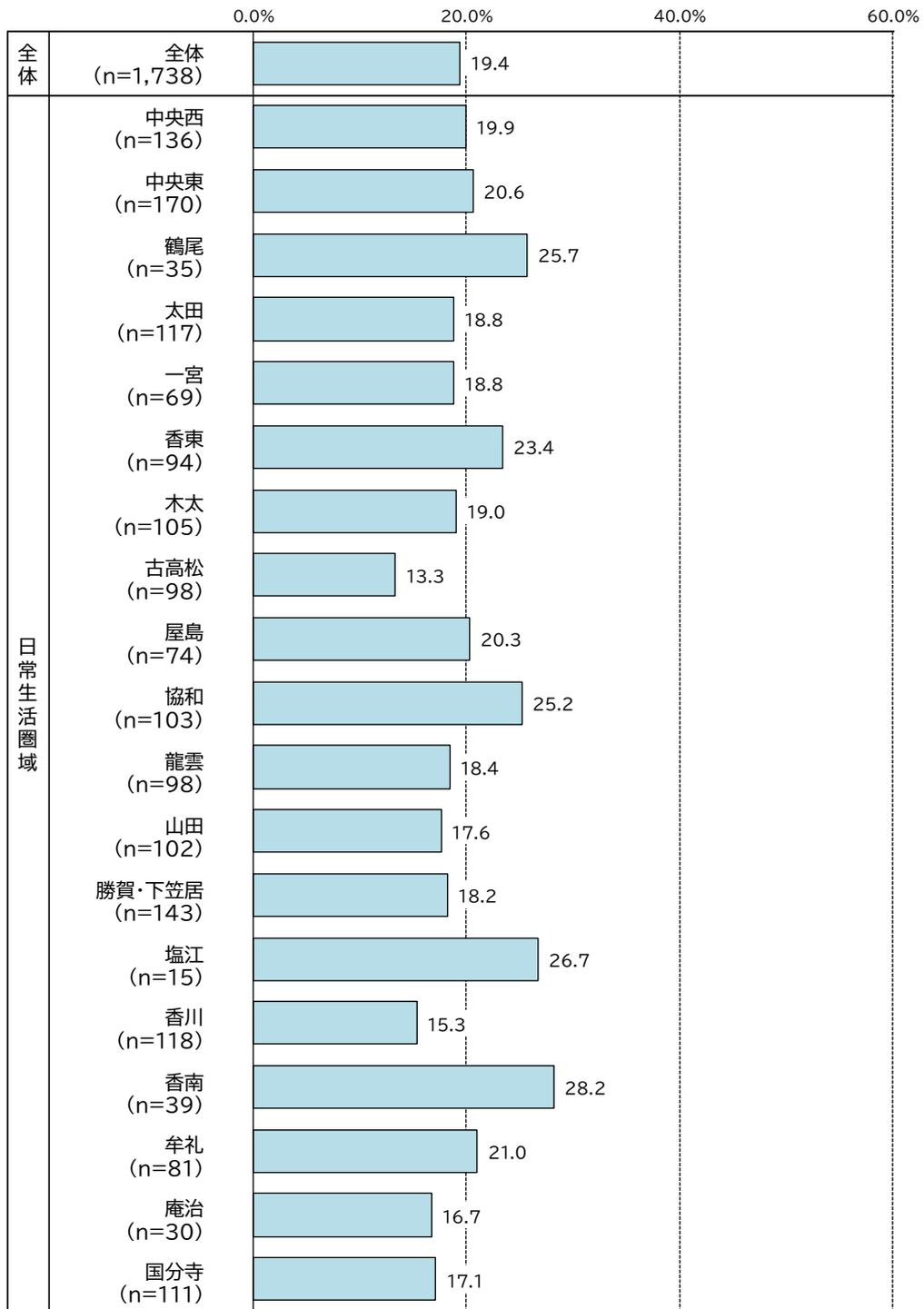
- (1)運動器の機能低下・・・該当:3点以上
- (2)転倒リスク・・・リスクあり:該当選択肢を回答した場合
- (3)閉じこもり傾向・・・リスクあり:該当選択肢を回答した場合
- (4)低栄養の傾向・・・該当:2点
- (5)口腔機能の低下・・・該当:2点以上
- (6)認知機能の低下・・・該当:該当選択肢を回答した場合
- (7)うつ傾向・・・リスクあり:1点以上

(1)運動器の機能低下



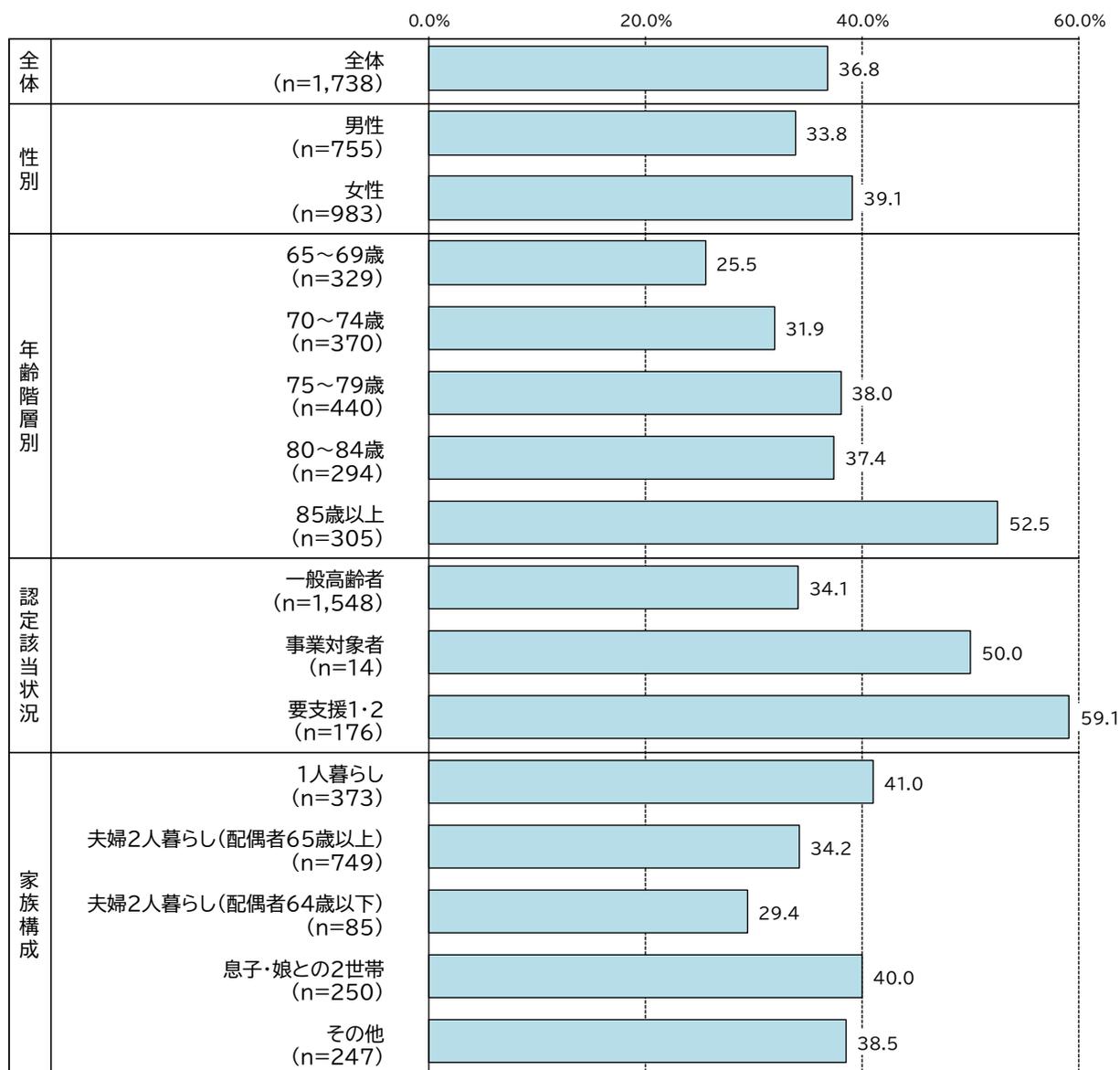
- 運動器の機能低下の該当者の割合は、全体では19.4%となっています。
- 性別にみると、「女性」23.9%が「男性」13.6%を10.3ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「一般高齢者」は14.0%、「事業対象者」は28.6%、「要支援1・2」は66.5%と段階的に該当者の割合が高くなっています。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」12.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」12.9%に比べて、「1人暮らし」27.1%、「息子・娘との2世帯」24.8%、「その他」23.5%の該当者の割合が高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



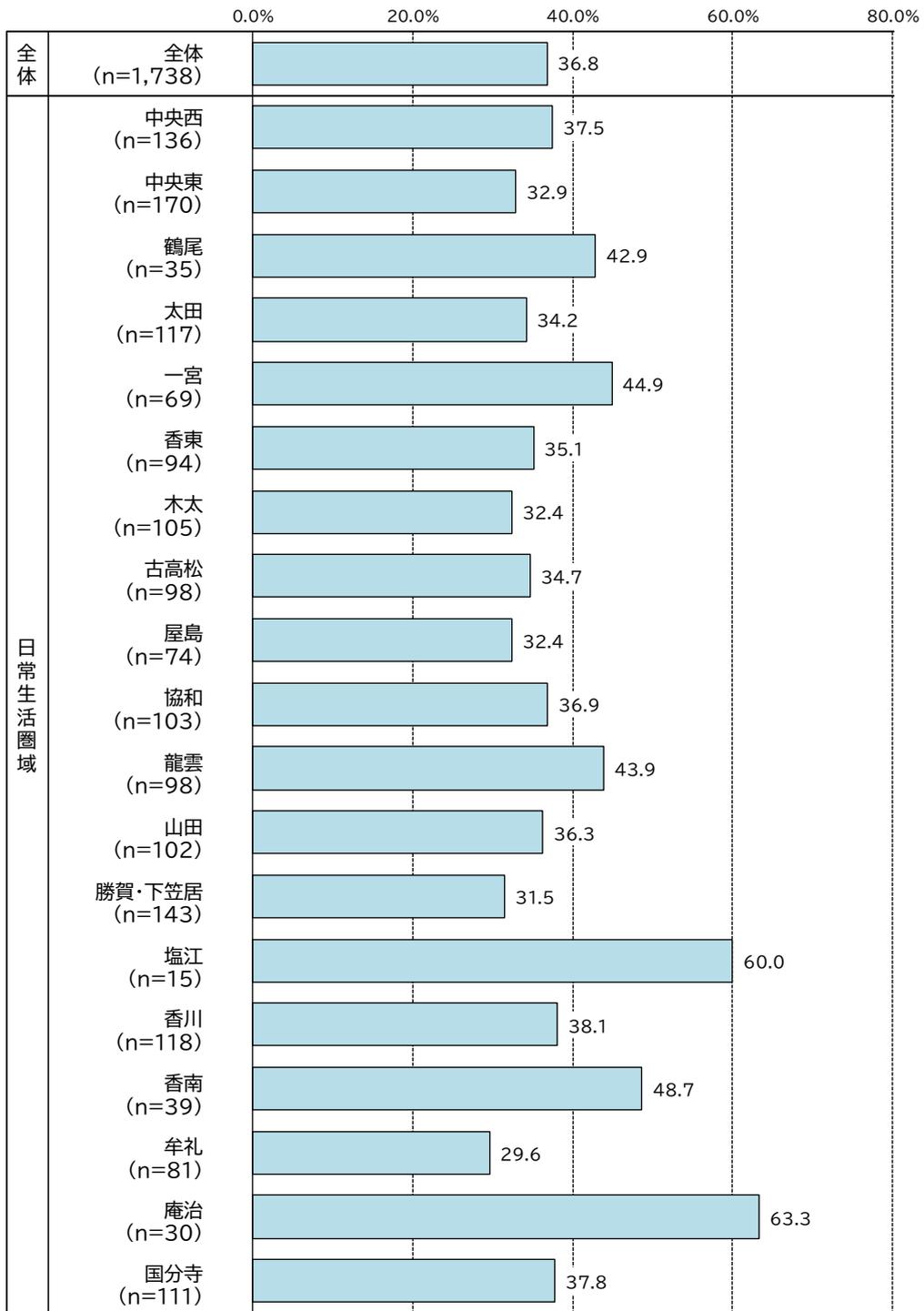
●日常生活圏域別にみると、「香南」の該当者の割合が最も高く、28.2%となっています。次いで、「塩江」26.7%、「鶴尾」25.7%と続いています。

(2) 転倒リスク



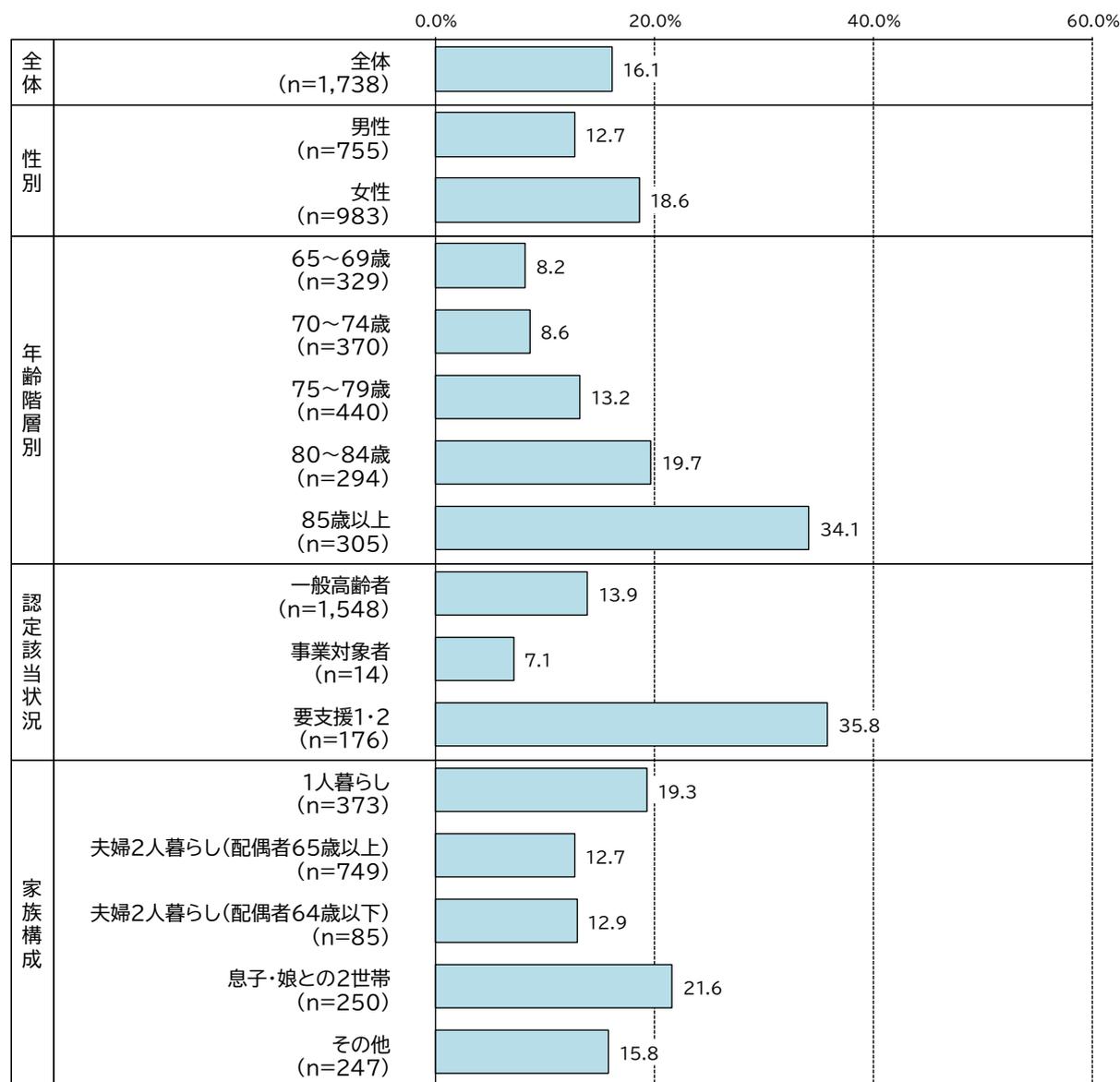
- 転倒リスク該当者の割合は、全体では36.8%となっています。
- 性別にみると、「女性」39.1%が「男性」33.8%を5.3ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「80～84歳」を除くと、年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「一般高齢者」は34.1%、「事業対象者」は50.0%、「要支援1・2」は59.1%と段階的に該当者の割合が高くなっています。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」34.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」29.4%に比べて、「1人暮らし」41.0%、「息子・娘との2世帯」40.0%、「その他」38.5%の該当者の割合が高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



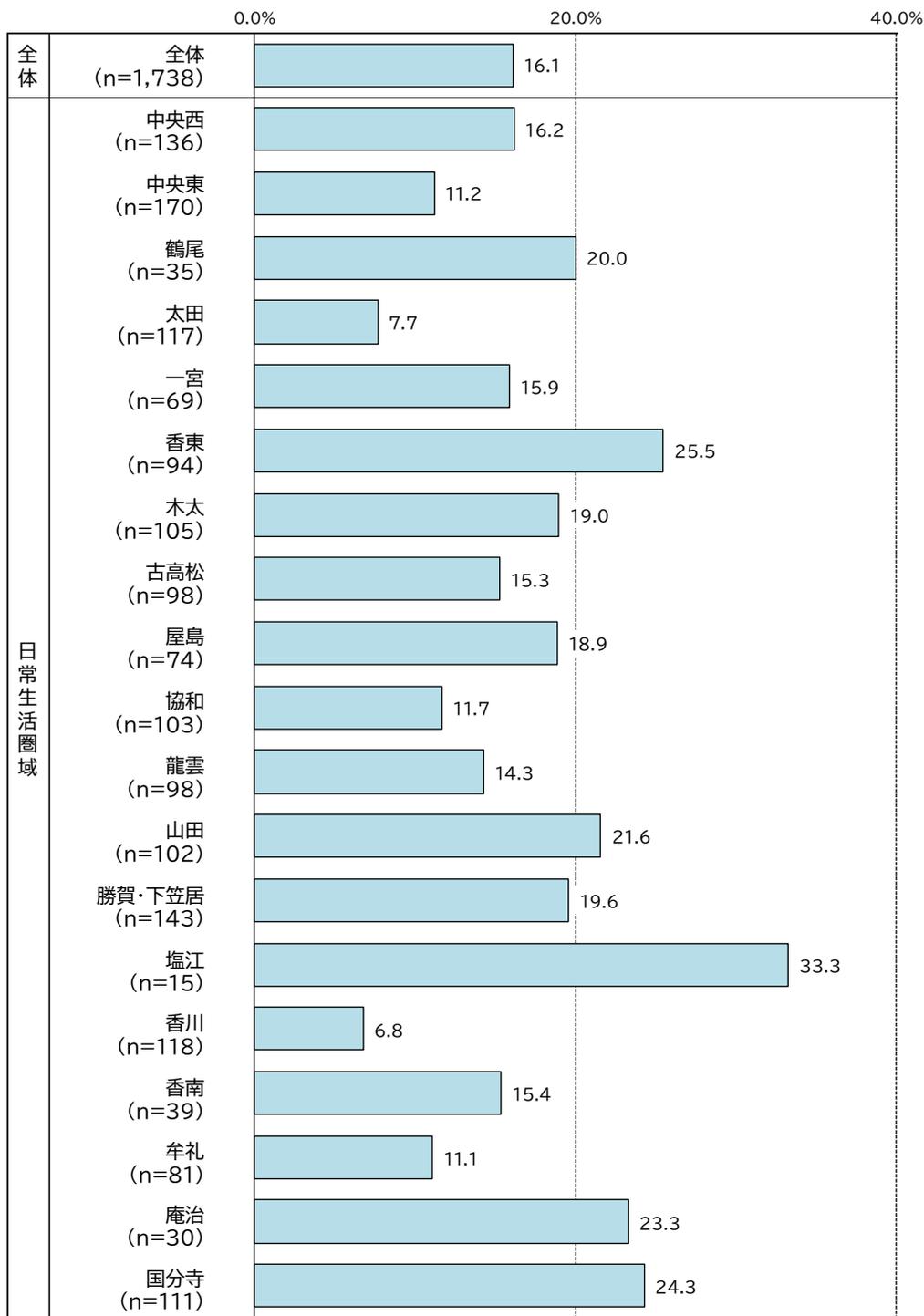
●日常生活圏域別にみると、「庵治」63.3%、「塩江」60.0%の該当者の割合が高くなっています。

(3)閉じこもり傾向



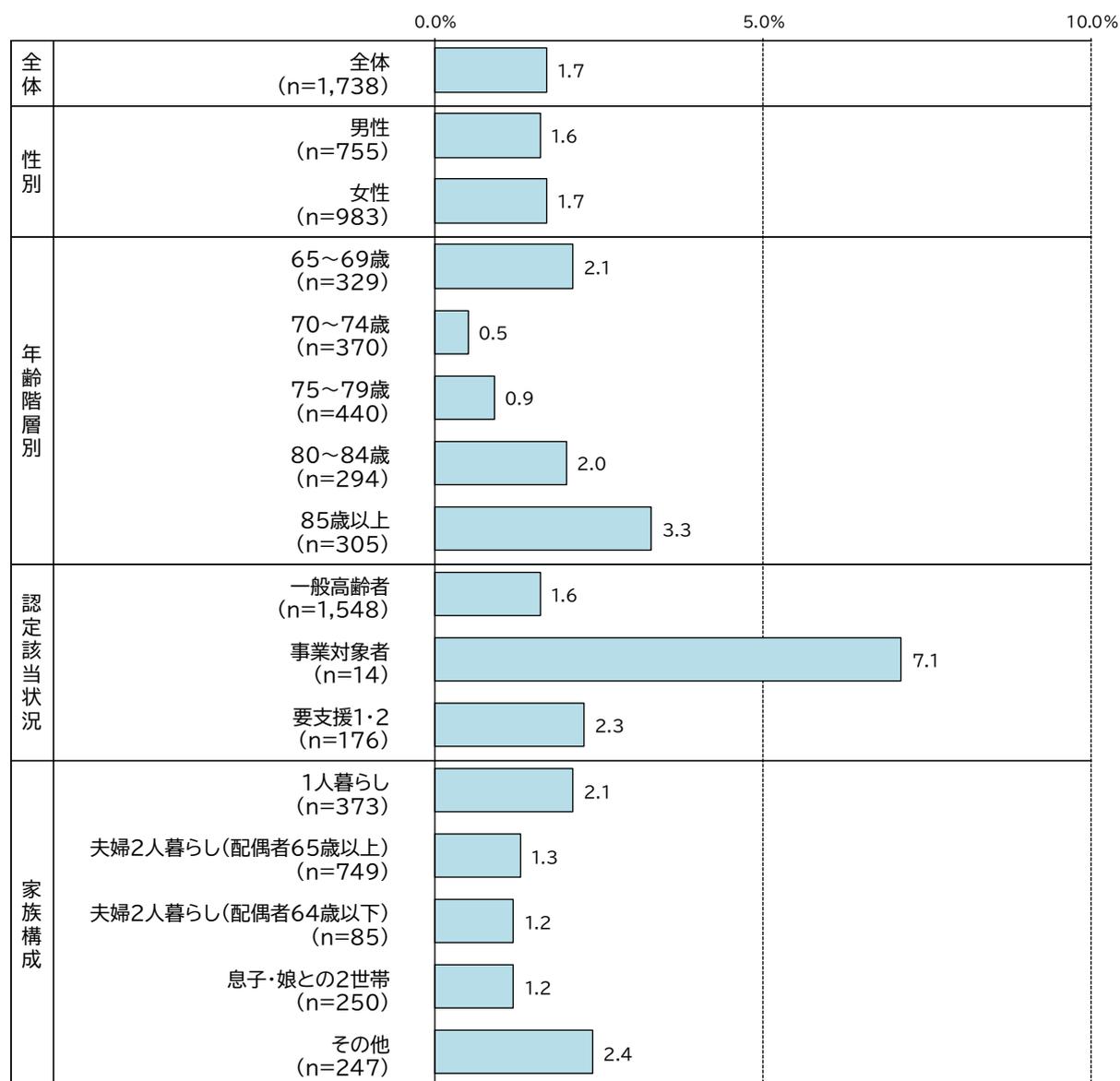
- 閉じこもり傾向の該当者の割合は、全体では16.1%となっています。
- 性別にみると、「女性」18.6%が「男性」12.7%を5.9ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「要支援1・2」の該当者の割合は35.8%となっており、「事業対象者」7.1%、「一般高齢者」13.9%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「息子・娘との2世帯」は21.6%、「1人暮らし」は19.3%となっており、他の家族構成に比べて高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



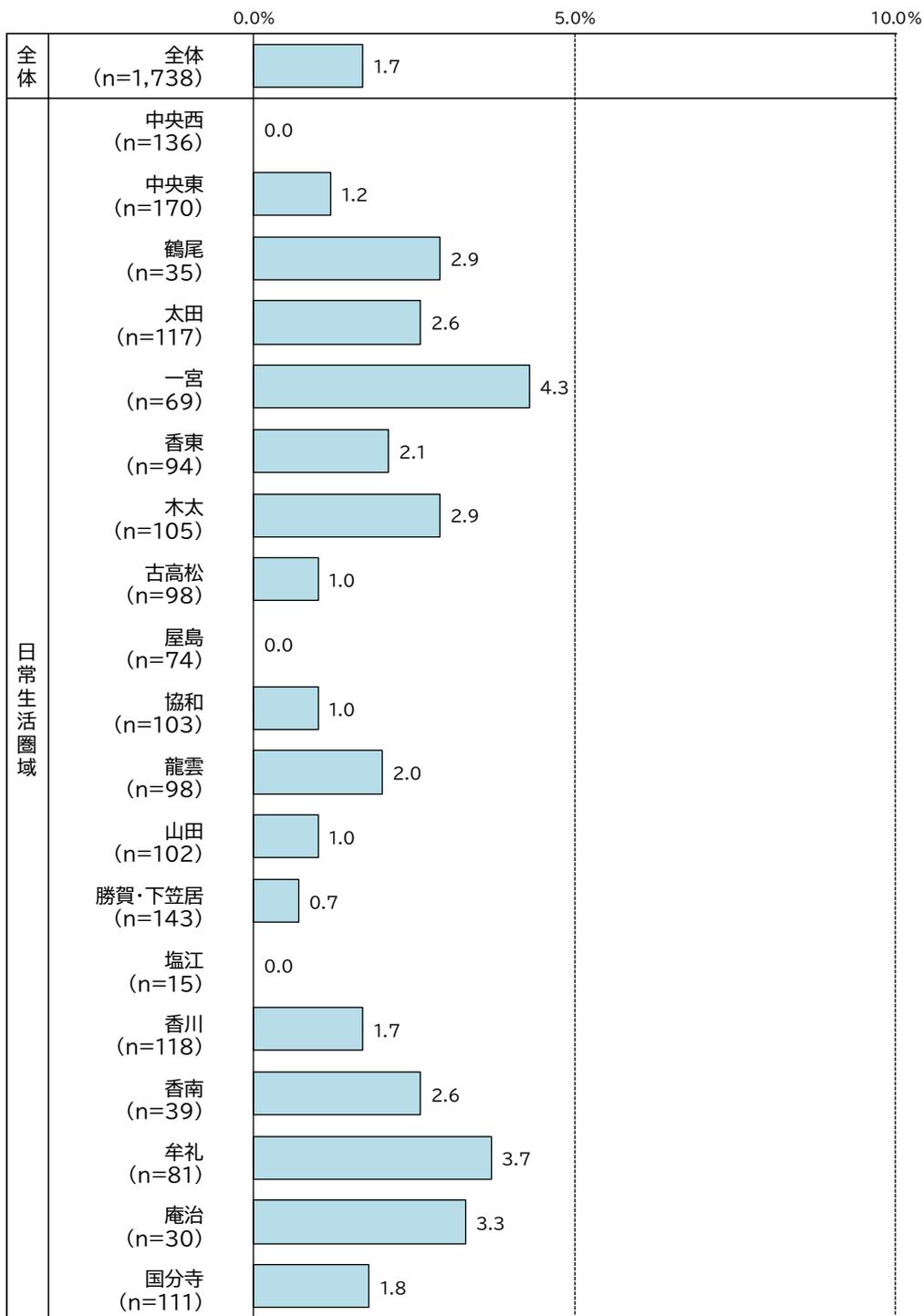
●日常生活圏域別にみると、「塩江」の該当者の割合が最も高く、33.3%となっています。次いで、「香東」25.5%、「国分寺」24.3%と続いています。

(4)低栄養の傾向



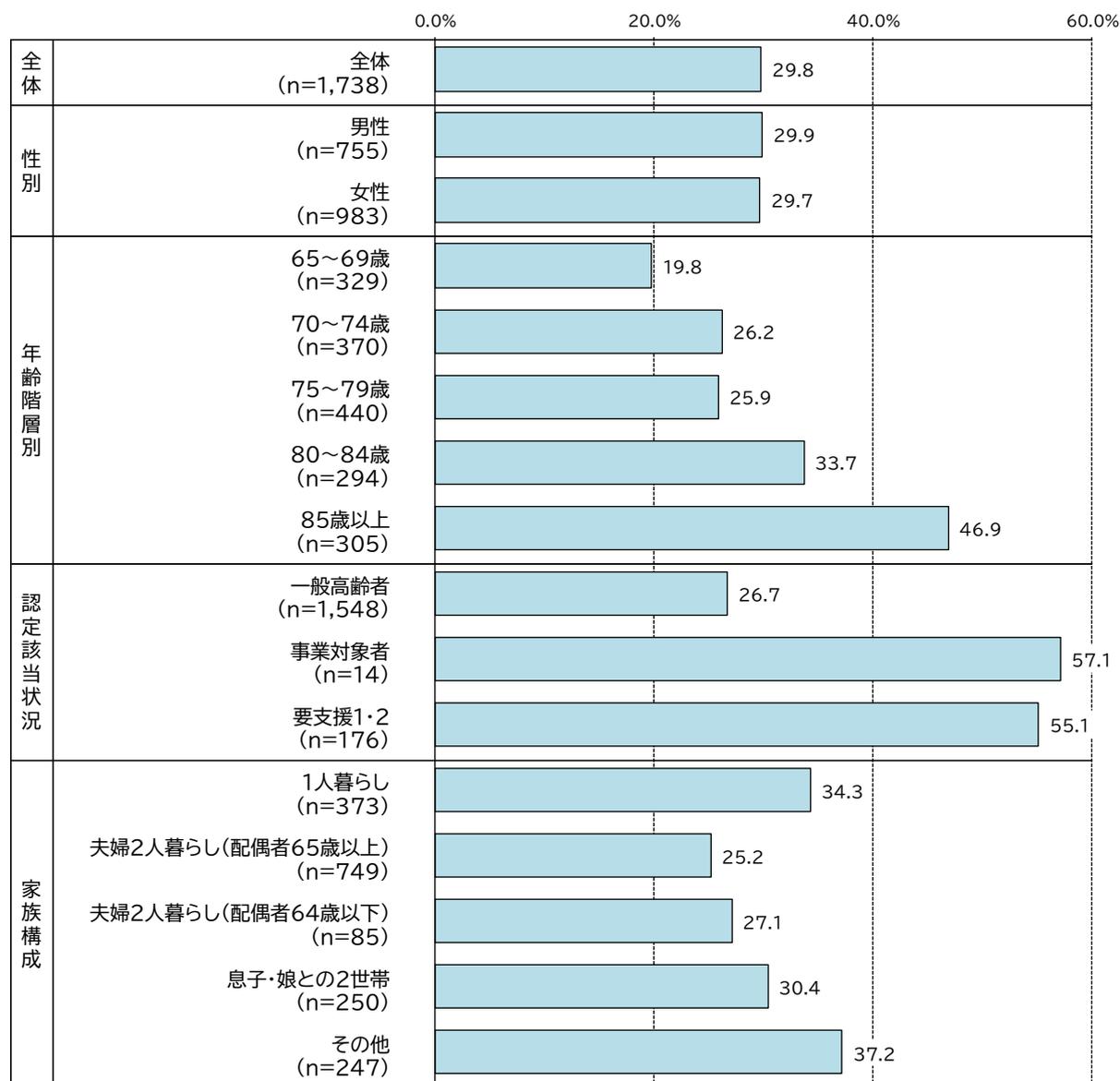
- 低栄養の傾向の該当者の割合は、全体では1.7%となっています。
- 性別にみると、「女性」1.7%が「男性」1.6%を0.1ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が最も高く、3.3%となっています。
- 認定該当状況別にみると、「事業対象者」の該当者の割合が7.1%となっており、他の認定該当状況に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「その他」2.4%、「1人暮らし」2.1%の該当者の割合が高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



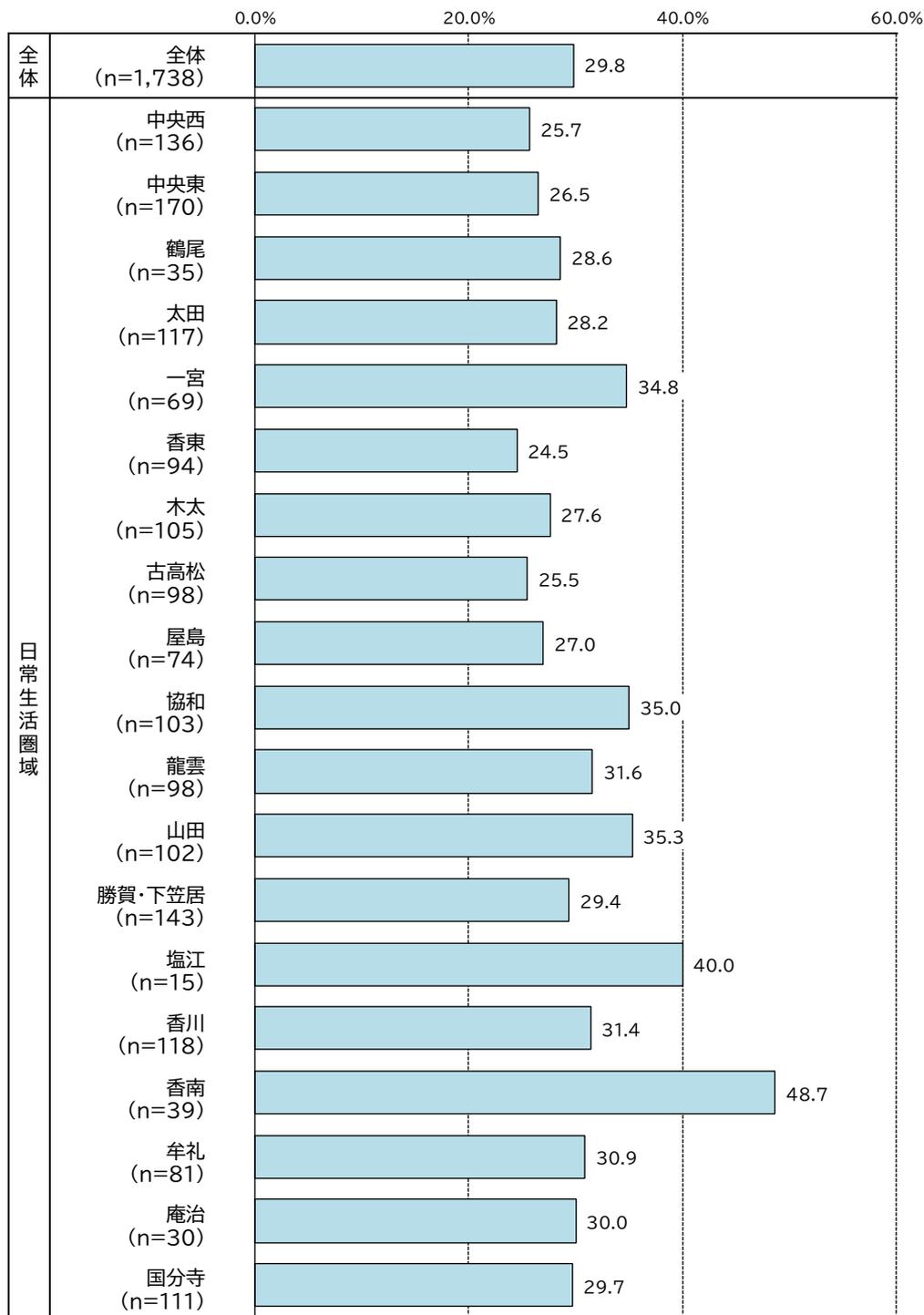
●日常生活圏域別にみると、「一宮」の該当者の割合が4.3%と最も高くなっています。次いで、「牟礼」3.7%、「庵治」3.3%と続いています。

(5) 口腔機能の低下



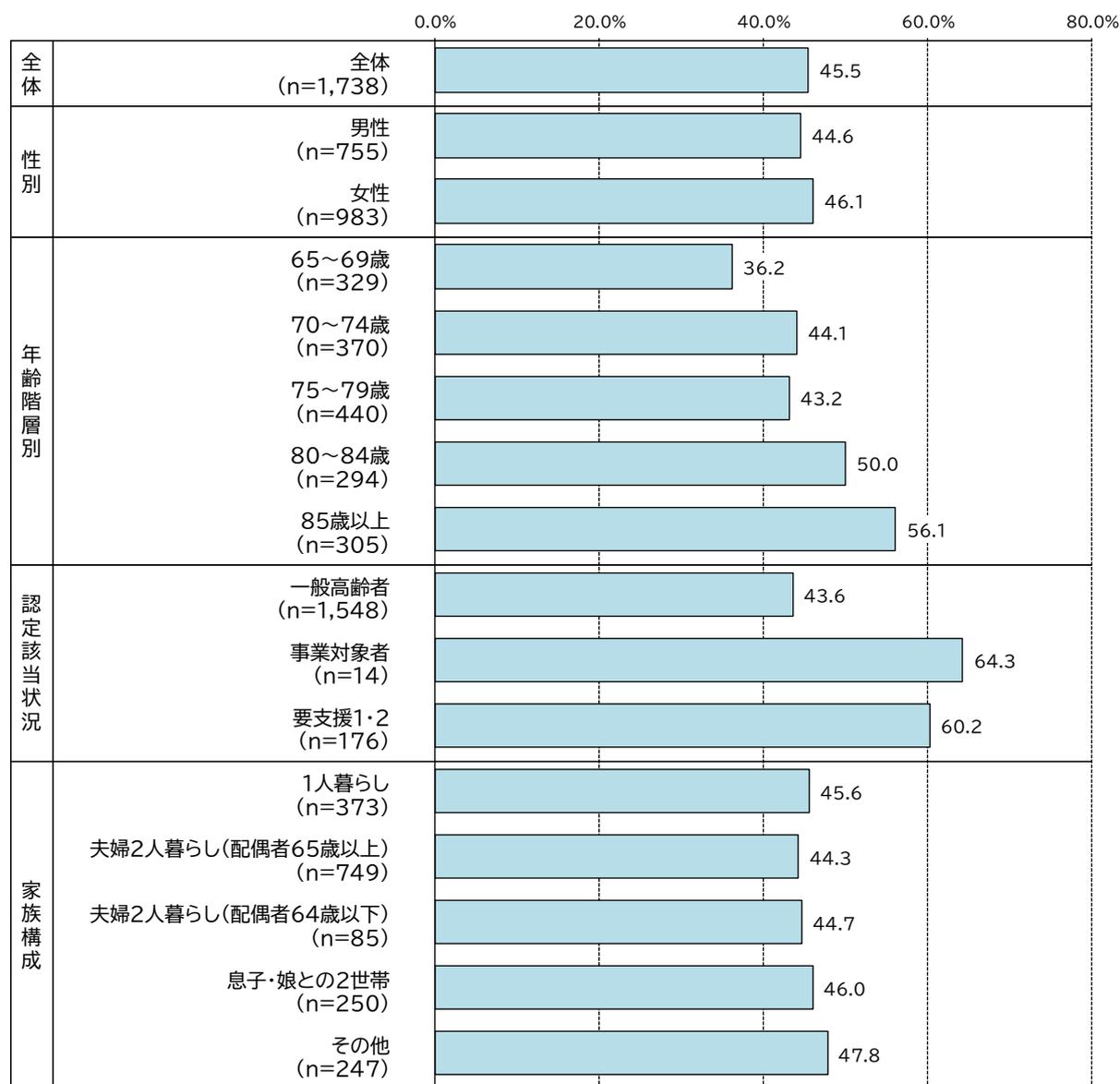
- 口腔機能の低下の該当者の割合は、全体では29.8%となっています。
- 性別にみると、「男性」29.9%が「女性」29.7%を0.2ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が46.9%となっており、その他の年齢に比べて高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「事業対象者」が57.1%、「要支援1・2」が55.1%となっており、「一般高齢者」26.7%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「その他」37.2%、「1人暮らし」34.3%の該当者の割合が高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



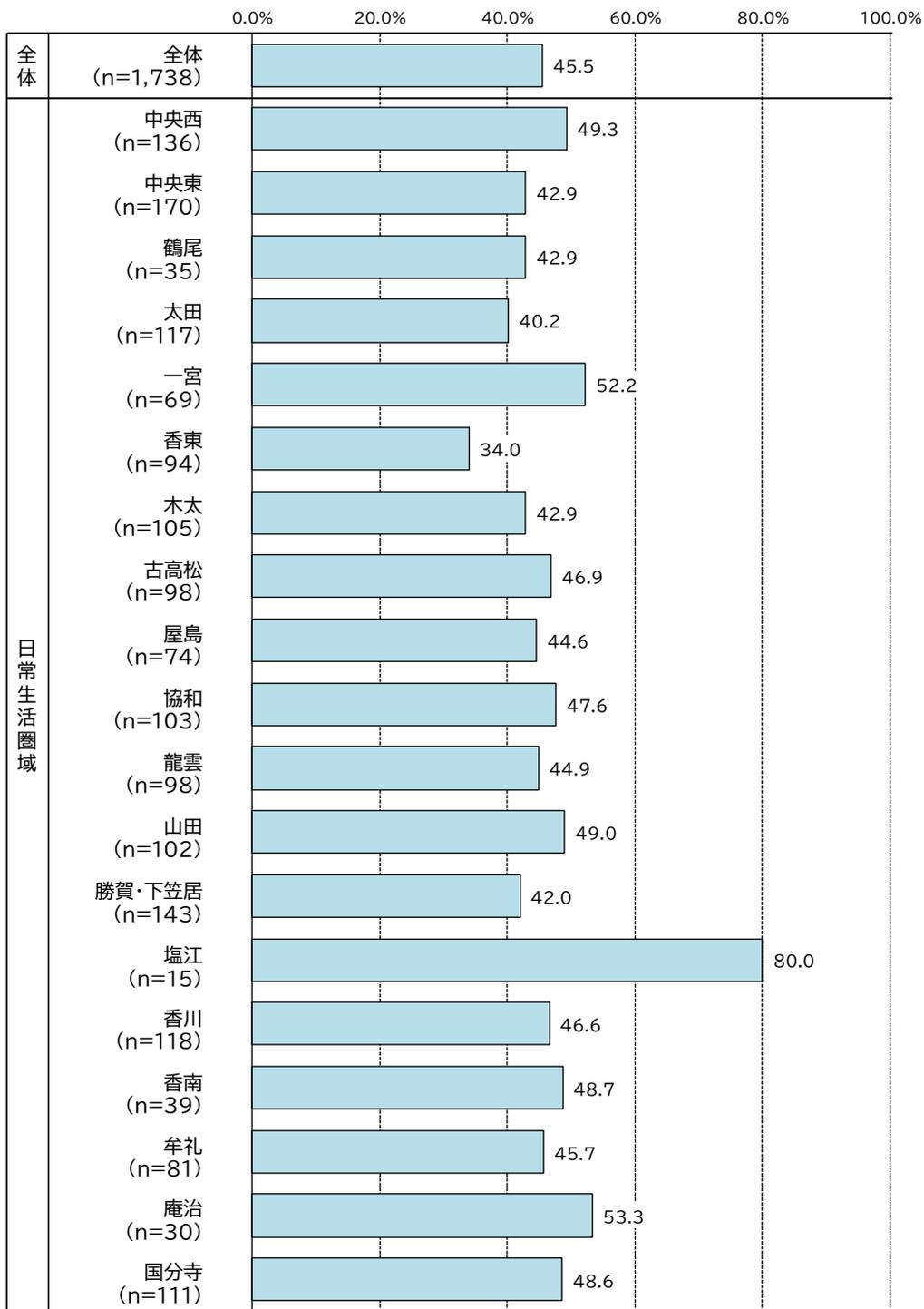
●日常生活圏域別にみると、「香南」の該当者の割合が48.7%と最も高くなっています。次いで、「塩江」40.0%、「山田」35.3%と続いています。

(6) 認知機能の低下



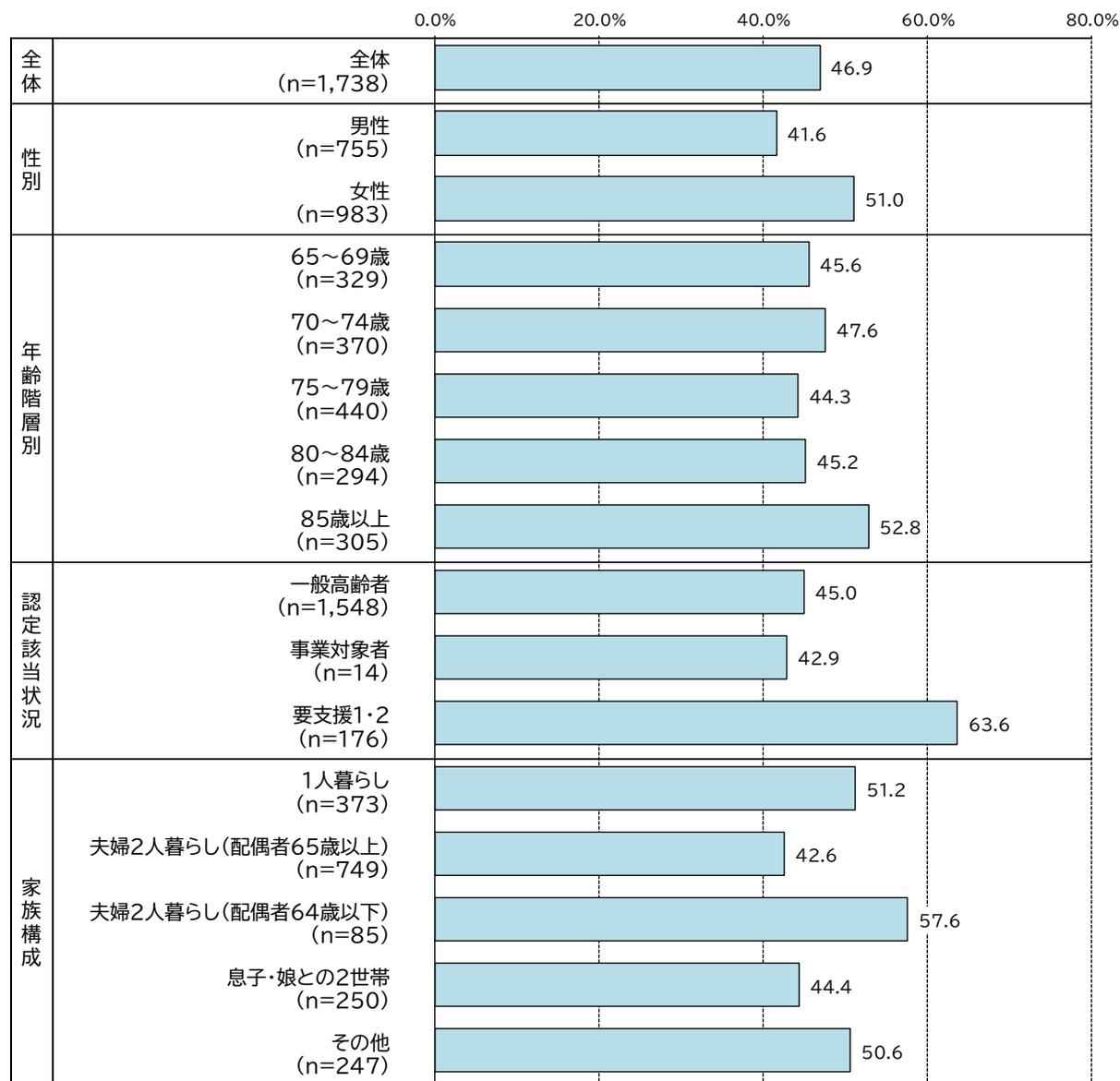
- 認知機能の低下の該当者の割合は、全体では45.5%となっています。
- 性別にみると、「女性」46.1%が「男性」44.6%を1.5ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が56.1%となっており、その他の年齢に比べて高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「事業対象者」64.3%、「要支援1・2」60.2%となっており、「一般高齢者」43.6%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「その他」47.8%、「1人暮らし」45.6%の該当者の割合が高くなっていますが、家族構成による差はあまりみられません。

● 第5章 資料 判定結果 ●



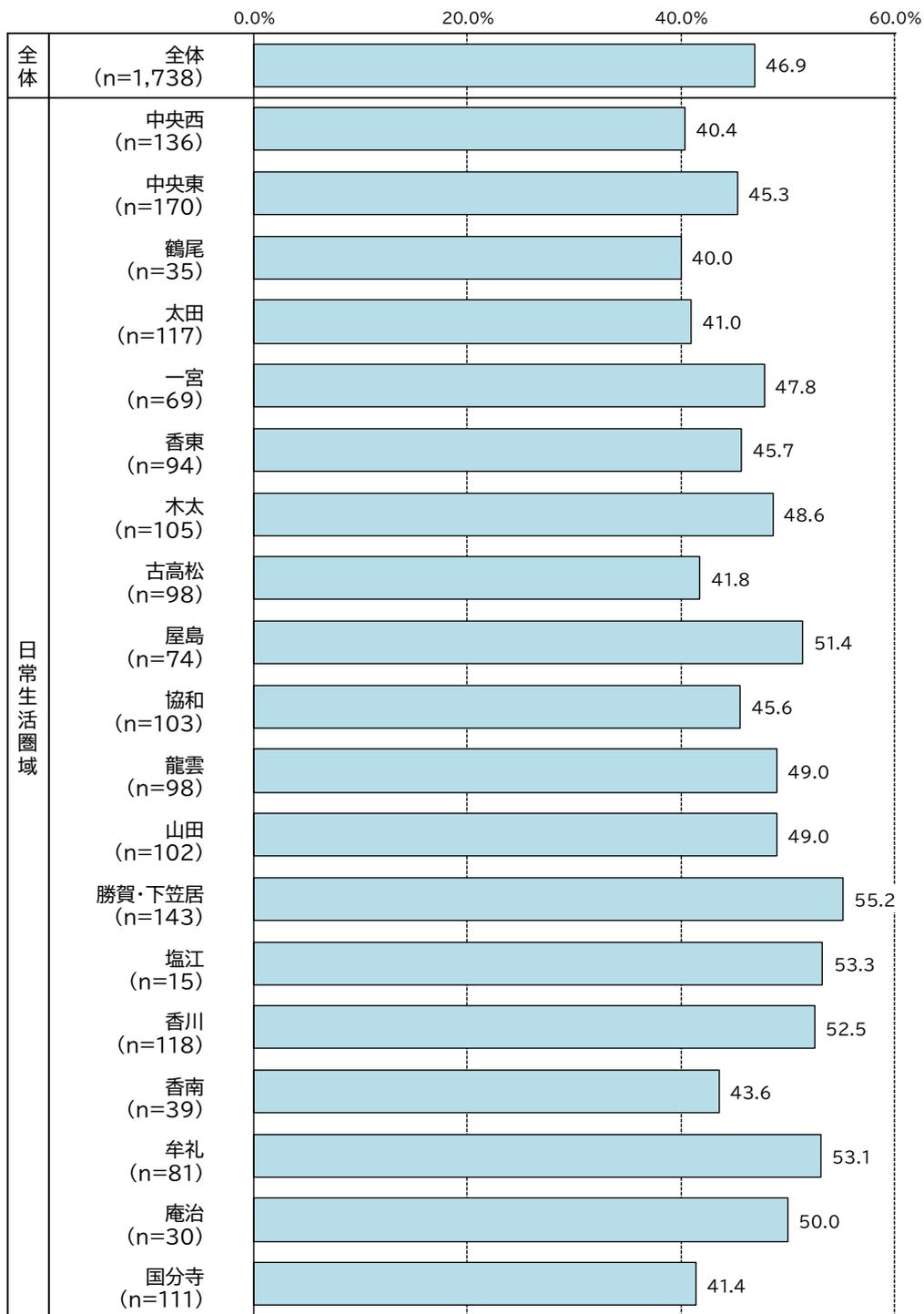
●日常生活圏域別にみると、「塩江」の該当者の割合が80.0%と最も高くなっています。次いで、「庵治」53.3%、「一宮」52.2%と続いています。

(7)うつ傾向



- うつ傾向の該当者の割合は、全体では46.9%となっています。
- 性別にみると、「女性」51.0%が「男性」41.6%を9.4ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が52.8%と最も高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「要支援1・2」の該当者の割合が63.6%と最も高くなっています。次いで「一般高齢者」45.0%、「事業対象者」42.9%と続いています。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」57.6%となっており、その他の家族構成に比べて高くなっています。

● 第5章 資料 判定結果 ●



●日常生活圏域別にみると、「勝賀・下笠居」の該当者の割合が55.2%と最も高くなっています。次いで、「塩江」53.3%、「牟礼」53.1%と続いています。

・判定方法(8)～(10)まで 老研式活動能力指標

(8)IADL－手段的日常生活動作

問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-4	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 or 「2. できるけどしていない」 1点
問4-5	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	
問4-6	自分で食事の用意をしていますか	
問4-7	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

○5点:高い

○4点:やや低い

○0～3点:低い

(9)社会参加－知的能動性

問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-9	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	「1. はい」:1点
問4-10	新聞を読んでいますか	
問4-11	本や雑誌を読んでいますか	
問4-12	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○4点:高い

○3点:やや低い

○0～2点:低い

(10)社会参加－社会的役割

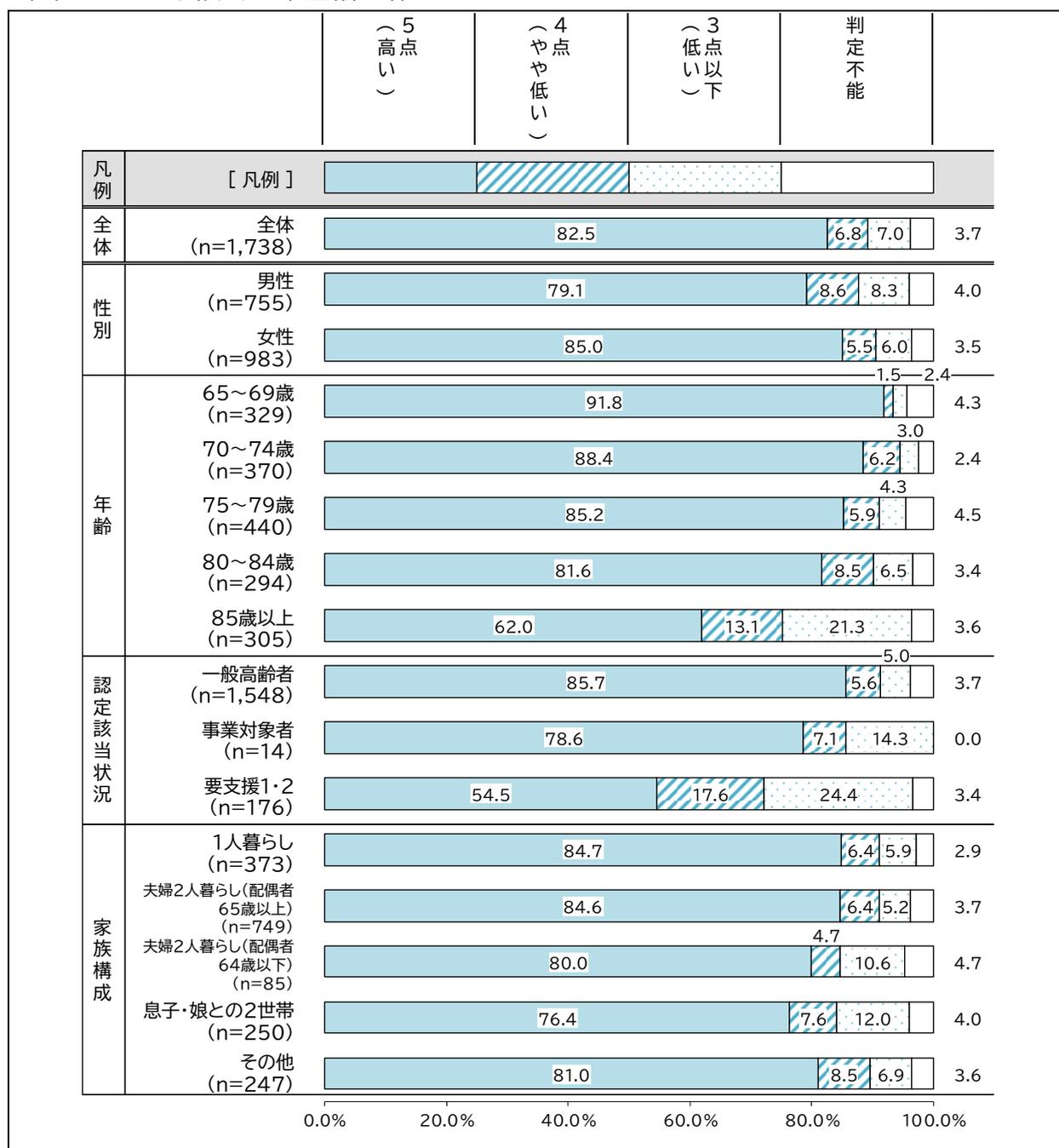
問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-13	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」:1点
問4-14	家族や友人の相談にのっていますか	
問4-15	病人を見舞うことができますか	
問4-16	若い人に自分から話しかけることがありますか	

○4点:高い

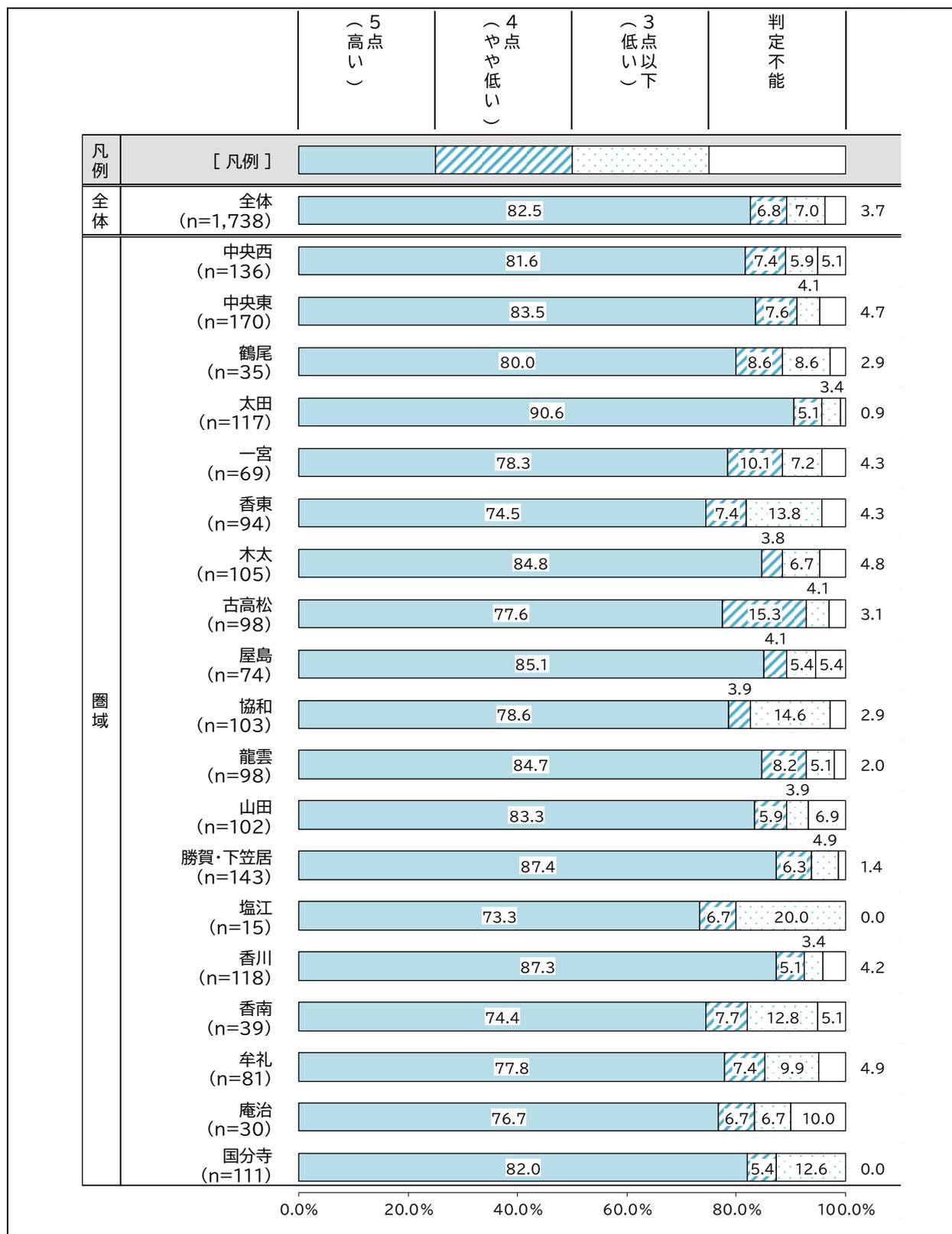
○3点:やや低い

○0～2点:低い

(8)IADL－手段的日常生活動作

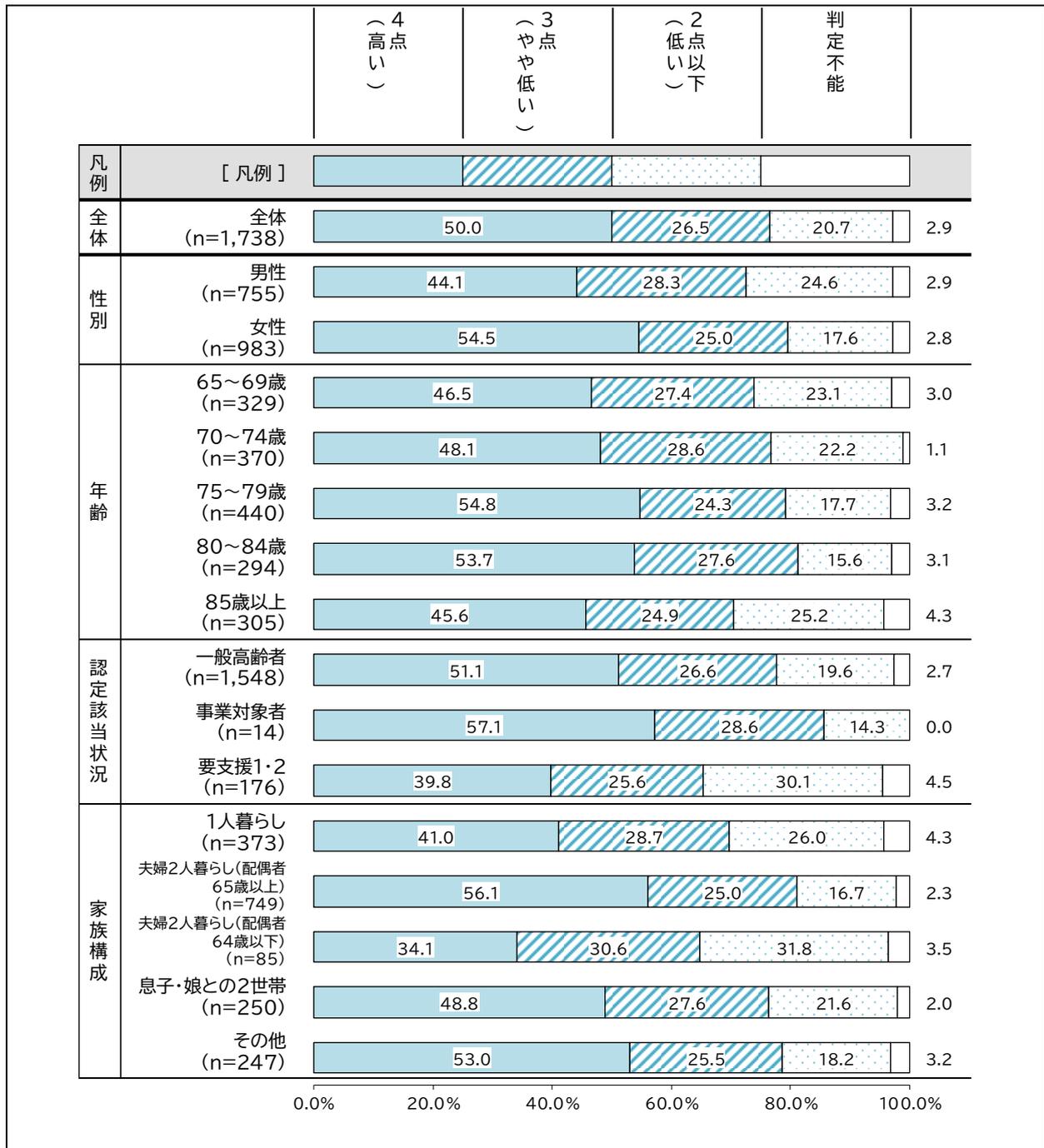


- IADLのスコアについて、全体では「高い」が82.5%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合が「男性」79.1%と比べると、「女性」は85.0%と5.9ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、「高い」の割合が段階的に低下していることがわかります。
- 認定状況別にみると、「高い」の割合が「一般高齢者」は85.7%、「事業対象者」は78.6%、「要支援1・2」は54.5%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「高い」の割合が、「息子・娘との2世帯」76.4%は、その他の家族構成に比べて低くなっています。

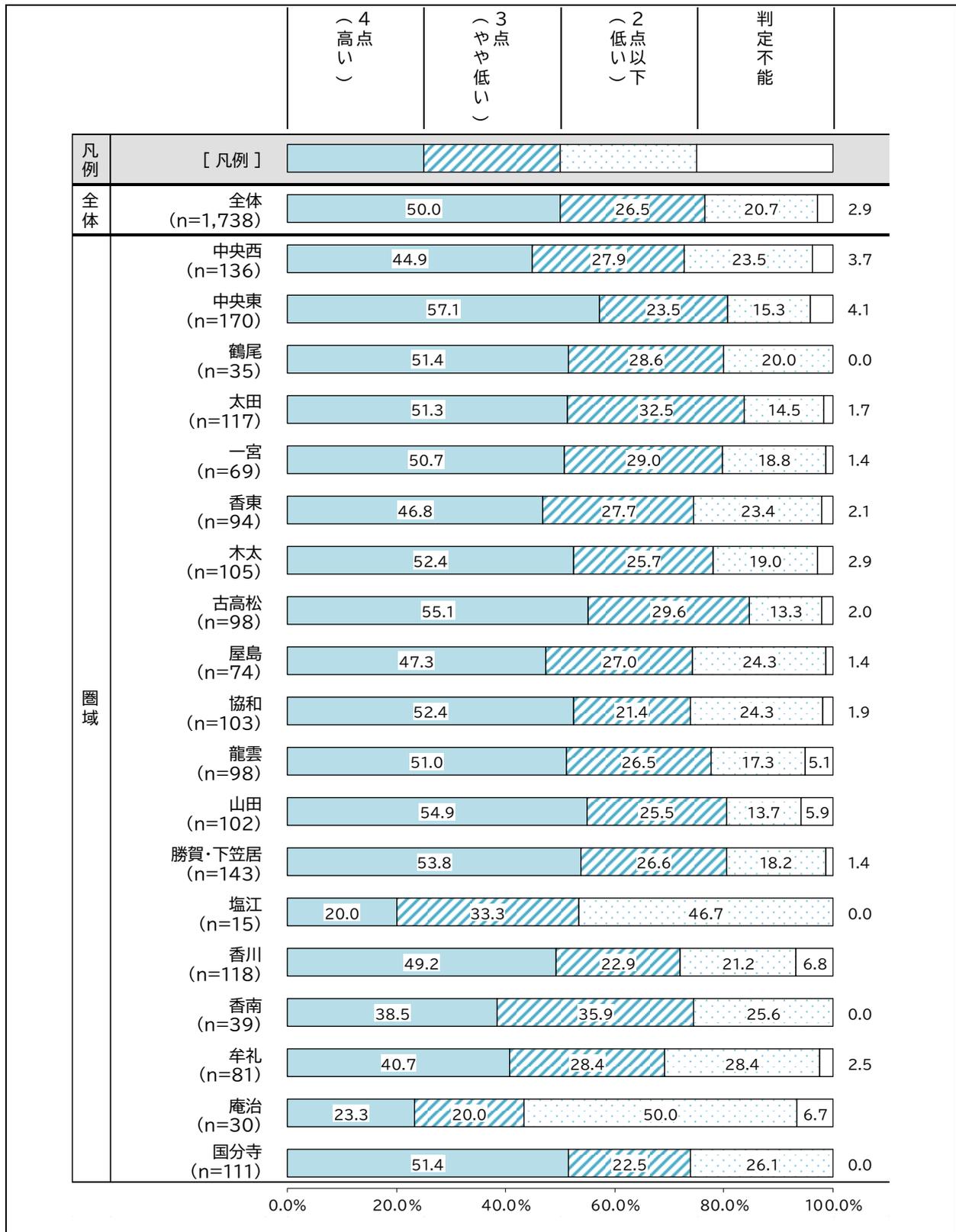


- 日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「太田」で90.6%と最も高くなっています。次いで、「勝賀・下笠居」87.4%、「香川」87.3%と続いています。
- 「低い」の割合は「塩江」で最も高く、20.0%となっています。次いで、「協和」14.6%、「香東」13.8%と続いています。

(9)社会参加－知的能動性

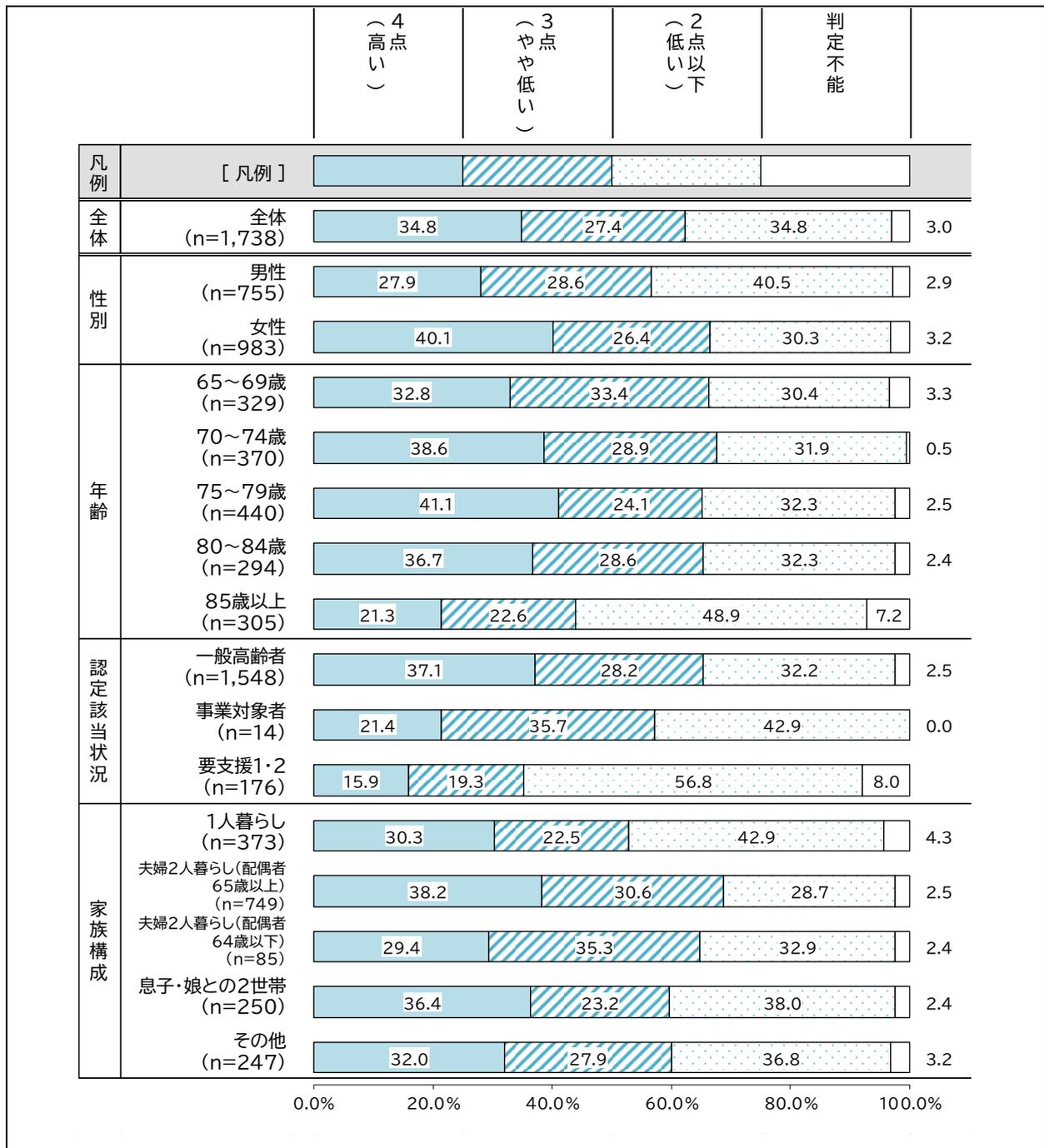


- 知的能動性のスコアについて、全体では「高い」が50.0%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合は「男性」44.1%と比べると、「女性」54.5%と10.4ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「高い」の割合は「75～79歳」54.8%、「80～84歳」53.7%が高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「高い」の割合は「事業対象者」は57.1%、「一般高齢者」が51.1%、「要支援1・2」は39.8%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「高い」の割合は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が56.1%と最も高くなっています。

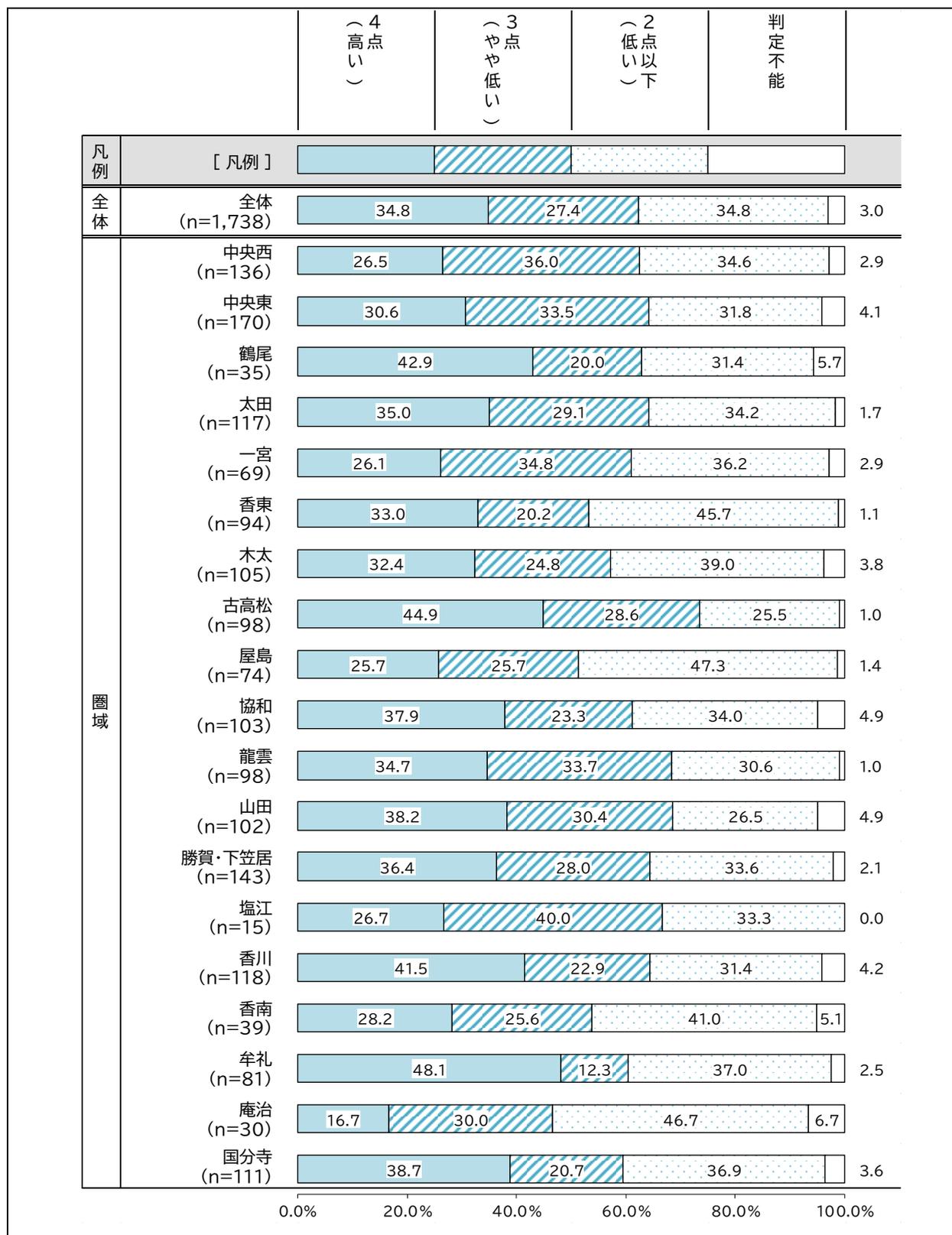


- 日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「中央東」が57.1%と最も高くなっています。次いで、「古高松」55.1%、「山田」54.9%と続いています。
- 「低い」の割合は「庵治」で50.0%と最も高くなっています。次いで、「塩江」46.7%、「牟礼」28.4%と続いています。

(10)社会参加－社会的役割



- 社会的役割のスコアについては、全体では「高い」が34.8%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合は「男性」27.9%と比べると、「女性」は40.1%と12.2ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「高い」の割合は「85歳以上」が21.3%とその他の年齢に比べて低くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「高い」の割合は「一般高齢者」は37.1%、「事業対象者」は21.4%、「要支援1・2」は15.9%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「低い」の割合は「1人暮らし」42.9%がその他の家族構成に比べて高くなっています。



- 日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「牟礼」が48.1%と最も高くなっています。次いで、「古高松」44.9%、「鶴尾」42.9%と続いています。
- 「低い」の割合は「屋島」が47.3%と最も高くなっています。次いで、「庵治」46.7%、「香東」45.7%と続いています。

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査
結果報告書

令和8年3月 発行

発行 高松市

編集 高松市健康福祉局長寿福祉部長寿福祉課

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

Tel 087-839-2346 / Fax 087-839-2352

ホームページ <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp>
